

Assist 7

アシスト7

取扱説明書



目 次

| | | | | | |
|-------|-----------------------|----|-------|-----------------|-----|
| 1. | 画面表示と基本 | 1 | 7-12. | 各種印刷 | 69 |
| 2. | ツールバー | 6 | 7-13. | 境界明確化 各種印刷 | 73 |
| 2-1. | 各種ツールバー | | 7-14. | プリンタの設定 | 77 |
| 2-2. | スタンダードツールバー | 9 | 7-15. | 図面情報 | 78 |
| 2-3. | エディットツールバー | 11 | 7-16. | 点名杭種情報 | 79 |
| 3. | 杭番号 | 12 | 7-17. | 閉じる | 80 |
| 3-1. | 杭番号の入力 | | 7-18. | アプリケーションの終了 | |
| 3-2. | 交点の入力 | 14 | 8. | 作成 | 81 |
| 3-3. | 杭種 (デフォルト) | | 8-1. | ポイント | |
| 3-4. | 標準使用の杭種設定 | 15 | 8-2. | ポリライン | |
| 3-5. | 杭種の個別変更 | | 8-3. | ポリゴン | |
| 3-6. | 杭の備考欄入力 | 16 | 8-4. | ライン上ポイント | |
| 4. | PDAとのデータ転送 | 18 | 8-5. | オフセットポイント | 82 |
| 4-1. | SMCファイルを開く | | 8-6. | 頂点上ライン | |
| 4-2. | SMCファイルマッピングインポート | 19 | 8-7. | 頂点上ライン R | |
| 4-3. | SMCファイル切り出し保存 | 20 | 8-8. | 角度・距離指定ライン | 83 |
| 5. | コンパス入力 | 21 | 8-9. | 円 | |
| 5-1. | コンパス路線の標記 | | 8-10. | 円弧 | 84 |
| 5-2. | コンパス野帳入力セル | | 8-11. | 自動ポリゴン化 | 85 |
| 5-3. | 新規コンパスの入力手順 | 23 | 9. | 編集 | 86 |
| 5-4. | 放射観測 | 24 | 9-1. | 元に戻す | |
| 5-5. | 2方向からの入力 | 25 | 9-2. | やり直し | |
| 5-6. | 前方交会入力 | | 9-3. | 頂点 | |
| 5-7. | チェックマークを付け替えると | 26 | 9-4. | 画地 | 88 |
| 5-8. | コンパス再編集 | | 9-5. | テキスト | 90 |
| 5-9. | CSVファイルインポート | 31 | 9-6. | 選択図形 | 92 |
| 6. | 画地情報の登録と表示 | 32 | 9-7. | 削除 | 94 |
| 6-1. | 大字・字登録 | | 9-8. | 多角指定図形削除 | |
| 6-2. | 林小班登録 | | 9-9. | 多角指定コピー | 95 |
| 6-3. | 林小班属性入力 | 34 | 9-10. | 多角指定移動 | 96 |
| 6-4. | 林小班情報の表示 | 35 | 9-11. | 多角指定回転 | |
| 7. | ファイルメニュー | 36 | 9-12. | 多角指定二点 | 97 |
| 7-1. | 新規作成 | 37 | 9-13. | 多角指定移動 2 | |
| 7-2. | 開く | | 9-14. | 全頂点頭文字追加 | 98 |
| 7-3. | 名前を付けて保存 | | 9-15. | 点名連番付与 | |
| 7-4. | 現場設定 | | 9-16. | 画地・ライン点名連番付与 | |
| 7-5. | SMC ファイルを開く | 39 | 9-17. | 点名重複チェック | 99 |
| 7-6. | 旧 A s s i s t ファイルを開く | 40 | 9-18. | オブジェクト | |
| 7-7. | 地図を開く | 42 | 9-19. | コピー(クリップボード)(1) | 100 |
| 7-8. | インポート | 46 | 9-20. | ライン指示編集 | 101 |
| 7-9. | 外部出力 | 47 | 9-21. | 線種変更 | 102 |
| 7-10. | 図面印刷 | 57 | 9-22. | 多角指定杭種一括設定 | |
| 7-11. | A s s i s t 印刷 | 65 | 9-23. | 多角指定備考一括設定 | |

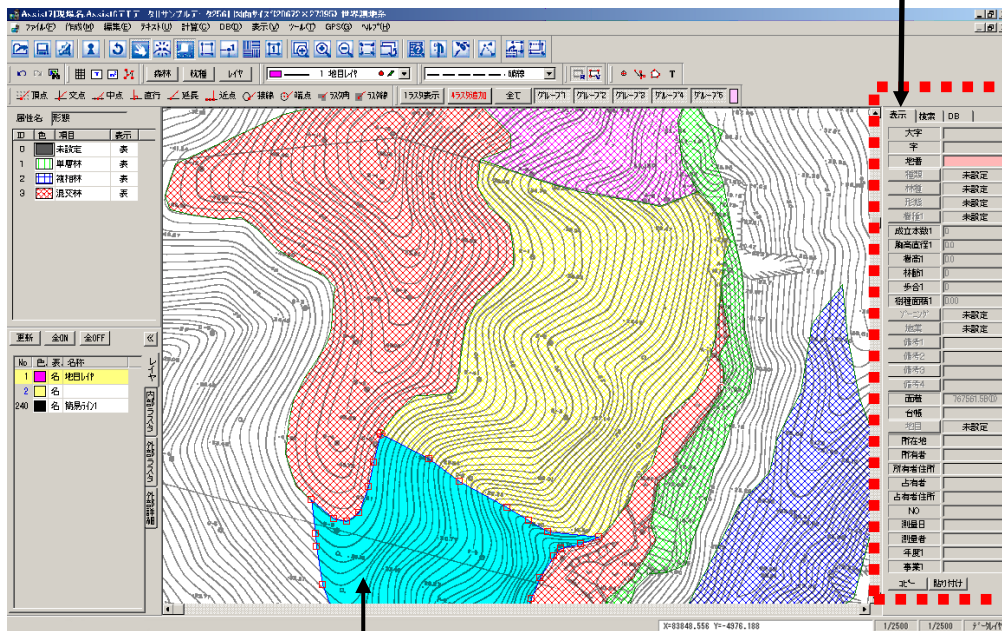
| | | | |
|-----------------------|-----|----------------------------|-----|
| 10. テキスト | 103 | 13-8. ラスタエクスポート | 179 |
| 10-1. 作成 | | 13-9. 外部ラスタ wld エクスポート | 180 |
| 10-2. 個別選択編集 | 104 | 13-10. 簡易ライン | |
| 10-3. 多角指定選択編集 | | 13-11. 簡易ライン表示 | 181 |
| 10-4. 角度変更 | 105 | 13-12. 簡易ライン線幅設定 | |
| 10-5. 位置変更 | 106 | 13-13. 図面の余白調整 | 182 |
| 10-6. 引出し線 | | 13-14. テンキーボードを起動／終了 | |
| 10-7. 自動配置 | 107 | 13-15. 地籍ツール | 183 |
| 10-8. テキスト重なりチェック | | 13-16. 地番・点名機能 | 185 |
| 10-9. 文字サイズ変更（スケール指定） | 108 | 13-17. 画地情報のコピー | 189 |
| 10-10. 属性変換 | | 13-18. 画地情報の貼り付け | |
| 10-11. 要素 | 109 | 13-19. 特殊検索 | |
| 11. 計算 | 114 | | |
| 11-1. 方向・距離 | | 【 オプション編 】 | |
| 11-2. 延長 | | Option1 DB オプション | 191 |
| 11-3. 面積 | 116 | Option2 E x i f オプション(森林版) | 254 |
| 11-4. 計算点 | 118 | | |
| 11-5. コンパス計算 | 123 | | |
| 12. 表示 | 124 | | |
| 12-1. 再表示 | | | |
| 12-2. ズーム | | | |
| 12-3. ドラッグ | | | |
| 12-4. 点名 | 125 | | |
| 12-5. 地番 | | | |
| 12-6. ポリゴン確認 | | | |
| 12-7. 図形別 | | | |
| 12-8. ユーザー定義 | 126 | | |
| 12-9. フォント | | | |
| 12-10. 固定点名設定 | 127 | | |
| 12-11. ツールバー | 128 | | |
| 12-12. 拡大図 (M) | 129 | | |
| 12-13. 全体図 (A) | | | |
| 12-14. ステータスバー | 130 | | |
| 12-15. フルスクリーン表示 | | | |
| 12-16. チェック | | | |
| 12-17. Google Map | 133 | | |
| 12-18. 電子国土 | 135 | | |
| 13. ツール | 136 | | |
| 13-1. プロパティ | | | |
| 13-2. レイヤ管理 | 148 | | |
| 13-3. 補正 | 158 | | |
| 13-4. ラスタ設定 | 169 | | |
| 13-5. 階層ラスタリング設定 | 175 | | |
| 13-6. 外部ラスタ表示設定 | 178 | | |
| 13-7. 階層ラスタ表示設定 | | | |

1. 画面表示と基本

1-1 画面表示

ポリゴン（面）を選択した状態

選択されたポリゴン情報



選択されたポリゴン

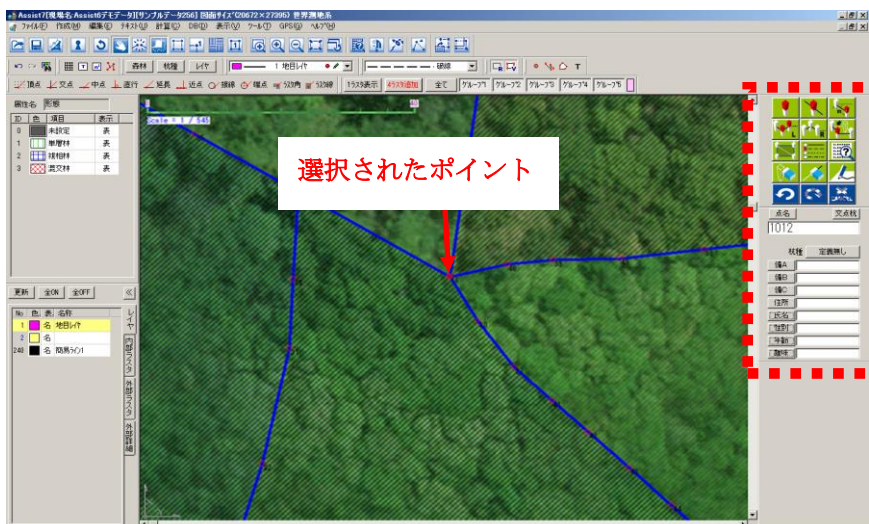
マウスの地図上での座標値

| 表示 | 検索 | DB |
|-------|------|----|
| 大字 | 10 | |
| 字 | 1 | |
| 地番 | 100 | |
| 種類 | 普通林 | |
| 林種 | 天然林 | |
| 形態 | 複相林 | |
| 樹種1 | カシ | |
| 成立本数1 | 30 | |
| 胸高直径1 | 0.5 | |
| 樹高1 | 30.0 | |
| 林齢1 | 10 | |
| 歩合1 | 1 | |

面積欄 面積 ha（閉合比）

| | |
|-------|-------------|
| 備考1 | |
| 備考2 | |
| 備考3 | |
| 備考4 | |
| 面積 | 767561.5800 |
| 台帳 | 100 |
| 地目 | 未設定 |
| 所在地 | 夢国 |
| 所有者 | 佐藤 |
| 所有者住所 | |
| 占有者 | |
| 占有者住所 | |
| NO | |
| 測量日 | |
| 測量者 | |

ポイント（点）を選択した状態



選択されたポイント

| | |
|------|------|
| 点名 | 交点統 |
| 1012 | |
| 杭種 | 定義無し |
| 備A | |
| 備B | |
| 備C | |
| 住所 | |
| 氏名 | |
| 性別 | |
| 年齢 | |
| 趣味 | |

編集用エディットツール

点の詳細情報

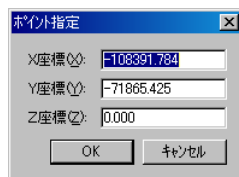
編集用エディットツールを表示させるためには、マウスの左ボタンで点を掴むか、データの無い空白部分をヒットします。

ポリゴン（面）を掴むためには、拡大しポリゴンの中央部分をヒットします。

- ポイント（点）を選択した状態で右ボタンクリックした際、表示されるメニューについて



- ① 同時単点移動…点を移動します。
- ② 単点削除…点を削除します。
- ③ 座標入力…選択された点の座標値を表示します。キーインしてOKを押すと、与えられた座標値の場所に移動します。
- ④ オフセット入力…オフセット計算された結果の点の座標値を表示します。



- ⑤ ダイレクトコンパス編集…コンパス測量によって作成された点の場合は、コンパスの入力セルを開きます。

| No | 器械点 | 目標点 | 境界 | 方位角 | 高度角 | 斜距離 | 杭種 | 備考 | 値2 | 値3 | 値4 | 値5 | 値6 | 値7 | 値8 |
|----|-----|-----|----|-----|-----|-----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 173 | 175 | 有り | 180 | 50 | 13 | 定義無し | | | | | | | | |
| 2 | 175 | 176 | 有り | 187 | 25 | 19 | 定義無し | | | | | | | | |
| 3 | 176 | 177 | 有り | 162 | 36 | 20 | 定義無し | | | | | | | | |
| 4 | 177 | 178 | 有り | 178 | 44 | 15 | 定義無し | | | | | | | | |
| 5 | 178 | 179 | 有り | 192 | 52 | 16 | 定義無し | | | | | | | | |
| 6 | 179 | 180 | 有り | 188 | 23 | 20 | 定義無し | | | | | | | | |
| 7 | 180 | 181 | 有り | 122 | 52 | 16 | 定義無し | | | | | | | | |
| 8 | 181 | 182 | 有り | 156 | 56 | 18 | 定義無し | | | | | | | | |

- ⑥ コンパスパネルを開く…コンパス機能で作成された点のパネルを開きます。



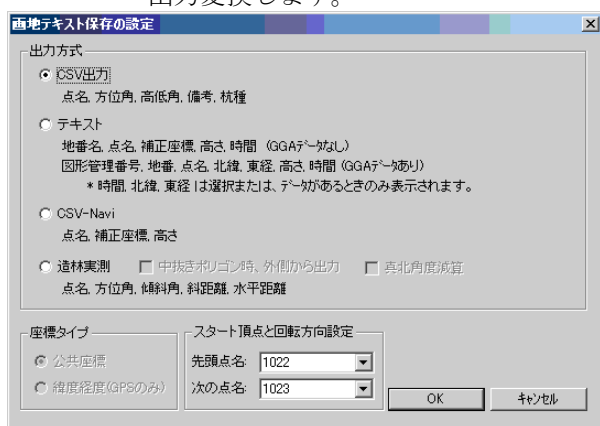
- ⑦ 森林画地所有者情報入力…点の画地所有者情報を入力・表示します。

● ポリゴン（面）を選択した状態で右ボタンクリックした際、表示されるメニューについて



- ① 図形削除…選択されたポリゴンを削除します。
- ② 図形編集…選択されたポリゴンを編集します。
- ③ キー削除…キーを削除します。
- ④ 個別色設定…任意のカラーを設定できます。
- ⑤ 他のレイヤにコピー…他のレイヤにコピーします。
- ⑥ 他のレイヤに移動…他のレイヤに移動します。
- ⑦ 測量野帳印刷…選択されたポリゴンが印刷指示された状態で測量野帳印刷ウィンドウが開きます。

- ⑧ **GIS へ転送**…sima、ass、シェープに出力します。
- ⑨ **CSV へ出力**…[画地テキスト保存の設定] ウィンドウが開きます。ポリゴン情報を CSV ファイルに出力変換します。



CSV 出力…点名、方位角、高低角、備考、杭種を CSV ファイルに出力・印刷します。「CSV ファイルの保存」ウィンドウの「印刷」ボタンをクリックすると印刷されます。

テキスト…地番名、点名、補正座標、高さ、時間、図形管理番号、地番、点名、北緯、東経、高さ、時間を CSV ファイルに出力します。

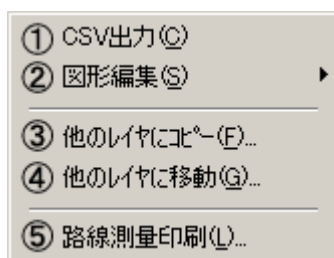
CSV-Navi…点名、補正座標、高さを CSV ファイルに出力します。

造林実測…点名、方位角、傾斜角、斜距離、水平距離を CSV ファイルに出力します

座標タイプ…テキスト出力時のみ、公共座標か緯度経度を選択できます。

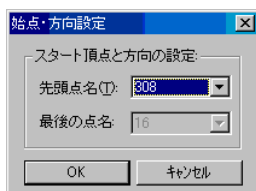
スタート頂点と回転方向設定…始点となる頂点と、回転方向を決定する次の点名を選択します。

● ライン（線）を選択した状態で右ボタンクリックした際、表示されるメニューについて



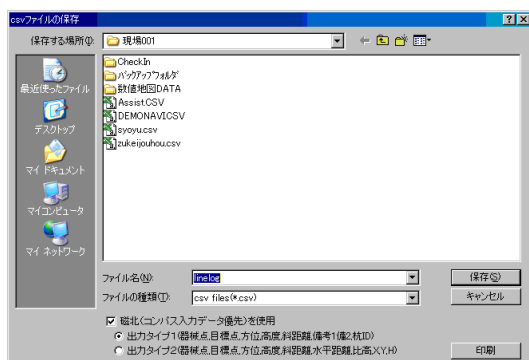
① CSV出力…ラインを CSV 出力します。

1. CSV 出力を選択すると、[始点・方向設定] ウィンドウが開きます。



先頭点名…ラインの先頭点名を指定します。
最後の点名…ラインの最後の点名です。先頭
点名を選択すると、自動的に
最後の点名が決定・表示され
ます

2. 設定終了後 [OK] ボタンをクリックすると、[csv ファイルの
保存] ウィンドウが開きます。



磁北（コンパス入力データ優先）を使用…磁
北を使用して出力します。

出力タイプ1…器械点、目標点、高度、斜距
離、備考1、備考2、杭 ID
を出力します。

出力タイプ2…器械点、目標点、高度、斜距
離、水平距離、比高、X、Y
座標、H（高さ）を出力し
ます。

3. 設定終了後 [保存] ボタンをクリックすると、ラインデー
タが CSV で保存されます。

② 図形編集…選択されたポリゴンを編集します。

③ 他のレイヤにコピー…他のレイヤにコピーします。

④ 他のレイヤに移動…他のレイヤに移動します。

⑤ 路線測量印刷…選択されたラインが印刷指示された状態で路線測量
印刷ウィンドウが開きます。



野帳タイトル…帳票に表示するタイトルを入力します。

測量野帳…測量野帳を印刷します。

測量実測図…測量実測図を印刷します。

測量データリスト…測量データリストを印刷します。

画地選択…印刷する路線を選択します。

● ポリゴン、ポリライン、単点をダブルクリックした際、表示されるメニューについて
(表示タブ選択で切り替え)

ポリゴン、ポリライン、単点をダブルクリックすると「図形情報」ウィンドウが表示されます。



レイヤ詳細…図形で使用されているレイヤの詳細を表示します。

図形詳細…図形の地番・頂点数・総延長・面積などを表示します。

頂点詳細…頂点の点名・X座標・Y座標・Z座標・辺長などを表示します。

属性…図形に結び付けられている属性を表示します。

履歴…図形の編集履歴を表示します。

2. ツールバー

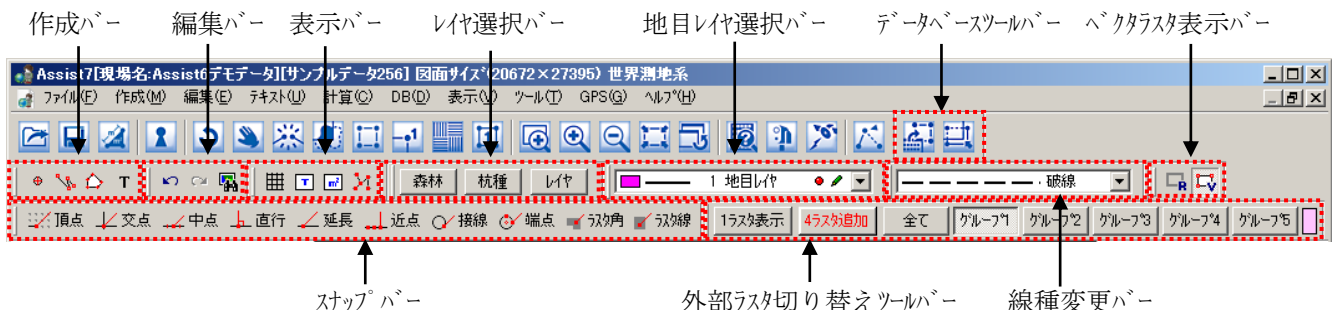
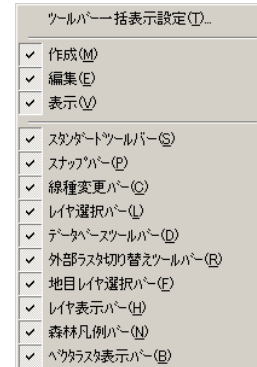
2-1 各種ツールバー

[表示] - [ツールバー]・[ステータスバー]

通常は スタンダードツールバー、

エディットツールバー (※ 常時表示)

※ 表示されているツールバー上で右クリックしてもツールバーの表示設定ができます。



作成バー…ポイント、ライン、ポリゴン、テキストを作成する。

編集バー…元に戻す、やり直し、検索。

表示バー…グリッド、属性、面積、頂点の表示・非表示を設定する。

スナップバー…図形作成時のカーソルの動きを設定する。

頂点 カーソルが最寄りの頂点に摺り付きます。

円の中心・図形の重心・グリッド線・グリッド重心にも摺り付きます。

ポリライン・ポリゴン作成中は、作成中の図形にも摺り付きます。

交点 カーソルが最寄りの交点（始終点を除く）に摺り付きます。

中点 カーソルが最寄りの線（ポリライン・ポリゴンの一部）の中点に摺り付きます。

直行 カーソルが一つ前の点から最寄りの線（ポリライン・ポリゴンの一部）に直角に交わる位置に摺り付きます。

延長 カーソルが進行方向の延長上にある線分（ポリライン・ポリゴンの一部）に摺り付きます。

近点 カーソルが最寄の図形の一番近い点に摺り付きます。

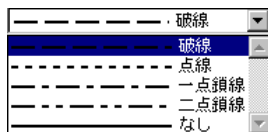
接線 カーソルが最寄りの円の接線に摺り付きます。

端点 カーソルが最寄りの円の端点（編集画面に対して垂直・水平な頂点）に摺り付きます。

双対角 カーソルがラスター図形の交点・端点・角に摺り付きます。

双対線 カーソルが最寄りのラスター線幅の中心に摺り付きます。

線種変更バー…線種変更オペレーションの線種を指定する。



レイヤ選択バー…レイヤ毎に表示（線種・線の太さ・色 等）を任意に設定する。

森林…森林属性配色設定を行います。

杭種…杭種一覧設定を行います。

レイヤ…レイヤ設定を行います。

データベースツールバー…DB オプション使用時に表示。DB データの抽出、背景レイヤ選択。

外部ラスタ切り替えツールバー…4枚のラスタの追加表示、グループ化したラスタ、1ラスタや4ラスタ等の表示を切り替える。

1ラスタ表示…画面中央に近い1枚のラスタを表示します。

4ラスタ追加…現在表示しているラスタに4枚のラスタを追加表示します。

全て…グループ1～5のラスタを全て表示します。

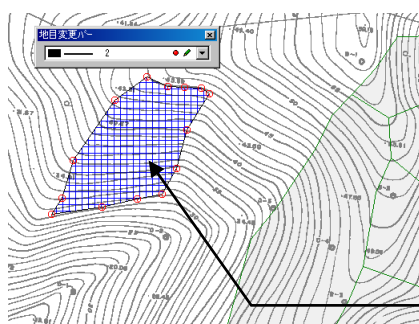
グループ1～5…グループ1～5を選択します。表示状態であれば、選択したグループのみのラスタを表示します。

地目レイヤ選択バー…メインとなる地目レイヤとサブとなる地目レイヤ1～90を選択します。

コンパス、野帳印刷はメイン地目（地目レイヤ）でのみ使用できます。

選択中の地目レイヤの画地、頂点は配色されますが、それ以外のレイヤは編集不可レイヤとして表示されます。

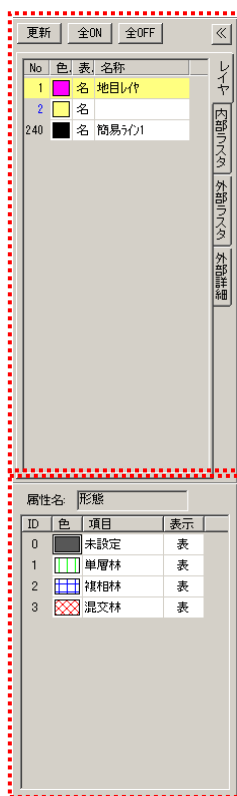
また、選択、入力、頂点チェックモード、地番点名検索、外部出力、印刷も、現在選択中の地目のみ使用可能です。



サブ地目2を選択中。サブ地目2で作成したポリゴンには配色されますが、他の地目レイヤは編集不可の表示になります。

「レイヤ設定」は現在選択中の地目以外は編集不可になります。図形、地番の表示・非表示の切り替えは可能です。



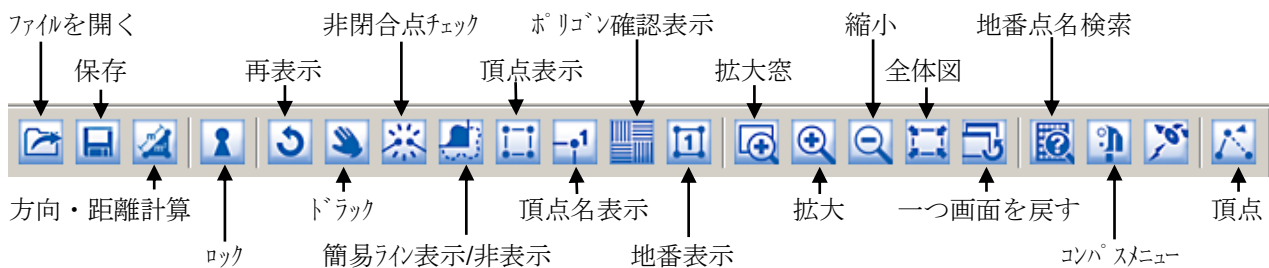


レイヤ表示バー…使用中のレイヤが表示されます。「表」欄をクリックして図形・地番の表示／非表示を切り替えます。

森林凡例バー…森林属性配色の凡例を表示します。

ベクタラスタ表示バー…ベクタ、ラスタの表示／非表示を切り替えます。

2-2 スタンダードツールバー



ファイルを開く…Assist 7 ファイルを開く



保存…現在作成中の図面を保存



方向・距離計算…画面上の方向と距離を表示

- ① 方向・距離計算アイコンを押す
- ② 画面上の任意点をヒット
- ③ 終了はダブルクリック

| | X座標 | Y座標 | 方向角 | 距離 |
|-------|---------|---------|--------------|---------|
| 1 | 243.674 | 466.917 | 22°16'12.96 | 137.423 |
| 2 | 370.847 | 518.997 | 136°51'59.80 | 124.890 |
| 3 | 279.706 | 604.384 | 221°21'16.21 | 77.449 |
| 4 | 221.570 | 553.213 | 304°34'4.04 | 60.304 |
| 5 | 255.786 | 503.555 | | |
| 6 | | | | |
| 距離合計: | | | | 400.066 |



ロック…図面を編集できないようにする。長押しで解除します。



再表示…位置と縮尺はそのままで地図を再表示する。



ドラッグ…ハンドカーソルと矢印カーソルの変更（矢印カーソルは事務所での編集作業向け）

アイコンを押すと“矢印カーソル”が“ハンドカーソル”に変わる。
矢印カーソルの場合は、右クリックしたままでスクロールができる。



非閉合点チェック…非閉合点以外（頂点記号、点名）を非表示にする。



簡易ライン表示/非表示…[ツール] - [簡易ライン] で作成した図を表示する。



頂点表示…プロットマーク（杭種マーク）を表示する。



頂点名表示…点名（杭番号）を表示する。続けてクリックで可変頂点名を表示する。



ポリゴン確認表示…閉図形（画地）を網掛け表示する。



地番表示…閉図形（画地）の地番を表示する。続けてクリックで可変地番を表示する。



拡大窓…図面エリアで拡大したい場所を矩形で指示。



拡大…場所はそのまま拡大。



縮小…場所はそのまま縮小。



全体図…図面エリア全体を表示。



一つ画面を戻す…部分拡大、拡大、縮小、全体図などで行なった図面表示を一つ戻す。

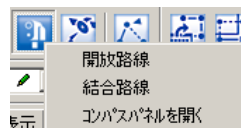


地番点名検索…点名、地番、画地情報を検索する。

検索したい点名、地番、画地情報を入力し、検索ボタンをクリックすると検索結果の一覧が表示される。検索結果をクリックすると自動スクロールし該当データが表示される。



コンパスメニュー…開放路線の作成、結合路線の作成、コンパスパネル表示による編集が可能。



頂点…頂点（単点）にスナップする。

2-3 エディットツールバー

| | | |
|---|---|---|
| ① | ② | ③ |
| ④ | ⑤ | ⑥ |
| ⑦ | ⑧ | ⑨ |
| ⑩ | ⑪ | ⑫ |
| ⑬ | ⑭ | ⑮ |



バッテン表示…現在のモードでは操作不可

バッテン表示のボタンを押すとキャンセル同様の動作を行う。

アイコンの意味

赤い杭マーク…これから作成する点 白の杭マーク…既にある点

CANCEL…現在動作中のモードを解除し、何も選択していない状態になる。

操作の順序

- ①～⑫のボタンをクリックします。
- 画面上に持って行って、+ で指示します。

各ボタンの説明

- ① **ポイント作成**…図面上をヒットすると単独の点を作ります。(終了は **CANCEL** および右クリック)
- ② **ライン上ポイント追加**…図面上のラインの近くでヒットするとライン上に点を作ります。(終了は **CANCEL** および右クリック)
- ③ **オフセットポイント作成**…既にある点を1度ヒットしマウスを移動させると、現地離れ(m)を表示し、作りたい場所で再度ヒットすると単点を作成(終了は **CANCEL** および右クリック)
- ④ **頂点上ライン作成**…既存点を1度ヒットし、再度ヒットすると点を作成すると同時にラインを作成します。2点目以降は、右ボタンクリックで既存点を選択(一旦終了は最後の点でダブルクリック、全て終了は **CANCEL**)
- ⑤ **頂点上ライン作成R**…既にある点を1度ヒットし、次に既にある点をヒットすると点間にラインを作成します。右ボタンクリックで新点作成(一旦終了は最後の点でダブルクリック、全て終了は **CANCEL**)
- ⑥ **頂点移動**…既にある頂点を1度ヒットし、再度移動したい場所でヒットすると頂点が移動します。同時にラインも移動します。隣り合わせの筆の筆界座標も同時に変わります。(終了は **CANCEL** および右クリック)
- ⑦ **自動ポリゴン化**…閉図形を自動判断し、筆を作成します。
- ⑧ **線種変更**…指示した線を線種変更バーで選択している線種に変えます。
- ⑨ **地番・点名検索**…点名や地番を探す。見つかると画面中央に表示します。
- ⑩ **ポイント削除**…点の削除。筆の構成点を削除しても筆はその点が無い状態で記録されます。
- ⑪ **一辺削除**…筆界線の削除。筆の構成点を削除すると筆情報は無くなります。
- ⑫ **簡易ライン**…データとは別の線分や文字を手書で図面上に記入します。
- ⑬ **元に戻す**…動作を戻します。
- ⑭ **やり直す**…戻した動作を、元通りにします。

- ⑮ **CANCEL**…現在動作中のモードを解除し、何も選択しない状態になります。

3. 杭番号

3-1 杭番号の入力

自動インクリメントの ON/OFF や点名の頭文字設定は
[プロパティ] - [地番・点名入力モード] を参照してください。



特徴

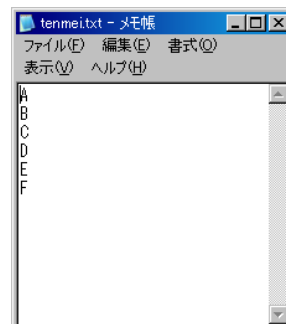
1. [ツール] - [プロパティ] - [地番・点名入力モード] の [自動連番] にチェックが入っている場合は、次の杭番号は、最後に入力した杭番号に 1 加算されます。
2. 点名入力時に **ENTER** を押さなくても良い。点名入力後、違うモードに移った時に、システム内部で入力の動作を行います。
3. システムを起動時には、データ内の杭番号の最大値 + 1 を必ず表示します。
(交点杭も同様)
4. 点名が重複した場合は、点名入力後次の動作を行おうとしたときに、警告を表示します。
5. 過年度点との重複は警告を表示しません。

3-1-1 点名の頭文字挿入

常に同じ頭文字を使用する場合は、[ツール]－[プロパティ]－[地番・点名入力モード]の杭番号頭文字でセットしてください。一つの現場で頻繁に頭文字が変更される場合は、下記の方法でご使用ください。

[事前準備]

Windows のメモ帳やワードパットで、挿入したい文字のリストを作成し、tenmei.txt（テキストファイル）で、使用する現場フォルダ内に保存します。



[都度、挿入文字が変更される場合]

点を作成すると、点名の文字列の先頭にカーソルが点滅します。そのまま **点名** を押すと tenmei.txt がリストで表示されるので、リストの中から挿入したい文字を選択します。

マウスを文字列の途中でヒットし、カーソルを移動することで途中の挿入も可能です。



[挿入文字があまり変更されない場合]

デフォルトの挿入文字をセットすることが可能です。

手順

1. マウスで空白箇所をヒットすると、点名中追加と表示される。
2. 点名中追加を押すと、tenmei.txt がリストで表示されるので、リストの中から挿入したい文字を選択する。

解除する場合は、リストボックスの空白部分をヒットする。



注意

1. 末尾にアルファベットを挿入は可能ですが、自動インクリメントとの併用は不可です。末尾が数字ではないため+1を行えません。したがって、末尾にアルファベットを挿入する場合は、ツールのプロパティで点名自動インクリメントのチェックを外して使用してください。
2. プロパティの頭文字を併用すると、カーソル位置は、プロパティの頭文字の次にきます。

3-2 交点の入力

点名入力状態で[交点杭]を押すとP-1から交点発生させる。

(交点は交点杭のことです)

※ 頭文字のPはデフォルトの設定です。頭文字の設定については、[ツール] - [プロパティ] の【地点・点名入力モード】を参照してください。

自動インクリメントのON/OFFや点名の頭文字設定は[プロパティ] - [地番・点名入力モード]を参照してください。

自動インクリメントがONの場合は、交点も通常の杭同様、杭番号自動でインクリメント(1ずつ数字が自動加算)されます。

交点も通常の杭同様、点名入力時に[ENTER]を押さなくても良いです。

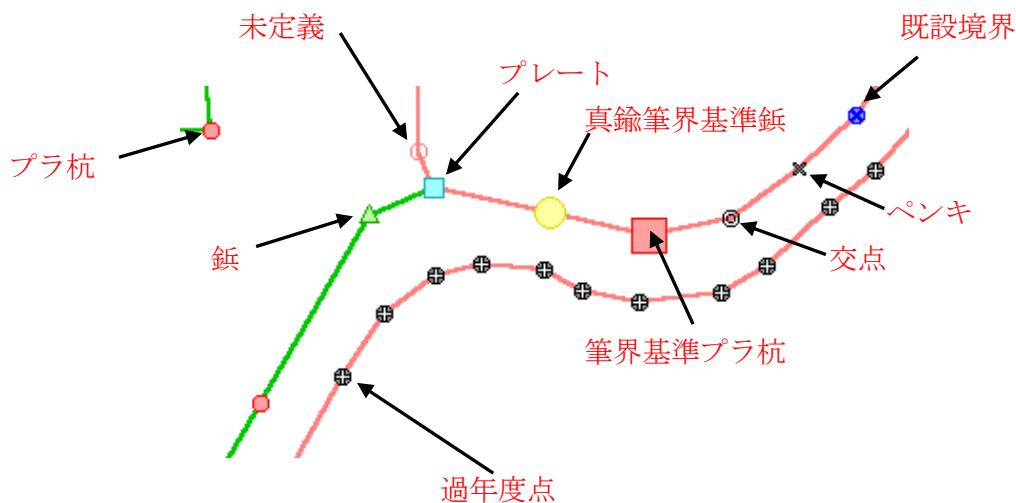
| | | | |
|-----|---------------------|---------|-------|
| 点名 | | [交点杭] | |
| P-4 | | 杭種 定義無し | |
| 備考 | | | |
| 備2 | | | |
| X | 264.954 | | |
| Y | 447.753 | | |
| 高さ | 0.000 | | |
| 日時 | 2009/04/17 15:28:59 | | |
| 衛星 | 0 | 回数 | 0 |
| | | DOP | 0.000 |
| 較差X | 0.000 | | |
| 較差Y | 0.000 | | |
| 前の点 | | 次の点 | |

3-3 杭種 (デフォルト)

| 種類 | モノ印刷時 | 表示とカラー印刷時 | 記号種別 ID |
|---------|------------|----------------|---------|
| 未定義 | ○ | ○ (赤) | 0 |
| プラ杭 | ● | ● (赤) | 1 |
| 鋺 | ▲ | ▲ (緑) | 2 |
| プレート | ■ | ■ (青) | 3 |
| 真鍮筆界基準鋺 | ● (1の大きい物) | ● (黄) (1の大きい物) | 4 |
| 筆界基準プラ杭 | ■ (3の大きい物) | ■ (赤) (3の大きい物) | 5 |
| 交点 | ◎ | ◎ | 6 |
| ペンキ | × | × | 7 |
| 既設境界 | ○ (丸に×) | ○ (丸に×) | 8 |
| 過年度点 | ○ (丸に+) | ○ (丸に+) | 19 |

既設境界…最近別の測量を行った鋺が残っており、それを地籍調査にも使う場合

過年度点…前年度以前に行なわれた地籍調査の境界



3-4 標準使用の杭種設定

手順

1. 杭種表示ボタン

杭種設定のウィンドウが開く

2. 設定したい杭種を選択する

3. 杭種欄に設定した杭種が表示される

今、作成中の杭

(右図：鉄)を押すと

3-5 杭種の個別変更

手順

1. 杭種を設定したい点を選択する

2. 杭種表示ボタン (右図：定義無し)を押すと

杭種設定のウィンドウが開く

3. 設定したい杭種を選択する

4. 杭種欄に設定した杭種が表示される

3-6 杭の備考欄入力

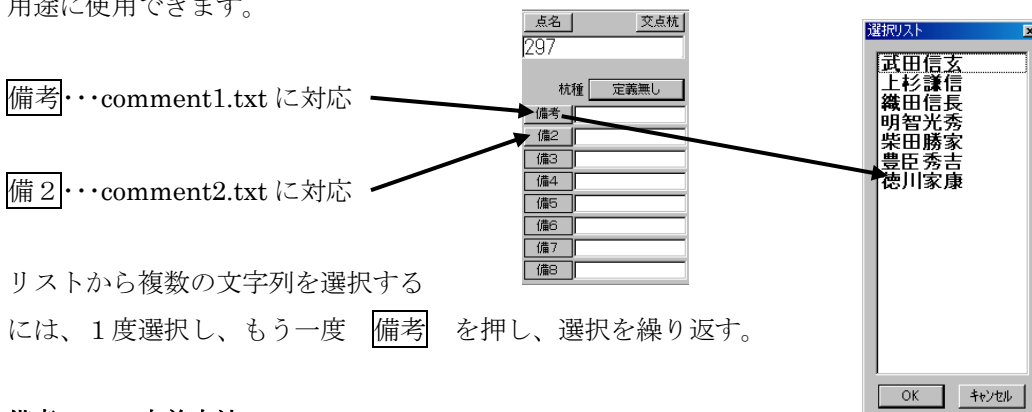
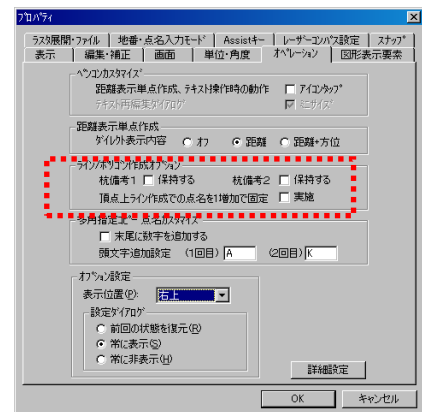
杭の備考上部(備考1)、杭の備考下部(備考2)に、各々備考1には comment1.txt、備考2には comment2.txt を対応させ、これらの2種のファイルを作成の上、現場フォルダ内に用意すると、ボタンによりリスト表示され選択可能です。また、同じ備考欄にリストより複数記入も可能です。

備考3~8は自由に入力することが可能です。備考3~8を表示する場合は、[ツール] - [プロパティ] - [表示] の [情報表示モード] で設定します。

また、[ツール] - [プロパティ] - [オペレーション] の [杭備考1] [杭備考2] で作成時に前回記入された備考を保持させるか、クリアさせるかの選択が可能です。

一般に考えられる動作は、備考1に立会者名、備考2に調査者名の記入などが考えられるため、複数人を1つのリストから1つの備考欄に記入したり、杭を作る都度記入を行うなどの無駄な動作を行わずに済みます。

もちろん、ユーザ様によって、交点(計算点)の備考記入に使ったり、comment1.txt、comment2.txtを事前に用意すれば、色々な用途に使用できます。



リストから複数の文字列を選択する

には、1度選択し、もう一度 **備考** を押し、選択を繰り返す。

備考3~8定義方法

任意の備考を作成します。

現場フォルダに bktantens.txt と備考 txt (3~8) があり、データ定義をしていれば表示されます。

bktantens.txt テキストファイル指定定義

F4, テキストファイル名.txt

F5, テキストファイル名 2.txt

のように、Fn のあとにテキストファイルを指定してください。

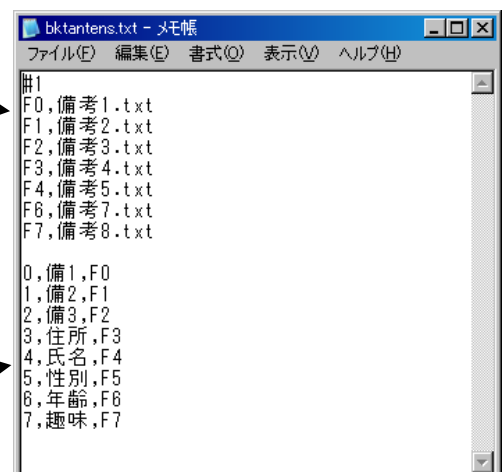
Fn の n は仕様アプリにもよりますが、3~250 まで登録可能です。

属性 n 個の属性名、選択 ID の定義

4, 属性 A, F0

5, 属性 B, F0 | F2

6, 属性 C, F1



7,直接入力属性

数字 (ID) ,の後に属性タイトル、次に選択する内容を持つテキストファイル ID を記述します。

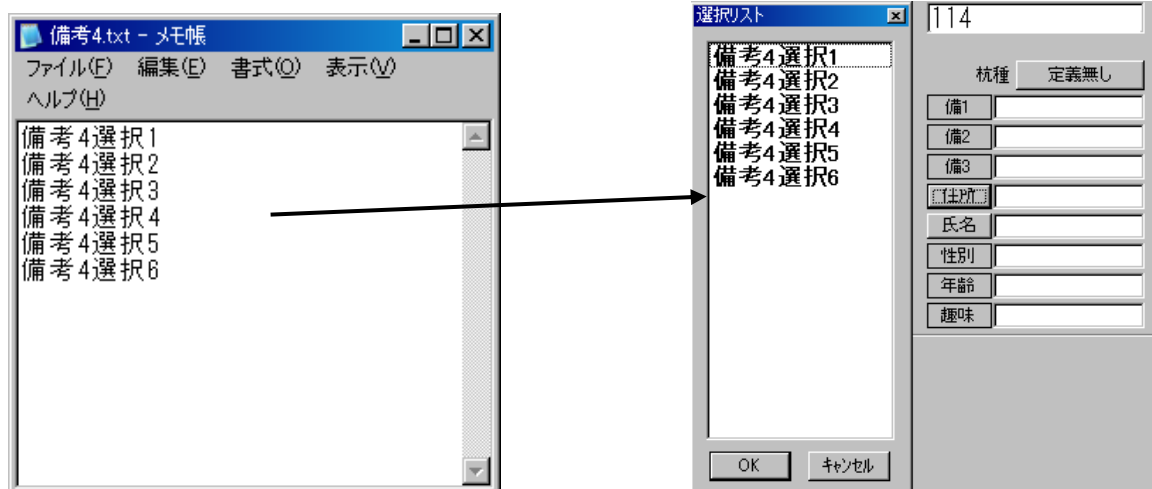
※ テキストファイル ID は1 属性に最大 16 個のリンク付けができます。その場合は | で結んでください。

※2 属性名のみ定義で直接入力タイプ (選択肢なし) の場合は上記例の ID 7 を参考にしてください。

※3 アプリにより、この ID 番号+1 の表示になることがあります。

例) ID 4 → (備考 5 : 属性 A)

備考 txt 例



4. PDAとのデータ転送

SMCファイルを開く

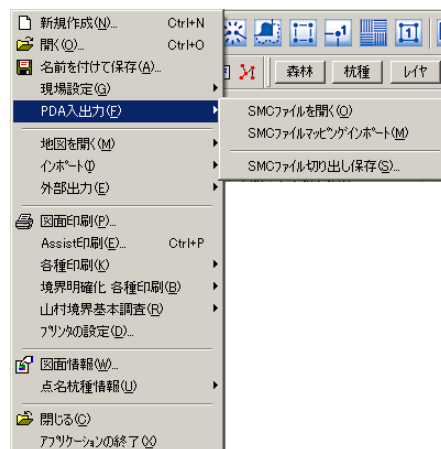
PDAに記録されたデータを Assist7 に読み込みます。

SMCファイルマッピングインポート

PDAに記録されたデータがコンパスデータで任意の座標値で記録されている場合、コンパスの初点を地図上で指示して読み込みます。

SMCファイル切り出し保存

Assist7 の地図の一部分を公共座標を持ったままで PDA に転送します。



4-1 SMC ファイルを開く

Assist7 に読み込む SMC ファイルを選択します。

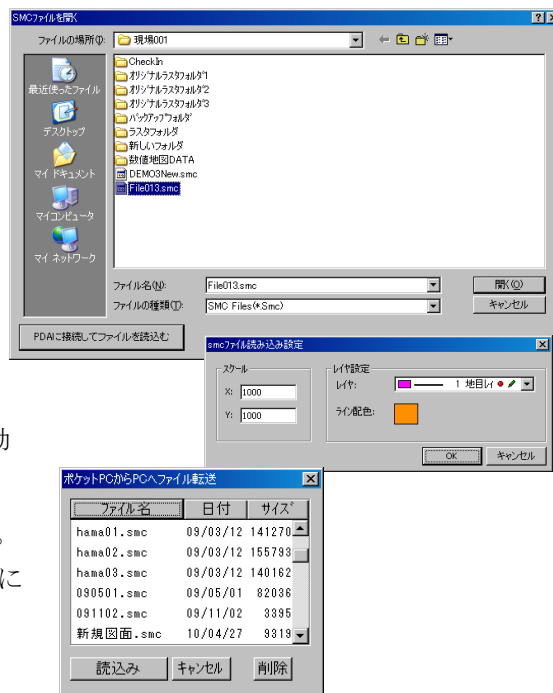
ファイルを選択すると、[SMCファイル読み込み設定] ウィンドウが表示されます。X、Yスケール、レイヤ、ライン配色を決定し、[OK] を押すと SMC ファイルが読み込まれます。

PDA から読み込む場合は、

[PDAに接続してファイルを読み込む] を押します。

PDA に接続してファイルを読み込むには、Assist7 を起動している PC と PDA が接続された状態にします。

PDA の内部に記録されているデータが一覧表示されます。読み込みたいファイルを選択し、[読み込む] を押すと PC にデータが転送され、ファイルが開きます。



4-2 SMC ファイルマッピングインポート

SMCファイルマッピングインポート を選択すると、[SMCマッピングインポート座標指定] ウィンドウが表示されます。

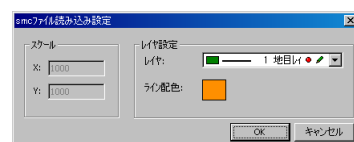
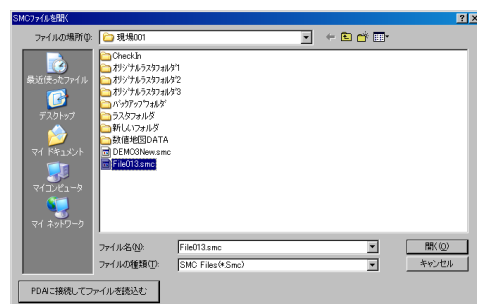
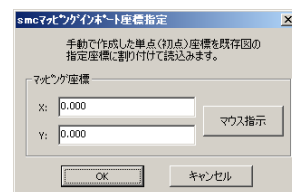
マッピングしたい座標を入力またはマウス指示でクリックします。

OKを押すと、[SMCファイルを開く] ウィンドウが表示されます。

ファイルを選択し、[開く] を押すと [SMCファイル読み込み設定] ウィンドウが表示されます。レイヤ、ライン配色を決定し、[OK] を押すとSMCファイルが読み込まれます。

PDAから読み込む場合は、PDAに接続してファイルを読み込むを押します。

ファイルを選択して開く で [s m c ファイル読み込み設定] ウィンドウが開きます。レイヤ、ライン配色を決定し、[OK] を押すとSMCファイルが読み込まれます。



4-3 SMC ファイル切り出し保存

Assist 7 の地図の一部分、または公共座標付の地図で PDA に転送します。

マウスカースールが  に変わるので、矩形に切出したいエリアを指示し、名前をつけて保存します。

保存後に PDA にデータを転送する時…**保存後 CE に転送** にチェックを入れます。

背景レイヤデータの転送…**背景レイヤの転送** で **転送する** または **転送しない** にチェックを入れます。

ラスタの転送…**ラスタタイプ** で BMP、Tiff、JPEG から選択します。JPG を選択すると **JPGE 圧縮率** で、
BMP、Tiff を選択した場合は **カラーラスタを減色** でサイズを小さくできます。

※ラスタタイプで Tiff を選択した場合は Geotiff、JPG を選択した場合は JPG と JGW（ワールドファイル）が出力されます。

ラスタを自動分割する時…**ラスタを転送** で **ラスタ自動分割** にチェックを入れ、分割サイズを指定し、
CE ラスタフォルダ名 を入力します。作成されたフォルダに自動分割された BMA、
BMP ファイルが保存されます。

生成されるファイルはそれぞれ…***. SMC、***. BMA（座標ファイル）、***. BMP（イメージファイル）の3種です。

【注意】

PDA の機種によりますが、8000KB 程度を目処にしてください。

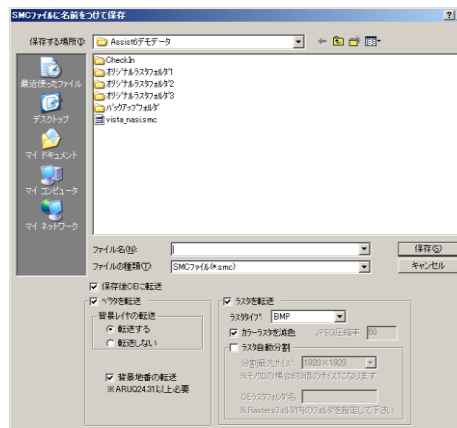
森林基本図を 300dpi でスキャニングされたモノクロラスタファイルの場合、3km*3km が目安です。

カラー画像は 256 色のビットマップで保存されます。同じピクセル数でもファイルサイズはモノクロに比較して 8 倍大きくなります。

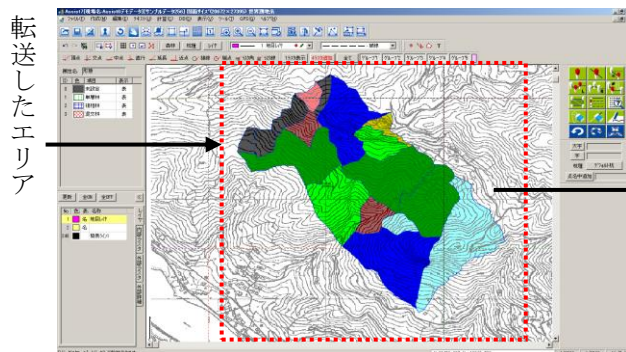
ファイルサイズが大きいと PDA の転送に約 1 分程度時間が掛かります。Assist7 は砂時計が表示された状態ですが、しばらく待つと操作可能になります。

右のウインドウが表示され、名前を付けて**保存**を押します。

PC の現場フォルダに、必要なファイルを保存後、PDA に自動転送します。



【 Assist 7 画面 】



【 PDA 画面 】

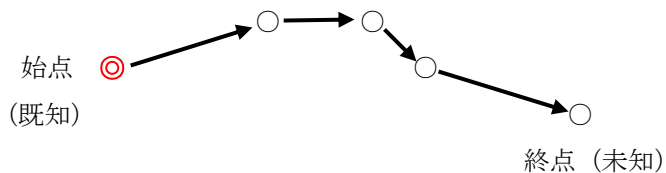


5. コンパス入力

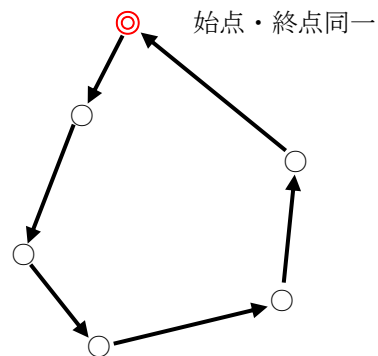
5-1 コンパス路線の標記

ソフトウェア及び本解説書での標記は下記の通りです。

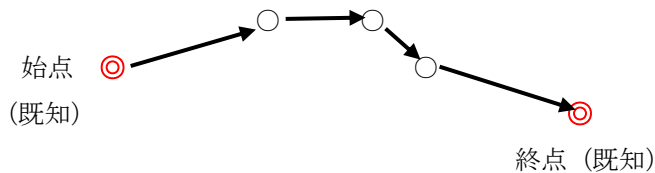
【 開放ライン 】・・・誤差配布なし



【 閉合路線 】・・・誤差配布あり



【 結合路線 】・・・誤差配布ライン



5-2 コンパス野帳入力セル

チェックマークの有無で境界を構成します。

開放路線と結合路線で表示される項目が異なります。

確定・・・入力を終了します。

放射観測・・・放射観測の器械点を画面で指示します。詳細は放射観測の項目をご覧ください

全破棄・・・入力中の全てを破棄します。

境界の有無

1行入力し改行すると、赤色で観測ラインを表示します。

杭種欄は設定されている一覧のうちから杭種を選びます。

メニュー・・・

レコード挿入・・・選択されているレコードの前に、空白の1行を挿入します。

レコード削除・・・選択されているレコードを削除します。

レコード複数行削除・・・複数のレコードを削除します。

全レコード一括削除・・・全てのレコードを削除します。

方位全レコード加算・・・入力されている全レコードの方位角に指定の数値を加算します。

高度全レコード加算・・・入力されている全レコードの高度角に指定の数値を加算します。

斜距離全レコード加算・・・入力されている全レコードの斜距離に指定の数値を加算します。

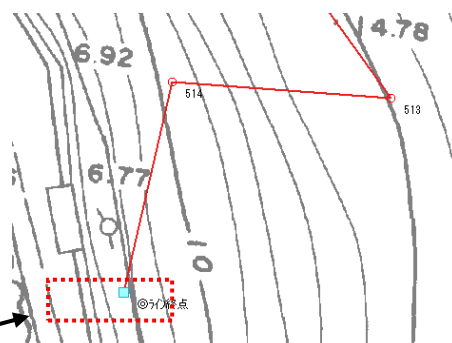
杭種一括変換・・・入力されている全レコードの杭種を指定した杭種に一括で変換します。

備考1一括変換・・・入力されている全レコードの備考1の内容を指定した内容に一括で変換します。

備考2一括変換・・・入力されている全レコードの備考2の内容を指定した内容に一括で変換します。

戻る・・・メニューから戻ります。

コンパスデータインポート・・・Assist7・Assist6 または Advance
・ARUQ でコンパスデータを使用しているデータをインポートします。



確認印刷・・・入力値を印刷します。

最終点・・・ラインの終点を指定します。

最後の行に移動・・・入力末尾の行がセルに表示されます。

再編集コンパス[20090717_01]

| No | 器械点 | 目標点 | 境界 | 方位角 | 高度角 | 斜距離 | 杭種 | 備考 | 備考2 | 備考3 | 備考4 | 備考5 | 備考6 | 備考7 | 備考8 |
|----|-----|-----|----|--------|-------|--------|------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 | 495 | 496 | 有り | 180.00 | 50.00 | 13.000 | 定義無し | | | | | | | | |
| 2 | 496 | 497 | 有り | 189.00 | 25.00 | 19.000 | 定義無し | | | | | | | | |
| 3 | 497 | 498 | 有り | 162.00 | 36.00 | 30.000 | 定義無し | | | | | | | | |
| 4 | 498 | 499 | 有り | 280.00 | 16.00 | 19.000 | 定義無し | | | | | | | | |
| 5 | 499 | 500 | 有り | 222.00 | 25.00 | 28.000 | 定義無し | | | | | | | | |
| 6 | 500 | 501 | 有り | 310.00 | 25.00 | 29.000 | 定義無し | | | | | | | | |
| 7 | 501 | 502 | 有り | 330.00 | 21.00 | 32.000 | 定義無し | | | | | | | | |
| 8 | 502 | 503 | 有り | 350.00 | 5.00 | 15.000 | 定義無し | | | | | | | | |

最終/確定 放射観測 キャンセル メニュー 確認印刷 最終点 最後の行に移動

メニュー

- レコード挿入
- レコード削除
- レコード複数行削除...
- 全レコード一括削除
- 方位全レコード加算
- 高度全レコード加算
- 斜距離全レコード加算
- 杭種一括変換
- 備考1一括変換
- 備考2一括変換
- 戻る
- コンパスデータインポート(smc,ast,asr)

5-3 新規コンパスの入力手順

手順

1. [作成] - [ポイント] で コンパスの初点を画面上でヒットします。右ボタンで終了します。

注意 このときにはプロットマーク（杭種マーク）表示 にしてください。

注意 出発点が既にある場合は、この手順は必要ありません。

注意 もし、このポイントの公共座標値がわかっている場合は正確な座標を入力します

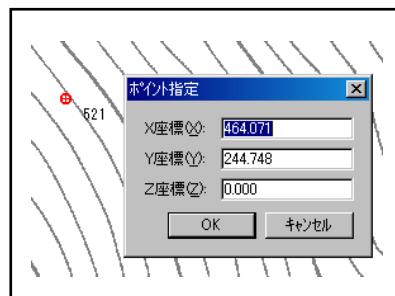
1-1 コンパスの初点を画面上でヒット


1-2 そのまま右ボタンを押し、「座標入力」を選択

1-3 座標値を入力する「ポイント指定」ウインドウが開く

ここで表示されている値は、現在マークがある場所

※ [作成] - [ポイント] でカーソルが+になった状態でスペースキーを押しても「ポイント指定」ウインドウが開きます。

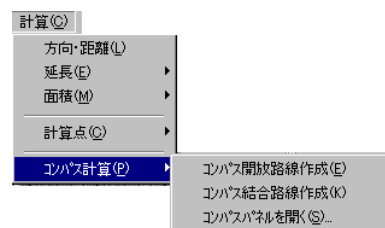


2. [計算] - [コンパス計算] - [コンパス開放路線作成]・[コンパス結合路線作成] か  コンパス入力アイコンを押し、これから入力するコンパスの形式を選択します。

開放路線 ...誤差配布なし

結合路線 ... 閉合・結合路線

コンパスパネルを開く ...コンパスパネルが開き、新規コンパス入力、テーブル編集が可能になります。

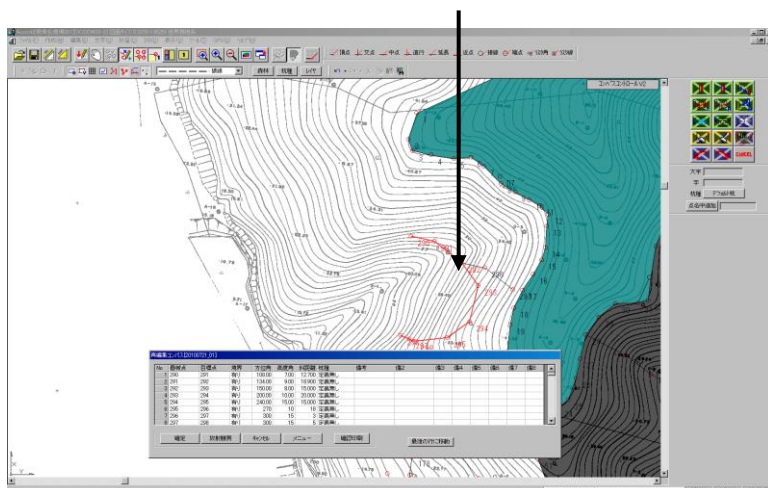


3. マウスがポイント指示マウスになるので、先ほど作成した コンパスの初点をヒットします。

開放路線 ...初点のみ（マウス指示は1回）

結合路線 ...マウス指示1回目が初点・2回目が終点。閉合路線は、初点と終点が同一点なので、同じ点を2回クリックします。

4. 野帳コンパスの入力ウインドウが開くので、観測値を順次入力します。
入力行（1レコード）改行毎に 地図上に赤ラインで図形を表示します。



確認印刷 を押すと入力途中でも、野帳の印刷が可能です。

5. 野帳入力終了

開放路線の場合

最終の観測（上記の例で NO6）を改行し **確定** を押すと、確認メッセージが表示されます。良ければ **はい** を押すと、入力ウインドウを閉じ、図形が確定されます。

新規作成コンパス

| No | 器械点 | 目標点 | 境界 | 方位角 | 高度角 | 斜距離 | 杖種 | 備考 | 備2 | 備3 | 備4 | 備5 | 備6 | 備7 | 備8 |
|----|-----|-----|----|-----|-----|------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 298 | 299 | 有り | 167 | 5 | 18.7 | 定義無し | | | | | | | | |
| 2 | 299 | 300 | 有り | 107 | -12 | 8.9 | 定義無し | | | | | | | | |
| 3 | 300 | 301 | 有り | 189 | -8 | 24.7 | 定義無し | | | | | | | | |
| 4 | 301 | 302 | 有り | 167 | -5 | 27.6 | 定義無し | | | | | | | | |
| 5 | 302 | 303 | 有り | 178 | -7 | 22.8 | 定義無し | | | | | | | | |
| 6 | 303 | 304 | 有り | 206 | -8 | 17.8 | 定義無し | | | | | | | | |
| 7 | 304 | 305 | 有り | | | | 定義無し | | | | | | | | |

確定 放射観測 全破棄 メニュー 確認印刷 最後の行に移動

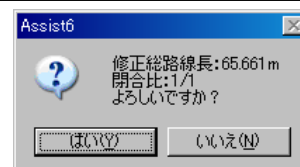
結合路線の場合

最終の観測（上記の例で NO6）を改行し NO7 の目標点をヒット後、**最終/確定** を押すと、◎ライン終点または◎ 画地終点 と表示されます。再度、**最終/確定** を押すと、路線長と閉合比を計算表示するので、良ければ **はい** を押すと、入力ウインドウを閉じ、図形が確定されます。

新規作成コンパス

| No | 器械点 | 目標点 | 境界 | 方位角 | 高度角 | 斜距離 | 杖種 | 備考 | 備2 | 備3 | 備4 | 備5 | 備6 | 備7 | 備8 |
|----|-----|--------|----|--------|-------|--------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 305 | 307 | 有り | 250 | 10 | 20.6 | 定義無し | | | | | | | | |
| 2 | 307 | 308 | 有り | 285 | 8 | 18.5 | 定義無し | | | | | | | | |
| 3 | 308 | 309 | 有り | 280 | 25 | 15.2 | 定義無し | | | | | | | | |
| 4 | 309 | 310 | 有り | 300 | 6 | 19.5 | 定義無し | | | | | | | | |
| 5 | 310 | 311 | 有り | 255 | 6 | 15.3 | 定義無し | | | | | | | | |
| 6 | 311 | 312 | 有り | 350 | 15 | 21 | 定義無し | | | | | | | | |
| 7 | 312 | ◎ライン終点 | 有り | 126.00 | 24.00 | 20.200 | 定義無し | | | | | | | | |

最終/確定 放射観測 全破棄 メニュー 確認印刷 最終点 最後の行に移動

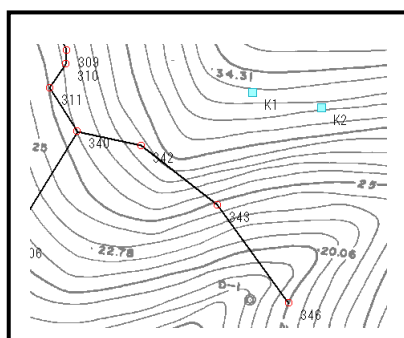


5-4 放射観測

5-4-1 境界点では無い放射点

手順

1. 放射観測 を押し、器械点を画面上でヒットします。自動で境界の種類が放射に変更されます。
2. 観測値を入力し改行します。
3. 放射のモードが連続しますので、放射があれば続けて入力します。
4. 境界路線に戻る場合は、境界欄を有りに戻して入力します。



新規作成コンパス

| No | 器械点 | 目標点 | 境界 | 方位角 | 高度角 | 斜距離 | 杖種 | 備考 | 備2 | 備3 | 備4 | 備5 | 備6 | 備7 | 備8 |
|----|-----|-----|----|-------|-----|------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 340 | 342 | 有り | 108.5 | 7 | 12.7 | 定義無し | | | | | | | | |
| 2 | 342 | 343 | 有り | 134 | 9 | 18.9 | 定義無し | | | | | | | | |
| 3 | 343 | 344 | 放射 | | | | 定義無し | | | | | | | | |

確定 放射観測 全破棄 メニュー 確認印刷 最後の行に移動

新規作成コンパス

| No | 器械点 | 目標点 | 境界 | 方位角 | 高度角 | 斜距離 | 杖種 | 備考 | 備2 | 備3 | 備4 | 備5 | 備6 | 備7 | 備8 |
|----|-----|-----|----|-------|-----|------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 340 | 342 | 有り | 108.5 | 7 | 12.7 | 定義無し | | | | | | | | |
| 2 | 342 | 343 | 有り | 134 | 9 | 18.9 | 定義無し | | | | | | | | |
| 3 | 343 | K1 | 放射 | 23.5 | 14 | 23.5 | プレート | | | | | | | | |
| 4 | 343 | K2 | 放射 | 53 | 18 | 29 | プレート | | | | | | | | |
| 5 | 343 | 346 | 有り | 150 | 20 | 25 | 定義無し | | | | | | | | |
| 6 | | | 無し | | | | | | | | | | | | |
| | | | 放射 | | | | | | | | | | | | |

確定 放射観測 全破棄 メニュー 確認印刷 最後の行に移動

左図・・・340～342～343～346 が境界路線
K1、K2 が放射点

5-4-2 放射観測の境界点

境界欄を有りで入力します。

再編集コンパ[20090422_05]

| No | 器械点 | 目標点 | 境界 | 方位角 | 高度角 | 斜距離 | 杖種 | 備考 | 備2 | 備3 | 備4 | 備5 | 備6 | 備7 | 備8 | |
|----|-----|-----|----|--------|-------|--------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|--|
| 1 | 340 | 342 | 有り | 108.50 | 7.00 | 12.700 | 定義無し | | | | | | | | | |
| 2 | 342 | 343 | 有り | 134.00 | 9.00 | 18.900 | 定義無し | | | | | | | | | |
| 3 | 343 | K1 | 放射 | 23.50 | 14.00 | 23.500 | プレート | | | | | | | | | |
| 4 | 343 | K2 | 放射 | 53.00 | 18.00 | 29.000 | プレート | | | | | | | | | |
| 5 | 343 | 346 | 有り | 150.00 | 20.00 | 25.000 | 定義無し | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |

5-5 2方向から入力

1 番目の路線は 開放ライン入力：図面上で上から下へ（点名 361～366）

再編集コンパ[20090422_07]

| No | 器械点 | 目標点 | 境界 | 方位角 | 高度角 | 斜距離 | 杖種 | 備考 | 備2 | 備3 | 備4 | 備5 | 備6 | 備7 | 備8 |
|----|-----|-----|----|--------|--------|--------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 348 | 361 | 有り | 123.00 | -5.00 | 13.600 | 定義無し | | | | | | | | |
| 2 | 361 | 362 | 有り | 167.00 | -7.00 | 18.700 | 定義無し | | | | | | | | |
| 3 | 362 | 363 | 有り | 107.00 | -12.00 | 8.900 | 定義無し | | | | | | | | |
| 4 | 363 | 364 | 有り | 189.00 | -8.00 | 24.700 | 定義無し | | | | | | | | |
| 5 | 364 | 365 | 有り | 167.00 | -5.00 | 27.600 | 定義無し | | | | | | | | |
| 6 | 365 | 366 | 有り | 178.00 | -7.00 | 22.800 | 定義無し | | | | | | | | |
| 7 | 366 | 367 | 有り | 206.00 | -8.00 | 17.500 | 定義無し | | | | | | | | |

確定

放射線測

キャンセル

メニュー

確認印刷

最後の引子移動

2 番目の路線は 誤差配布（2 点指定）入力

初点は 359 終点は 366

図面上で下から上へ（点名 370～375）

再編集コンパ[20090422_07]

| No | 器械点 | 目標点 | 境界 | 方位角 | 高度角 | 斜距離 | 杖種 | 備考 | 備2 | 備3 |
|----|-----|-------|----|--------|-------|--------|------|----|----|----|
| 2 | 369 | 370 | 有り | 96.50 | 12.00 | 14.700 | 定義無し | | | |
| 3 | 370 | 371 | 有り | 45.00 | 4.00 | 7.800 | 定義無し | | | |
| 4 | 371 | 372 | 有り | 120.00 | 12.00 | 13.700 | 定義無し | | | |
| 5 | 372 | 373 | 有り | 126.00 | 10.00 | 13.100 | 定義無し | | | |
| 6 | 373 | 374 | 有り | 70.00 | 5.00 | 15.000 | 定義無し | | | |
| 7 | 374 | 375 | 有り | 80.00 | 8.00 | 21.000 | 定義無し | | | |
| 8 | 375 | ◎デジ終点 | 有り | 90.00 | 6.00 | 18.000 | 定義無し | | | |

最終/確定

放射観測

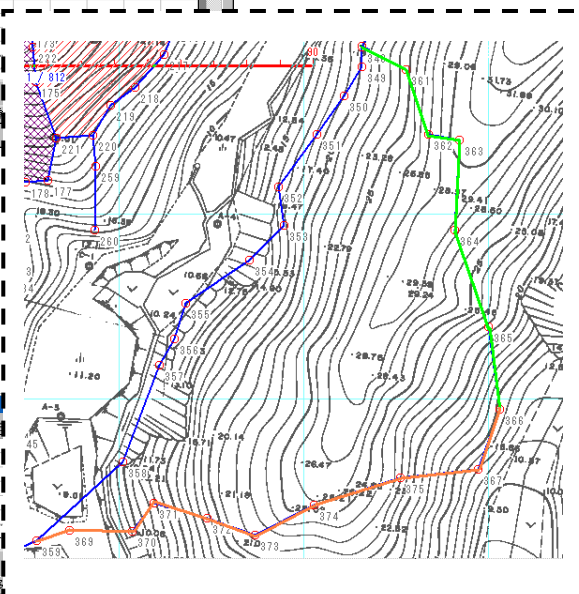
全破棄

メニュー

確認印刷

最終点

最後の行に移



5-6 前方交会入力

441 は

440 と 442 から方位角のみ観測で

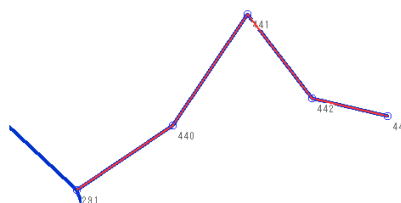
距離なしの観測を行っています。

注意

目標点 441 は 440 からと

442 からの 2 行入力される。

境界欄はどちらか一つが有りにします。



新規作成コンパ

| No | 器械点 | 目標点 | 境界 | 方位角 | 高度角 | 斜距離 | 杖種 | 備考 | 備2 | 備3 | 備4 | 備5 | 備6 | 備7 | 備8 |
|----|-----|-----|----|-------|------|--------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 291 | 440 | 有り | 5.0 | 6.0 | 34.000 | 定義無し | | | | | | | | |
| 2 | 440 | 441 | 有り | 34 | 8 | 0.000 | 定義無し | | | | | | | | |
| 3 | 440 | 442 | 有り | 79.0 | 9.0 | 42.400 | 定義無し | | | | | | | | |
| 4 | 442 | 441 | 無し | 322.5 | 11.0 | 0.000 | 定義無し | | | | | | | | |
| 5 | 442 | 443 | 有り | 103.0 | 7.0 | 23.000 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |

確定

放射観測

全破棄

メニュー

確認印刷

最後の行に移動

5-7 チェックマークを付け替えると

前項の前方交会を例で説明します

2行目の境界欄を無し

4行目の境界欄を有り に変更

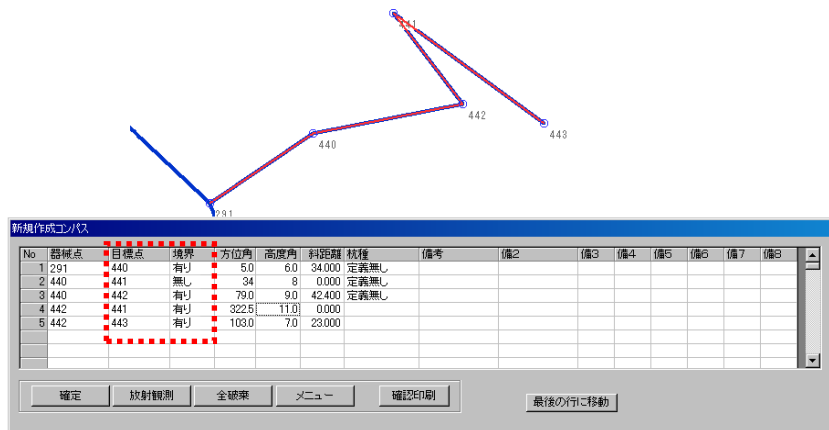
すると、右図になります。

境界のラインは、目標点の境界欄

有り の順にラインを引きます。

291～440～442～441～443

とラインを引きます。



5-8 コンパス再編集

5-8-1 ダイレクトコンパス編集

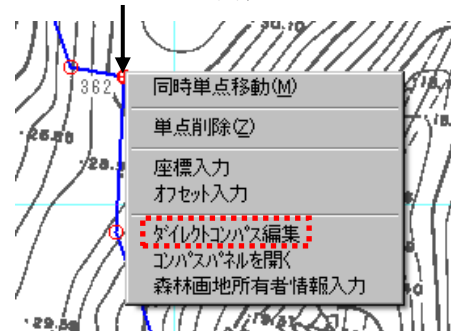
修正したいコンパス路線の構成点

(始終点以外ならどこでも良い) を選択し、

右ボタンを押し、**ダイレクトコンパス編集** を選択する

と、入力セルがオープンする。

修正したいコンパス路線の点



5-8-2 [計算] - [コンパス計算] - [コンパスパネルを開く] ...コンパスパネルが開きます。

印刷...コンパスデータを印刷します。

コンパス計算書...選択したコンパスデー

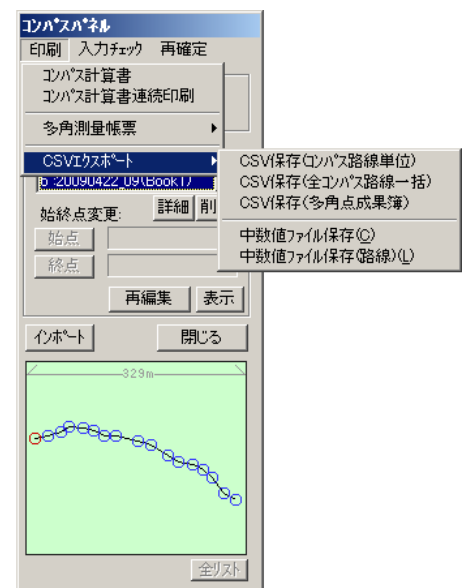
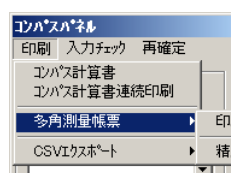
タの座標と標高の計算

書を印刷します。

コンパス計算書連続印刷...作成した全てのコンパスデータの座標と標高

の計算書を印刷します。コンパスデータが多

いと印刷まで時間がかかることがあります。



多角測量帳票…多角測量帳票を印刷します。

印刷帳票基本データ設定…印刷する帳票の基本データを設定します。

精度管理表（調査点）…コンパス調査点の精度を印刷します。

CSV エクスポート…コンパスデータを CSV 出力します。

CSV 保存（コンパス路線単位）…選択したコンパスデータを
路線単位で出力します。

CSV 保存（全コンパス路線一括）…全てのコンパスデータを
路線単位で出力します。

CSV 保存（多角点成果簿）…選択したコンパスデータの多角点を出力します。

入力チェック…既存のコンパスデータをチェックします。

コンパス生成単ラインチェック…作成したコンパスデータをチェックします。

使用中のコンパスデータは図面上で強調
表示され、路線が赤く表示されます。

未使用テーブル抽出…図面上で未使用のコンパスデータ数をチェックします。

未使用テーブル一括削除…図面上で未使用
のコンパスデータを一括
で削除します。

コンパステーブル一覧…コンパステー
ブルの一覧を
表示します。

検索モード…コンパステーブルの検索
方法を選択します。

生成日…選択したコンパステーブルの
作成日を表示します。

準削除日…選択したコンパステーブル
の準削除日を表示します。

ID…選択したコンパステーブルの ID を表示します。

準削除…選択したコンパスデータを準削除します。

※ 準削除を行うと「s m c ファイルを開く」を実行した際に削除したデータとして扱われます。

完全削除…選択したコンパステーブルを完全に削除します。

閉じる…[コンパス入力データの一括削除] ウィンドウを閉じます。

コンパステーブルの名前変更… [コンパステーブルの名称変更]
ウィンドウで名称を変更します。

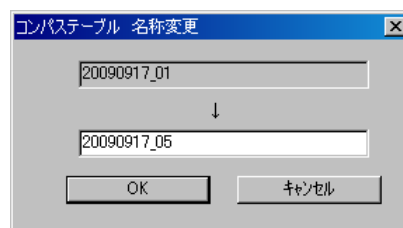
重複レコードチェック…重複レコードがないかチェックします。

旧コンパスレコードチェック…登録されているコンパスデータから旧タイプのレコードを検出します。

オプション…コンパスの入力ウィンドウのオプション表示項目を選択
します。

全選択…すべてのオプション項目を表示します。

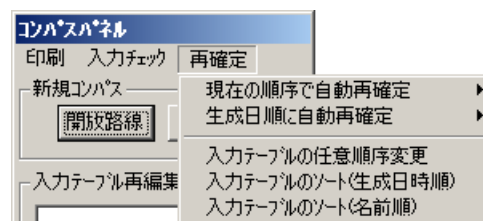
全解除…全てのオプション項目を非表示にします。



再確定・・・既存のコンパスデータを条件に合わせて再確定します。

現在の順序で自動再確定・・・現在の並びで自動再確定を実行します。

すべての自動再確定（コンパス名を連番化）・・・コンパス名を連番化して自動で再確定します。



すべての自動再確定（コンパス名を維持）・・・コンパス名を維持したまま自動で再確定します。

一筆の自動再確定（コンパス名を連番化）・・・一筆のコンパスデータのコンパス名を連番化して自動で再確定します。

一筆の自動再確定（コンパス名を維持）・・・一筆のコンパスデータのコンパス名を維持したまま自動で再確定します。

生成日順に自動再確定・・・生成日順に自動再確定を実行します。

すべての生成順自動再確定（コンパス名を連番化）・・・コンパス名を連番化して自動で生成順に再確定します。

すべての生成順自動再確定（コンパス名を維持）・・・コンパス名を維持したまま自動で生成順に再確定します。

一筆の生成順自動再確定（コンパス名を連番化）・・・一筆のコンパスデータのコンパス名を連番化して生成順に自動で再確定します。

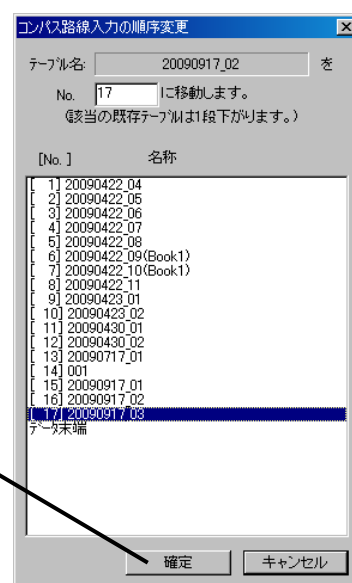
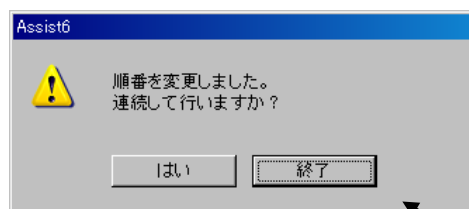
一筆の生成順自動再確定（コンパス名を維持）・・・一筆のコンパスデータのコンパス名を維持したまま自動で生成順に再確定します。

※ 自動再確定時に図面上に未使用のコンパスデータがあった場合はテキストデータが自動で開き、未使用のコンパスデータを表示します。

入力テーブルの任意順序変更・・・選択したテーブルを任意の順に移動します。

確定後続けて変更が出来ます。

[終了] で変更終了します。



入力テーブルのソート（生成日時順）・・・入力テーブルを生成日時順に並び替えます。

入力テーブルのソート（名前順）・・・入力テーブルを名前順に並び替えます。

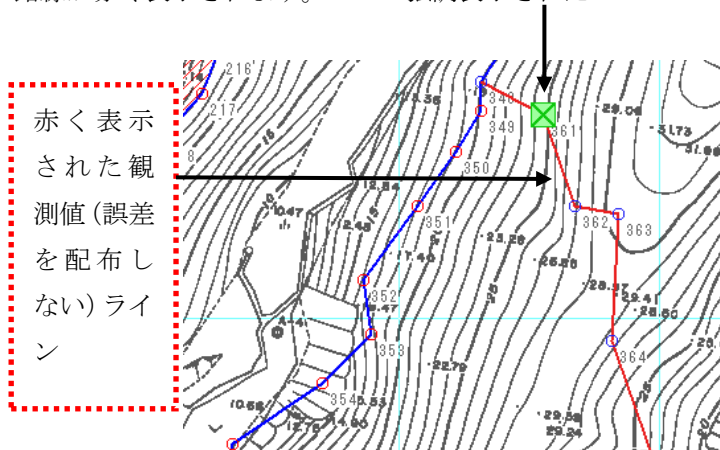
開放路線・・・開放のコンパス路線を新規入力します。

結合路線・・・結合または閉合のコンパス路線を新規入力します。

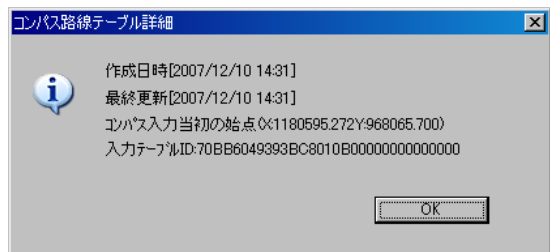
リストからすでに入力済みの路線を選択します。

選択すると、路線の全体図が下の BOX にサムネイル表示されます。

選択された路線が、地図上で見つけにくい時は、**表示** を押すと、
該当路線の 2 点目が地図上で強調表示され、観測値（誤差を配布しない）
路線が赤く表示されます。 強調表示されたコンパスの 2 点目



詳細・・・入力、作成したコンパス情報の詳細を表示します。



該当路線の始点や終点を指示し直す場合は、**始点** を押した後、画面上で出発点をヒットします。**終点**も同様です。

その後、**再編集**を押すと、入力セルが表示されます。

インポート は次章をご覧ください。

閉じる はコンパスパネルを閉じます。 .



5-9 CSV ファイルインポート

手順

- コンパスパネルの「インポート」を押すと「CSV ファイルを開く」ダイアログが表示されます。
ここで CSV ファイルを選択します。

書式は下記の通り。(string は文字。Fvalue は小数付き数値。)

書式 (1)

器械点, 目標点, 境界, 方位角, 高度角, 斜距離, 備考
string, string, -, Fvalue, Fvalue, Fvalue (,string)
string, string, V, Fvalue, Fvalue, Fvalue (,string)

書式 (2) 境界はすべてチェックされます。

器械点, 目標点, 方位角, 高度角, 斜距離, 備考
string, string, Fvalue, Fvalue, Fvalue (,string)

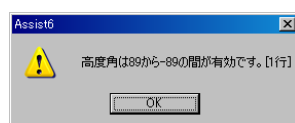
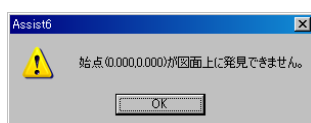
| | A | B | C | D | E | F |
|----|----|----|-----|----|------|---|
| 1 | 0 | 1 | 89 | 14 | 21.4 | |
| 2 | 1 | 2 | 74 | 33 | 24.3 | |
| 3 | 2 | 3 | 66 | 20 | 14.3 | |
| 4 | 3 | 4 | 99 | -1 | 21.3 | |
| 5 | 4 | 5 | 114 | 2 | 16.5 | |
| 6 | 5 | 6 | 119 | 9 | 17.3 | |
| 7 | 6 | 7 | 96 | 6 | 17.7 | |
| 8 | 7 | 8 | 111 | 21 | 35.9 | |
| 9 | 8 | 9 | 112 | 13 | 21.5 | |
| 10 | 9 | 10 | 128 | 12 | 28.6 | |
| 11 | 10 | 11 | 128 | 17 | 19.1 | |
| 12 | 11 | 12 | 107 | 19 | 24.5 | |
| 13 | 12 | 13 | 120 | 16 | 16.9 | |
| 14 | 13 | 14 | 136 | 1 | 18 | |
| 15 | 14 | 15 | 149 | -1 | 29.6 | |
| 16 | 15 | 16 | 134 | -1 | 8 | |

A 列が器械点、B 列が目標点、C 列が方位角、D 列が高度角、E 列が斜距離

- 読込が正常に行われると、「正常に読み込まれました」と表示されます。

コンパスパネルのリストから、今読み込んだ路線ファイルを選択します。

- 選択直後に、メッセージが表示されますが新規の場合は、はい や OK を押して先に進みます。



- 路線の全体図がサムネイル表示されます。
- 始点 を押し、該当路線の始点を画面上でヒットします。
- 終点 を押し、該当路線の終点を画面上でヒットします。
- その後、再編集を押すと、入力セルと路線が地図上に表示されます。
- これ以降は、通常の新規入力同様ですので、必要な処理を行います。



確認後、確定を押すと移行を完了します。

完了した路線は、作業した日付で記録されます。例 20090623_01

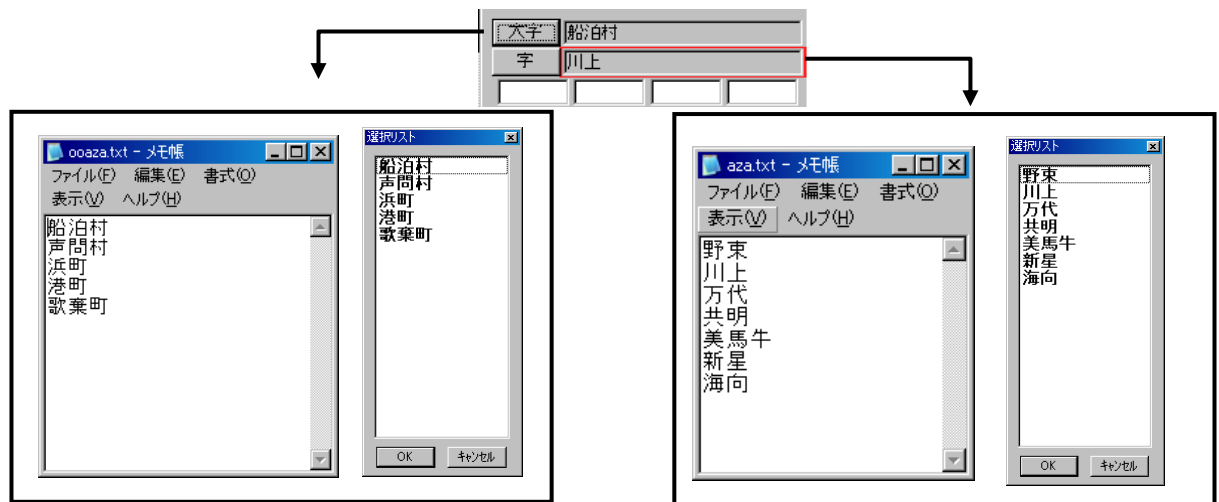
6. 画地情報の登録と表示

6-1 大字・字登録

大字・字を登録します。

事前に ooaza.txt、aza.txt をメモ帳等で作成し、リストを入力して現場フォルダに保存します。


大字、字のタイトル部分のボタンを押すと、リストが開きます。



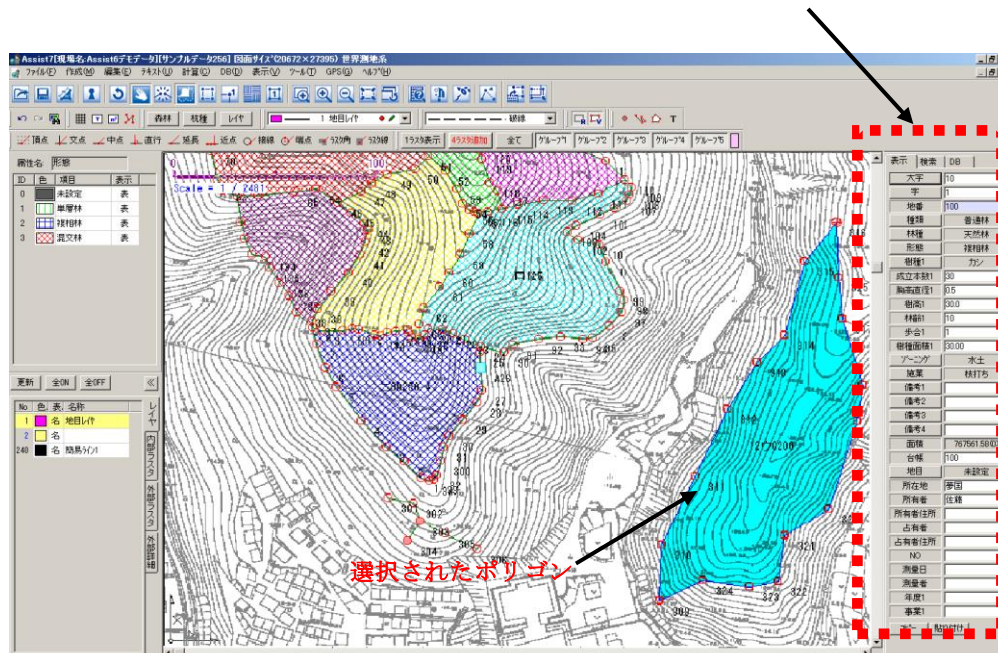
6-2 林小班登録

林小班を登録します。

手順

1. [作成] - [自動ポリゴン化] または、エディットツールの自動ポリゴン化アイコン  を押し、全体指定行います。ポリゴン（面）が構成されます。
2. ポリゴン（面）を選択します。
3. 林小班の名称を入力し、林小班の情報を入力して、ENTER を押します。

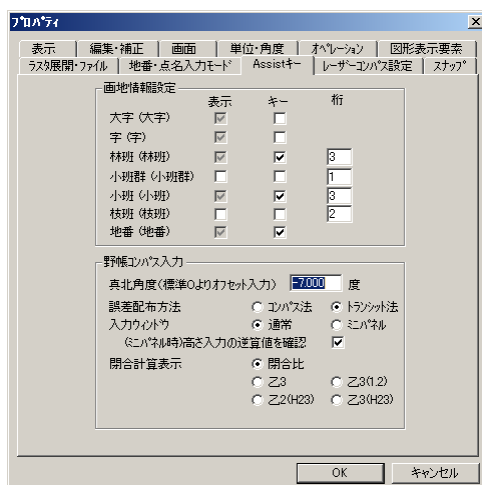
林小班入力部分（ENTER 送り）



Chiban.txt をメモ帳等で作成し、現場フォルダに保存した状態で起動すると、地番がボタン化され イロハ やアイウエオ が簡単に入力できます。



林小班の定義は各県で違います。使用する前に、必ず [ツール] - [プロパティ] - [Assist キー] の項目数と文字数を合わせてください。文字数は全角は2文字とセットしてください。



Assist 7 では、DB オプションの有無や地籍、森林を問わず、画地と所有者.MDB レコードをリンク付けるのは Assist キータブの、キーになることができる 7 項目の組み合わせです (大字、字、林班、小班、小班群、枝班、地番)。この 7 つの項目のキーを ON にしたものは画地ベクタの中にキーとして保管され、これらにぶら下がるデータを所有者 MDB の中に入れています。

6-3 林小班属性入力

種類、林種、形態、樹種、ゾーニング、施業、地目 は事前に種類を設定します。各々のタイトル部分がボタン化されているので、押すとリストが開きます。リストの中から選択します。

【種類】

【林種】

【形態】

【樹種】

【地目】

【ゾーニング】

【施業】

| 表示 | 検索 | DB |
|-------|----|--------------|
| 大字 | | 10 |
| 字 | | 1 |
| 地番 | | 100 |
| 種類 | | 普通林 |
| 林種 | | 天然林 |
| 形態 | | 複相林 |
| 樹種1 | | カシ |
| 成立本数1 | | 30 |
| 胸高直径1 | | 0.5 |
| 樹高1 | | 30.0 |
| 林幅1 | | 10 |
| 歩合1 | | 1 |
| 樹種面積1 | | 30.00 |
| ゾーニング | | 水土 |
| 施業 | | 枝打ち |
| 備考1 | | |
| 備考2 | | |
| 備考3 | | |
| 備考4 | | |
| 面積 | | 767561.58(0) |
| 台帳 | | 100 |
| 地目 | | 未設定 |
| 所在地 | | 夢国 |
| 所有者 | | 佐藤 |
| 所有者住所 | | |
| 占有者 | | |
| 占有者住所 | | |
| NO | | |
| 測量日 | | |
| 測量者 | | |
| 年度1 | | |
| 事業1 | | |
| 北へ | | 貼り付け |

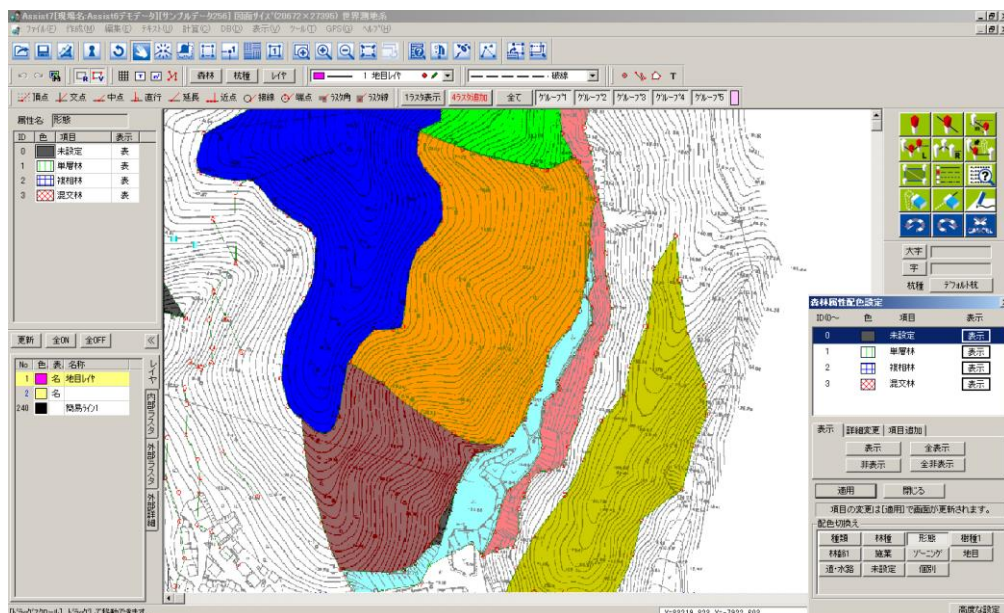
データのコピーと貼り付け

所有者が同一など、入力済み林小班的属性データを一括して、他の林小班的属性データにコピーすることが出来ます。

1. コピー元の林小班属性データを表示させ、コピーを押します。
2. コピー先のポリゴンを選択し、林小班名を入力後、**貼り付け**を押します。

6-4 林小班情報の表示

〔ツール〕－〔レイヤ管理〕－〔森林属性配色設定〕を指示すると森林属性配色設定ウインドウが表示されます。

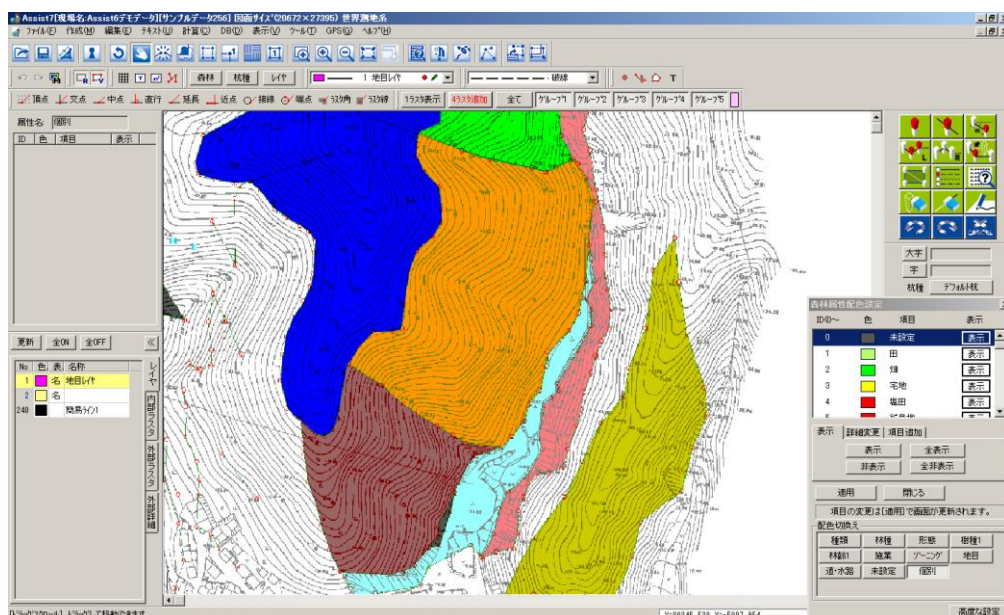


〔地目〕を押した後、〔未設定〕を押すと、個別に色設定を行っていない場合は青で表示します。

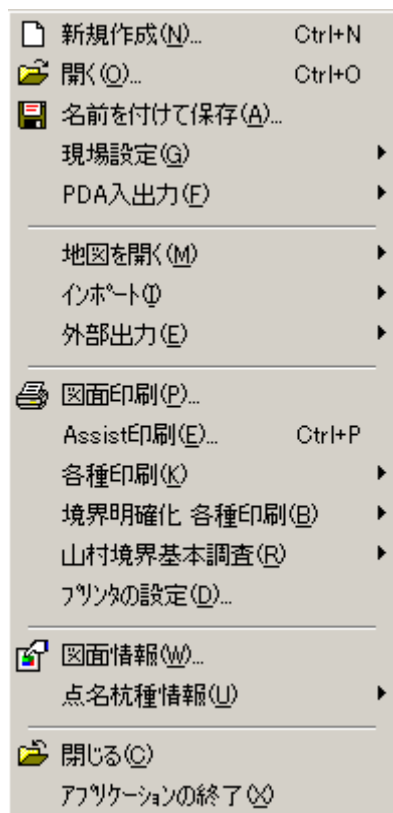
〔個別〕・〔道〕・〔水路〕を押すと、それぞれの色設定を表示します。

※道・水路設定…道路・水路タブを選択し、道・水路ボタンをクリックすると、道路・水路設定ウインドウが表示されるので、道路系地目・水路系地目を設定できます。

※個別色設定…地目と関係なく特定のポリゴンに特定の色を与えられます。図面上で対象のポリゴンを選択後、右ボタンで表示されるメニューの中から「個別配色設定」を指示するとカラーパレットが開き設定ができます。



7. ファイルメニュー



ドキュメントを開いている時のファイルメニュー

新規作成…新しい図面を定義してデータファイル作成。

開く…Assist7 ファイルを開く。

名前を付けて保存…現在作成中の図面を保存。

現場設定…現場を設定。

PDA入出力…詳細はPDA入出力の章を参照してください。

地図を開く…背景地図を開く。

インポート…各種の図面ファイルをインポートします。

外部出力…データを他のファイル形式に変換して保存。

図面印刷…図面を印刷します。

Assist 印刷…特定レイアウトの調表を印刷します。

各種印刷…測量野帳、測量地籍、路線測量を印刷します。

境界明確化 各種印刷…境界明確化用の印刷をします。

山村境界基本調査…山村境界用の印刷をします。

プリンタの設定…印刷するプリンタを設定します。

図面情報…図形、レイヤ情報等を表示します。

点名杭種情報…画地、点名、杭種情報等を表示します。

閉じる…現在開いている図面を閉じる（データが変更されているときには必ず保存をするかしないか問う）

アプリケーションの終了…Assist6 を終了します。

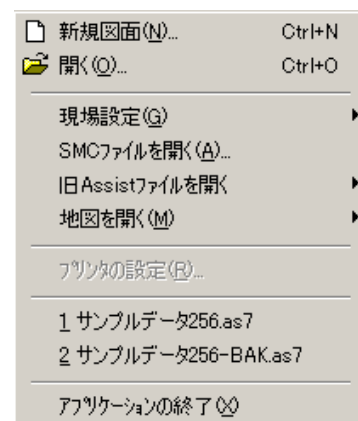
ドキュメントを開いていない時のファイルメニュー

新規作成、開く、現場設定、地図を開く、アプリケーションの終了 については「ドキュメントを開いている時のファイルメニュー」を参照してください。

SMCファイルを開く…PDAに記録されたデータを開きます。

詳細は「4. PDAとのデータ転送」を参照してください。

旧 Assist ファイルを開く…旧 Assist ファイルを開きます。



メニューバーから [ファイル] - [新規作成] を選択すると、[新規作成 図面条件] ウィンドウが表示されます。

用紙・・・用紙サイズ、用紙方向を指定
図面長・・・図面の縦と横のサイズを入力
左下X座標・左下Y座標・・・図面左下のX，Y座標を入力
図面角度・・・図面の角度を入力
縮尺・・・図面の縮尺を入力

手順

- ※ 現在開いている図面があつて、そのデータが変更されているときには必ず保存の有無を問います。

背景地図を使用した場合は、背景地図のファイル名をデフォルトにします。保存ファイル名の変更が可能です。(例 背景地図が 大島.tiff だと 大島.as7 と自動的に付けます)

7-4-1 現場變更

Asset Editor

ファイルの種類: assets環境設定

最近使ったファイル

プロジェクト

マイ ドキュメント

マイ コンピュータ

マイ ネットワーク

Assets環境設定

- Assets
- Mark
- Projects
- SAssets
- scan_data
- 環境設定
- ASSET_PROP.sys
- diag.sys
- SASSET_PROP.sys
- ASSET_Depot
- ASSET_ECI.sys
- ASSET_ECI.sys

ファイル名:

ファイルの種類: *.sys

OK Cancel

環境の内部でこのファイルは「Assets環境設定」で定義されていると行っており、これは、

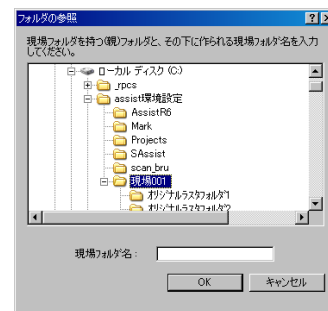
7-4-2 現場をつくる

地図データを保管する現場フォルダを作成します。

メニューバーから [ファイル] - [現場設定] - [現場をつくる]

を選択すると、[フォルダの参照] ウィンドウが表示されます。

現場名をつけ、フォルダを作成します。



現場フォルダのデフォルト・・・標準インストールを行なった場合は現場は Assist7 環境設定フォルダの中に作成されます。

C Assist7 環境設定 — 現場 001

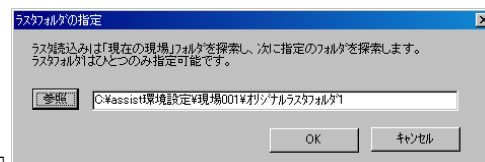
└ 平成 19 年度 (例)

7-4-3 ラスタ読み込みフォルダ指定

ラスタを保存するフォルダを指定します。

メニューバーから [ファイル] - [現場設定] - [ラスト読み込みフォルダ指定] を選択すると、[ラストフォルダの指定]

ウインドウが表示されます。参照、または直接入力でフォルダを指定します。



7-4-4 環境設定保存フォルダの設定

環境設定を保存するフォルダを設定します。

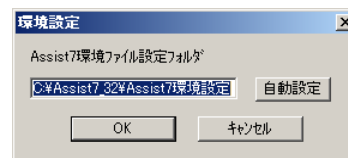
メニューバーから「ファイル」－「現場設定」－

「環境設定保存フォルダの設定」を選択すると、

「環境設定」ウィンドウが表示されます。

参照、または直接入力でフォルダを指定します。

※ドキュメントを開いていない時に表示されるメニューです。



7-4-5 データベース最適化

所有者.mdb を最適化します。

メニューバーから [ファイル] - [現場設定] - [データベース最適化] を選択してしばらくすると、最適化終了のメッセージウインドウが表示されます。

※ドキュメントを開いていない時に表示されるメニューです。



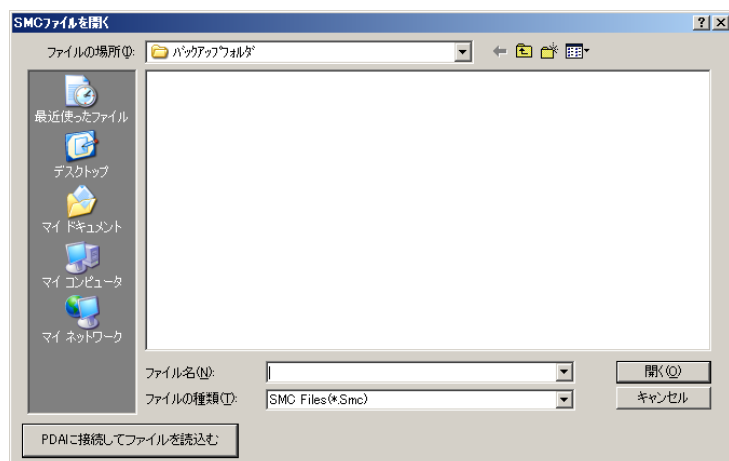
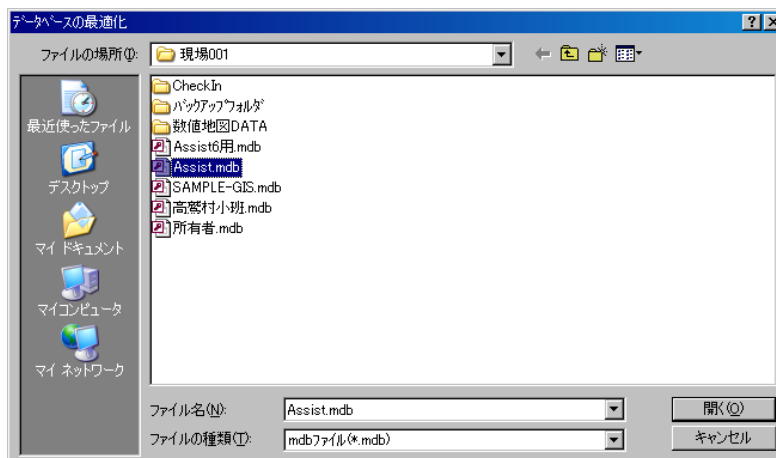
7-4-6 データベース最適化（参照）

最適化するデータベースを選択します。

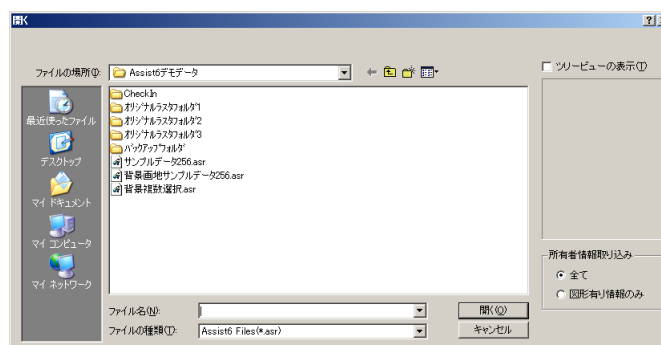
メニューバーから［ファイル］－
［現場設定］－［データベース最
適化（参照）］を選択すると、
［データベースの最適化］ウイン
ドウが表示されます。

データベースを選択してしばらく
すると、最適化終了のメッセージ
ウインドウが表示されます。

※ドキュメントを開いていない時に
表示されるメニューです。



7 - 5 ［ファイル］－［SMC ファイルを開く］ （ドキュメントを開いていない時に表示されるメニューです）



7 - 6 [ファイル] - [旧 Assist ファイルを開く]

(ドキュメントを開いていない時に表示されるメニューです)

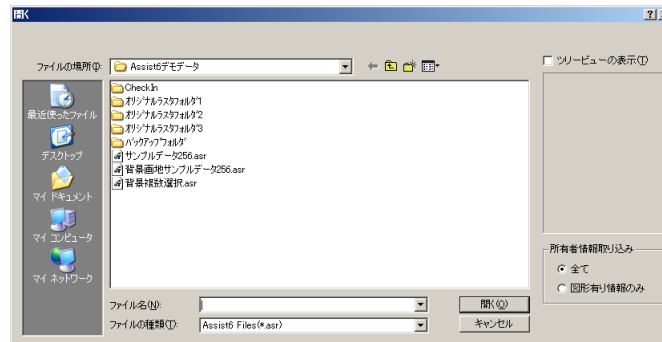
7-6-1 Assist6

旧 Assist ファイルの Assist6 データのみ開きます。

メニューバーから [ファイル] - [旧 Assist ファイルを開く]

- [Assist6] を選択すると、[Ast ファイルを開く]

ウインドウが表示されます。



旧 Assist ファイルを選択し、**開く** ボタンをクリックするか、
旧 Assist ファイルをダブルクリックすると旧 Assist ファイル
のベクタデータが開きます。

7-6-2 ベクタのみ開く

旧 Assist ファイルのベクタデータのみ開きます。

メニューバーから [ファイル] - [旧 Assist ファイルを開く]

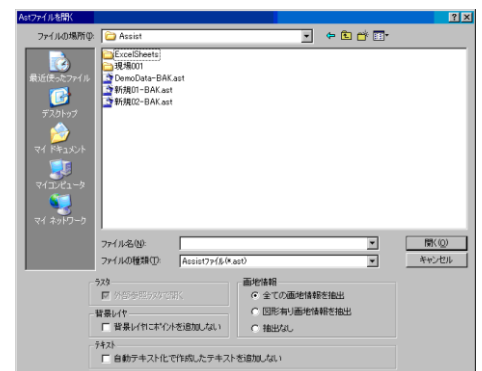
- [ベクタのみを開く] を選択すると、[Ast ファイルを開く]

ウインドウが表示されます。

旧 Assist ファイルを選択し、**開く** ボタンをクリックするか、

旧 Assist ファイルをダブルクリックすると旧 Assist ファイル

のベクタデータが開きます。



ラスタ・・・外部参照ラスタで開きます。

背景レイヤ・・・背景レイヤにポイントを追加しない場合はチェックを入れます。

テキスト・・・自動テキスト化で作成したテキストを追加しない場合はチェックを入れます。

画地情報・・・画地情報の抽出方法を選択します。

7-6-3 開く

旧 Assist ファイルのベクタ、ラスタデータを開きます。

メニューバーから [ファイル] - [旧 Assist ファイルを開く] - [開く] を選択すると、[Ast ファイルを開く] ウィンドウが表示されます。

旧 Assist ファイルを選択し、**開く** ボタンをクリックするか、旧 Assist ファイルをダブルクリックするとファイルが開きます。

[外部参照ラスタで開く] にチェックを入れていた場合は、ラスタを外部ラスタとして読み込み、チェックを外していた場合は内部ラスタとして読み込みます。



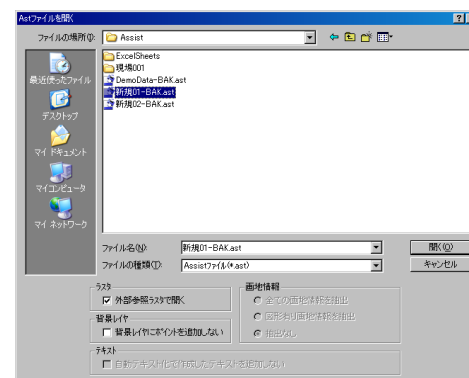
7-6-4 ラスタのみ開く

旧 Assist ファイルのラスタデータのみ開きます。

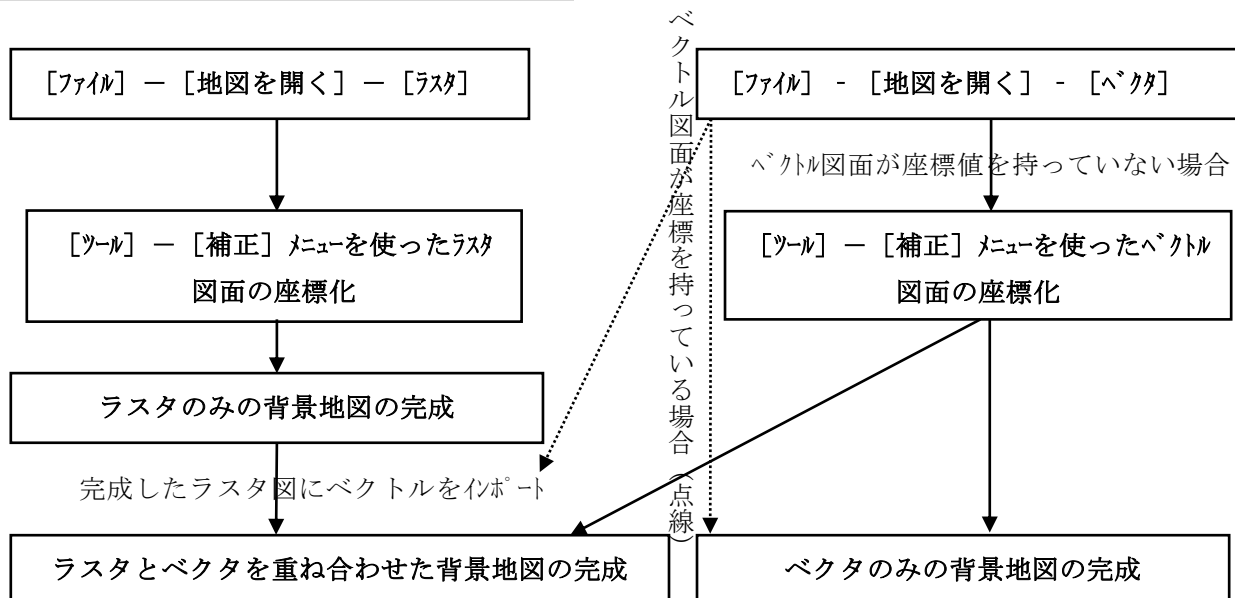
メニューバーから [ファイル] - [旧 Assist ファイルを開く] - [ラスタのみ開く] を選択すると、[Ast ファイルを開く] ウィンドウが表示されます。

旧 Assist ファイルを選択し、**開く** ボタンをクリックするか、旧 Assist ファイルをダブルクリックすると旧 Assist ファイルのラスタデータが開きます。

[外部参照ラスタで開く] にチェックを入れていた場合は、ラスタを外部ラスタとして読み込み、チェックを外していた場合は内部ラスタとして読み込みます。



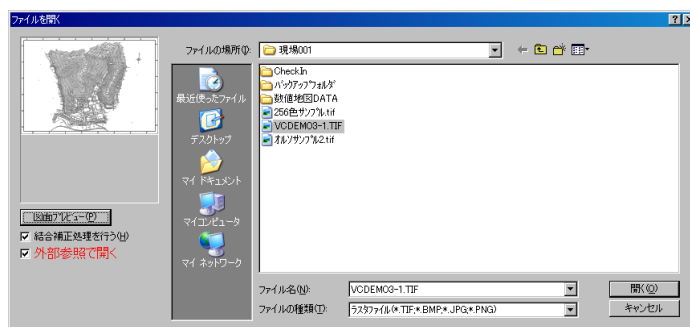
7 - 7 「ファイル」－「地図を開く」…背景地図を定義します。



7-7-1 「ファイル」－「地図を開く」－「ラスタ」－「ラスタファイル」

背景地図にするラスタファイルを選択し「開く」を押す。

開く前に「図面プレビュー」を押すとサムネイルで表示します。



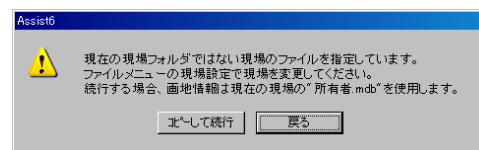
読み込みが可能なラスタファイルの形式は TIFF/BMP/JPG/PNG ファイルで、GeoTiff、World ファイルも読み込めます。サブフォーマットは、

TIFF LSB-CCITT G4・TIFF LSB-CCITT G3・TIFF LSB-Pack Bits・TIFF LSB-LZW・TIFF LSB-ハフマン圧縮・TIFF LSB-非圧縮・Windows ビットマップ(* BMP)・JpegFiles(* JPG)・Windows ビットマップフルカラー(* BMP)・Windows ビットマップ 256 色(* BMP)・TIFF Files Pack Bits フルカラー(* TIF)・TIFF Files Pack Bits 256 色(* TIF)・TIFF Files LZW フルカラー(* TIFF)・TIFF Files LZW 256 色(* TIFF)・TIFF Files 非圧縮フルカラー(* TIFF)・TIFF Files 非圧縮 256 色(* TIFF)・Jpeg Files(* JPG)

に対応しています。

もしも、現場フォルダに指定した図面ファイルが無い場合は右の注意が出るので「コピーして続行」を押すと、強制的に、現在の現場フォルダにラスタファイルを、コピーします。しばらくすると地図が表示されます。

※ラスタを Assist7 ファイルに内蔵する場合、メッセージは表示されません。

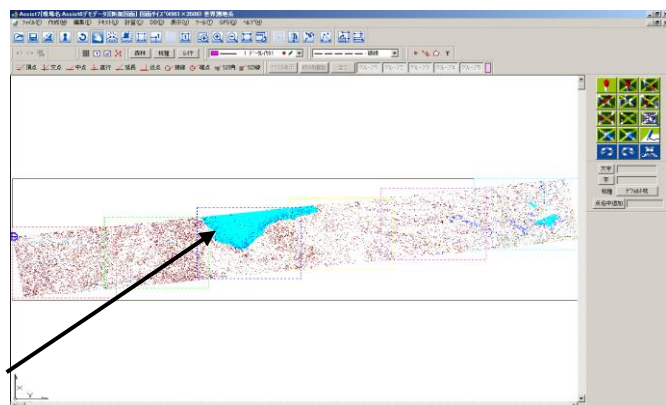
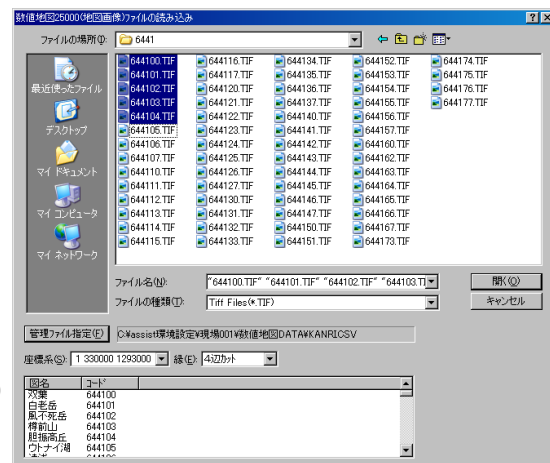


7-7-2 [ファイル]－[地図を開く]－[ラスタ]－[1/25000 地形図、1/50000 地形図、1/200000 地形図]

国土地理院刊行の 1/25000・1/50000・1/200000 数値地図を読み込み、自動で 4 点補正座標を設定することができます。複数ファイルを指定すると自動で結合されます。数値地図のファイルは、地図画像（T i f f）と管理ファイル（c s v）で構成されています。ここでは数値地図 1/25000 を例に説明します。

手順

1. メニューバーから [ファイル]－[地図を開く]－[ラスタ]－[数値地図]－[1/25000 地形図] を選択します。
2. [数値地図 25000（地図画像）ファイルの読み込み] ウィンドウが表示されます。
3. [管理ファイル指定] ボタンを押すと [管理ファイル指定] ウィンドウが表示されます。管理ファイル（c s v）を選択し、ファイルの種類（日本測地系・世界測（地系・新図郭地形図））を選択します。
4. 座標系、縁を選択します。
縁は結合後の図面の余白の処理選択です。
[そのまま] は余白を残して結合します。
[部分カット] は結合するファイルの結合面の余白をカットして結合します。
[4 辺カット] は 4 辺の余白をカットして結合します。
5. 読み込む地図画像（T I F）を選択します。
6. 設定終了後、[開く] ボタンをクリックすると、数値地図 25000（地図画像）が開きます。
複数ファイルを指定した場合は自動で座標結合して開きます。



7-7-3 [ファイル]－[地図を開く]－[ベクタ]

ベクタファイルの選択は11種あります。

DXF（一般に新規図面を定義）

SIMA（一般に新規図面を定義）

ASS（一般に新規図面を定義）

シェープ（一般に新規図面を定義）

単点シェープ（テキスト抽出）

GGA

DWG

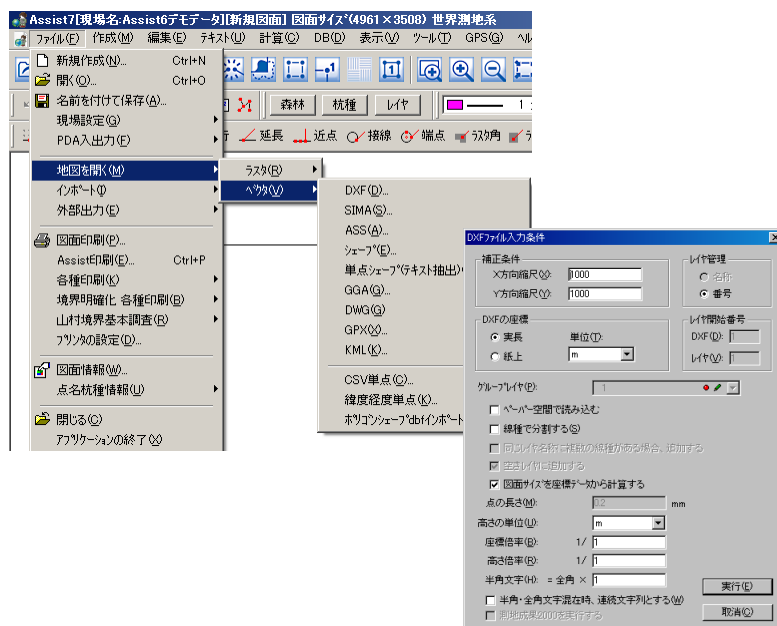
GPX

KML

CSV 単点（一般に新規図面を定義）

緯度経度単点

ポリゴンシェープ dbf インポート設定



ファイルタイプを選択後、ファイルを指示します。

DXF ファイルの場合は、右の入力条件が表示されます。

読み込まれる DXF の条件に合わせて **実行** を押します。

レイヤは、下図の **インポートレイヤ選択** で設定します。

地目レイヤ・背景レイヤの全てから選択できます。



7-7-4 [ファイル]－[地図を開く]－[ベクタ]－[DXF]、[SIMA]、[ASS]、[シェープ]、[単点シェープ（テキスト抽出）]、[GGA]、[DWG]、[GPX]、[KML] の選択

背景地図がベクトル化されていたり、前述のラスタ図面にベクトル図面を重ね合わせることができます。

7-7-5 [ファイル]－[地図を開く]－[ベクタ]－[CSV 単点]

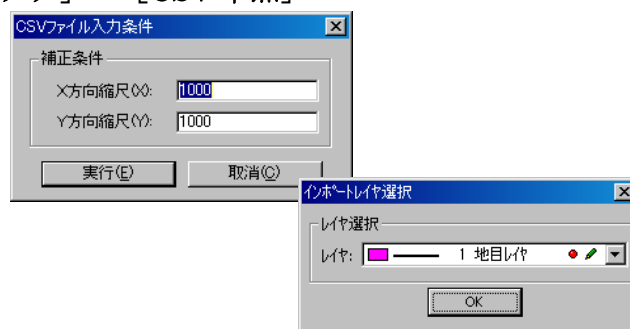
Excel 等で記述された単点データを開きます。

CSV ファイルを選択すると、

CSV ファイル入力条件 が表示されます。

X、Y 方向縮尺を入力し、**実行** を押します。

インポートレイヤ選択 で単点をインポートするレイヤを選択します。



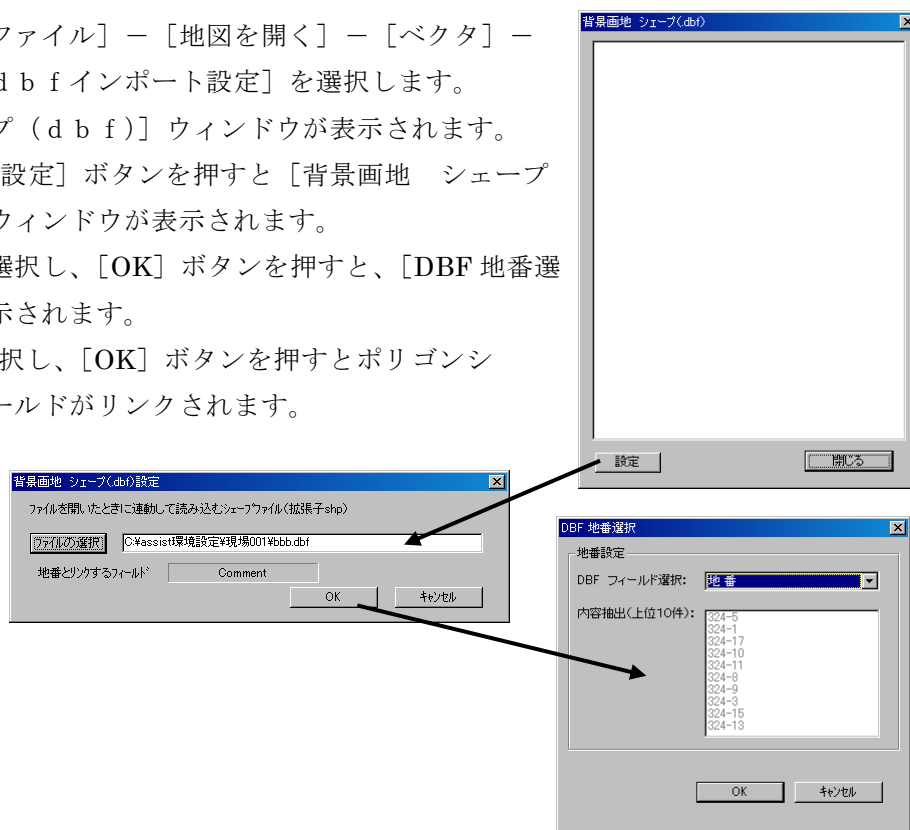
7-7-6 [ファイル]－[地図を開く]－[ベクタ]－[緯度経度単点]

緯度経度の情報を持った単点データを開きます。

7-7-7 [ファイル]－[地図を開く]－[ベクタ]－[ポリゴンシェープ d b f インポート設定]

手順

1. メニューバーから [ファイル]－[地図を開く]－[ベクタ]－[ポリゴンシェープ d b f インポート設定] を選択します。
2. [背景画地 シェープ (d b f)] ウィンドウが表示されます。
3. 背景画地を選択し、[設定] ボタンを押すと [背景画地 シェープ (d b f) の設定] ウィンドウが表示されます。
シェープファイルを選択し、[OK] ボタンを押すと、[DBF 地番選択] ウィンドウが表示されます。
4. DBF フィールドを選択し、[OK] ボタンを押すとポリゴンシェープと d b f フィールドがリンクされます。



7 - 8 [ファイル] - [インポート]

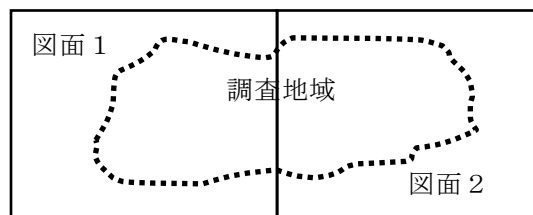
7-8-1 他の Assist7 ファイル

下記のような用途があります。もし、同じ点名を自動的に上書きした場合は、[他の Assist7 ファイル(点名マッチング)]を選択します。(下記の注意を参照)

その1 調査地域の図面が複数枚に分かれているとき

調査地域の内、図面1の地区を調査

- 1 調査地区の内、図面2の地区現場を作成
- 2 作成された図面2の現場に、図面1のデータをインポートする。



その2 調査年度の全ての杭種別本数を算出するとき

その3 調査地域全体の地図を印刷するとき

巻末の データの合成について を併せてお読みください。

7-8-2 他の Assist7 ファイル (点名マッチング)

既存図面の点名とインポート図面の点名が同一の場合、既存図面の座標値をインポート図面の座標値に置き換えます。

7-8-3 D X F

既存図面に D X F ファイルをインポートします。

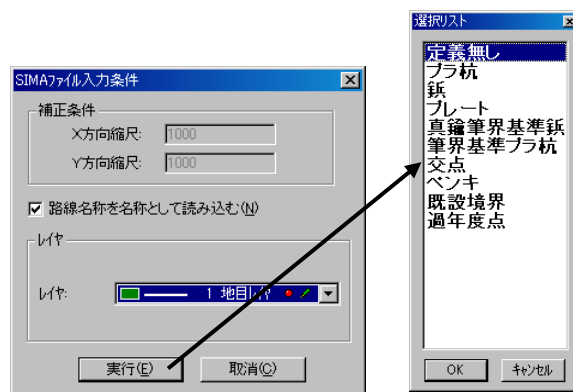
7-8-4 シェープ

既存図面にシェープファイルをインポートします。

7-8-5 SIMA

既存図面に SIMA ファイルをインポートします。

読み込みの際、レイヤを地目レイヤに設定して実行すると、杭種設定ダイアログが表示され、全てのポイントが選択した杭種に登録されます。



7-8-6 SIMA (点名マッチング)

既存図面の点名とインポート図面 (SIMA ファイル) の点名が同一の場合、既存図面の座標値をインポート図面の座標値に置き換えます。

7-8-7 ASS

既存図面に ASS ファイルをインポートします。7-7-5 SIMA と同様です。

7-8-8 ASS（点名マッチング）

既存図面に ASS（点名マッチング）ファイルをインポートします。7-7-6 SIMA（点名マッチング）と同様です。

7-8-9 単点シェープ（テキスト抽出）

シェープファイルの単点と結びついている D B F のフィールドを指定し、テキストとしてインポートします。範囲外の単点情報は削除されます。

7-8-10 GGA

既存図面に G G A ファイルをインポートします。

7-8-11 GPX

既存図面に G P X ファイルをインポートします。

7-8-12 KML

既存図面に KML ファイルをインポートします。

7-8-13 CSV 単点

新規の座標点を Excel 等で記述し、ファイルで読み込みたい場合、この手法で杭種を定義します。

記述順は・・・ 点名、X 座標、Y 座標、Z 座標、杭 ID、備考 1、備考 2 （Z 座標、杭 ID、備考 1、備考 2 は記述が無くても OK）記述が無い場合は、z 座標 = 0、杭 ID = 0 と定義されます。

7-8-14 CSV 単点（点名マッチング）

座標が既知の点を Excel 等で、記述し、ファイルで読み込みたいときや、他社のシステムから Assist7 にデータを読み込んで一元管理する場合、SIMA には杭種の定義が無いので、この手法で杭種を定義します。

記述順は・・・ 点名、X 座標、Y 座標、Z 座標、杭 ID （Z 座標、杭 ID は記述が無くても OK）記述が無い場合は、z 座標 = 0、杭 ID = 0 と定義されます。

他社のシステムから Assist7 にデータを読み込んで杭種を付与する手順

1. はじめに SIMA マッチングインポートを行って、座標値と結線情報を入力します。
2. 次に、CSV フォーマットでテキストファイルを記述し、CSV マッチングインポートを行うと、杭種が定義されます。

【注意】 マッチングインポートされますので同一点名で座標値が異なる場合は、新たに読み込まれる CSV ファイルに記述されている座標値を優先します。

7-8-15 緯度経度単点

新規の緯度経度、座標点を Excel 等で記述し読み込みます。

7-8-16 旧 Assist ファイル

既存図面に旧 Assist ファイルをインポートできます。

7 - 9 [ファイル] - [外部出力] …調査図データを他のファイル形式に変換して保存

現在、Assist7 では D X F ファイル (*.DXF)、S X F ファイル (*.SFC.)、S I M A ファイル (*.SIM)、A S S ファイル (*.ASS)、シェープファイル (*.SHP/*SHX/*.DBF)、DWG ファイル、GPX ファイル、KML ファイル、テキストファイル (*.CSV)、多角指定出力、画面キャプチャ出力に出力することができます。

7-9-1 D X F ファイルへ出力

手順

1. メニューバーから [ファイル] - [外部出力] - [D X F] を選択すると、[D X F ファイル作成条件] ウィンドウが表示されます。D X F ファイルの作成条件を入力します。

X・Y方向縮尺…縮尺、倍率、座標桁を指定します。

結線方法…直線（ポリライン、またはポリゴンの情報を単線で出力）
か Polyline（ポリライン、またはポリゴンの情報を連続線で出力）を選択します。

レイヤ管理…レイヤの管理方法を選択します。

出力範囲の選択…下記のいずれかの出力範囲を指定します。

全体指定（図面全体を出力）

枠指定（矩形で指定した範囲を出力）

左下 X, Y 座標（全体指定または枠指定で指定した範囲の左下座標が表示）

右上 X, Y 座標（全体指定または枠指定で指定した範囲の右上座標が表示）

出力項目…出力する項目を選択します。

出力形式…D X F のバージョンを選択します。

頂点出力設定…出力する頂点の設定を選択します。

なし…頂点出力を設定しません。

丸…頂点を丸で出力します。

杭種…頂点を設定されている杭種で出力します。

杭種（現在のステータス）…画面上に表示されている状態で頂点を出力します。

図形方向…出力時の図形の方向を選択（[任意]）を選択した場合は角度を入力します。）

出力座標…[実長]・[紙上]を選択し、座標単位を選択します。

オプション…オプションを選択します。

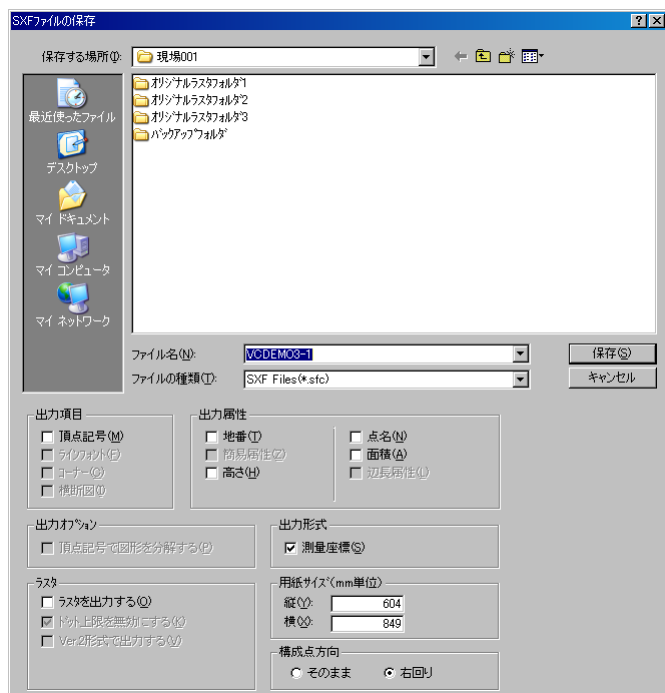
構成点方向…構成点の方向を選択します。

2. [DXFファイルを保存] ウィンドウが表示されます。ファイル名を入力し [保存] ボタンをクリックするとDXFファイルに保存されます。

7-9-2 SXFファイルへ出力

手順

1. メニューバーから [ファイル] - [外部出力] - [SXF] を選択すると、[SXFファイルの保存] ウィンドウが表示されます。



出力項目…出力する項目を選択します。
出力属性…出力する属性を選択します。
出力形式…測量座標で出力するかを選択します。
ラスタ…ラスタを出力するかを選択します。
用紙サイズ…現在の用紙サイズが表示されます。サイズを変えるときはサイズを入力してください。
構成点方向…構成点の方向を選択します。

2. ファイル名を入力し [保存] ボタンをクリックするとSXFファイルに保存されます。

7-9-3 S I M A ・ A S S ファイルへ出力

手順

1. メニューバーから [ファイル] - [外部出力] - [S I M A] または [A S S] を選択すると、[S I M A ファイルに名前を付けて保存] または [A S S ファイルに名前を付けて保存] ウィンドウが表示されます。ファイル名を入力し [保存] ボタンをクリックします。
2. [S I M A ファイルへ変換] ウィンドウが表示されます。

構成点方向・・・構成点の方向を選択（このファイルを受けるシステムで方向が固定の場合があります）

小数点桁数・・・座標値の小数点以下の桁数を設定（単位はデフォルトでメートル）

座標開始番号・・・S I M A で管理している点名の開始番号を入力します。

連続線出力・・・連続線の出力方法を選択し、連続線頭文字と連続線開始番号を入力。

中抜きポリゴンを分割する・・・中抜きポリゴンの有無を選択します。

名称を路線名称として出力・・・名称を路線名称として出力します。

点名・・・点名の設定を選択

画地を地番名で出力する・・・画地単位でS I M A ファイルに出力します。この場合、ファイル名は“地番. s i m”です。

地番の自動付番頭文字・・・[画地を地番名で出力する]を選択した場合に、地番が入力されていない画地のファイル名を入力します。ファイル名は“地番頭文字（1）”です。（ ）の中の数字は1から連番になります。

3. [実行] ボタンをクリックするとS I M A ファイルに保存されます。

7-9-4 シェープファイルへ出力

シェープファイルは、E S R I 社ソフトウェア互換のベクタ（バイナリ）フォーマットです。

手順

1. メニューバーから [ファイル] - [外部出力] - [シェープ] を選択すると、[シェープファイル出力] ウィンドウが表示されます。
2. [保存先指定] ボタンをクリックして、[フォルダの参照] ウィンドウから保存先フォルダを指定します。
3. 出力する図形のチェックボックスを [ON] にして、ファイル名を入力します。
[DBF出力] で [GISから] を選択した場合は、GIS業務を選択します。

保存タイプ

XYのみ・・・X, Y座標のみ出力します。

XYZ・・・X, Y, Z座標を出力します。

XY方向タイプ

X→X, Y→Y・・・XはX, YはY軸として出力します。

X→Y, Y→X・・・XをY, YはX軸に変更して出力します。

出力桁・・・出力桁の丸めを設定します。

4. ファイル名を入力し [OK] ボタンをクリックするとシェープファイルに保存されます。

7-9-5 DWG ファイルへ出力…DWG フォーマットファイルを出力します。

手順

1. メニューバーから [ファイル] - [外部出力] - [DWG] を選択します。
2. [DWG ファイル作成条件] ウィンドウが表示されます。

DWGファイル作成条件

X方向縮尺(X) 1000
Y方向縮尺(Y) 1000
倍率(B) 1
座標桁(K) 小数3桁

図形方向
☒ 画面と同じ
☐ 北を上

出力座標
☐ 実長
☒ 紙上

単位(I) mm

レイヤ管理
☒ 名称
☒ 番号
☐ 属性を優先(U)

オプション
☐ ラインフォント出力をする(L)
☐ 中抜きポリゴンを分割する(D)

出力項目
☐ 地番(A) ☐ 面積(N) ☐ 頂点記号(G)
☐ 点名(Z) ☐ 高さ(H) ☐ コーナー(B)
☐ 辺長(Q) ☐ 簡易属性(S) ☐ 横断線(O)

☐ ラスタの名称のみを、保存する

保存形式(モノクロ) Tiff Files PackBits(*.TIF)
保存形式(カラー) Tiff Files PackBits(*.TIF)
JPEG保存 10 %

保存フォルダ

構成点方向
☐ そのまま ☒ 右回り

OK キャンセル

X 方向縮尺…X 方向の縮尺を指定します。

Y 方向縮尺…Y 方向の縮尺を指定します。

倍率…倍率を指定します。

座標桁…座標桁を選択します。

レイヤ管理…レイヤ管理を名称、番号から選択します。

図形方向…図形の方向を選択します。

出力座標…出力座標を選択します。

オプション…オプションを選択します。

出力項目…出力する項目を選択します。

ラスタの名称のみを、保存する…ラスタの名称のみを保存するか
選択します。

保存形式 (モノクロ) …データをモノクロで保存する場合の
形式を選択します。

保存形式 (カラー) …データをカラーで保存する場合の
形式を選択します。

JPEG 保存…JPEG ファイルの保存先を選択します。

構成点方向…構成点方向を選択します。

3. [OK] をクリックすると、[DWG ファイル作成条件] ウィンドウが開きます。
4. ファイル名を入力し [OK] ボタンをクリックすると保存されます。

AutoCADファイルの保存

保存する場所: Assist7

最近使ったファイル
デスクトップ
マイドキュメント
マイコンピュータ
マイネットワーク

Assist7デモデータ
Assist7環境設定
Template
U1
現場001

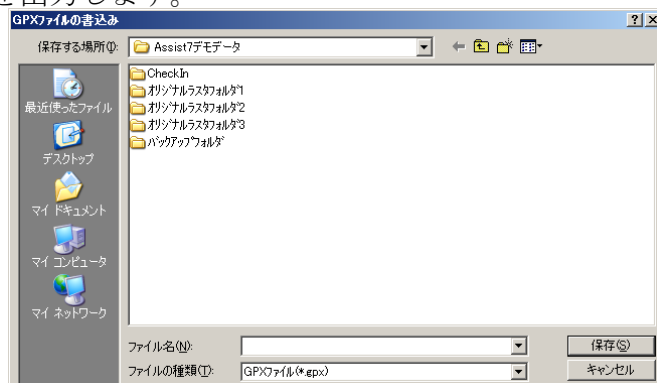
ファイル名(N): サンプルデータ256.dwg
ファイルの種類(T): AutoCAD 2010 図面 (*.dwg)

保存(S) キャンセル

7-9-6 GXP ファイルへ出力…G P Xファイルを出力します。

手順

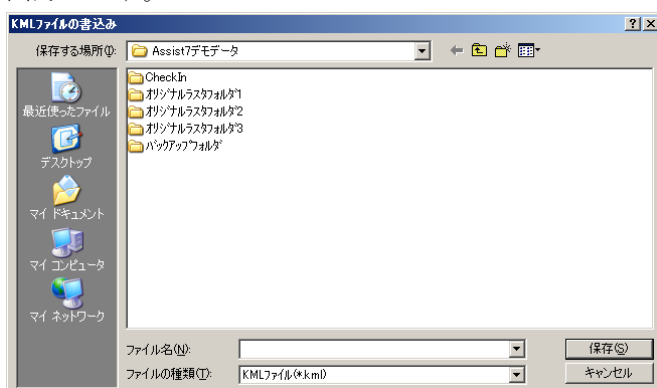
1. メニューバーから [ファイル] - [外部出力] - [G P X] を選択します。
2. [G P Xファイルの書込み] ウィンドウが表示されます。
3. ファイル名を入力し [OK] ボタンをクリックすると保存されます。



7-9-7 KML ファイルへ出力…KML ファイルを出力します。

手順

1. メニューバーから [ファイル] - [外部出力] - [KML] を選択します。
2. [KMLファイルの書込み] ウィンドウが表示されます。
3. ファイル名を入力し [OK] ボタンをクリックすると保存されます。



7-9-8 テキストファイル（図形、頂点）へ出力

手順

1. メニューバーから [ファイル] - [外部出力] - [テキスト（図形、頂点）] を選択すると、[ファイル名を付けてテキスト（C S V）保存] ウィンドウが表示されます。
2. ファイル名を入力し [保存] ボタンをクリックするとテキストファイルに保存されます。

出力順は…図形種類（Pはポイント、Lはライン、Aはエリア で、数字は連番）、種別（単点、ラインはー、ポリゴンは地番名）、点名、X座標、Y座標、高さ、作成日、作成時間、杭備考1～杭備考8

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J |
|----|-----|-------|------|---------|---------|---|------------|----------|------------|---|
| 1 | P1 | 単点 | 418 | 192.246 | 173.355 | 0 | 2002/10/26 | 11:13:31 | | |
| 2 | P2 | 単点 | 419 | 186.531 | 176.530 | 0 | 2002/10/26 | 11:13:32 | | |
| 10 | L10 | ー | 418 | 192.246 | 173.355 | 0 | 2002/10/26 | 11:13:31 | | |
| 11 | L10 | ー | 419 | 186.531 | 176.530 | 0 | 2002/10/26 | 11:13:32 | | |
| 76 | A19 | 433-2 | 371 | 169.810 | 182.351 | 0 | 2001/7/4 | 15:59:33 | | |
| 77 | A19 | 433-2 | P-12 | 168.033 | 172.086 | 0 | 2001/7/4 | 16:47:45 | 宮下 梅田 織田信長 | |
| 78 | A19 | 433-2 | P-11 | 178.877 | 165.885 | 0 | 2001/7/4 | 16:47:25 | | |

※座標フォーマットで公共座標/緯度経度の選択ができます。

7-9-9 テキストファイル（頂点）へ出力

手順

1. メニューバーから [ファイル] - [外部出力] - [テキスト（頂点）] を選択すると、[ファイル名を付けてテキスト（CSV）保存] ウィンドウが表示されます。
2. ファイル名を入力し [保存] ボタンをクリックするとテキストファイルに保存されます。

出力順は・・・点名、X座標、Y座標、高さ、杭ID、杭種、作成日、作成時間、杭備考1～杭備考8

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J |
|----|-----|---------|---------|---|---|---------|----------|-------|--------|------|
| 1 | 352 | 167.878 | 93.028 | 0 | 4 | 真鍮筆界基準鉄 | 2001/7/4 | 15.51 | | |
| 2 | 353 | 171.291 | 99.06 | 0 | 3 | 白プラ杭 | 2001/7/4 | 15.53 | 北奈良 直川 | 明智光秀 |
| 3 | 354 | 174.308 | 104.616 | 0 | 3 | 白プラ杭 | 2001/7/4 | 15.53 | | |
| 4 | 355 | 179.149 | 113.189 | 0 | 3 | 白プラ杭 | 2001/7/4 | 15.53 | | |
| 5 | 356 | 180.499 | 116.046 | 0 | 2 | 鉄 | 2001/7/4 | 15.53 | | |
| 6 | 357 | 185.658 | 124.301 | 0 | 2 | 鉄 | 2001/7/4 | 15.53 | | |
| 7 | 358 | 182.959 | 125.174 | 0 | 2 | 鉄 | 2001/7/4 | 15.53 | | |
| 8 | 359 | 195.659 | 140.256 | 0 | 3 | 白プラ杭 | 2001/7/4 | 15.54 | | |
| 9 | 360 | 196.612 | 142.558 | 0 | 2 | 鉄 | 2001/7/4 | 15.54 | | |
| 10 | 361 | 197.247 | 142.081 | 0 | 2 | 鉄 | 2001/7/4 | 15.54 | | |

※座標フォーマットで公共座標/緯度経度の選択ができます。

7-9-10 テキストファイル（頂点：GPS 詳細）へ出力

手順

1. メニューバーから [ファイル] - [外部出力] - [テキスト（頂点：GPS 詳細）] を選択すると、[名前を付けて保存] ウィンドウが表示されます。
2. ファイル名を入力し [保存] ボタンをクリックするとテキストファイルに保存されます。

出力順は・・・点名、X座標、Y座標、高さ、杭ID、杭種、作成日、作成時間、杭備考1～杭備考8

緯度、経度、取得回数、衛星数、DOP 地、補正局

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J |
|---|-----|---------|----------|---|---|------|------------|----------|--------|----------|
| 1 | 1 | 1180751 | 967648.4 | 0 | 3 | プレート | 2007/11/9 | 16:45'17 | 始点 | 重なり有り |
| 2 | 10 | 1180644 | 967812.8 | 0 | 1 | プラ杭 | 2007/11/30 | 10:34'46 | 特記事項なし | |
| 3 | 100 | 1180666 | 967930 | 0 | 1 | プラ杭 | 2007/11/30 | 10:46'33 | | 76と同一地点 |
| 4 | 101 | 1180656 | 967928.4 | 0 | 2 | 鉄 | 2007/11/30 | 10:46'35 | | 771と同一地点 |
| 5 | 102 | 1180650 | 967925.2 | 0 | 1 | プラ杭 | 2007/11/30 | 10:46'40 | 特記事項なし | |
| 6 | 103 | 1180622 | 967942 | 0 | 3 | プレート | 2007/11/30 | 10:46'52 | 特記事項なし | |
| 7 | 104 | 1180622 | 967957 | 0 | 6 | 交点 | 2007/11/30 | 10:46'53 | 特記事項なし | |

7-9-11 多角指定で選択した図形をS I M A・A S Sファイルに出力

手順

1. メニューバーから[ファイル]－[外部出力]－[多角指定出力]－[S I M A]または－[A S S]を選択すると、カーソルが+に変わります。
2. 図形をかこむように場所をクリックします。
3. [S I M Aファイルに名前をつけて保存]または[A S Sファイルに名前をつけて保存]ウィンドウが表示されます。ファイル名を入力し[保存]ボタンをクリックします。
4. [S I M Aファイルへ変換]ウィンドウが表示されます。



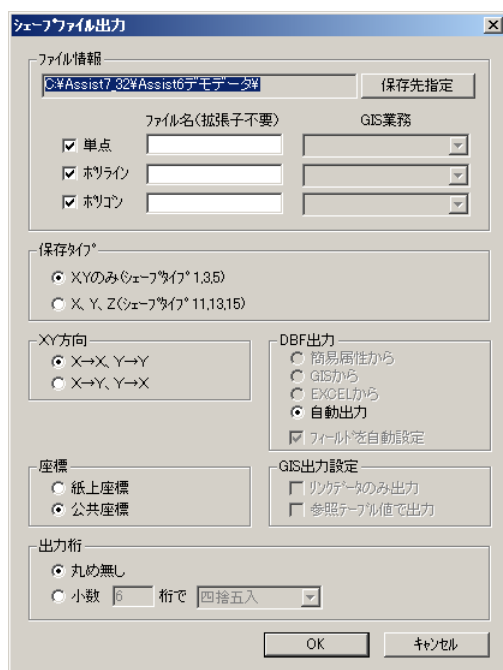
詳細は 7-8-3 S I M Aファイルへ出力 を参照してください。

5. 設定終了後、[実行]ボタンをクリックするとS I M AまたはA S Sファイルが保存されます。

7-9-12 多角指定で選択した図形をシェープファイルに出力…シェープファイルへ出力します。

手順

1. メニューバーから[ファイル]－[外部出力]－[多角指定出力]－[シェープ]を選択すると、カーソルが+に変わります。
2. 図形をかこむように場所をクリックします。
3. [シェープファイル出力]ウィンドウが表示されます。
4. [保存先指定]ボタンをクリックして、[フォルダの参照]ウィンドウから保存先フォルダを指定します。
5. 出力する図形のチェックボックスを[ON]にして、ファイル名を入力します。



保存タイプ

X Yのみ…X, Y座標のみ出力します。

X、Y、Z…X, Y, Z座標を出力します。

X Y方向タイプ

X→X, Y→Y…XはX, YはY軸として出力します。

X→Y, Y→X…XをY, YはX軸に変更して出力します。

座標…紙上座標か公共座標を選択します。

出力桁…出力桁の丸めを設定します。

6. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると、選択した図形ごとにファイル（s h p / s h x / d b f）に出力します。

ただし、外部入力でシェープファイルを開く場合は、拡張子は「s h p」のみ表示されます。

7-9-13 多角指定で選択した図形を杭備考CSVファイルに出力

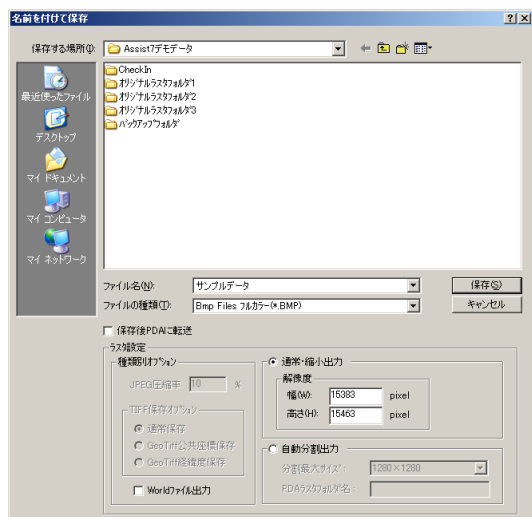
手順

1. メニューバーから[ファイル]－[外部出力]－[多角指定出力]－[杭備考 CSV]を選択すると、カーソルが+に変わります。
2. 図形をかこむように場所をクリックします。
3. [名前を付けて保存] ウィンドウが表示されます。
4. ファイル名を入力して[保存] ボタンをクリックすると杭備考がCSVファイルに保存されます。指定します。

7-9-14 画面キャプチャをファイルに出力

手順

1. メニューバーから[ファイル]－[外部出力]－[画面キャプチャ出力]を選択します。
2. マウスカーソルが+に変わります。
3. キャプチャしたい場所をクリックし、矩形で範囲指定します。
4. [名前をつけて保存] ウィンドウが表示されます。



保存後PDAに転送・・・保存後PDAに転送します。

JPEG圧縮率・・・圧縮率を指定します。

TIFF保存オプション・・・通常保存・GeoTIFF
共座標保存・GeoTIFF
経緯度保存から選択します。

通常・縮小出力・・・解像度を指定して出力します。

Worldファイル出力・・・World ファイルを出力します。

自動分割出力・・・PDAに転送する際、分割出力します。

5. ファイル名を入力し[保存] ボタンをクリックするとテキストファイルに保存されます。

7 - 10 [ファイル] - [図面印刷] …通常の図面印刷

ラスト・ベクタ別の印刷、配置指定をすると複数印刷も可能です。

メニューバーから [ファイル] - [図面印刷] を選択すると、
[図面印刷] ウィンドウが表示されます。

印刷種別

- ラスタ…ラスタのみを印刷します。
- ベクタ…ベクタのみを印刷します。
- 両方…ラスタ・ベクタの両方を印刷します。

印刷オプション

- ベクタ補正印刷…ベクトルデータを基準点座標で補正して印刷します。
- ポリゴン外枠…ポリゴンのベクタデータを印刷するときに、外枠のレイヤ線を印刷します。
- ポリゴン内の重複線削除…隣接するポリゴンの重複線を1本の線で印刷します。
- 図形の塗り潰しをする…図形を表示色で塗りつぶして印刷します。
- モノクロ印刷…カラープリンタで印刷する場合に、黒で印刷します。
- 図面全体を印刷する…[プリンタ] で設定した用紙サイズに合わせて図面全体を縮小して印刷します。
- 画面イメージで印刷する…編集画面に表示されているイメージで印刷します。
- 頂点記号の重なり回避…頂点記号に重なるポリラインを印刷しません。
- 線幅を固定…縮尺を変えて印刷する場合に、[レイヤ選択バー] で指定した線幅のまま印刷します。
※線幅を固定しない場合に縮尺を変えて印刷すると、同比率で線幅も変更されます。
- 文字サイズを固定…印刷縮尺を変更しても図形属性（地番・頂点名・面積・テキスト）のフォントサイズは変更されません。
- 記号サイズを固定…印刷縮尺を変更しても記号サイズは変更されません。
- プロット点の印刷…頂点を指定した頂点記号で印刷します。

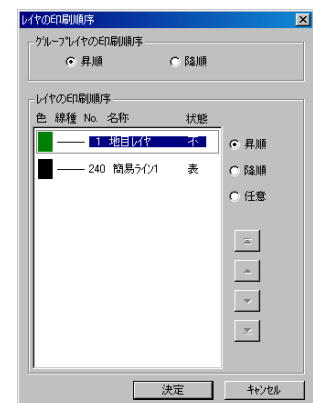
印刷レイヤ優先順位

画面表示と同様の図形順に印刷します。

図面上でレイヤ（ベクタ）が交差する部分に対して、印刷時のレイヤ優先順位を設定します。[レイヤ指定] ボタンをクリックすると、[レイヤの印刷順序] ウィンドウが表示されます。

印刷の種類

- 通常…タイトルを付けずに印刷します。
- タイトル付き…図面タイトル、凡例、スケールを付けて印刷します。[範囲指定] ボタンで印刷範囲を指定するときにタイトルの設定をします。
[印刷オプション] で [図面全体を印刷する] を選択した場合は、この機能は使用できません。



ラスト

ラスト画質を指定します。

〔縮小ファイン〕は縮小時に高画質、〔拡大ファイン〕は拡大時に高画質で表示します。

〔拡張ラスト出力〕拡張ラストを印刷、〔拡大ラストプレビュー〕は印刷プレビュー時に拡張ラストを表示します。

範囲指定

印刷の範囲を指定します。

〔印刷オプション〕で〔図面全体を印刷する〕を選択した場合は、〔印刷〕ボタンが表示されます。

〔印刷オプション〕で〔図面全体を印刷する〕を選択しない場合は〔範囲指定〕ボタンが表示されます。

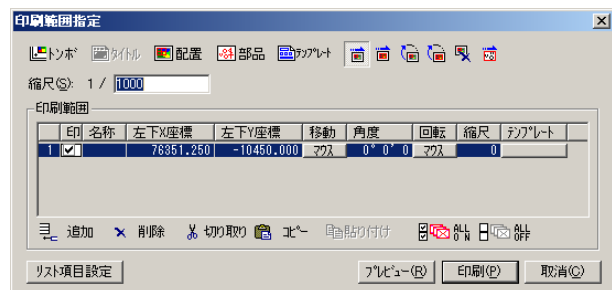
〔範囲指定〕ボタンをクリックすると〔印刷範囲指定〕ウィンドウが表示されます。

設定終了後、〔印刷〕ボタンをクリックすると印刷を開始します。

印刷する範囲を指定すると指定したサイズに合わせて印刷範囲指定枠を自動配置します。

配置は現在の〔トンボ〕の外枠の設定で配置されます。

〔配置〕後、〔トンボ〕の外枠設定を変更しても反映されません。



- トンボ…トンボ・外枠・内枠を設定します。

※詳細は、◆**図枠・トンボ作成**◆を参照してください。

- タイトル…タイトル、凡例部品、スケール部品を設定します。

※この機能は、〔図面印刷〕ウィンドウ ― 〔印刷の種類〕でタイトル付きを選択している場合のみ有効です。

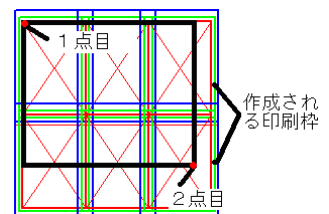
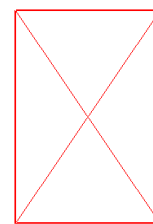
- 配置…配置済みの印刷範囲はすべて削除されます。矩形で指定した範囲に、印刷範囲指定枠を自動配置し、〔印刷範囲〕へ表示されます。

矩形指示モード切換えは〔Shift〕+〔Tab〕キーで行ないます。

<2点指示モード>

マウスで2点指定による矩形エリアを確定させます。

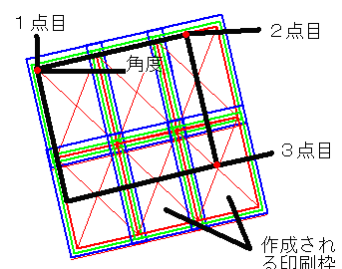
確定したエリアの左上から印刷範囲(内枠、外枠幅考慮)にてすべて納まるように印刷範囲を配置します。



<3点指示モード>

マウスで3点指定による角度付きの長方形を確定させます。

確定した長方形の1点目、2点目の角度による傾きの長方形で左上から印刷範囲(内枠、外枠幅考慮)にてすべて納まるように印刷範囲を配置します。

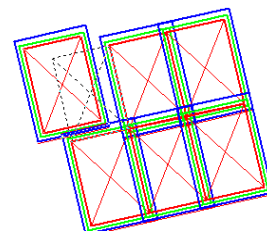


- テンプレート…テンプレートを設定・編集します。
テンプレートは、用紙サイズ・用紙向き毎にプリンタの設定が必要です。
※詳細は、◆テンプレート詳細◆を参照してください。

- 単体移動…自動配置された印刷範囲指定枠を移動します。



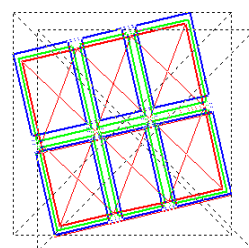
1. 編集画面の移動する印刷範囲指定枠をクリックします。
2. カーソルが▲に変わり基準点に移動します。
3. [Shift] + [Tab] キーにより、基準点が中心→左下→右下→右上→左上の順に切り替わります。
4. 移動する位置でマウスをクリックすると [印刷範囲指定枠] が移動します。



- 全体移動…印刷範囲全体を移動します。



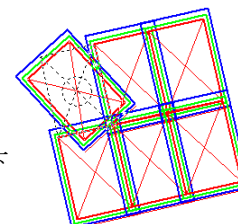
1. 編集画面の印刷範囲をクリックします。
2. カーソルが▲に変わり基準点に移動します。
3. [Shift] + [Tab] キーにより、基準点が中心→左下→右下→右上→左上の順に切り替わります。
4. 移動する位置でマウスをクリックすると [印刷範囲指定枠] 全体が移動します。



- 単体回転…自動配置された印刷範囲指定枠を回転します。



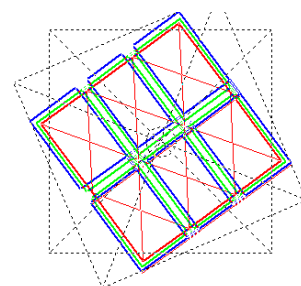
1. 編集画面の回転させる印刷範囲指定枠をクリックします。
2. カーソルが▲に変わり基準点に移動します。
3. [Shift] + [Tab] キーにより、基準点が中心→左下→右下→右上→左上の順に切り替わります。
4. 回転する位置でマウスをクリックすると [印刷範囲指定枠] が回転します。



- 全体回転…印刷範囲全体を回転します。



1. 編集画面の印刷範囲をクリックします。
2. カーソルが▲に変わり基準点に移動します。
3. [Shift] + [Tab] キーにより、基準点が中心→左下→右下→右上→左上の順に切り替わります。
4. 回転する位置でマウスをクリックすると [印刷範囲指定枠] 全体が回転します。



- 単体削除…マウスで指定した印刷範囲指定枠を単体で削除します。



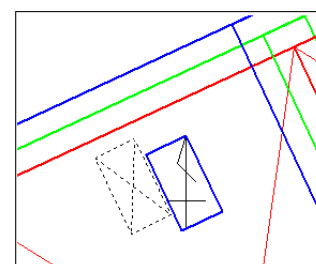
1. 編集画面から削除する印刷範囲指定枠をクリックします。
2. 確認メッセージが表示されます。
3. [OK] ボタンをクリックすると削除されます。

- タイトル移動… [タイトル] で設定したタイトルを移動します。



1. 編集画面から移動する部品・タイトルをクリックします。
2. 移動する位置でクリックすると移動します。

- 縮尺…印刷範囲の縮尺を指定します。全印刷範囲に適用します。



- 印刷範囲…印刷範囲を表示します。

印刷範囲は、[配置]・[単体移動]・[全体移動]・[単体回転]・[全体回転]・[削除]・[部品移動] で指定したものが表示されます。

<印刷>

印刷対象を選択します。チェックボックスを[ON]にすると印刷します。

<左下X座標>

印刷範囲指定枠の左下原点のX座標です。(経緯度表示モードでは緯度)

<左下Y座標>

印刷範囲指定枠の左下原点のY座標です。(経緯度表示モードでは経度)

<移動>

印刷範囲指定枠をマウスで移動します。マウスボタンをクリックすると編集画面の印刷範囲指定枠が移動します。

移動する位置をマウスで指定するか、[Shift]+[Tab]キーにより、中心→左下→右下→右上→左上の順に切換えて移動します。

<角度>

印刷範囲指定枠の角度です。水平が0度で、反時計回りに回転します。

<回転>

印刷範囲指定枠をマウスで回転します。マウスボタンをクリックすると編集画面の印刷範囲指定枠が回転します。

回転する位置をマウスで指定するか、[Shift]+[Tab]キーにより、中心→左下→右下→右上→左上の順に切換えて回転させます。

<縮尺>

印刷範囲指定枠の縮尺を入力します。0の場合、上部の縮尺値が適用されます。

<テンプレート>

テンプレートを設定します。

- 追加…印刷範囲指定枠を追加します。

1. 左下に印刷範囲指定枠が追加されます。
2. 印刷範囲指定枠を移動してクリックします。

- 削除…印刷範囲指定枠を削除します。

1. 印刷範囲リストから削除する行をクリックします。
2. [削除] ボタンをクリックまたは [Delete] キーを押します。
3. 確認メッセージが表示されます。
4. [OK] ボタンをクリックすると削除されます。

- 切り取り…印刷範囲指定枠を切り取ります。

1. 印刷範囲リストから切り取りする行をクリックします。
2. [切り取り] ボタンをクリックまたは [Ctrl+X] を押します。

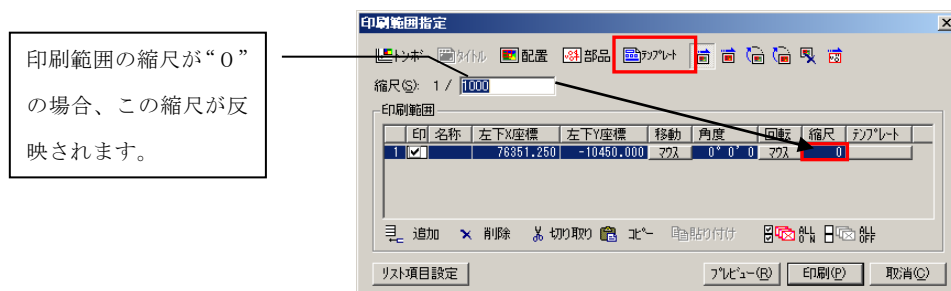
- コピー…印刷範囲指定枠をコピーします。

1. 印刷範囲リストからコピーする行をクリックします。
2. [コピー] ボタンをクリックまたは [Ctrl+C] を押します。

- 貼り付け… [切り取り] または [コピー] した印刷範囲指定枠を貼り付けます。

1. [貼り付け] ボタンをクリックまたは [Ctrl+V] を押します。
2. [切り取り] または [コピー] した印刷範囲指定枠が貼り付けされます。

◆テンプレート詳細◆



テンプレート…テンプレートを編集します。

印刷範囲

名称…印刷範囲指定枠の名称を入力します。

縮尺…印刷範囲指定枠の縮尺を入力します。0の場合、上部の縮尺値が適用されます。

テンプレート…テンプレートを設定します。

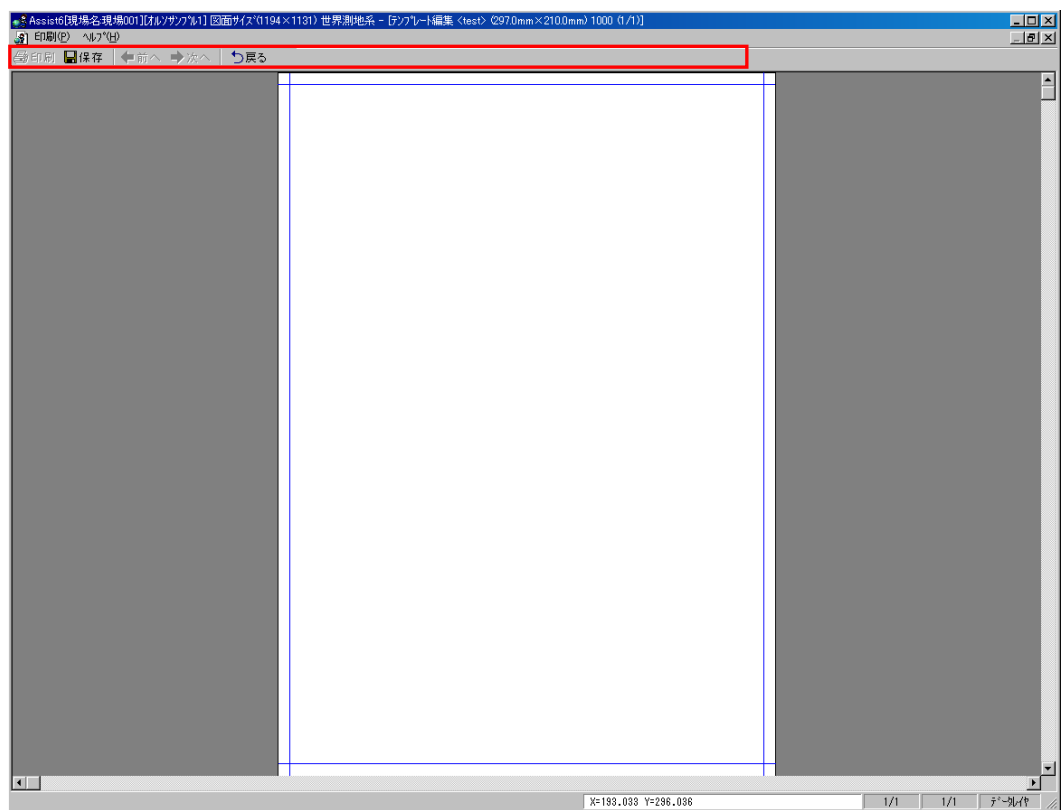
※現在、テンプレート編集機能は提供していません。

A3 横、A3 縦、A4 横、A4 縦のテンプレートを提供しています。


プレビュー…テンプレートを設定している印刷範囲指定枠のプレビューを表示します。


プレビューされるのは、<印刷>にチェックがついていて、テンプレートを選択している印刷範囲のみです。

1. [テンプレート] ボタンをクリックします。
テンプレート選択されている印刷範囲行を選択した状態で、[テンプレート] を選択すると、そのテンプレートの編集になります。
2. テンプレート新規作成画面が表示されます。



 **保存** . . . テンプレートを保存します。

 **前へ** . . . 複数のテンプレートがある場合、前のテンプレートを表示します。

 **次へ** . . . 複数のテンプレートがある場合、次のテンプレートを表示します。

 **戻る** . . . テンプレート画面を閉じます。

◆図枠・トンボ作成◆

手順

1. 「図枠・トンボ作成」ウィンドウが表示されます。

図枠…図枠を作成します。

作成する…外枠を作成します。

「図枠レイヤ」ボタン

で外枠のレイヤを選択

します。

内枠を作成する…外枠と内枠を

作成します。

「図枠レイヤ」

ボタンで外枠のレイヤ・「内枠レイヤ」ボタンで内枠のレイヤを選択します。

作成しない…図枠を作成しません。

外枠縦・横サイズ…外枠の縦・横のサイズを入力します。

図枠左下縦・横位置…印刷する用紙左下から外枠までの縦・横の離れを入力します。

外枠と内枠の間隔…内枠を作成する場合、外枠からの離れを入力します。

外枠から指定した間隔で内側に内枠を作成します。

図枠レイヤ…外枠のレイヤを選択します。

「レイヤ選択」ウィンドウから外枠のレイヤを選択します。

内枠レイヤ…内枠のレイヤを選択します。

「レイヤ選択」ウィンドウから内枠のレイヤを選択します。

トンボレイヤ…トンボのレイヤを選択します。

「レイヤ選択」ウィンドウからトンボのレイヤを選択します。

トンボ…トンボを作成します。

トンボ…トンボを作成します。「トンボレイヤ」ボタンでトンボのレイヤを選択します。

メッシュ…メッシュを作成します。「トンボレイヤ」ボタンでメッシュのレイヤを選択します。

作成しない…トンボ・メッシュを作成しません。

トンボ間隔…トンボ・メッシュの作成間隔を入力します。

トンボの長さ…トンボの長さを入力します。

座標値…座標値を設定します。

枠の中

外枠のみを作成する場合…外枠の内側に印刷します。

内枠を作成する場合…内枠の内側に印刷します。

図枠を作成しない場合…用紙を図枠とみなして用紙の内側に印刷します。

枠の外

外枠のみを作成する場合…外枠の外側に印刷します。

内枠を作成する場合…内枠の外側に印刷します。

図枠を作成しない場合…座標値を印刷しません。



表示しない…座標値を表示しません。

座標値の線を出力する…座標値の線を出力します。

長さ…線の長さを入力します。

詳細は、◆座標値作成◆を参照してください。

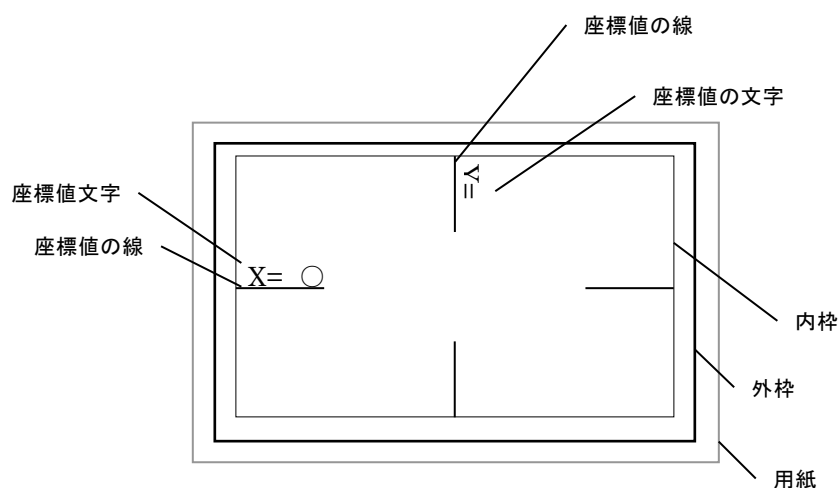
座標値の文字を出力する…座標値の文字を設定し、出力します。

文字高…座標値の文字を出力する場合に、[文字高]を入力します。

詳細は、◆座標値作成◆を参照してください。

2. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると、[印刷範囲指定] ウィンドウに戻ります。

◆座標値作成◆



7 - 1 1 [ファイル] - [Assist 印刷] …Assist の設定で図面印刷

縮尺設定

印刷範囲マウス指定…画面上で印刷したい個所をマウスで指示。指示した場所が用紙に納まる最大縮尺と左下原点座標を自動計算し印刷する。

図面全体…用紙に納まる最大縮尺と左下原点座標を自動計算し印刷する。

用紙範囲

用紙枠移動…画面上で用紙の枠を指示する。

隣接印刷…現在指定している印刷枠の上下左右を指示して隣接画像を印刷する。オーバーラップで重なる範囲を指示する。

印刷方式

- ラスタ背景あり…データに背景地図をオーバーラップして印刷します。
- ラスタ無し…データのみを印刷します。
- 「現在の画地配色を使用する」 にチェックすると地目一覧設定によって定義されているポリゴンカラーで印刷します。
- 「現在の杭ステータスを使用する」 にチェックすると画面上に表示されている杭種のみを印刷します。

詳細設定 頂点関連

頂点マーク有り 頂点マーク詳細

- 丸（全て直径 1mm の丸）
- 杭種マーク（大）
- 杭種マーク（小）

点名詳細

- 表示下ケタ設定

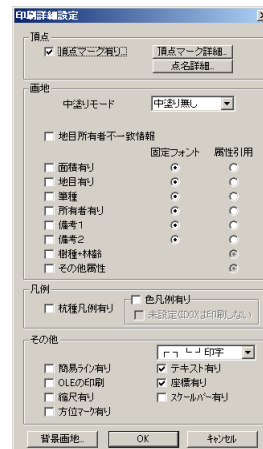
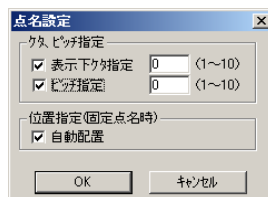
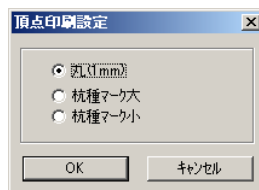
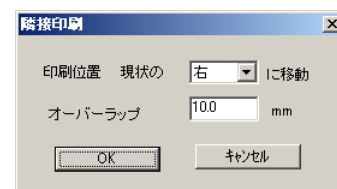
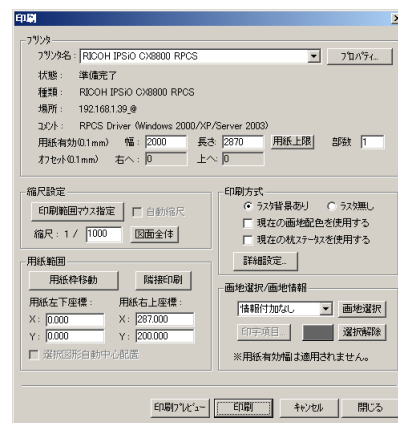
点名の下から指示された桁数だけ印刷

- ピッチ指定

指示されたピッチで飛ばして印刷

- 位置指定

自動配置…点名を重なり難い場所に自動判断して配置。固定点名を表示した状態でチェックを入れると、画面上の位置に配置され、チェックを外すと右下に配置されます。



詳細設定 画地関連

- 「地目所有者不一致情報」 にチェックすると所有者不一致情報を図面上に印刷する。
- 「面積有り」 にチェックすると面積（㎡）を図面上に印刷する。
- 「地目有り」 にチェックすると地目を図面上に印刷する。
- 「筆種」 にチェックすると筆種を図面上に印刷する。
- 「所有者有り」 にチェックすると所有者名を図面上に印刷する。
- 「備考1」 にチェックすると備考1を図面上に印刷する。
- 「備考2」 にチェックすると備考2を図面上に印刷する。
- 「樹種+林齢」 にチェックすると樹種と林齢を図面上に印刷する。

固定フォント…Assist で設定された画地情報を印刷します。

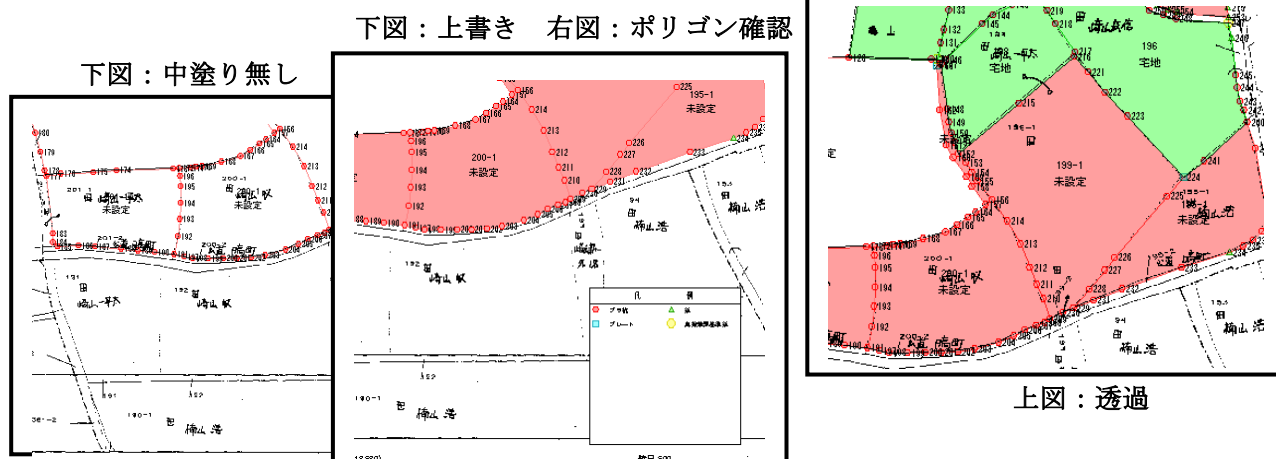
属性引用…[テキスト]－[属性変換] で簡易属性に変換した画地情報を印刷します。

- 「その他属性」

中塗りモード

- 中塗り無し…画地を塗りつぶさない
- 上書き…画地を塗り潰して、塗り潰された部分は背景地図が見えない。
- 透過…画地を塗り潰すが、塗り潰された部分の背景は透過する。
- ポリゴン確認…筆の網掛けを行って印刷、背景は透過する。

中塗りモード例



詳細設定 凡例関連

- 「杭種凡例有り」 にチェックすると現在の杭種の属性一覧を右下に印刷します。
- 「色凡例有り」 にチェックすると現在の画地カラーに従った属性一覧を右上に印刷します。
- 「未設定（ID0）は印刷しない」 にチェックすると未設定（ID0）は印刷しません。

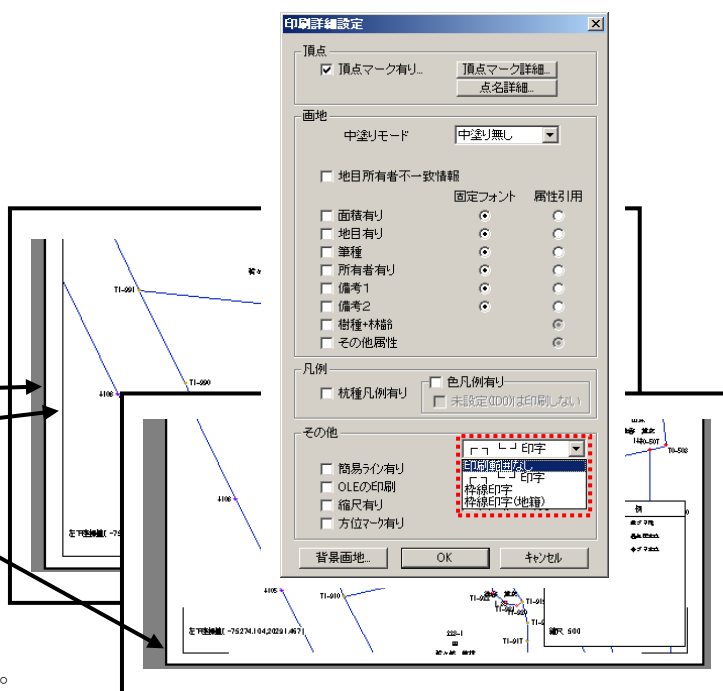
詳細設定 その他

- 「簡易ライン有り」 にチェックすると簡易ラインモードで作成された、手書文字や線などを印刷します。
- 「テキスト有り」 にチェックすると[テキスト] — [作成] で画面上に作られた文字列を印刷します。
- 「OLEの印刷」 にチェックすると[編集] — [オブジェクト] によって図面上に貼り付けられているオブジェクトを印刷します。
- 「座標有り」 にチェックすると右上、左下の座標を印刷します。
- 「縮尺有り」 にチェックすると右下に縮尺を印刷します。
- 「スケールバー有り」 にチェックすると右下にスケールバーを印刷します。
- 「方位マーク有り」 にチェックすると右上に方位マークを印刷します。

枠印刷には4種あります。

- 印刷範囲なし（枠を印刷しない）
- 枠線印字（全体に枠を印刷）
- 枠線印字（地籍）
- 「┐└┌┘」印字（4隅に長さ2cmくらいの印刷）

大きいサイズのプリンタを持っていない場合、A3等のサイズで印字して紙を張り合わせることを容易にしました。



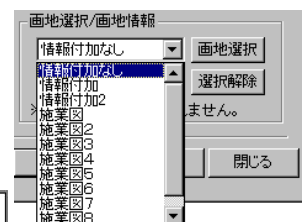
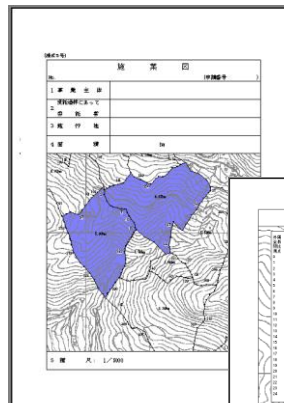
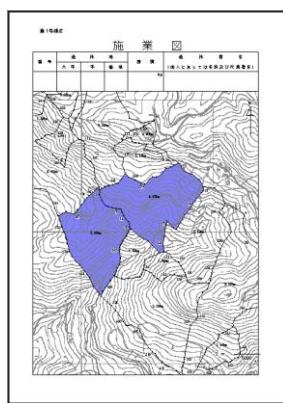
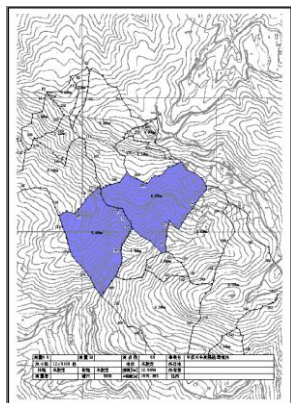
画地選択／画地情報

画地選択 を押すと、詳細な情報を印刷する画地を図面上で選択できます。マウスで複数ヒットできます。最後の画地選択でダブルクリックすると再度、印刷のウインドウが表示されます。

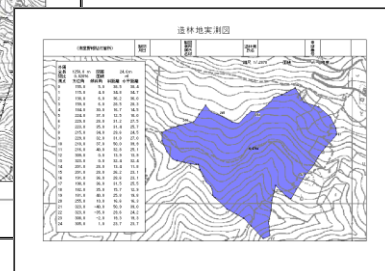
【情報付加】

【施業図】

【施業図 2】



【造林地実測図】



印字項目 を押すと、各々印刷欄に自由な文字を記入し印刷することができます。

選択解除 を押すと、選択している画地を解除できます。

7-12 [ファイル] - [各種印刷]

7-12-1 測量野帳印刷…野帳印刷の印刷を行ないます。

打ち出したい帳票にチェックマークを入れて

打ち出したい地番を選択します。

測量野帳…観測データリスト

観測手簿…GPS観測状態を印刷します。

測量実測図…選択された図形を印刷します。

印刷タイプ…実測図か出来形図を選択します。

縮尺…**自動縮尺**が押された状態では、印刷対象の筆が用紙に納まる最大縮尺を 1/250、1/500、1/1000、1/2500、1/5000、1/10000 の順に自動決定します。

任意縮尺で印刷する場合は、**自動縮尺** を OFF の状態で、縮尺欄に縮尺を入力します。

自動縮尺 の ON/OFF はボタンを押す毎に切り替わります。

測量データリスト

Type A…水平距離・水平角で高度角の表示なし

Type B…斜距離・高度角で高度角のコンパス形式

Type C…水平距離・水平角で標高ありの緯度経度

Type D…水平距離・水平角で標高なしの緯度経度

画地選択…表示されている画地の一覧から選択された画地を印刷対象にします。

印刷周り…測量野帳、観測手簿の測量点の並び順を、右回り、左回り、通常、開始点名（点名を指定する）から選択します。

印刷プレビュー…印刷プレビューを表示します。

印刷…印刷します。

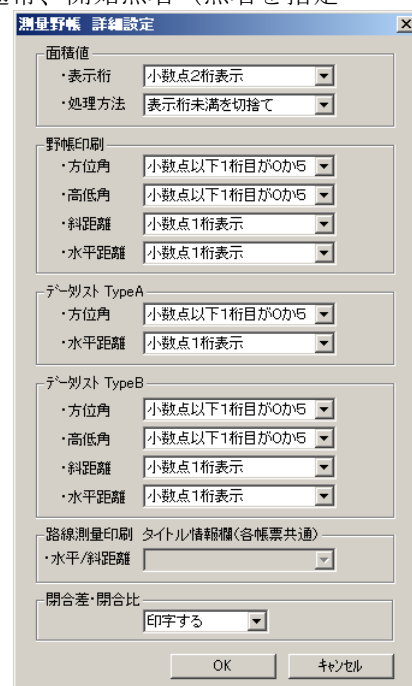
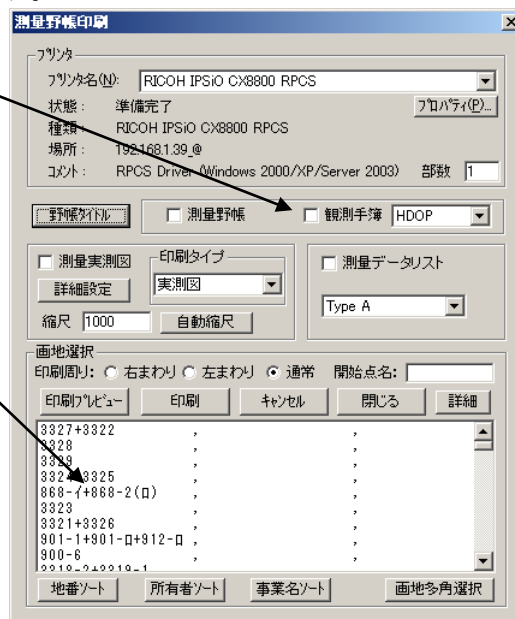
キャンセル…設定をキャンセルし、測量野帳印刷を終了します。

閉じる…測量野帳印刷を終了します。

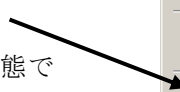
詳細…面積値、野帳印刷、データリスト TypeA・B、路線測量印刷
タイトル情報欄（各帳票共通）、閉合差・閉合比の詳細を設定
します。

地番ソート…地番でソートをかけ、画地選択一覧の並び順を変更します。

画地多角選択…図面上で画地を多角選択します。



測量地積印刷ウインドウが開きます。



未入力部分は 測定 NO、測定日、測定者 です

入力設定

測量No.

測量日 林小班

地目 林種 樹種

事業名

所在地

所有者

住所

測量者

面積 ㎡ 自動計算(値)が0 ㎡です

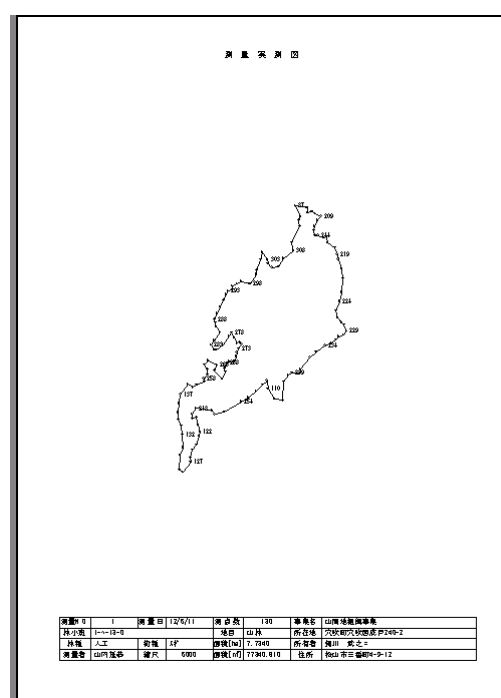
開合差 0.0000 m 開合比 1 / 0

内容選択

☐ 項目が空欄の箇所は付添表に記入する

1 2 3 4 5 6 7 8

キャットでの右クリックにて記録できます。
(但、面積等計算結果は付添表外)

[illegible]

7-12-2 測量地籍印刷…一筆図面や面積計算書の印刷

一筆毎にプリンタに印刷する機能です。

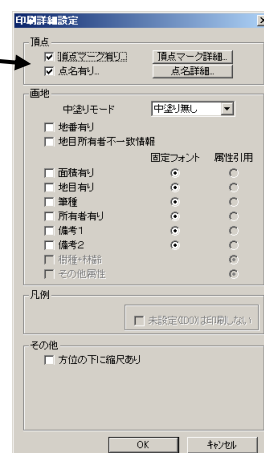
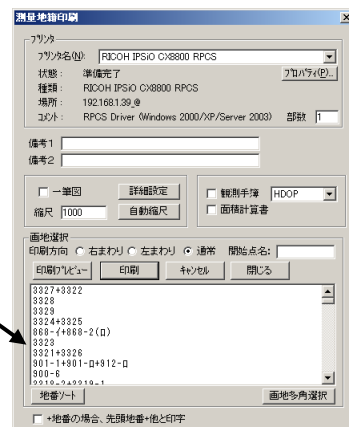
〔ファイル〕－〔各種印刷〕－〔測量地籍印刷〕で測量地籍印刷ウィンドウが表示されますので、リストから印刷したい地番を選択します。

印刷したい帳票にチェックマークを入れ、**印刷** で打ち出します。

印刷サイズはA4でデザインされています。

備考1、備考2は、このウィンドウで入力された文字が印刷されます。

杭マーク、頂点名などは **詳細設定** で指定します。



縮尺は、**自動縮尺**が押された状態では、印刷対象の筆が用紙に納まる最大縮尺を 1/250、1/500、1/1000、1/2500、1/5000、1/10000 の順に自動決定します。任意縮尺で印刷する場合は、**自動縮尺** を OFF の状態で、縮尺欄に縮尺を入力します。**自動縮尺** の ON/OFF はボタンを押す毎に切り替わります。

帳票の種類は3種類です。

一筆図…図形印刷

観測手簿…GPS 観測のみ観測状況

面積計算書…狭角や距離などの表示

| | | | | | |
|-----|--------|-----|---------|-----|---------|
| 地番 | 1431-1 | 地目 | 田 | 所有者 | 古田忠夫 |
| 点数 | 28 | 距離 | 112.414 | 面積 | 539.029 |
| 縮尺 | 250 | 備考1 | | 坪 | 163.056 |
| 備考2 | | | | | |

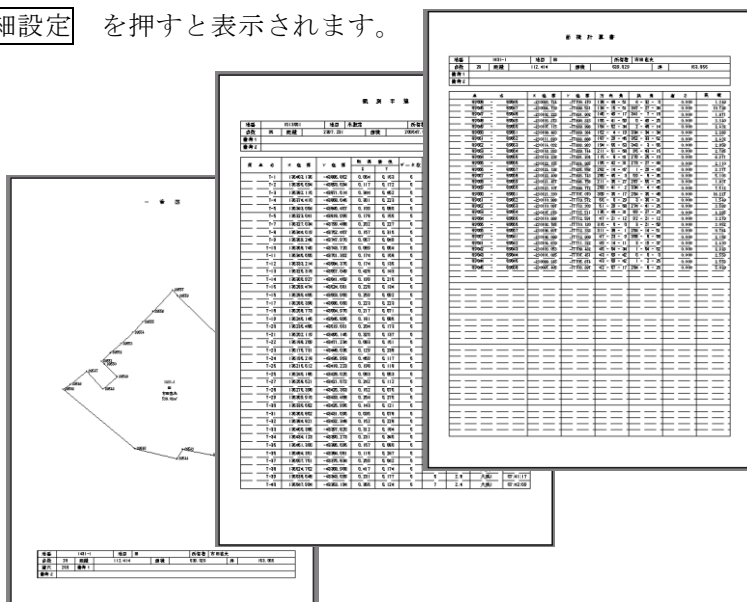
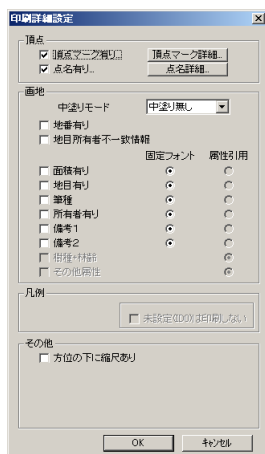
.. 一筆図

観測手簿…

面積計算書…

| | | | | | |
|-----|--------|----|---------|-----|---------|
| 地番 | 1431-1 | 地目 | 田 | 所有者 | 古田忠夫 |
| 点数 | 28 | 距離 | 112.414 | 面積 | 539.029 |
| 備考1 | | | | 坪 | 163.056 |
| 備考2 | | | | | |

一筆図に印刷したい属性の種別は、**詳細設定** を押すと表示されます。ウィンドウで設定します。



| | |
|--------|---------------------|
| Type A | …水平距離・水平角で高度角の表示なし |
| Type B | …斜距離・高度角で高度角のコンパス形式 |
| Type C | …水平距離・水平角で標高ありの緯度経度 |
| Type D | …水平距離・水平角で標高なしの緯度経度 |

路線測量印刷

プリンタ

プリンタ名(N): RICOH IPSIO C X8800 RPCS

状態: 準備完了

種類: RICOH IPSIO C X8800 RPCS

場所: 192168.139_@

コメント: RPCS Driver (Windows 2000/XP/Server 2003) 部数 1

野帳タイトル

☐ 測量野帳 ☐ 観測手簿

☒ 測量実測図 ☐ 印刷タイプ

詳細設定

実測図

縮尺 1:2000 自動縮尺

☒ 測量データリスト

Type A

画地選択

印刷周リ: ☐ 右まわり ☐ 左まわり ☒ 通常 開始点名:

印刷フルビュー 印刷 キャンセル 閉じる 詳細

路線名なし
路線名なし
路線名なし

路線ノート

仕様設定

測量No.

測量日 林小班 木12*0200

地目 林種 樹種

事業名

所在地

所有者

住所

測量者

面積 4701.67 m² 自動計算値は1/ 4701.67 m²です

閉合差 0.000 m 閉合比 1/ 0

内容記録

1 2 3 4 5 6 7 8

ホタル工での右ツツキメニューで記録できます。
但し面積等計算結果は対象外です。

[illegible]

測量データリスト

(凡例)

| 測線 0 | 1 号 | 測量日 05/02/20 | 測点 数 19 | 事業名 | 所在地 |
|------|-----|--------------|---------|---------|-----|
| 特種 | 作業種 | 大断面及び自由日種 | 測点 | 町界 | 界線 |
| 付録 | 図号 | 図名 | 図尺 | 図紙 | 図紙 |
| | | | 1:200 | 788.953 | 図紙 |

| 線 地 点 | 座 標 | 方 位 角 | 傾 斜 角 | 距離 | 方位角 | 座 標 | 座 標 | 座 標 | 座 標 |
|-------|--------|-------|-------|------|------|-----------|----------|-----------|----------|
| Ts-15 | Ts-16 | 190.0 | 3.0 | 3.0 | 3.0 | -0900.442 | 9226.291 | -0900.442 | 9226.291 |
| Ts-16 | Ts-17 | 240.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | -0900.544 | 9230.038 | -0900.544 | 9230.038 |
| Ts-17 | Ts-18 | 240.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | -0901.048 | 9233.785 | -0901.048 | 9233.785 |
| Ts-18 | Ts-19 | 180.0 | -0.0 | 1.7 | 6.7 | -0901.241 | 9237.532 | -0901.241 | 9237.532 |
| Ts-19 | Ts-20 | 180.0 | -0.0 | 1.7 | 6.7 | -0901.241 | 9237.532 | -0901.241 | 9237.532 |
| Ts-20 | Ts-21 | 180.0 | 3.0 | 3.0 | 3.0 | -0901.241 | 9237.532 | -0901.241 | 9237.532 |
| Ts-21 | Ts-22 | 15.0 | 4.0 | 14.2 | 4.1 | -0901.190 | 9235.895 | -0901.190 | 9235.895 |
| Ts-22 | Ts-23 | 94.0 | 2.0 | 6.5 | 6.5 | -0901.140 | 9234.445 | -0901.140 | 9234.445 |
| Ts-23 | Ts-24 | 315.0 | 6.5 | 15.2 | 10.1 | -0901.184 | 9233.442 | -0901.184 | 9233.442 |
| Ts-24 | Ts-25 | 345.0 | 1.0 | 1.2 | 7.1 | -0901.022 | 9237.189 | -0901.022 | 9237.189 |
| Ts-25 | Ts-26 | 30.0 | 28.0 | 9.8 | 4.8 | -0910.242 | 9219.348 | -0910.242 | 9219.348 |
| Ts-26 | Ts-27 | 344.0 | -2.0 | 1.0 | 6.0 | -0901.029 | 9231.666 | -0901.029 | 9231.666 |
| Ts-27 | Ts-28 | -11.0 | -2.0 | 1.0 | 6.0 | -0901.029 | 9231.666 | -0901.029 | 9231.666 |
| Ts-28 | Ts-29 | 345.0 | -2.0 | 6.1 | 6.9 | -0901.337 | 9231.666 | -0901.337 | 9231.666 |
| Ts-29 | Ts-30 | 345.0 | -2.0 | 6.1 | 6.9 | -0901.337 | 9231.666 | -0901.337 | 9231.666 |
| Ts-30 | Ts-31 | 345.0 | -2.0 | 6.1 | 6.9 | -0901.337 | 9231.666 | -0901.337 | 9231.666 |
| Ts-31 | Ts-32 | 310.0 | 5.0 | 11.0 | 10.0 | -0900.008 | 9219.442 | -0900.008 | 9219.442 |
| Ts-32 | Ts-33 | 345.0 | 6.0 | 6.9 | 6.7 | -0901.104 | 9217.644 | -0901.104 | 9217.644 |
| Ts-33 | Ts-34 | 345.0 | -2.0 | 6.8 | 6.7 | -0901.104 | 9217.644 | -0901.104 | 9217.644 |
| Ts-34 | Ts-35 | 345.0 | -2.0 | 6.8 | 6.7 | -0901.029 | 9217.644 | -0901.029 | 9217.644 |
| Ts-35 | Ts-36 | 345.0 | -2.0 | 6.8 | 6.7 | -0901.029 | 9217.644 | -0901.029 | 9217.644 |
| Ts-36 | Ts-37 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-37 | Ts-38 | 345.0 | 4.0 | 17.1 | 17.1 | -0901.240 | 9217.644 | -0901.240 | 9217.644 |
| Ts-38 | Ts-39 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-39 | Ts-40 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-40 | Ts-41 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-41 | Ts-42 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-42 | Ts-43 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-43 | Ts-44 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-44 | Ts-45 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-45 | Ts-46 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-46 | Ts-47 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-47 | Ts-48 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-48 | Ts-49 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-49 | Ts-50 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-50 | Ts-51 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-51 | Ts-52 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-52 | Ts-53 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-53 | Ts-54 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-54 | Ts-55 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-55 | Ts-56 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-56 | Ts-57 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-57 | Ts-58 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-58 | Ts-59 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-59 | Ts-60 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-60 | Ts-61 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-61 | Ts-62 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-62 | Ts-63 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-63 | Ts-64 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-64 | Ts-65 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-65 | Ts-66 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-66 | Ts-67 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-67 | Ts-68 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-68 | Ts-69 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-69 | Ts-70 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-70 | Ts-71 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-71 | Ts-72 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-72 | Ts-73 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-73 | Ts-74 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-74 | Ts-75 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-75 | Ts-76 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-76 | Ts-77 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-77 | Ts-78 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-78 | Ts-79 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-79 | Ts-80 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-80 | Ts-81 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-81 | Ts-82 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-82 | Ts-83 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-83 | Ts-84 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-84 | Ts-85 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-85 | Ts-86 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-86 | Ts-87 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-87 | Ts-88 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-88 | Ts-89 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-89 | Ts-90 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-90 | Ts-91 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-91 | Ts-92 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-92 | Ts-93 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-93 | Ts-94 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-94 | Ts-95 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-95 | Ts-96 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-96 | Ts-97 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-97 | Ts-98 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-98 | Ts-99 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |
| Ts-99 | Ts-100 | 345.0 | -2.0 | 16.0 | 16.0 | -0901.160 | 9217.644 | -0901.160 | 9217.644 |

72

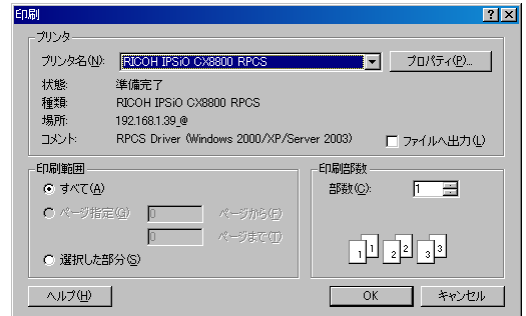
7-12-5 GPS 観測手簿…GPS 観測データの帳票印刷を行います。

GPS 観測データを印刷する機能です。

[ファイル] - [各種印刷] - [GPS 観測手簿] で印刷
ウインドウが表示されます。

ご使用のプリンタの設定に合わせて印刷します。

GPS 測量観測手簿が印刷されます。



| GPS測量観測手簿 | | | | | | | | | | |
|------------|------------|------------|-------|-------|------|-----|-----|----------|----------|--|
| 測点名 | X座標 | Y座標 | 座標 | | データ数 | 衛星数 | DOP | 修正局 | 観測時間 | |
| | | | X | Y | | | | | | |
| 108925.854 | -72451.329 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 1 | 5 | 1.8 | 未補正 | 15:18:16 | |
| 108922.806 | -72452.936 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 1 | 5 | 1.8 | 未補正 | 15:19:17 | |
| 108918.854 | -72452.936 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 1 | 5 | 1.8 | 未補正 | 15:19:16 | |
| 108913.823 | -72459.676 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 1 | 5 | 1.8 | 未補正 | 15:19:19 | |
| 108908.518 | -72462.225 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 1 | 5 | 1.8 | 未補正 | 15:19:20 | |
| 108896.116 | -72471.025 | 5.287 | 1.864 | 3 | 6 | 1.3 | 未補正 | 15:19:24 | | |
| 40 | 108402.126 | -71620.220 | 3.177 | 0.203 | 2 | 5 | 1.4 | 未補正 | 15:14:57 | |
| 41 | 108446.256 | -71627.124 | 5.257 | 0.671 | 3 | 5 | 1.4 | 未補正 | 15:15:05 | |
| 42 | 108576.716 | -71649.256 | 0.000 | 0.000 | 1 | 5 | 1.4 | 補正済 | 15:15:14 | |
| 43 | 108619.898 | -71654.113 | 7.786 | 0.784 | 5 | 5 | 1.4 | 補正済 | 15:15:20 | |
| 44 | 108624.662 | -71702.220 | 0.916 | 0.275 | 5 | 5 | 1.4 | 補正済 | 15:16:24 | |
| 45 | 108630.402 | -71712.946 | 0.284 | 2.660 | 5 | 5 | 1.4 | 未補正 | 15:16:47 | |
| 46 | 108621.606 | -71791.141 | 0.770 | 5.227 | 5 | 5 | 1.4 | 未補正 | 15:16:59 | |
| 47 | 108611.195 | -71859.921 | 0.516 | 2.865 | 5 | 5 | 1.4 | 未補正 | 15:17:11 | |
| 48 | 108548.126 | -72527.290 | 5.235 | 1.102 | 5 | 5 | 1.4 | 補正済 | 15:19:55 | |
| 49 | 107757.297 | -72518.452 | 3.486 | 4.652 | 5 | 6 | 1.3 | 未補正 | 15:22:09 | |
| 50 | 107529.810 | -73026.090 | 0.072 | 1.196 | 5 | 7 | 1.2 | 補正済 | 15:22:45 | |
| 51 | 107527.898 | -73028.762 | 0.001 | 2 | 7 | 1.2 | 補正済 | 15:22:56 | | |

7-13 [ファイル] - [境界明確化 各種印刷] …境界明確化の各種帳票を印刷
します。

7-13-1 印刷帳票基本データ設定…全ての印刷帳票の基本データを設定します。

手順

1. メニューバーから [ファイル] - [境界明確化 各種印刷] - [印刷帳票基本データ設定] を選択
します。
2. [境界明確化 印刷帳票基本データ設定] ウインドウが表示されます。

地区名…地区名を入力します。

件名…件名を入力します。

各頂点行の現況情報の割り当て…各頂点行の現況情報に備考 1、
備考 2、備考 1・2 のいずれかを
割り当てます。

各頂点行の確認区分の割り当て…各頂点行の確認区分に備考 1、
備考 2、備考 1・2、画地備考 1
のいずれかを割り当てます。

図面ナンバー…図面ナンバーを入力します。

測量年月…測量年月を入力します。

作成年月…作成年月を入力します。

事業対象外地…事業対象外の土地の色を設定します。

不明土地…不明土地の色を設定します。

3. [OK] ボタンをクリックすると印刷帳票基本データが設定されます。

7-13-2 所有山林一覧…所有している山林の一覧を印刷します。

手順

1. メニューバーから [ファイル] - [境界明確化 各種印刷] - [所有山林一覧] を選択します。
2. [所有山林一覧] ウィンドウが表示されます。

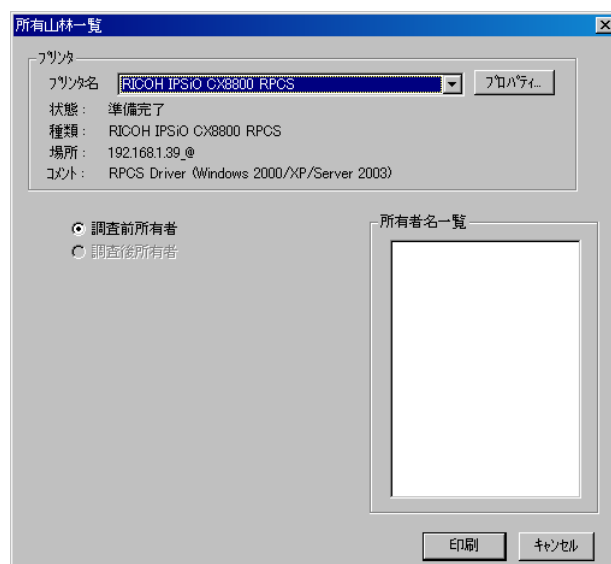
プリンタ…印刷に使用するプリンタを選択します。

印刷の詳細についてはご使用のプリンタの
説明書を参照してください。

調査前所有者…調査前の所有者一覧を印刷します。

所有者名一覧…調査前の所有者一覧を表示します。

3. 設定終了後、[印刷] ボタンをクリックすると
所有山林一覧が印刷されます。



7-13-3 所有山林一覧（自署）…所有している山林の一覧で自署入りのものを印刷します。

手順

1. メニューバーから [ファイル] - [境界明確化 各種印刷] - [所有山林一覧（自署）] を選択します。
2. [所有山林一覧（自署）] ウィンドウが表示されます。詳細は 所有山林一覧 を参照してください。

7-13-4 森林境界保全簿…森林境界保全簿を印刷します。

手順

1. メニューバーから[ファイル]－[境界明確化 各種印刷]－[森林境界保全簿]を選択します。
2. [森林境界保全簿]ウィンドウが表示されます。

プリンタ…印刷に使用するプリンタを選択します。印刷の詳細についてはご使用のプリンタの説明書を参照してください。

画地選択…印刷対象の画地を選択します。SHIFTキーを押しながら複数の画地を選択できます。

地番ソート…地番でソートします。

選択解除…選択した画地を解除します。

個別画地マウス選択…画地をマウスで直接選択します。

画地数…選択可能な画地数を表示します。

地番の‘+’を分解…地番の+を分解します。

3. 設定終了後、[印刷] ボタンをクリックすると森林境界保全簿が印刷されます。



7-13-5 森林境界明確化土地一覧…森林境界明確化土地一覧を印刷します。

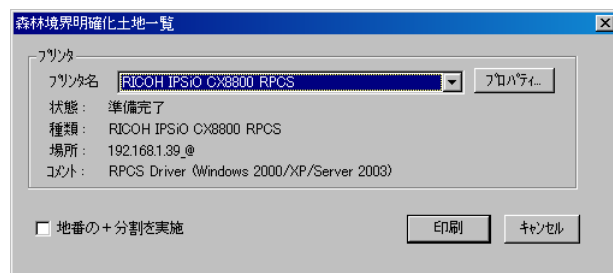
手順

1. メニューバーから[ファイル]－[境界明確化 各種印刷]－[森林境界明確化土地一覧]を選択します。
2. [森林境界明確化土地一覧]ウィンドウが表示されます。

プリンタ…印刷に使用するプリンタを選択します。印刷の詳細についてはご使用のプリンタの説明書を参照してください。

地番の‘+’を分解…地番の+を分解します。

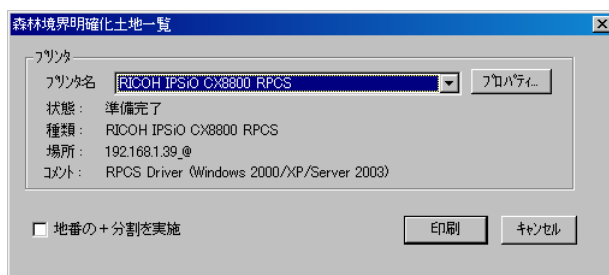
3. 設定終了後、[印刷] ボタンをクリックすると森林境界明確化土地一覧が印刷されます。



7-13-6 森林境界明確化土地確認書…森林境界明確化土地確認書を印刷します。

手順

1. メニューバーから「ファイル」－「境界明確化 各種印刷」－「森林境界明確化土地確認書」を選択します。
2. 「森林境界明確化土地一覧」ウィンドウが表示されます。詳細は 森林境界明確化土地一覧 を参照してください。



7-13-7 隣接者教会立会い確認書…隣接者境界立会い確認書を印刷します。

手順

1. メニューバーから「ファイル」－「境界明確化 各種印刷」－「隣接者境界立会い確認書」を選択します。
2. 「隣接者境界立会い確認書」ウィンドウが表示されます。

プリンタ…印刷に使用するプリンタを選択します。

印刷の詳細についてはご使用のプリンタの説明書を参照してください。

ワク及び属性情報（右記 L I S T 選択）…所有者データから印刷対象を選択し、チェックを入れるとワク及び属性情報を印刷します。

調査後 完成帳票（全データ）…チェックを入れると全データの調査後の完成帳票を印刷します。

属性データの地番の「+」を分解…属性データの地番の+を分解します。



3. 設定終了後、「印刷」ボタンをクリックすると隣接者境界立会い確認書が印刷されます。

7-13-8 不明土地一覧…不明土地一覧を印刷します。

手順

1. メニューバーから [ファイル] - [境界明確化 各種印刷] - [不明土地一覧] を選択します。
2. [不明土地一覧] ウィンドウが表示されます。

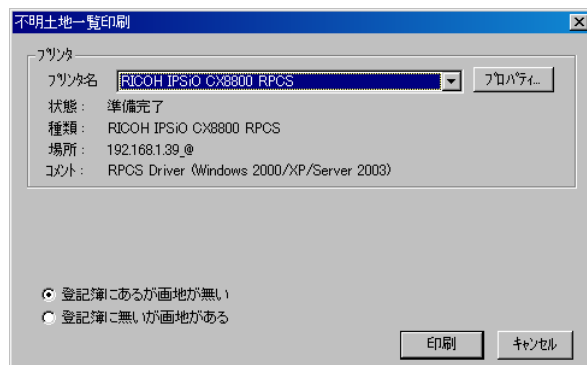
登記簿にある画地が無い…登記簿があり、画地が無い

データを印刷対象にします。

登記簿に無いが画地がある…画地があり、登記簿が無い

データを印刷対象にします。

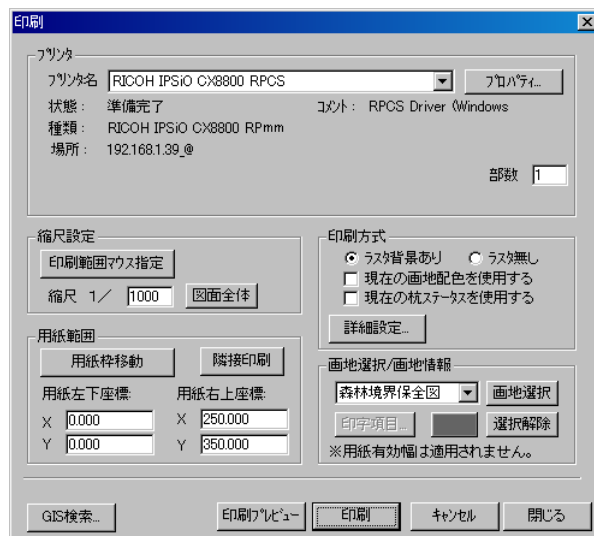
3. 設定終了後、[印刷] ボタンをクリックすると不明土地一覧が印刷されます。



7-13-9 森林境界保全図…森林境界保全図を印刷します。

手順

1. メニューバーから [ファイル] - [境界明確化 各種印刷] - [森林境界保全図] を選択します。
2. [印刷] ウィンドウが表示されます。詳細はAssist 6 マニュアル 7-10 [ファイル] - [Assist印刷] を参照してください。



3. 画地選択/画地情報で森林境界保全図を選択し、[印刷] ボタンをクリックすると森林境界保全図が印刷されます。

7-14 [ファイル] - [プリンタの設定]

印刷時に使用するプリンタを設定します。

7-15 [ファイル] - [図面情報]

7-15-1 図形情報…現在開いている図面の情報を表示

現在開いている図面（図面管理情報・図面属性・各図形情報など）の図面情報をレイヤ別に一覧表示します。

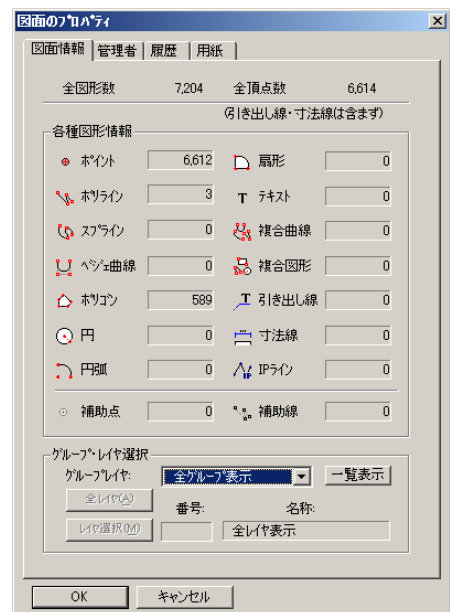
全図形数…図面の全図形数を表示します。

全頂点数…図面の全頂点数を表示します

各種図形情報… [グループ・レイヤ選択] で指定したレイヤの各種図形数を表示します。

レイヤ選択…レイヤを個別に選択します。

一覧表示…レイヤ別の図形情報を表示します。



図面のプロパティ

図面情報 | 管理者 | 履歴 | 用紙

全図形数 7,204 全頂点数 6,614
(引出し線・寸法線は含まず)

各種図形情報

| | | | |
|-------|-------|-------|---|
| ポイント | 6,612 | 扇形 | 0 |
| ポリライン | 3 | テキスト | 0 |
| スプライン | 0 | 複合曲線 | 0 |
| ベジエ曲線 | 0 | 複合図形 | 0 |
| ポリゴン | 589 | 引き出し線 | 0 |
| 円 | 0 | 寸法線 | 0 |
| 円弧 | 0 | IPライン | 0 |
| 補助点 | 0 | 補助線 | 0 |

グループ・レイヤ選択

グループレイヤ: 全グループ表示 一覧表示

全レイヤ(A) レイヤ選択(D) 番号: 名称: 全レイヤ表示

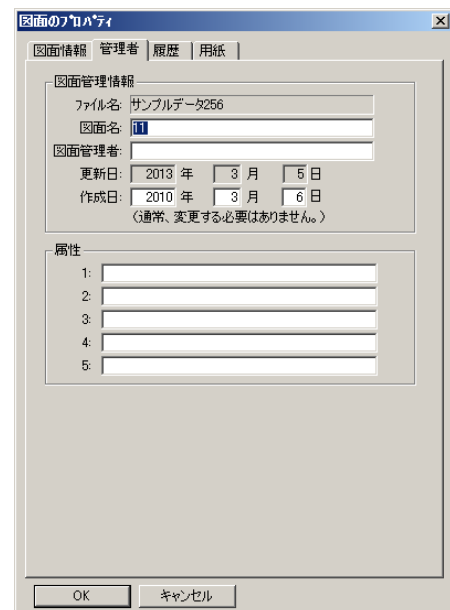
OK キャンセル

7-15-2 管理者

図面管理情報・属性を設定します。

図面管理情報…図面の管理情報を確認・編集します。

属性…図面に属性を入力します。



図面のプロパティ

図面情報 | 管理者 | 履歴 | 用紙

図面管理情報

ファイル名: サンプルデータ256

図面名: 11

図面管理者:

更新日: 2013 年 3 月 5 日

作成日: 2010 年 3 月 6 日
(通常、変更する必要はありません。)

属性

1:

2:

3:

4:

5:

OK キャンセル

7-15-3 履歴

図面、座標変換の履歴情報を表示します。

7-15-4 用紙

図面の用紙サイズの情報を表示します。

7-16 [ファイル] - [点名杭種情報]

点名、杭種、杭種別座標一覧等の情報を表示します。

画地面積・・・杭種本数一覧

杭種情報・・・設定されている各杭種の本数が表示されます。

全杭種本数・・・全ての杭種の本数が表示されます。

画地数・・・画地数が表示されます。

総面積・・・全ての画地を合計した総面積が表示されます。

表示地目レイヤ・・・表示する地目レイヤを選択します。**全地目表示**にチェックで全ての地目レイヤを表示します。

| ID | 杭マーク | 杭種名 | 本数 |
|----|------|---------|------|
| 0 | ○ | 定義無し | 17 |
| 1 | ● | ブラ杭 | 6271 |
| 2 | △ | 鉄 | 31 |
| 5 | ■ | 境界基準ブラ杭 | 6 |
| 6 | ◎ | 交点 | 5 |
| 11 | ○ | 定義無し | 218 |
| 9 | ○ | 定義無し | 48 |
| 13 | ○ | 定義無し | 7 |
| 10 | ○ | 定義無し | 5 |

全杭種本数: 6608

画地情報
画地数: 589 総面積: 4054994.33 m²

表示地目レイヤ
1 地目レイヤ ☒ 全地目表示

杭種別座標リスト

杭種別に座標を表示します。

杭種を選択し、[ブラウザの起動] ボタンを押すと、[杭種別座標一覧] ブラウザが起動し、選択した杭種の X, Y 座標を表示します。

| ID | 色 | マーク | 杭種名 | 状態 |
|----|---|-----|---------|----|
| 0 | ○ | ● | 定義無し | 表示 |
| 1 | ● | ● | ブラ杭 | 表示 |
| 2 | △ | △ | 鉄 | 表示 |
| 3 | ■ | ■ | プレート | 表示 |
| 4 | ● | ● | 真鍮境界基準杭 | 表示 |
| 5 | ■ | ■ | 境界基準ブラ杭 | 表示 |

ブラウザの起動 キャンセル

注意: 閲覧が終了しましたら、ブラウザを終了してください。

| No. | 点名 | X座標 | Y座標 | No. | 点名 | X座標 | Y座標 | No. | 点名 | X座標 | Y座標 |
|-----|------|-----------|-----------|-----|------|-----------|-----------|-----|------|-----------|-----------|
| 1 | 1005 | 79851.567 | -7598.947 | 7 | 1011 | 80624.283 | -8304.250 | 13 | 1017 | 82102.753 | -9183.946 |
| 2 | 1006 | 79416.360 | -7954.219 | 8 | 1012 | 80688.436 | -8375.304 | 14 | 1018 | 82122.422 | -9182.915 |
| 3 | 1007 | 80046.967 | -8824.633 | 9 | 1013 | 81548.101 | -8425.069 | 15 | 1019 | 82143.883 | -9182.902 |
| 4 | 1008 | 80059.810 | -8067.445 | 10 | 1014 | 81053.737 | -8304.522 | 16 | 1020 | 82141.356 | -9114.672 |
| 5 | 1009 | 79940.385 | -7607.829 | 11 | 1015 | 81463.687 | -8737.813 | 17 | 1021 | 82104.048 | -9110.081 |
| 6 | 1010 | 79771.631 | -7581.184 | 12 | 1016 | 81682.793 | -9183.946 | | | | |

点名の抜番表示

点名頭文字の抜け番を表示します。

頭文字を入力し、調査対象番号を入力します。

[点名表示数] で表の横列の数を設定できます。

[ブラウザの起動] ボタンを押すと、[点名 抜け番表示] ブラウザが起動し、点名の抜け番を表示します。

調査対象
頭文字: k 番号: 0 ~ 300

ブラウザ設定
点名表示数(横): 20

ブラウザの起動 キャンセル

注意: 閲覧が終了しましたら、ブラウザを終了してください。

| 点名 | X座標 | Y座標 | 点名 | X座標 | Y座標 | 点名 | X座標 | Y座標 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 0 | 35 | 40 | 55 | 60 | 61 | 118 | 119 | 125 |
| 180 | 181 | 182 | 183 | 184 | 185 | 186 | 187 | 188 |
| 200 | 201 | 202 | 203 | 204 | 205 | 206 | 207 | 208 |
| 220 | 221 | 222 | 223 | 224 | 225 | 226 | 227 | 228 |
| 240 | 241 | 242 | 243 | 244 | 245 | 246 | 247 | 248 |
| 260 | 261 | 262 | 263 | 264 | 265 | 266 | 267 | 268 |
| 280 | 281 | 282 | 283 | 284 | 285 | 286 | 287 | 288 |
| 300 | | | | | | | | |

最大番号の表示

頂点名番号の最大値を表示します。

最初の表示では頭文字のない最大値を表示します。

頭文字を入力し、再検索ボタンをクリックすると、頭文字のある頂点名番号の最大値を表示します。

頭文字: 数値: 1022

再検索 閉じる

7-17 [ファイル] - [閉じる] …現在開いている図面を閉じる

メニューバーから [ファイル] - [閉じる] を選択すると、現在編集集中のファイルを閉じます。

※ 現在のデータが変更されているときには必ず保存の有無を問われます。

7-18 [ファイル] - [アプリケーションの終了] …Assist7 を終了する

メニューバーから [ファイル] - [アプリケーションの終了] を選択すると、Assist6 を終了します。

8. 作成

8-1 【作成】－【ポイント】…単独の杭を作成します。



同様

手順

1. メニューバーから【作成】－【ポイント】を選択すると、マウスカーソルが+に変わります。
2. 単点を作成する位置をクリックすると、単点を作成されます。
3. マウスの右ボタンをクリックすると単点の作成を終了します。

8-2 【作成】－【ポリライン】…連続ラインを作成します。

手順

1. メニューバーから【作成】－【ポリライン】を選択すると、マウスカーソルが+に変わります。
2. ポリラインを作成する起点をクリックし、以後クリックした位置に頂点が作成されます。図形作成中にマウスの右ボタンをクリックすると一つ前に作成した頂点を削除します。
3. ダブルクリックすると終点が決まります。
4. ポリラインの作成を終了するには、図形作成後、マウスの右ボタンをクリックします。

8-3 【作成】－【ポリゴン】…面を作成します。

手順

1. メニューバーから【作成】－【ポリゴン】を選択すると、マウスカーソルが+に変わります。
2. ポリゴンを作成する起点をクリックし、以後クリックした位置に頂点が作成されます。図形作成中にマウスの右ボタンをクリックすると一つ前に作成した頂点を削除します。
3. ダブルクリックすると、ダブルクリックした位置と始点が自動的に結合され、ポリゴンが作成されます。
4. ポリゴンの作成を終了するには、図形作成後、マウスの右ボタンをクリックします。

8-4 【作成】－【ライン上ポイント】…ライン上にポイントを作成します。



同様

手順

1. メニューバーから【作成】－【ライン上ポイント】を選択すると、マウスカーソルが+に変わります。
2. 単点を作成したい、ライン上をクリックすると、ライン上に単点を作成されます。
3. マウスの右ボタンをクリックするとライン上ポイントの作成を終了します。

8-5 [作成] - [オフセットポイント] …基準になる頂点からの移動量を表示し、ポイントを作成します。



同様

手順

1. メニューバーから [作成] - [オフセットポイント] を選択すると、マウスカースルが+に変わります。
2. 基準になる頂点を選択後、マウスを移動すると移動量（現地距離）が表示されます。作成したい位置でクリックすると、単点を作成されます。
3. マウスの右ボタンをクリックするとオフセットポイントの作成を終了します。

8-6 [作成] - [頂点上ライン] …基準になる頂点からラインとポイントを作成します。



同様

手順

1. メニューバーから [作成] - [頂点上ライン] を選択すると、マウスカースルが+カーソルに変わります。
2. 既存点をクリックし、その後は作成したい箇所でクリックすることで連続してポイントと同時にラインを作成します。
3. ダブルクリックで作成を終了します。

※エディットツールバーの **CANCEL** ですべて終了です。

8-7 [作成] - [頂点上ラインR] …既存点から既存点の間にラインを作成します。



同様

手順

1. メニューバーから [作成] - [頂点上ラインR] を選択すると、マウスカースルが+カーソルに変わります。
2. 既存点と既存点をクリックすることで連続してラインを作成し、右ボタンクリックで新しいポイントを作成します。
3. ダブルクリックで作成を終了します。

※エディットツールバーの **CANCEL** ですべて終了です。

8-8 [作成] - [角度・距離指定ライン] …角度、距離を指定してラインを作成します。

手順

1. メニューバーから [作成] - [角度・距離指定ライン] を選択すると、マウスカーソルが+カーソルに変わります。
2. 単点を作成する位置でクリックすると、[角度・線分指定]ウィンドが表示されます
3. 方向角と距離を入力し、[次へ]を選択します。
4. 3点目、4点目を入力しラインを作成します。
5. [確定]を選択して終了します。



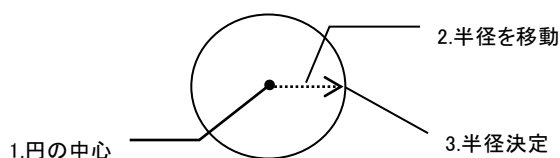
8-9 [作成] - [円] …円を作成します。

手順

1. メニューバーから [作成] - [円] - [中心・半径]・[直径2点]・[3点]・[楕円] を選択すると、マウスカーソルが+カーソルに変わります。

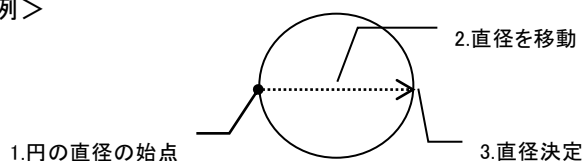
中心・半径…円の中心と半径を指定して円を作成します。

<図例>



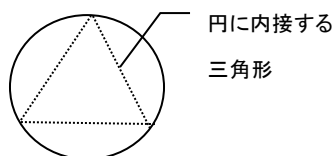
直径2点…円の直径を指定して円を作成します。

<図例>



3点…円に内接する3点から円を作成します。

<図例>



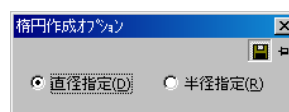
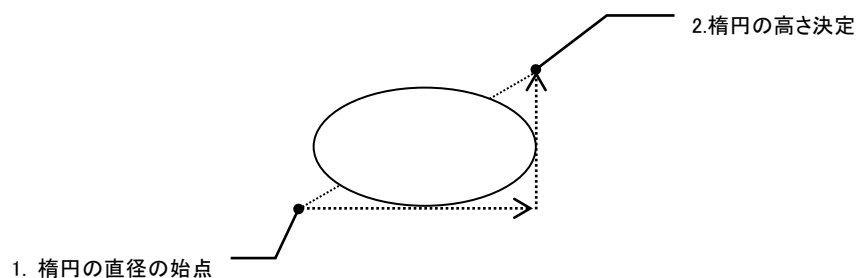
楕円…楕円を作成します。

楕円作成オプション

直径指定…直径を指定して楕円を作成します。

半径指定…半径を指定して楕円を作成します。

<図例>



2. 円を作成したい箇所に左クリックし、右クリックで作成を終了します。

※エディットツールバーの **CANCEL** でも終了します。

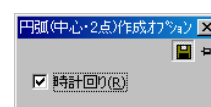
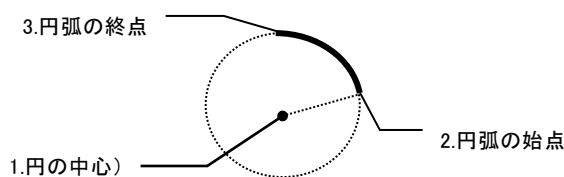
8-10 [作成] - [円弧] …円弧を作成します。

手順

1. メニューバーから [作成] - [円弧] - [中心・2点]・[3点]・[2点・半径]・[楕円弧] を選択すると、マウскарソルが+カーソルに変わります。

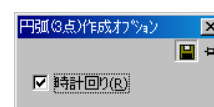
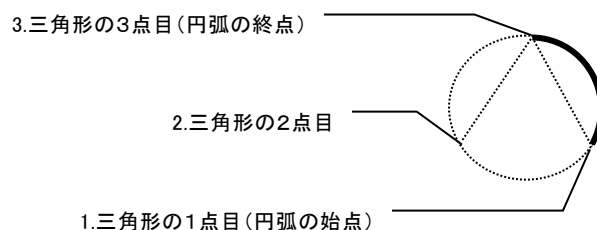
中心・2点…円弧の中心・半径・終点を指定して円弧を作成します。円弧（中心・2点）作成オプションにチェックを入れると、時計回りに作成できます。

<図例>



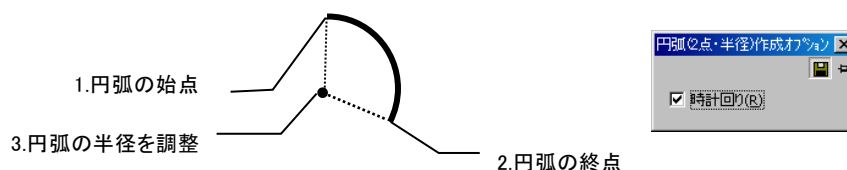
3点…円に内接する指定した3点を通過する円弧を作成します。円弧（3点）作成オプションにチェックを入れると、時計回りに作成できます。

<図例>



2点・半径…円弧の起点と終点を指定してから半径を調整して円弧を作成します。円弧（2点・半径）作成オプションにチェックを入れると、時計回りに作成できます。

<図例>



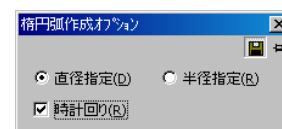
楕円弧…矩形指定で楕円を作成し、始点角指定で楕円弧を作成します。

楕円弧作成オプション

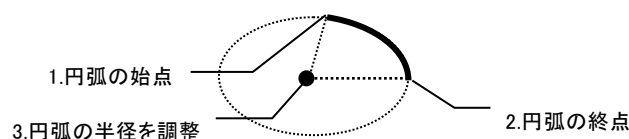
直径指定…直径を指定して楕円弧を作成します。

半径指定…半径を指定して楕円弧を作成します。

時計回り…楕円弧を時計回りに作成します。



<図例>



2. 円を作成したい箇所に左クリックし、右クリックで作成を終了します。

※エディットツールバーの **CANCEL** でも終了します。

8-11 [作成] - [自動ポリゴン化] …データ内の全ての閉図形をサーチし、ポリゴンを作ります。 同様

手順

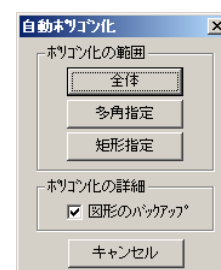
1. メニューバーから [作成] - [自動ポリゴン化] を選択すると、対象エリアの選択ダイアログが表示されます。

全体…自動ポリゴン化の対象が図面全体

多角指定…多角で囲まれた場所

矩形指定…矩形で囲まれた場所

ポリゴン化の詳細… [図形のバックアップ] にチェックを入れると、ポリゴン化前の状態のバックアップデータを作成します。





2. 多角指定と矩形指定の場合は、マウスカーソルが+に変わりますから、対象とするエリアをヒットし、最後はダブルクリックで範囲を確定します。

3. 選択した範囲内でポリゴン化を行います。


【注意】 画地の形状によって、まれには有りますが正しく閉図形が構成されているにも係らず **全体指定** で自動認識されない場合があります。その場合は、全体を **多角指定** で囲んで自動ポリゴン化を行って下さい。なお、多角指定で囲む時に、右回りと左回りの2度指示を行ってやると、より完全にポリゴン化が行えます。この後でも、画面上で閉図形が構成されているように見えてもポリゴン化が行えない場合は、杭位置にミスがあります。その場合は、[表示] - [チェック] - [非閉合点チェック]を行えば、容易にポリゴンの境界点になっていない杭を探し出すことができます。

9. 編集

9-1 [編集] - [元に戻す] …一つ前の操作を取り消します。  と同じ。

9-2 [編集] - [やり直し] …元に戻すで取り消した操作を復活します。  と同じ

9-3 [編集] - [頂点] …頂点を修正します。

9-3-1 [編集] - [頂点] - [移動] …頂点を移動します。  と同じ。

手順

1. メニューバーから [編集] - [頂点] - [移動] を選択します。
2. 移動したい点をマウスの左ボタンでクリックし、移動対象の点を選択します。
3. 再度マウスの左ボタンをクリックした位置に点が移動されます。

9-3-2 [編集] - [頂点] - [辺移動] …複数図形の辺を移動します。

手順

1. メニューバーから [編集] - [頂点] - [辺移動] を選択します。
2. カーソルが△になり、[辺移動オプション] ウィンドウが表示されます。

選択タイプ

辺指定…辺を指定します。辺と隣接する点、ラインが移動します。

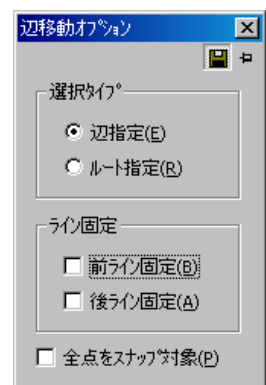
移動させたい位置にカーソルを置いてクリックで決定します。

ルート指定…移動させたい辺の頂点と頂点を選択します。ダブルクリック

で辺指定を確定し、移動させたい位置にカーソルを置いて
クリックで決定します。

ライン固定…選択したラインの前後のラインを固定します。

全点をスナップ対象…全てのポイントをスナップの対象にします。




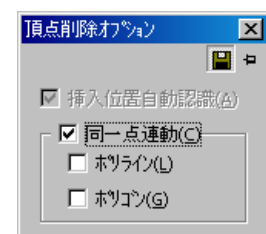
9-3-3 [編集] - [頂点] - [削除] …指定した図形の頂点を削除します。

手順

1. メニューバーから [編集] - [頂点] - [削除] を選択します。
2. カーソルが▲に変わり [頂点削除オプション] ウィンドウが表示されます。

同一点連動…隣接するポリライン、またはポリゴンを削除します。

3. 頂点を削除する図形をクリックすると、カーソルが  に変わります。
4. 削除する頂点をクリックし頂点を削除します。



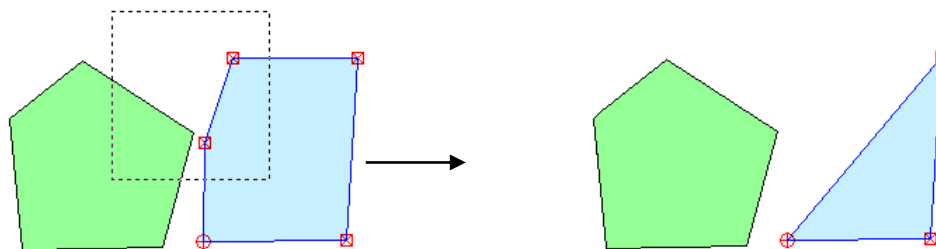
9-3-4 [編集] - [頂点] - [範囲削除] …指定した範囲の頂点を削除します。

手順

1. メニューバーから [編集] - [頂点] - [範囲削除] の [矩形] または [多角] を選択します。
2. カーソルが+に変わるので、範囲を矩形または多角で指定すると指定した範囲内の図形の頂点が削除されます。

※図形を選択してメニューバーの [編集] - [頂点] - [範囲削除] - [矩形] または [多角] を選択した場合は、選択した図形の範囲内の頂点のみが削除されます。

<図例>



図形を選択し、範囲を選択します。

選択した図形の頂点のみ削除されます。

9-3-5 [編集] - [頂点] - [順番変更] …頂点の順番を変更します。

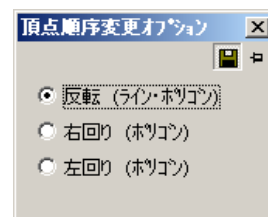
手順

1. メニューバーから [編集] - [頂点] - [順番変更] を選択します。
2. カーソルが▲に変わり [頂点順序変更オプション] ウィンドウが表示されます。

反転…指定したラインまたはポリゴンの順序を反転させます。

右回り…指定したポリゴンの順序を右回りに変更します。

左回り…指定したポリゴンの順序を左回りに変更します。



9-4 [編集] - [画地] …画地を修正します。

9-4-1 [編集] - [画地] - [分割] …指定した位置でポリゴンを分割します。

手順

1. メニューバーから [編集] - [画地] - [分割] を選択します。

2. [画地分割オプション] ウィンドウが表示されます。

切断図形自動認識…切り離す起点をクリックすると対象ポリゴンを自動で認識します。

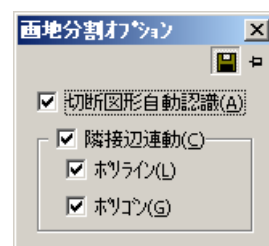
隣接辺連動…隣接する辺の頂点を同時に追加します。

ポリライン…隣接するポリラインに頂点を追加します。

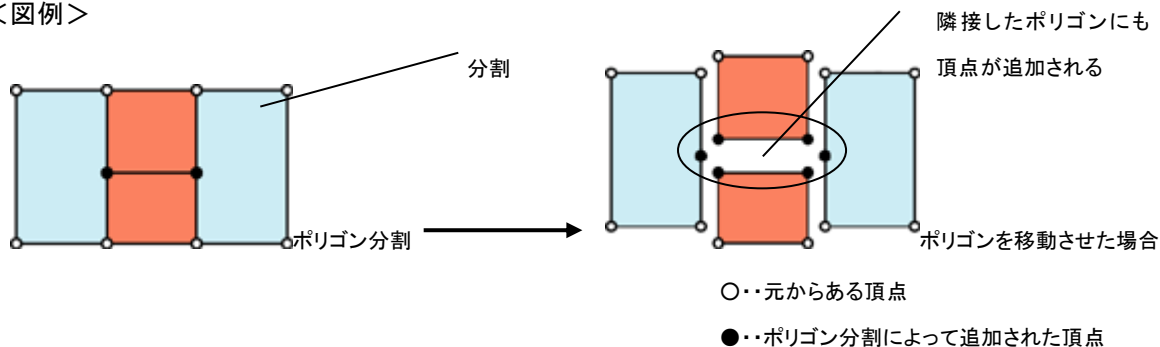
ポリゴン…隣接するポリゴンに頂点を追加します。

3. カーソルが+に変わります。

4. 切離す起点と終点をクリックすると指定したポリゴンが分割されます。



<図例>



9-4-2 [編集] - [画地] - [中抜きポリゴン] - [範囲選択] …指定した範囲内の図形を中抜きポリゴンに変換します

手順

1. メニューバーから [編集] - [画地] - [中抜きポリゴン] - [範囲選択] を選択します。

2. [中抜き画地範囲指定] ウィンドウが表示されます。

全体…図面全体を選択します。

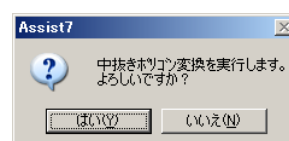
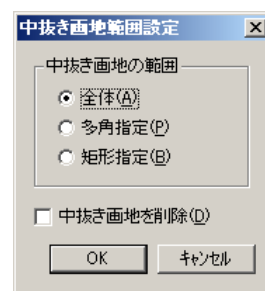
多角指定…多角で図形を囲んで範囲指定します。

矩形指定…矩形で範囲指定します。

中抜き画地を削除…中抜きポリゴンを作成した際、中抜きの画地を削除します。

3. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると、全体を選択した場合は確認メッセージが表示されます。多角指定、矩形指定を選択した場合はカーソルが+に変わるので、図形を囲むようにクリックします。

4. 確認メッセージが表示され、[OK] ボタンをクリックすると変換されます。



9-4-3 [編集]－[画地]－[中抜きポリゴン]－[図形選択]…選択した図形を中抜きポリゴンに変換します

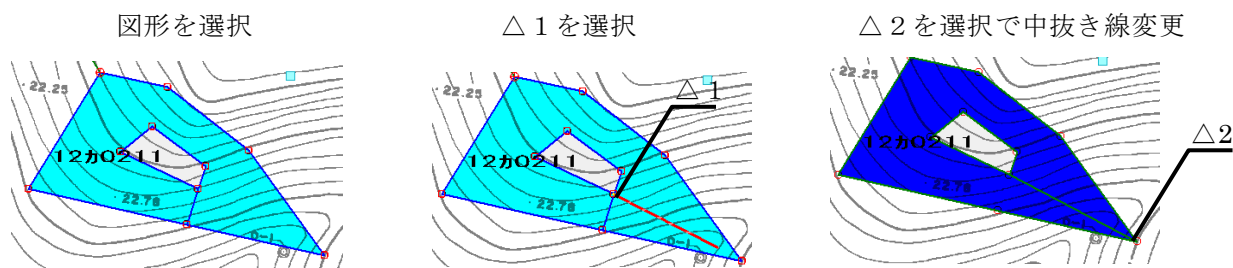
手順

1. メニューバーから[編集]－[画地]－[中抜きポリゴン]－[図形選択]を選択します。
2. カーソルが△1に変わるので、図形1（外側の大きいポリゴン）を選択します。
3. カーソルが△2に変わるので、中抜きする図形2（内側のポリゴン）を選択します。
4. カーソルが●に変わります。図形1と図形2で中抜き線を作成するポイントを選択します。
5. 図形が中抜きポリゴンに変換されます。

9-4-4 [編集]－[画地]－[中抜き線変更]…中抜きポリゴンの中抜き線を変更します。

手順

1. メニューバーから[編集]－[画地]－[中抜き線変更]を選択します。
2. カーソルが▲に変わるので、図形を選択します。
3. カーソルが△に変わるので、変更する中抜きする線を選択します。
4. カーソルが△1に変わるので、中抜き線を作成する内側のポリゴンの頂点を選択します。
5. カーソルが△2に変わるので、中抜き線を作成する外側のポリゴンの頂点を選択します。
6. 中抜き線が変更されます。



9-4-5 [編集]－[画地]－[始終点変更]…画地の始終点を変更します。

手順

1. メニューバーから[編集]－[画地]－[始終点変更]を選択します。
2. カーソルが▲に変わるので、図形を選択します。
3. カーソルが△に変わるので、始終点を変更したいポイントを選択します。
4. 始終点は変更されます。

9-4-6 [編集] - [画地] - [面積分割] …指定した面積でポリゴンを分割します。

手順

1. メニューバーから [編集] - [画地] - [面積分割] を選択します。
2. カーソルが▲になるので、ポリゴンを選択します。
3. カーソルが✚に変わります。切離す起点と終点をクリックすると指定します。
4. [面積分割] ウィンドウが表示されます。
5. 分割面積、誤差範囲を入力します。
6. 実行を選択すると面積分割が行なわれます。

| 分割基準線 | |
|-----------|--------------|
| 始点X座標(X): | 80522.448 |
| 始点Y座標(Y): | -7990.726 |
| 終点X座標(Q): | 79860.335 |
| 始点Y座標(W): | -8583.717 |
| 角度(A): | 221°50'51.95 |

| 分割条件 | |
|----------|--------------|
| 分割面積(S): | 767561.58 m² |
| 誤差範囲(M): | 0.01 m²以下 |

再設定(B) 実行(E) 取消(C)

9-4-7 [編集] - [画地] - [合成] …指定したポリゴンを合成します。

手順

1. メニューバーから [編集] - [画地] - [合成] を選択します。
2. カーソルが▽¹になるので、ポリゴンを選択します。
3. カーソルが▽²になるので、合成したいポリゴンを選択します。
4. 図形が合成されます。

9-5 [編集] - [テキスト] …テキストを修正します。

9-5-1 [編集] - [テキスト] - [編集] …テキストを編集します。

手順

1. メニューバーから [編集] - [テキスト] - [編集] を選択します。
2. カーソルが▲になり、[テキスト編集] ウィンドウが表示されます。テキストを選択し、フォント、色、文字サイズ、テキスト内容を変更し、[確定] をクリックします。
そのまま他のテキストを選択し、編集できます。
3. 変更終了後、[終了] ボタンをクリックします。

ここをクリックして
フォント選択

ここをクリックして
色編集

| テキスト編集 | |
|----------|-----------|
| フォント | MSゴシック |
| 縦(Y): | 10.000 mm |
| 角度(A): | 0.000 度 |
| テキスト(T): | TEXT |

確定 終了

9-5-2 **【編集】－【テキスト】－【矩形】**…矩形で指定した範囲内のテキストを一括で変更します。変更しない項目の設定は維持されます。

手順

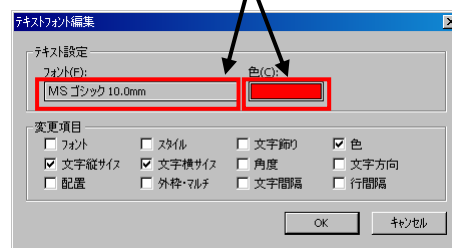
1. メニューバーから**【編集】－【テキスト】－【矩形】**を選択します。
2. カーソルが+に変わるので、変更するテキストの範囲を矩形で指定します。
3. **【テキストフォント編集】**ウィンドウが表示されます。

テキスト設定…サイズ・角度・スタイル・フォント・色・文字飾りを指定します。

変更項目…テキスト設定の内容で変更する項目を選択します。

4. 設定終了後、**【OK】** ボタンをクリックすると指定した範囲のテキストを変更します。

編集－テキスト－編集を参照



9-5-3 **【編集】－【テキスト】－【多角】**…多角で指定した範囲内のテキストを一括で変更します。変更しない項目の設定は維持されます。

手順

1. メニューバーから**【編集】－【テキスト】－【多角】**を選択します。
- 前述 9-5-2 **【編集】－【テキスト】－【矩形】** 同様、テキストを編集します。

9-5-4 **【編集】－【テキスト】－【レイヤ】**…指定したレイヤのテキストの設定を一括で変更します。

手順

1. メニューバーから**【編集】－【テキスト】－【レイヤ】**を選択します。
2. **【テキストレイヤ編集】**ウィンドウが表示されます。
レイヤを選択し、フォント、色、文字サイズ、テキスト内容を変更します。

レイヤ設定…編集するテキストのレイヤを指定します。

レイヤ番号…デフォルトのレイヤが表示されます。レイヤを指定します。

テキスト存在チェック…指定したレイヤ内の編集可能なテキストの存在チェックをします。

存在する場合は件数を表示します。

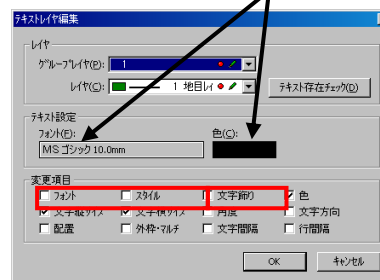
※指定しているレイヤが非表示、又は編集不可の場合は編集不可ですので、
編集可能なテキストは存在しない事となります。

テキスト設定…サイズ・角度・スタイル・フォント・色・文字飾りを指定します。

変更項目…テキスト設定の内容で変更する項目を選択します。

3. 設定終了後、**【OK】** ボタンをクリックすると指定したレイヤのテキストを変更します。

編集－テキスト－編集を参照



9-5-5 [編集]－[テキスト]－[多角指定テキスト移動]…多角指定したテキストを移動します。

手順

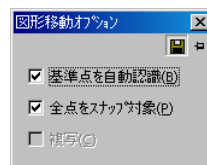
1. メニューバーから [編集]－[テキスト]－[多角指定テキスト] を選択します。
2. カーソルが+に変わるので、範囲を多角で指定すると指定した範囲内のテキストが移動されます。

9－6 [編集]－[選択図形]…選択図形を編集します。

9-6-1 [編集]－[選択図形]－[図形移動]…指定した図形を移動します。

手順

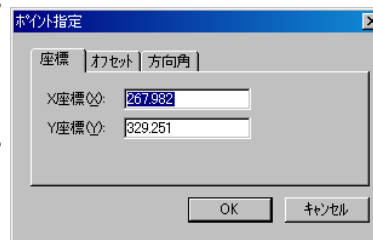
1. メニューバーから [編集]－[選択図形]－[図形移動] を選択します。
2. マウスカursorが▲に変わり、[図形移動オプション] ウィンドウが表示されます。



基準点を自動認識…基準点を自動で認識します。

全点をスナップ対象…全てのポイントをスナップの対象にします。

3. 移動する図形をクリックします。カーソルが△に変わります。
4. 移動する基準点をクリックするとカーソルに図形が表示されます。
5. 移動する位置でクリックまたはカーソルを移動して図形の移動方向を決定します。
6. 数値入力での移動をする場合は、キーボードの [スペースキー] を押します。



[ポイント指定] ウィンドウが表示されます。

座標タブ…移動する位置のX、Y座標を入力します

オフセットタブ…X、Y座標のオフセット値を入力します。

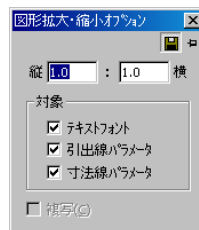
方向角タブ…方向角、距離を入力します。

7. [OK] ボタンをクリックすると、指定した距離分図形が移動します。

9-6-2 [編集]－[選択図形]－[図形拡大・縮小]…指定した図形を拡大・縮小します。

手順

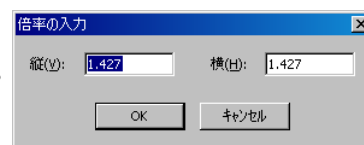
1. メニューバーから [編集]－[選択図形]－[図形拡大・縮小] を選択します。
2. マウスカursorが▲に変わり、[図形拡大・縮小オプション] ウィンドウが表示されます。



縦：横…拡大・縮小の縦比率を入力します。

対象…テキストフォント、引出線パラメータ、寸法線パラメータにチェックを入れると、併せて拡大・縮小します。

3. 拡大・縮小する図形をクリックすると、カーソルが+に変わります。
4. 拡大・縮小する基準点をクリックし、カーソルを移動して図形を拡大・縮小します。クリックすると図形の大きさが決定します。
5. 倍率を数値入力で変更する場合は [スペースキー] を押します。
[倍率の入力] ウィンドウが表示されるので、縦、横倍率を入力します。
6. [OK] ボタンをクリックすると、拡大・縮小が決定します。



9-6-3 [編集]－[選択図形]－[図形回転]…指定した図形・テキストを自由な支点で回転させます。

手順

1. メニューバーから [編集]－[選択図形]－[図形回転] を選択します。
2. マウスカursorが▲に変わるので、回転する図形・テキストをクリックします。
3. カーソルが+に変わるので、回転する図形の軸となるポイントをクリックします。
4. 回転させる支点をクリックします。選択した図形以外の位置にも支点を指定できます。
また、[スナップバー] の [頂点] 機能を使って図形の頂点、中心に支点を指定できます。
5. カーソルが☞に変わるので、マウスで回転させ、クリックすると図形・テキストが回転します。

9-7 [編集] - [削除] …図形を削除します。

9-7-1 [編集] - [削除] - [図形削除] …図形を削除します。

削除したい図形をマウスの左ボタンでクリックすると削除されます。ポリゴン、ライン削除の場合は構成点が残ります。ポリゴン、ラインの構成点を削除した時は、残りの構成点でポリゴン・ラインが残ります。

9-7-2 [編集] - [削除] - [ポイント削除] …ポイントを削除します。 と同じ。

削除したい点をマウスの左ボタンでクリックすると削除されます。この時に、削除された点がポリゴンの構成点の場合も、ポリゴンは残ります。

9-7-3 [編集] - [削除] - [一辺削除] …線を削除します。 と同じ。

削除したい線をマウスの左ボタンでクリックすると削除されます。この時に、削除された線がポリゴンの構成線の場合は、ポリゴン状態が解除されます。

9-8 [編集] - [多角指定図形削除] …指定した多角形内の図形を削除します。

手順

1. メニューバーから [編集] - [多角指定図形削除] を選択します。
2. マウскарソルが+に変わります。
3. 削除したい場所をクリックし、最後はダブルクリックすると、多角形が決定され範囲内のデータが削除されます。

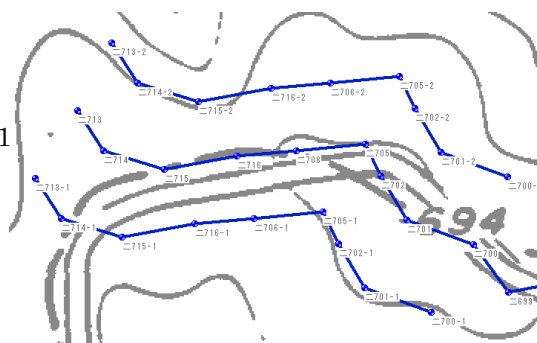
9-9 [編集] - [多角指定コピー] …指定した多角形内の図形をコピーします。 コピーした点名は2種類の方法で自動作成します。

手順

1. メニューバーから [編集] - [多角指定コピー] を選択します。
2. マウスイカーソルが+に変わります。
3. コピーしたい図形を囲むように場所をクリックし、最後はダブルクリックすると、コピー範囲が決定されます。
4. 移動基準になる場所をクリックし、移動先を再度クリックすると、コピー図形を表示します。
5. 続けてコピーを行う場合は、移動先を再度クリックします。

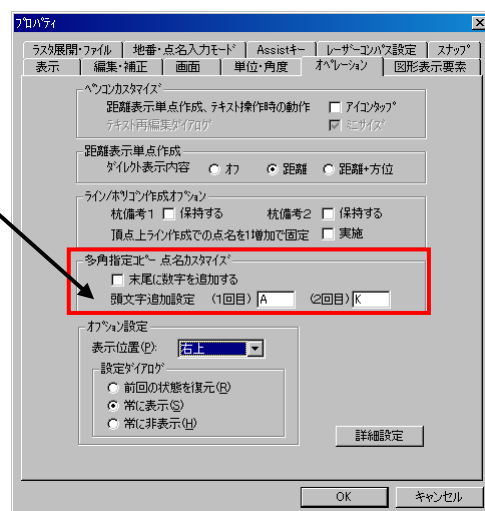
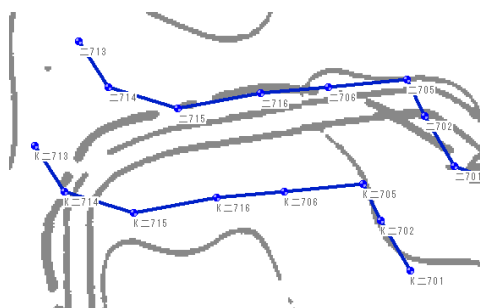
末尾に数字を追加する動作と頭文字を追加する動作の2種あります。設定はメニューバー [ツール] - [プロパティ] - [オペレーション] で行います。

1. 末尾に数字を追加…1回目のアクションで、
元点名に -1 を 2回目のアクションで-2を
自動でつける。
右例 1回目のアクションで ニ705 → ニ705-1
2回目のアクションで ニ705 → ニ705-2



2. 頭文字を追加…1回目のアクションで、
元点名の頭に 右例ではA を
2回目のアクションでは、元点名の頭に 右例ではK2
をつける。

手順は 前述の末尾に数字を追加 と同じです。



【注意】 このアクション終了時には、同一名称チェックは行われません。1回のアクションしかない場合も2回目の頭文字欄には記入が必要です


9-10 [編集] - [多角指定移動] …指定した多角形内の図形を移動します。

手順

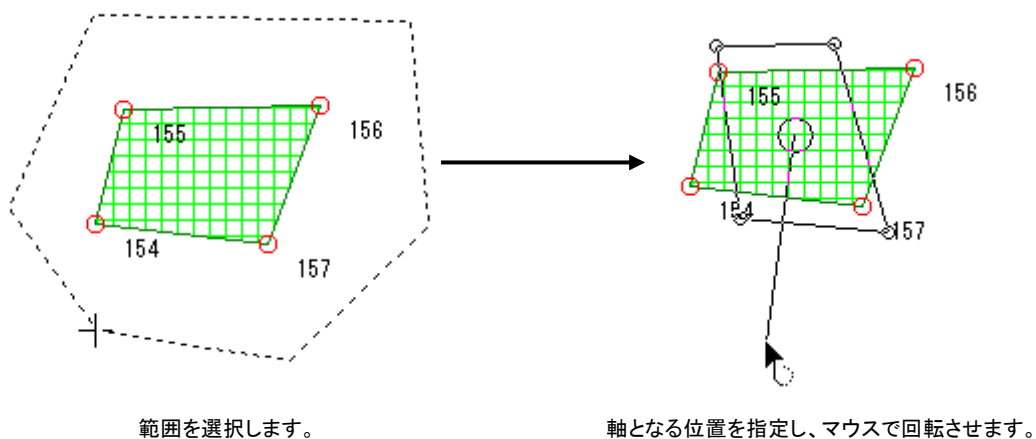
1. メニューバーから [編集] - [多角指定移動] を選択します。
2. マウスカースルが+に変わります。
3. 移動したい図形を囲むように場所をクリックし、最後はダブルクリックすると、移動範囲が決定されます。
4. 移動基準になる場所をクリックし、移動先を再度クリックすると、移動範囲内の全ての図形が移動します。

9-11 [編集] - [多角指定回転] …指定した多角形内の図形を回転します。

手順

1. メニューバーから [編集] - [多角指定回転] を選択します。
2. マウスカースルが+に変わります。
3. 移動したい図形を囲むように場所をクリックし、最後にダブルクリックすると、回転範囲が決定されます。
4. 回転する図形の軸となる位置をクリックします。
5. 回転させる支点をクリックします。選択した図形以外の位置にも支点を指定できます。
また、[スナップバー] の [頂点] 機能を使って図形の頂点、中心に支点を指定できます。
6. カーソルが  に変わるので、マウスで回転させ、クリックすると多角指定した図形箇所が回転します。

<図例>

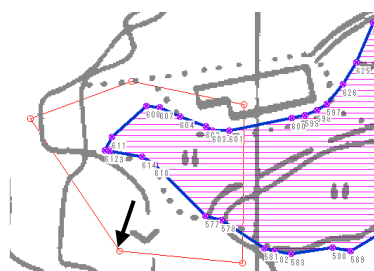


9-12 [編集] - [多角指定二点] …指定した多角形内の図形を移動します。

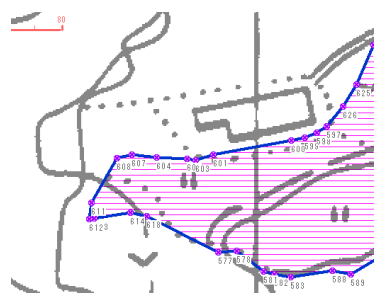
移動元、移動先を各々2点指示することによって、拡大・縮小・回転も可能です。

手順

1. メニューバーから[編集] - [多角指定二点]を選択します。
2. マウスカースオルが+に変わります。
3. 移動したい図形を囲むように場所をクリックし、最後はダブルクリックすると、移動範囲が決定されます。
4. 1点目の移動基準になる場所をクリックし、移動先を再度クリックし、続けて2点目の移動基準になる場所をクリックし、移動先を再度クリックすると、移動範囲内の全ての点が基準となる2点にしたがって、回転や拡大縮小を行います。



右図の例は、1点目の移動元、移動先は固定し、2点目の移動元と移動先を与えることで図形回転を行った。



9-13 [編集] - [多角指定移動2] …指定した多角形内の図形を移動します。 (編集不可図形も含む)

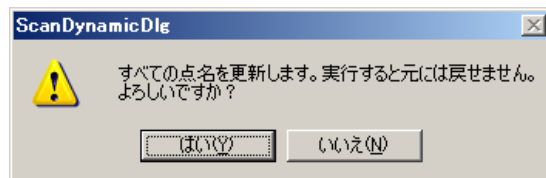
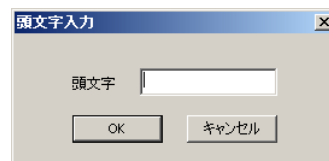
手順

1. メニューバーから[編集] - [多角指定移動2]を選択します。
2. マウスカースオルが+に変わります。
3. 移動したい図形を囲むように場所をクリックし、最後はダブルクリックすると、移動範囲が決定されます。
4. 1点目の移動基準になる場所をクリックし、移動先を再度クリックすると移動範囲内の全ての点が移動します。

9-14 [編集] - [全頂點頭文字追加] …全頂点の頭文字を変更いたします。

手順

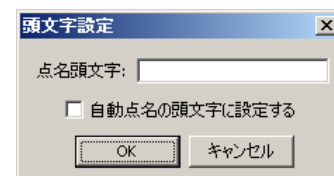
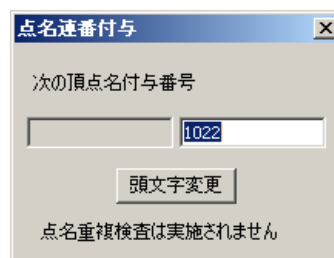
1. メニューバーから [編集] - [全頂點頭文字追加] を選択します。
2. [頭文字入力] ウィンドウが表示されます。
3. 追加したい点名を入力し、OKを選択します。
4. [ScanDynamicDlg] ウィンドウが表示されます。
5. はいを選択すると全頂点の頭文字が変更されます。



9-15 [編集] - [点名連番付与] …頂点をクリックして点名に連番を付与します。

手順

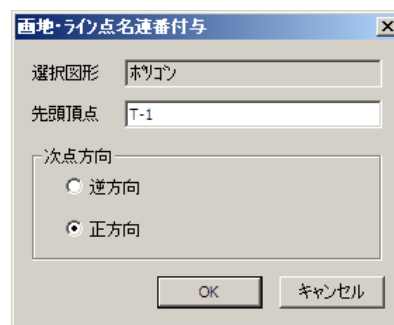
1. メニューバーから [編集] - [点名連番付与] を選択します。
2. [点名連番付与] ウィンドウが表示されます。
頭文字変更…頭文字の変更を行います。
自動頭文字に設定する…頭文字を [ツール] - [プロパティ] の「杭番号頭文字」に設定します。
3. 点名を入力し、頂点をクリックすると点名が変更されます。



9-16 [編集] - [画地・ライン点名連番付与] …画地、ラインに点名を連番で付与します。

手順

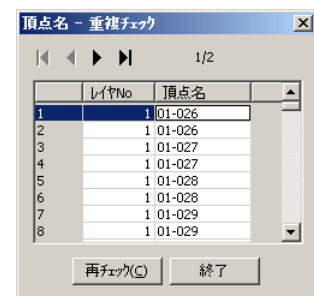
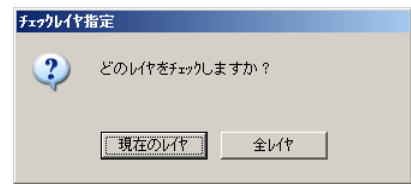
1. メニューバーから [編集] - [画地・ライン点名連番付与] を選択します。
2. マウスカーソルが▲になります。画地もしくはラインを選択します。
3. マウスカーソルが△になります。開始頂点を選択します。
4. [画地・ライン点名連番付与] ウィンドウが表示されます。
開始頂点を入力し、連番回転方向を選択し、[OK] を選択します。



9-17 [編集] - [点名重複チェック] …点名の重複チェックをします。

手順

1. メニューバーから[編集] - [点重複チェック]を選択します。
2. [チェックレイヤ指定] ウィンドウが表示されます。
3. チェックしたいレイヤを選択します。
4. [頂点名-重複チェック] ウィンドウが表示され、重複している点名が表示されます。



9-18 [編集] - [オブジェクト] …オブジェクトを作成、編集します。

9-18-1 [編集] - [オブジェクト] - [オブジェクトの作成と貼り付け] …選択したファイル内容をオブジェクトとして貼り付けます。

手順

1. メニューバーから[編集] - [オブジェクト] - [オブジェクトの作成と貼り付け]を選択します。
2. オブジェクトの挿入ウィンドウが開くので、新規で作成する場合は[新規作成]にチェックを入れ、オブジェクトの種類を選んでデータを作成します。作成されたデータは画面の左上に貼り付けられます。
データ入力済みのオブジェクト（他アプリケーションのファイル）を貼り付ける場合は[ファイルから作成]にチェックを入れ、オブジェクトとして貼り付けたいデータを選択し[OK]をクリックします。その際、[リンク]にチェックを入れると元データが変更された場合、貼り付けたデータも変更されます。
また、[アイコンで表示]にチェックを入れると、画面上のデータがアイコンで表示になります。



手順

- 今すぐ更新…リンク先から更新します。

リンク元を開く…設定されているリンク元を開きます。

リンク元の変更…リンク元を変更します。[リンク元の変更]

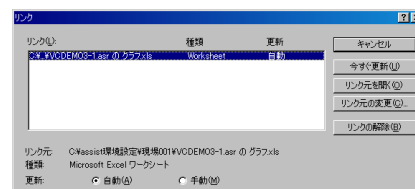
ウィンドウが表示されますのでリンク元を選択して「開く」ボタンをクリックします。

リンクの解除…リンクを解除します。

更新…リンク元のファイルを変更した時の更新方法を選択します。

「自動」を選択すると、リンクされているファイルを変更したときに自動で更新します。

[手動] を選択すると、[今すぐ更新] ボタンをクリックしたときに更新します。



3. [キャンセル] ボタンをクリックすると終了します。


手順

1. オブジェクトを選択し、メニューバーから [編集] - [オブジェクト] - [オブジェクト] を選択します。
2. 貼り付けたオブジェクトのアプリケーションが起動します。
3. オブジェクトを編集します。

手順

1. 削除するオブジェクトを選択します。
2. メニューバーから [編集] - [オブジェクト] - [OLE クリア] を選択します。
3. オブジェクトが削除されます。

手順

1. メニューバーから [編集] - [コピー(クリップボード)(1)] を選択します。
2. マウскарソルが  に変わります。
3. コピーしたい図形を囲むように選択すると、クリップボードに選択範囲がコピーされます。

9-20 [編集] - [ライン指示編集] …ラインを指定し線種、色などを変更します。

手順

1. メニューバーから [編集] - [ライン指示編集] を選択します。
2. マウスカursorが頂点選択カーソルに変わります。
3. 2点以上の頂点を選択し、1点目の次の点をクリックしてラインを決定します。
4. 選択した頂点から頂点までのラインが強調され、ライン指示編集ウィンドウが(ア)開きます。
5. 編集内容を選択し、変更終了後、終了ボタンをクリックします。

[線種変更] ラインの種類を変更します。

[色変更] ラインの色を変更します。

[線幅変更] ラインの幅を変更します。

[杭種変更] 杭の種類を変更します。

[移動 (2点指定)] 1点目に移動基準になる場所を指定し、
2点目に移動先を再度クリックすると、基準となる
2点目にしたがってラインが回転や拡大縮小します。

[移動 (1軸指定)] 回転の軸になる場所をクリックし、続けて角度基準になる場所をクリック、移動先を再度クリックすると、基準となる軸にしたがって、ラインが回転します。

[移動 (平行移動)] 1点目から2点目にかけて平行に移動させたい位置をクリックすると、基準となる方向、距離にラインが平行移動します。

[連続線 (平行コピー)] 距離、杭種を入力するウィンドウが表示され、
数値を入力すると、選択したラインから入力した
距離のところに平行線が作成されます。

[一本化] 選択したラインを一本化します。

[高さ付与] ラインに高さを設定します。始点と終点に高さを入力します。
間の頂点は自動的に高さ計算されます。

[均等距離計算] 選択したラインの頂点間の距離を均等にします。

ライン指示編集

| |
|------------|
| 線種変更 |
| 色変更 |
| 線幅変更 |
| 杭種変更 |
| 移動(2点指定) |
| 移動(1軸指定) |
| 移動(平行移動) |
| 連続線(平行コピー) |
| 一本化 |
| 高さ付与 |
| 均等距離計算 |
| 野帳CSV |
| ライン指示 |
| 削除 |
| 終了 |

頂点数: 2
水平距離: 1074.843
斜距離: 1074.843

線種変更

| |
|------|
| 実線 |
| 点線 |
| 破線 |
| 1点鎖線 |
| 2点鎖線 |

OK キャンセル

実ラインとの距離を入力

選択ラインからの距離: 5.0 m

進行方向に対して: ☒ 左 ☐ 右

杭種: 定義無し

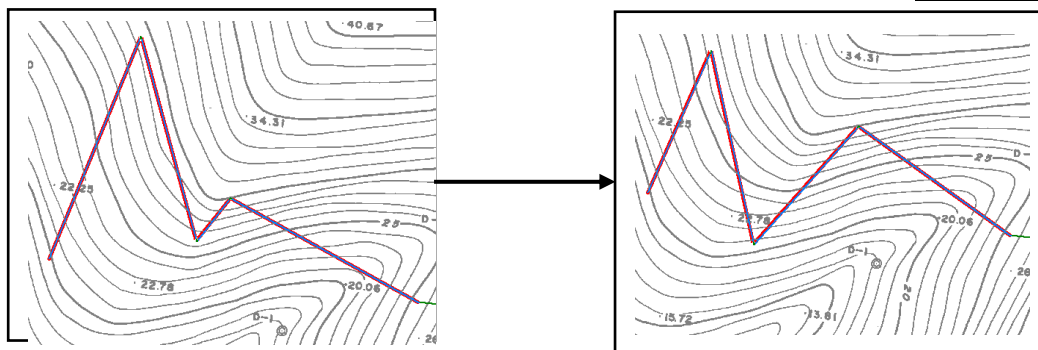
OK キャンセル

標高付与

始点標高: 0.000 m

終点: 0.000 m

OK キャンセル



[野帳 CSV] 選択したラインのデータを CSV 出力します。

[ライン指示] マウスカursorが頂点選択カーソルに変わり、ラインを選択しなおせます。

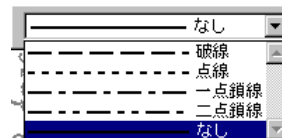
[削除] 選択したラインを削除します

[終了] ライン指示編集を終え、通常データ作成モードに戻ります。

9-21 **〔編集〕－〔線種変更〕**…線種を実線、点線で切り替えます。と同じ。

変更したい線をマウスの左ボタンでクリックすると実線を点線に切り替えます。線の種類は線種変更バーで切り替えできます。

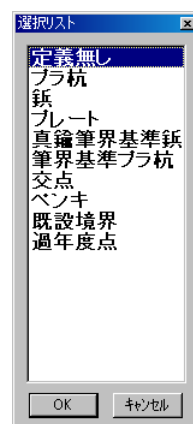
※線種変更バーはメニューバー〔表示〕－〔ツールバー〕－〔線種変更バー〕で表示・非表示にできます。



9-22 **〔編集〕－〔多角指定杭種一括設定〕**…指定した多角形内の杭種を一括で変更します。

手順

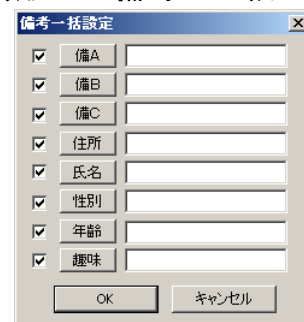
1. ニューバーから〔編集〕－〔多角指定杭種一括設定〕を選択します。
2. カーソルが+に変わるので、図形を囲むように場所をクリックします。
3. 選択リストが表示されるので、杭種を選択します。
4. 選択範囲内の杭種が一括で変更されます。



9-23 **〔編集〕－〔多角指定備考一括設定〕**…指定した多角形内の備考を一括で変更します。

手順

1. ニューバーから〔編集〕－〔多角指定備考一括設定〕を選択します。
2. カーソルが+に変わるので、図形を囲むように場所をクリックします。
3. 選択リストが表示されるので、備考を選択します。
4. 選択範囲内の備考が一括で変更されます。



10. テキスト

10-1 [テキスト] - [作成] …テキストを作成します。

10-1-1 [テキスト] - [作成] - [テキスト] …テキストを作成します。

手順

1. メニューバーから [テキスト] - [作成] - [テキスト] を選択します。

2. [テキスト作成] ウィンドウが表示されます。

[登録フォント]…登録されているフォントを選択できます。

[フォント名]…フォントの種類を選択します。

[スタイル]…文字のスタイルを選択します。

[文字飾り]…作成する文字に文字飾りをつけるときに選択します。

[文字方向]…横書きか縦書きか選択します。

[色]…テキストの色を選択します。

[テキスト]…文字を入力します。

[文字サイズ]…文字の縦・横のサイズを入力します。

[外枠]…作成する文字に外枠をつけるときに選択します。

[囲み]…作成する文字に矩形または円をつけるときに選択します。

[外枠サイズ]…外枠のサイズを選択します。

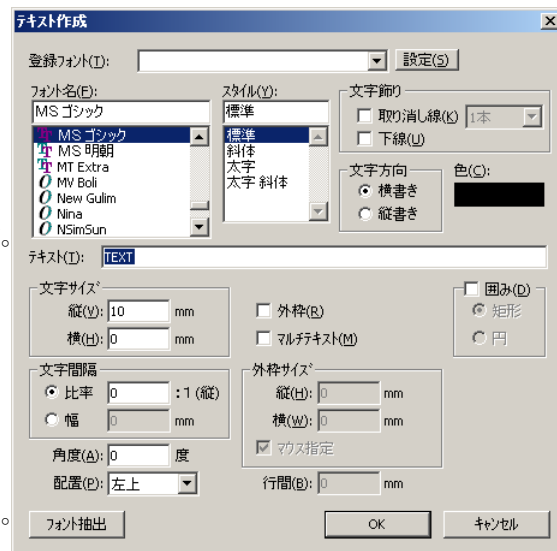
[文字間隔]…文字間の間隔を入力します。

[角度]…文字の角度を入力します。

※ ツール [ユーザー定義] - [単位・角度] で指定した文字の角度を0度とします。

[配置]…文字の表示場所を選択します。

[行間]…行間の入力を行ないます。



3. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると、テキストが作成されます。

10-1-2 [テキスト] - [作成] - [距離テキスト作成] …距離テキストを作成します。

手順

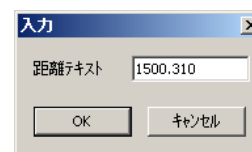
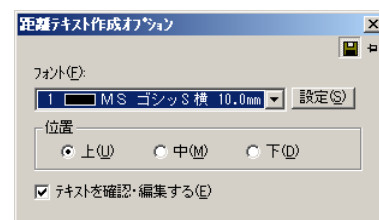
1. メニューバーから [テキスト] - [作成] - [距離テキスト作成] - [辺指定] または [2点指定] を選択します。

2. [距離テキスト作成オプション] ウィンドウが表示されます。

3. マウスカーソルが▲、もしくは+に変わるので、距離テキストを作成したい辺もしくは2点を指定します。

4. [入力] ウィンドウが表示されます。表示させたい数値を入力します。

5. 入力後、[OK] ボタンをクリックすると、テキストが作成されます。



10-2 [テキスト] — [個別選択編集] …個別で選択したテキストを編集します

手順

1. メニューバーから [テキスト] — [個別選択編集] を選択します。
2. マウスカーソルが▲に変わるので、編集するテキストを選択します。
3. [テキスト編集]ウィンドウが表示されます。

[移動]…テキストを移動します。

[回転]…テキストを回転します。

[削除]…テキストを削除します。

[コピー]…テキストをコピーします

[引出し線]…テキストに引出し線を追加します。

[引出し線削除]…テキストの引き出し線を削除します。

[再編集]…テキストの再編集を行ないます。

[他レイヤへコピー]…テキストを他レイヤにコピーします。

[他レイヤへ移動]…テキストを他レイヤに移動します。

[任意テキストへ変換]…選択したテキストを変換します。

[終了]…個別選択編集を終了します。



10-3 [テキスト] — [多角指定選択編集] …多角指定し選択したテキストを編集します

手順

1. メニューバーから [テキスト] — [多角指定選択編集] を選択します。
2. マウスカーソルが+に変わるので、図形を囲むように場所をクリックします。
3. 編集するテキストを選択します。
4. [テキスト編集]ウィンドウが表示されます。

[移動]…テキストを移動します。

[回転]…テキストを回転します。

[削除]…テキストを削除します。

[コピー]…テキストをコピーします

[引出し線]…テキストに引出し線を追加します。

[引出し線削除]…テキストの引き出し線を削除します。

[再編集]…テキストの再編集を行ないます。

[他レイヤへコピー]…テキストを他レイヤにコピーします。

[他レイヤへ移動]…テキストを他レイヤに移動します。

[任意テキストへ変換]…選択したテキストを変換します。

[終了]…個別選択編集を終了します。



10-4 [テキスト] - [角度変更] …文字の表示角度を変更します。

手順

1. メニューバーから [テキスト] - [角度変更] を選択します。
2. [要素-角度変更] ウィンドウが表示されます。

編集対象要素…編集対象要素を選択し、角度を入力します。

編集対象範囲…編集対象範囲を選択します。

単体指定… [OK] ボタンをクリックするとカーソルが▲になります。編集する図形をクリックし表示角度を変更します。

全体指定… [OK] ボタンをクリックすると図面全体の図形の表示角度が変更されます。

矩形指定、多角指定… [OK] ボタンをクリックするとカーソルが+に変わります。範囲を指定すると範囲内にある図形の表示角度が変更されます。

回転方法…属性表示回転の方法を選択します。

基準点…左上、右上、右下、左下中心から選択できます。ここで選択した点が回転基準点になります。

属性を一点で回転…属性の回転基準矩形が属性全体の外接矩形となり、属性全体を回転します。

編集対象図形…編集対象図形を選択します。

3. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると、文字位置を変更します。



10-5 [テキスト] - [位置変更] …文字の表示位置を変更します。長方形に近い図形を対象にします。それ以外の図形は、正しい位置に表示されない場合があります。

手順

1. メニューバーから [テキスト] - [位置変更] を選択します。
2. [要素位置変更] ウィンドウが表示されます。

地番・面積・属性…表示位置を変更する項目のチェックボックスをONにし、表示位置を選択します。

表示位置はユーザー定義位置と画地の頂点4つと重心（画地の真中）と現在位置から指定した位置を選択します。

編集対象範囲…編集対象範囲を選択します。

単体指定… [OK] ボタンをクリックするとカーソルが▲に変わります。編集する図形をクリックし表示位置を変更します。

全体指定… [OK] ボタンをクリックすると図面全体の図形の表示位置が変更されます。

矩形指定、多角指定… [OK] ボタンをクリックするとカーソルが+に変わります。範囲を指定すると範囲内にある図形の表示位置が変更されます。

オフセット…指定した位置からのオフセット値を指定します。

間隔…画地の重心からの間隔を指定します。



3. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると、文字位置を変更します。

10-6 [テキスト] - [引出し線] …文字に引出し線を作成します。

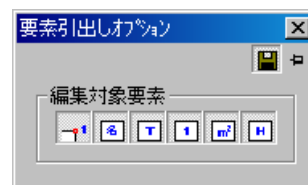
手順

1. メニューバーから [テキスト] - [引出し線] を選択します。
2. カーソルが▲に変わります。
3. [要素引出しオプション] ウィンドウが表示されます。

編集対象要素を指定します。

4. 引出し線を設定する文字をクリックします。
5. カーソルが+に変わります。
6. 引出し線をポリラインで作成すると、文字が移動します。

※引出し線の色は、対象図形のレイヤと同じです。



10-7 [テキスト] - [自動配置] …地番・点名が図形のラインと重ならないように自動配置します。

手順

1. メニューバーから [テキスト] - [自動配置] を選択します。
2. [要素自動配置オプション] ウィンドウが表示されます。
3. カーソルが▲に変わるので、図形をクリックまたは矩形で範囲指定します。

地番…地番を自動配置の対象にします。

他の要素も連動…地番以外の要素も連動します。

地番を回転…図形ラインとの重なりを避けて回転します。

地番フォントサイズを変更…50～90%までのフォントの縮小サイズを選択します。

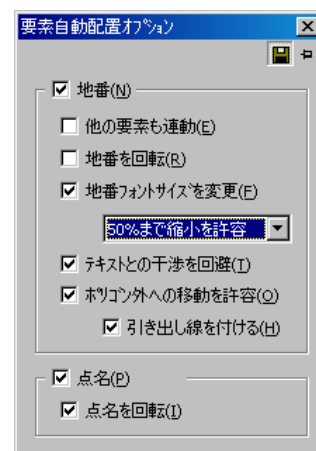
テキストとの干渉を回避…テキストとの重なりを回避します。

ポリゴン外への移動を許容…ポリゴン内から外への移動を許容します。

引き出し線を付ける…ポリゴン外へ移動したときに引き出し線をつけます。

点名…点名を自動配置の対象にします。

点名を回転…図形ラインとの重なりを避けて回転します。



10-8 [テキスト] - [テキスト重なりチェック] …テキストの重なりをチェックします。

手順

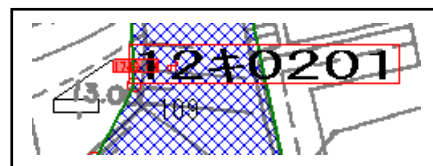
1. メニューバーから [テキスト] - [テキスト重なりチェック] を選択します。
2. [正規化] ウィンドウが表示され、重なり合っているテキストの数が表示されます。



…次または前の重なったテキストに移動します。



…最初または最後の重なったテキストに移動します。



3. 重なったテキストを移動先でクリックします。
重なりが解消された状態で再正規化をクリックすると再度重なりをチェックします。

10-9 [テキスト] - [文字サイズ変更 (スケール指定)] …文字のサイズ、色変更します。

手順

1. メニューバーから [テキスト] - [文字サイズ変更 (スケール指定)] を選択します。
2. [要素サイズ設定] ウィンドウが表示されます。

サイズ変更する項目にチェックを入れます。

色…文字の色を変更します。

縦 (要望) …縦のサイズを入力します。

横 (要望) …横のサイズを入力します。

縦 (結果) …スケール計算後の縦のサイズを表示します。

横 (結果) …スケール計算後の横のサイズを表示します。

スケール (要望) …スケールを入力します。

計算…入力したスケールにあわせて文字の縦横サイズを計算します。



3. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると、文字のサイズ、色が変更されます。

10-10 [テキスト] - [属性変換] …地目、所有者等を属性に変換します。

手順

1. メニューバーから [テキスト] - [属性変換] を選択します。
2. [属性変換] ウィンドウが表示されます。

転送あり…選択した項目を属性に変換します。

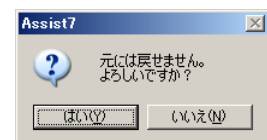
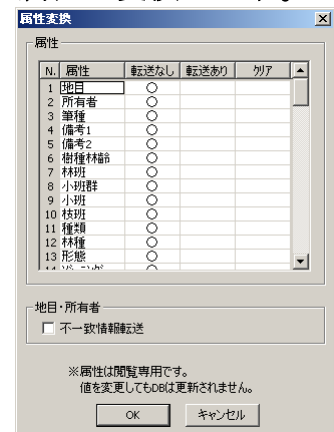
転送なし…選択した項目を属性に変換しません。

クリア…属性に変換した項目をクリアします。

不一致情報転送…地目・所有者の不一致情報を属性に変換します。

3. [OK] をクリックすると、確認のメッセージが表示されます。
続けて [OK] をクリックすると、選択した項目が属性に変換されます。

※属性に変換してもDBは更新されません。



10-11-1 [テキスト]－[要素]…図形要素の入力や要素間のコピー、図形要素の入力チェックについて説明します。

10-11-1 [テキスト]－[要素]－[頂点名]－[編集]…頂点名の位置を移動します。要素の入力、回転をすることもできます。

手順

1. メニューバーから [テキスト]－[要素]－[頂点名]－[編集] を選択します。
2. 頂点名が青い枠で表示され、カーソルが▲に変わります。
3. 青い枠の左上の四角を選択し、移動先でクリックします。
4. 2.に戻ります。

10-11-2 [テキスト]－[要素]－[頂点名]－[角度]…頂点名の角度を変更します。

手順

メニューバーから [テキスト]－[要素]－[角度] を選択します。

1. [要素－角度変更] ウィンドウが表示されます。

[編集対象要素]…頂点名の角度を入力します。

[編集対象範囲]…編集対象範囲を選択します。

単体指定…指定した図形の頂点名を編集します。[OK] ボタンをクリックするとカーソルが▲に変わります。図形をクリックすると頂点名の角度が変更します。

全体指定…図面全体にある頂点名を編集します。

[OK] ボタンをクリックすると頂点名の角度が変更します。

矩形指定…矩形で指定した範囲内にある図形の頂点名を編集します。

[OK] ボタンをクリックするとカーソルが+に変わります。矩形範囲を指定します。指定範囲内にある図形の頂点名の角度が変更します。

多角指定…多角で指定した範囲内にある図形の頂点名を編集します。[OK] ボタンをクリックするとカーソルが+に変わります。多角範囲を指定します。指定範囲内にある図形の頂点名の角度が変更します。

[回転方法]…編集対象の回転方法を選択します。

[編集対象図形]…編集対象の図形を選択します。



10-11-3 [テキスト]－[要素]－[頂点名]－[テキストへ]…頂点名をテキストに変換します。



手順

1. メニューバーから[要素]－[頂点名]－[テキストへ]を選択します。
2. [対象レイヤ選択]ウィンドウが表示されます。

[テキスト出力レイヤ]…テキストに変換するレイヤを選択します。

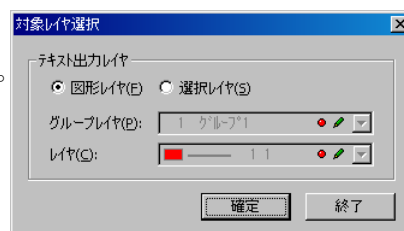
図形レイヤ…図形のレイヤでテキストを作成します。

選択レイヤ…選択したレイヤでテキストを作成します。

[選択レイヤ]を選択した場合のみ、レイヤ設定を行います。

グループレイヤ…グループレイヤを指定します。

レイヤ…レイヤを指定します。



3. 設定終了後、[確定] ボタンをクリックすると点名をテキストに変換します。

※テキストの色は点名の色と同じです。

10-11-4 [テキスト]－[要素]－[頂点名]－[引出し線]…頂点名に引出し線を作成します。



手順

1. メニューバーから[要素]－[頂点名]－[引出し線]を選択します。
2. カーソルが▲に変わります。
3. 引出し線を作成する頂点名を選択します。
4. カーソルが+に変わります。
5. 引出し線をラインまたはポリラインで作成すると引出し線が作成され頂点名が移動します。
※引出し線の色は対象図形のレイヤと同じです。
6. 2に戻ります。

10-11-5 [テキスト]－[要素]－[地番]－[編集]



手順

1. メニューバーから [テキスト]－[要素]－[地番]－[編集] を選択します。
2. 地番が青い枠で表示され、カーソルが▲に変わります。
3. 青い枠の左上の四角を選択し、移動先でクリックします。
4. 2.に戻ります。

10-11-6 [テキスト]－[要素]－[地番]－[地番・点名→テキストへ] …地番をテキストに変換します。



手順

1. メニューバーから [テキスト]－[要素]－[地番]－[地番・点名→テキスト] を選択します。
2. [対象レイヤ選択] ウィンドウが表示されます。

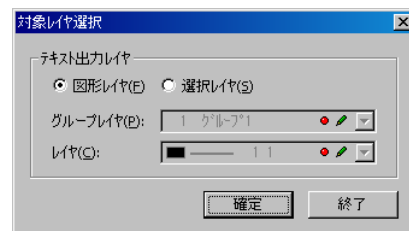
[テキスト出力レイヤ]…テキストに変換するレイヤを選択します。

図形レイヤ…図形のレイヤでテキストを作成します。

選択レイヤ…選択したレイヤでテキストを作成します。

[グループレイヤ]…グループレイヤを選択します。

[レイヤ]…レイヤを選択します。



3. 設定終了後、[確定] ボタンをクリックするとメッセージが表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。


10-11-7 [テキスト]－[要素]－[地番]－[引出し線] …地番・点名に引出し線を作成します。



手順

1. メニューバーから [テキスト]－[要素]－[地番]－[引出し線] を選択します。
2. カーソルが▲に変わります。
3. 引出し線を設定する地番・点名をクリックします。
4. カーソルが+に変わります。
5. 引出し線をポリラインで作成すると、地番・点名が移動します。
※引出し線の色は、対象図形のレイヤと同じです。

10-11-8 [テキスト]－[要素]－[画地面積]－[位置編集] …面積の位置を移動します。

面積の入力、回転をすることもできます。

手順

1. メニューバーから [テキスト]－[要素]－[画地面積]－[位置編集] を選択します。
2. 面積が青い枠で表示され、カーソルが▲に変わります。
3. 青い枠の左上の四角を選択し、移動先でクリックします。
4. 2.に戻ります。

10-11-9 [テキスト]－[要素]－[画地面積]－[面積→テキスト] …面積をテキストに変換します。

手順

1. メニューバーから [テキスト]－[要素]－[画地面積]－[面積→テキスト] を選択します。
2. [対象レイヤ選択] ウィンドウが表示されます。

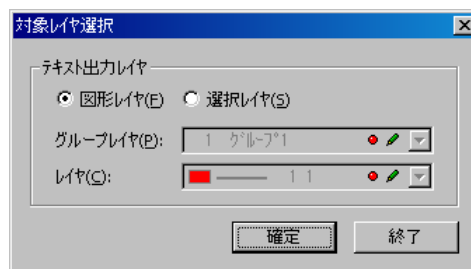
[テキスト出力レイヤ]

図形レイヤ…図形のレイヤでテキストを作成します。

選択レイヤ…選択したレイヤでテキストを作成します。

[グループレイヤ]…グループレイヤを指定します。


[レイヤ]…レイヤを指定します。



3. 設定終了後、[確定] ボタンをクリックすると、メッセージが表示されます。


[はい] ボタンをクリックすると面積がテキストに変換されます。

※テキストの色は、面積の色と同じです。

10-11-10 [テキスト]－[要素]－[画地面積]－[引出し線]…面積に引出し線を作成します。


手順

1. メニューバーから[テキスト]－[要素]－[画地面積]－[引出し線]を選択します。
2. 操作方法は、[テキスト]－[要素]－[地番]－[引出し線]を参照してください。

10-11-11 [テキスト]－[要素]－[属性]－[位置編集]…簡易属性の表示位置を移動します。


手順

1. メニューバーから[テキスト]－[要素]－[属性]－[位置編集]を選択します。
2. 操作方法は、[テキスト]－[要素]－[画地面積]－[位置編集]を参照してください。

10-11-12 [テキスト]－[要素]－[属性]－[引出し線]…簡易属性に引出し線を作成します。

手順

1. メニューバーから[要素]－[画地属性]－[引出し線]を選択します。
2. 操作方法は、[テキスト]－[要素]－[画地面積]－[引出し線]を参照してください。

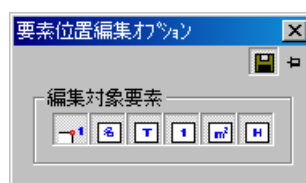
10-11-13 [テキスト]－[要素]－[編集]…要素の位置を移動します。要素の入力、回転をすることもできます。

手順

1. メニューバーから[要素]－[編集]を選択します。
2. 要素が青い枠で表示され、カーソルが▲に変わります。
3. 青い枠の左上の四角を選択し、移動先でクリックします。
4. 2に戻ります。

[要素位置編集オプション]

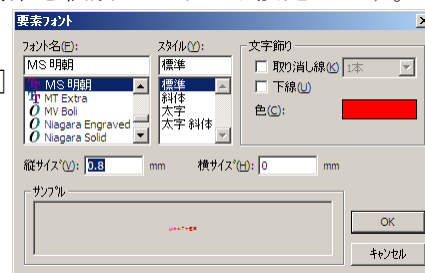
編集対象要素…編集対象要素を指定します。



10-11-14 [テキスト]－[要素]－[個別文字設定]…要素を個別にフォント設定します。

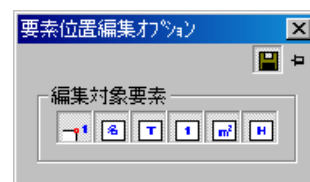
手順

1. メニューバーから [テキスト]－[要素]－[個別文字設定] を選択します。
2. マウスカースルが▲になりますので、要素を選択します。
3. [要素フォント] ウィンドウが表示されますのでフォントを変更し、[OK] を選択します。



[要素位置編集オプション]

編集対象要素…編集対象要素を指定します。



10-11-15 [テキスト]－[要素]－[個別文字設定解除]…要素の個別にフォントを変更設定していたものを解除します。

手順

1. メニューバーから [テキスト]－[要素]－[個別文字設定解除] を選択します。
2. マウスカースルが▲になりますので、要素を選択します。
3. フォントがデフォルトのフォントに戻ります。

10-11-16 [テキスト]－[要素]－[属性設定]…簡易属性のタイトルを設定します。

手順

1. メニューバーから [テキスト]－[要素]－[属性設定] を選択します。
2. [属性タイトル] ウィンドウが表示されます。



[属性タイトル]

タイトル…タイトルを入力します。

表示…属性を編集画面上や [簡易図形情報] ウィンドウに表示します。

[表示] のチェックボックスを [ON] にします。

※チェックボックスを [ON] にしても編集画面上に簡易属性が表示されない場合は、メニューバーの [表示]－[ユーザー定義]－[属性] を選択してください。

フォント…各タイトル別にフォントを指定します。

フォント色部分をクリックして [属性フォント] ウィンドウでフォントを設定します。

再計算…属性表示位置を中心に戻します。



3. 設定終了後、[OK] をクリックします。

1 1. 計算

1 1-1 [計算] - [方向・距離] …ポリラインで指定した起点から終点までの方向と距離を表示します。

手順

1. メニューバーから [計算] - [方向・距離] を選択します。
2. カーソルが+に変わります。
3. 方向・距離を計算する起点から終点まで通過するポイントをクリックします。
4. 終点でダブルクリックすると、[方向・距離計測] ウィンドウに計算結果（頂点の座標・次の頂点への方向角・距離・距離合計）が表示されます。



| | X座標 | Y座標 | 方向角 | 距離 |
|---|---------|---------|--------------|-------|
| 1 | 444.599 | 353.108 | 116°50'25.83 | 9.229 |
| 2 | 440.432 | 361.343 | 120°6'49.44 | 5.735 |
| 3 | 437.555 | 366.304 | 135°0'0.00 | 7.156 |
| 4 | 432.495 | 371.364 | | |
| 5 | | | | |

距離合計: 22.120

閉じる

1 1-2 [計算] - [延長] …延長合計を表示します。

11-2-1 [計算] - [延長] - [図形指定] …指定したポリライン・ポリゴンの延長合計を表示します。

手順

1. メニューバーから [計算] - [延長] - [図形指定] を選択します。
2. カーソルが▲に変わります。
3. 延長合計を表示する図形を複数クリックし、最後の図形でダブルクリックすると [延長-図形] ウィンドウに計算結果（個々の名称・地番・延長）が表示されます。



| | 名称 | 地番 | 延長 |
|----|----|-----------|----------|
| 1 | | 1007 | 600.373 |
| 2 | | 1240200 イ | 535.242 |
| 3 | | 1270200 | 520.959 |
| 合計 | | | 1656.574 |

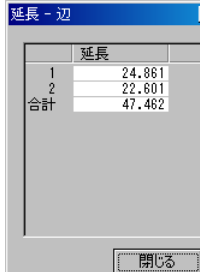
閉じる

11-2-2 [計算] - [延長] - [辺指定] …指定した辺の延長合計を表示します。

手順

1. メニューバーから [計算] - [延長] - [辺指定] を選択します。
2. カーソルが▲に変わります。
3. 延長合計を表示する辺をクリックすると、[延長-辺] ウィンドウに計算結果（合計延長・個々の延長）が表示されます。

[Shift] キーを押しながらクリックするか、矩形選択すると、複数の辺が選択できます。



| | 延長 |
|----|--------|
| 1 | 24.861 |
| 2 | 22.601 |
| 合計 | 47.462 |

閉じる

11-2-3 [計算]－[延長]－[レイヤ別] …レイヤ別に図面全体のポリライン・ポリゴンの延長合計を表示します。

手順

1. メニューバーから [計算]－[延長]－[レイヤ別] を選択します。
2. [延長－レイヤ別] ウィンドウが表示され、延長合計が表示されます。

| 名称 | ポリライン延長 | ポリゴン延長 | 合計 |
|------------|----------|----------|----------|
| 地目レイヤ | 1199.356 | 4393.685 | 5593.041 |
| 簡易レイヤ | 783.936 | 0.000 | 783.936 |
| カテゴリーレイヤ合計 | 1983.292 | 4393.685 | 6376.977 |
| 全レイヤ合計 | 1983.292 | 4393.685 | 6376.977 |

11-3 [計算]－[面積] …面積を表示します。

11-3-1 [計算]－[面積]－[点指定] …点で指定した範囲の面積を表示します。

手順

1. メニューバーから [計算]－[面積]－[点指定] を選択します。
2. カーソルが+に変わります。
3. 面積を計算する範囲を多角で指定します。
[スナップバー] の頂点を選択するか、[Shift] キーを押しながらクリックすると最寄りの頂点に摺り付けされます。
4. 終点でダブルクリックすると、[面積計測 (点指定)] ウィンドウに計算結果 (指定範囲内の個々の座標・次の頂点への方向角・距離・合計距離・合計面積・坪) が表示されます。
5. [閉じる] ボタンをクリックすると 2. に戻ります。

| | X座標 | Y座標 | 方向角 | 距離 |
|----|---------|---------|--------------|----------|
| 12 | 257.233 | 474.172 | 204°49'22.55 | 65.922 |
| 13 | 197.401 | 446.496 | 202°51'50.52 | 31.202 |
| 14 | 168.651 | 434.373 | 247°54'22.55 | 49.117 |
| 15 | 150.177 | 388.863 | 0°0'0.00 | 0.000 |
| 16 | | | 距離合計: | 626.589 |
| 17 | 0.000 | 0.000 | 面積: | 24149.04 |
| 18 | 0.000 | 0.000 | 坪: | 7305.085 |

11-3-2 [計算]－[面積]－[ポリゴン合計] …指定したポリゴンの合計面積を表示します。

手順

1. メニューバーから [計算]－[面積]－[ポリゴン合計] を選択します。
2. カーソルが▲に変わります。
3. 面積を計算するポリゴンを複数クリックし、最後のポリゴンでダブルクリックします。
4. [面積－図形] ウィンドウに計算結果 (個々の地番・面積・坪・合計面積・合計坪) が表示されます。
5. [閉じる] ボタンをクリックすると 2. に戻ります。

| 名称 | 地番 | 面積 | 坪 |
|----|---------|----------|----------|
| 1 | 1007 | 14129.25 | 4274.098 |
| 2 | 1240200 | 14416.90 | 4360.628 |
| 合計 | | 28546.15 | 8634.726 |

11-3-3 [計算]－[面積]－[範囲合計]…指定した範囲の図形面積を表示します。

手順

1. メニューバーから [計算]－[面積]－[範囲合計]－[矩形] または [多角] を選択します。
2. カーソルが+に変わります。
3. 面積を表示する範囲を指定します。
4. 範囲を指定すると、[面積－図形] ウィンドウに計算結果（個々の地番・面積・坪・合計面積・合計坪）が表示されます。
5. [閉じる] ボタンをクリックすると 2.に戻ります。



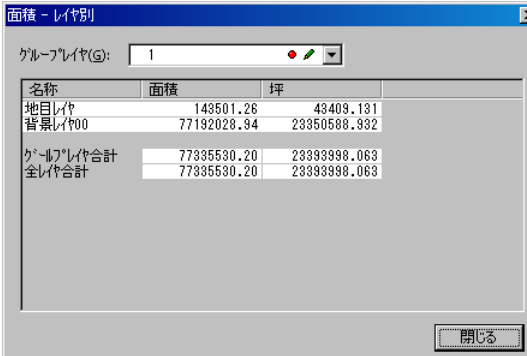
| | 名称 | 地番 | 面積 | 坪 |
|----|----|---------|---------|----------|
| 1 | | 1270200 | 8233.12 | 2490.519 |
| 2 | | | 103.50 | 31.309 |
| 3 | | | 1.00 | 0.303 |
| 4 | | 1270211 | 858.43 | 259.675 |
| 合計 | | | 9196.05 | 2781.806 |

閉じる

11-3-4 [計算]－[面積]－[レイヤ別]…編集集中の図面で使用しているグループレイヤ・レイヤ別の面積をリスト表示します。

手順

1. メニューバーから [計算]－[面積]－[レイヤ別] を選択します。
2. [面積－レイヤ別] ウィンドウが表示されます。
3. レイヤの名称・面積・坪数・全レイヤ合計が表示されます。
4. [閉じる] ボタンをクリックすると終了します。



グループレイヤ(G): 1

| 名称 | 面積 | 坪 |
|-----------|-------------|--------------|
| 地目レイヤ | 143501.26 | 43409.131 |
| 背景レイヤ00 | 77192028.94 | 23350588.932 |
| グループレイヤ合計 | 77335530.20 | 23393998.063 |
| 全レイヤ合計 | 77335530.20 | 23393998.063 |

閉じる

1 1 - 4 [計算] - [計算点] …選択した図形に計算点を追加・作成します。

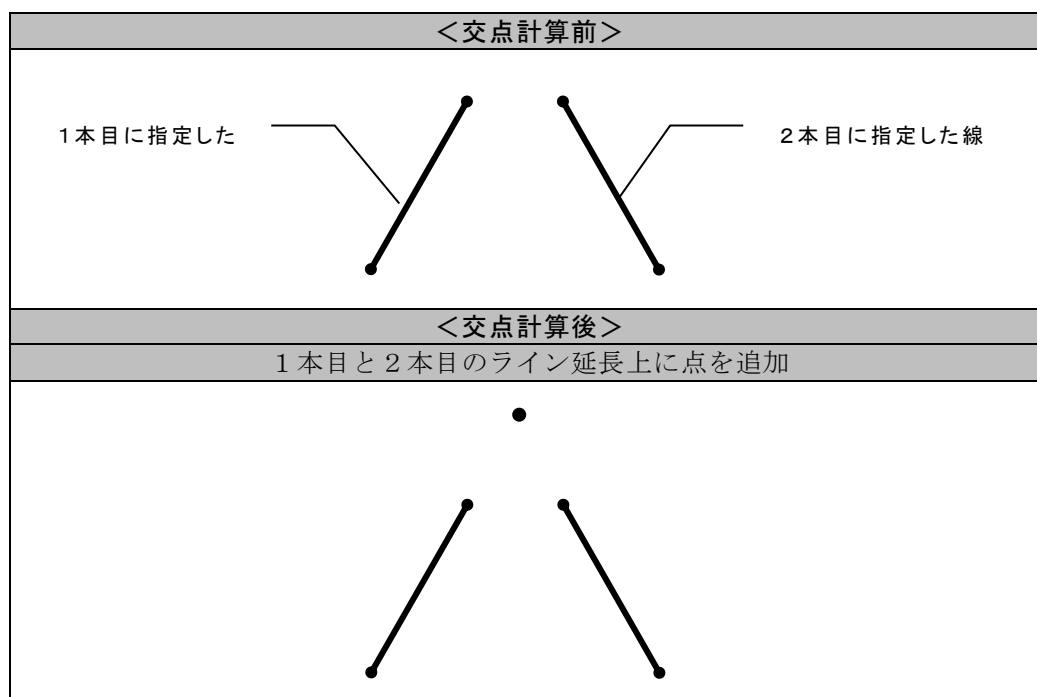
11-4-1 [計算] - [計算点] - [交点] …選択した2本の線分が延長線上で交わる位置に交点を追加します。

手順

1. メニューバーから[計算] - [計算点] - [交点] を選択します。
2. カーソルが△1に変わります。
3. 交点計算する線分をクリックします。
4. カーソルが△2に変わります。
5. 3.で指定した線分に対して交点計算を行う線分をクリックします。
6. 1本目と2本目の延長線上に点が追加されます。

※ 詳細は、◆図解：交点計算◆を参照してください。

◆図解：交点計算◆



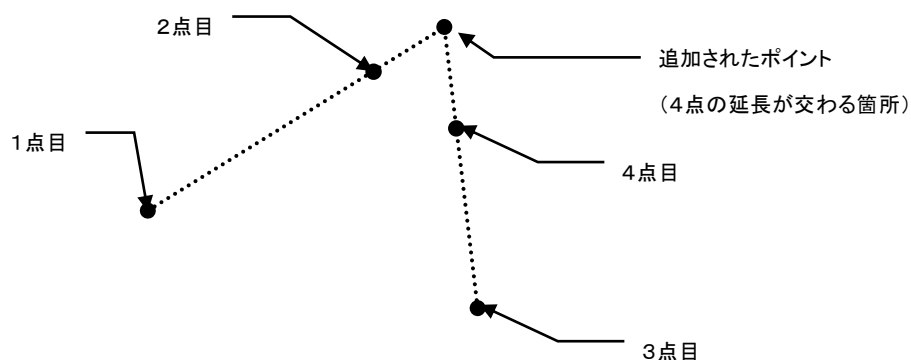
11-4-2 [計算] - [計算点] - [4点交点] …指定した4点が変わる箇所に単点を作成します。

手順

1. メニューバーから [計算] - [計算点] - [4点交点] を選択します。
2. カーソルが+に変わります。
3. 1点目、2点目と3点目、4点目の延長が交差するような4点を指定します。
4. 4点が変わる箇所に単点を作成されます。

※ 詳細は、◆図解：4点交点◆を参照してください。

◆図解：4点交点◆



11-4-3 [計算] - [計算点] - [直交交点] …指定した始点から指定したポリラインに対し、垂直に交わる単点を追加します。

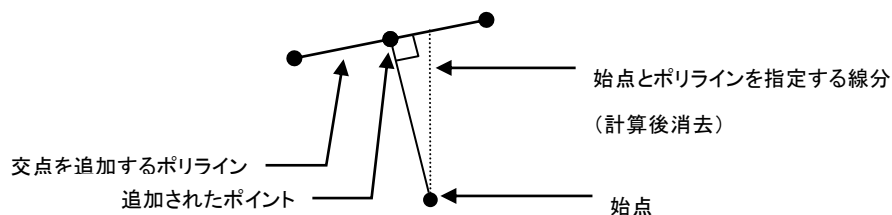
手順

1. メニューバーから [計算] - [計算点] - [直交交点] を選択します。
2. カーソルが+に変わるので、始点をクリックします。
3. カーソルが▲変わるので、交点を追加するポリラインをクリックします。
4. 単点が追加されます。

※ 詳細は、◆図解：直交交点◆を参照してください。

◆図解：直交交点◆

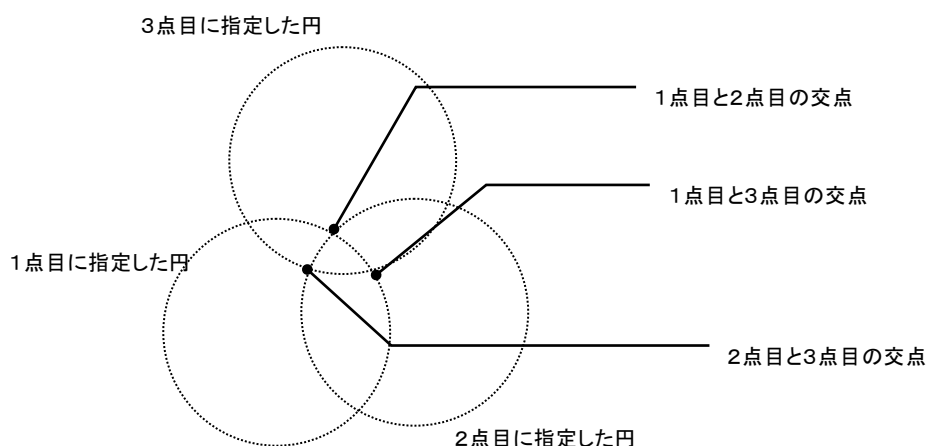
始点と指定したポリラインが垂直に交わる位置（交点）にポイントが追加されます。



11-4-4 [計算] - [計算点] - [3円交点] …基準となる3点目標点までの距離の平均から座標値を表示します。

手順

1. メニューバーから[計算] - [計算点] - [3円交点]を選択します。
2. カーソルが+に変わります。
3. 基準点から目標点までの半径をもつ円を作成します。(3点分)
4. 3円交点上に単点を作成されます。各円の交点座標の平均から目標点の座標値が表示されます。
[誤差]は、交点座標から目標点の座標までの距離の誤差です。

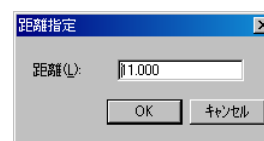


11-4-5 [計算] - [計算点] - [中間点] …補助線を作成し、補助線の始点からの距離を指定して補助線上に単点を作成します。

既存ポリゴンに中間点を作成する場合は、単点または頂点を作成します。

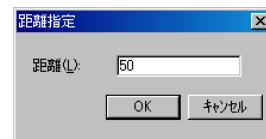
手順

1. メニューバーから[計算] - [計算点] - [中間点]を選択します。
2. カーソルが+に変わります。
3. 補助線を作成します。既存のポリライン・ポリゴン上に中間点を作成する場合は、◆既存図形上に中間点を作成する場合◆を参照してください。
4. [距離指定] ウィンドウが表示されるので、補助線の始点からの距離を入力します。
5. [OK] ボタンをクリックすると、指定した位置に単点を作成されます。
指定した距離が補助線よりも長い場合は、延長線上に単点を作成されます。



◆既存図形上に中間点を作成する場合◆

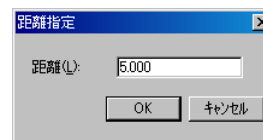
1. メニューバーから [計算] - [計算点] - [中間点] を選択します。
2. カーソルが+に変わります。
3. [スナップ] バーの [頂点] ボタンをクリックします。
4. 補助線を作成します。
5. [距離指定] ウィンドウが表示されます。
6. 補助線の始点からの距離を入力し [OK] ボタンをクリックします。
7. 単点が追加されます。
8. 2.に戻ります。



11-4-6 [計算] - [計算点] - [等間隔点] …等間隔点を作成します。

手順

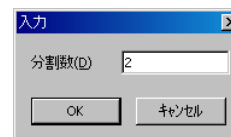
1. メニューバーから [計算] - [計算点] - [等間隔点] を選択します。
2. カーソルが+に変わります。
3. 始点・終点をクリックします。
4. [距離指定] ウィンドウが表示されるので、距離を指定します。
5. [OK] ボタンをクリックすると、指定した距離間隔で単点が作成されます。



11-4-7 [計算] - [計算点] - [等分点] …指定した2点間を等分数で等分します。

手順

1. メニューバーから [計算] - [計算点] - [等分点] を選択します。
2. カーソルが+に変わります。
3. 始点・終点をクリックします。
4. [入力] ウィンドウが表示されるので、分割数を入力します。
5. [OK] ボタンをクリックすると、指定した分割数で単点が作成されます。



11-4-8 [計算] - [計算点] - [延長点] …線分の延長上に単点を作成します。

手順

1. メニューバーから [計算] - [計算点] - [延長点] を選択します。
2. カーソルが▲に変わります。
3. 延長計算する線分を選択します。
4. [距離指定] ウィンドウが表示されるので、距離を入力し、両方向、矢印方向、逆方向を選択します。
5. [OK] ボタンをクリックすると、線分の延長上に単点が作成されます。

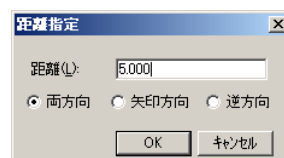


11-4-9 [計算]－[計算点]－[平行点]…指定した線分の起終点と平行になる単点を作成します。

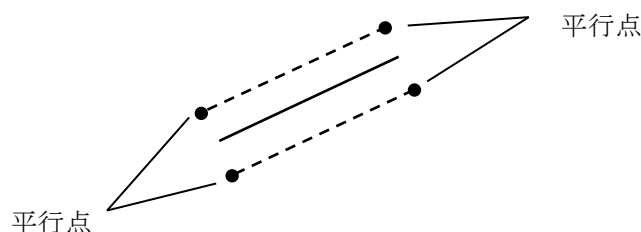
※ 詳細は、◆図解：平行点◆を参照してください。

手順

1. メニューバーから[計算]－[計算点]－[平行点]を選択します。
2. カーソルが▲に変わります。
3. 線分を指定します。
4. [距離指定] ウィンドウが表示されるので、距離を入力し、両方向、矢印方向、逆方向を選択します。
5. [OK] ボタンをクリックすると、線分の起終点に平行線の単点を作成されます。



◆図解：平行点◆



11-4-10 [計算]－[計算点]－[オフセット点]…指定した点からオフセット点を作成します。

手順

1. メニューバーから[計算]－[計算点]－[オフセット点]を選択します。
2. カーソルが▲に変わります。
3. 基準頂点またはポイントを指定します。
4. [ポイント指定] ウィンドウが表示されるので、 ΔX 、 ΔY の座標値を入力します。
5. [OK] ボタンをクリックすると、オフセット点を作成されます。



11-4-11 [計算]－[計算点]－[平均点]…指定した2点以上の重心に単点を作成します。

手順

1. メニューバーから[計算]－[計算点]－[平均点]を選択します。
2. カーソルが▲に変わります。
3. 2点以上のポイントを左クリックで指定します。
4. 平均点が作成されます。右クリックで選択した点が解除されます。ダブルクリックで単点が確定し、2.に戻ります。

11-5-1 **〔計算〕－〔コンパス計算〕…コンパス開放路線、コンパス結合路線を作成・編集します。**

11-5-1 **〔計算〕－〔コンパス計算〕－〔コンパス開放路線作成〕…コンパス開放路線を作成します。**

メニューバーから〔計算〕－〔コンパス計算〕－〔コンパス開放路線作成〕を選択すると、コンパスパネルが開きます。

前述 5-8-2 〔計算〕－〔コンパス計算〕－〔コンパスパネルを開く〕同様、路線を編集し開放路線を作成します。

11-5-2 **〔計算〕－〔コンパス計算〕－〔コンパス結合路線作成〕…コンパス結合路線を作成します。**

メニューバーから〔計算〕－〔コンパス計算〕－〔コンパス結合路線作成〕を選択すると、コンパスパネルが開きます。

前述 5-8-2 〔計算〕－〔コンパス計算〕－〔コンパスパネルを開く〕同様、路線を編集し結合路線を作成します。

11-5-3 **〔計算〕－〔コンパス計算〕－〔コンパスパネルを開く〕…登録済みのコンパスを修正します。**

前述 5-8-2 〔計算〕－〔コンパス計算〕－〔コンパスパネルを開く〕を参照してください。

1 2. 表示

1 2 - 1 [表示] - [再表示] …最新のラスタデータとベクタデータを表示します。



1 2 - 2 [表示] - [ズーム] …画面上で図面を拡大・縮小して表示します。
メニューバーから [表示] - [ズーム] を選択すると以下の拡大メニューが表示されます。

[全体図] 全体図を表示します。



[窓] 矩形で指定した範囲を拡大します。



[拡大] 図面の画面中心を 1 サイズ拡大します。



[縮小] 図面の画面中心を 1 サイズ縮小します。



[スケール指定] 図面のスケールを指定して表示します。

[前画面] 画面を一つ前のサイズに戻します。




[基本画面設定] 現在の表示位置・拡大率が基本画面として設定されます。

[基本画面表示] 基本画面設定で設定した位置・拡大率で図面が表示されます。

1 2 - 3 [表示] - [ドラッグ] …編集画面をマウスで移動させます。



手順

1. メニューバーから [表示] - [ドラッグ] を選択します。
2. カーソルが  に変わります。
3. マウスで画面をドラッグします。
4. 再度 [表示] - [ドラッグ] を選択すると、カーソルが矢印に変わります。
5. マウスで図面を選択します。

※ [表示] - [ドラッグ] を選択しなくても、マウスの右ボタンをクリックした状態でドラッグスクロールもできます。

12-4 [表示] - [点名] …点名の表示／非表示を切り替えます。



手順

1. メニューバーから [表示] - [点名] を選択します。
2. 点名の表示／非表示を切り替えます。

※ 選択ごとに、点名表示、点名印刷表示、非表示に切り替わります。

メニューバーの表示も [表示] - [点名]、[表示] - [点名-固定]、[表示] - [点名-印刷] に切り替わります。

12-5 [表示] - [地番] …地番の表示／非表示を切り替えます。



手順

1. メニューバーから [表示] - [地番] を選択します。
2. 地番の表示／非表示を切り替えます。

※ 選択ごとに、地番表示、地番印刷表示、非表示に切り替わります。

メニューバーの表示も [表示] - [地番]、[表示] - [地番-固定]、[表示] - [地番-印刷] に切り替わります。

12-6 [表示] - [ポリゴン確認] …ポリゴンを網掛けして表示します。



手順

1. メニューバーから [表示] - [ポリゴン確認] を選択します。
2. ポリゴン毎に色を変色し、網掛けします。

12-7 [表示] - [図形別] …図形別に表示または点滅します。

12-7-1 [表示] - [図形別] - [図形別表示 (1)] …図形別に表示します。

手順

1. メニューバーから [表示] - [図形別] - [図形別表示] - [ポイント]・[ライン]・[ポリゴン]・[テキスト] を選択します。
2. 選択した図形（ポイント／ライン／ポリゴン／テキスト）が表示されます。


12-7-2 [表示] - [図形別] - [図形別点滅 (2)] …図形別に点滅表示します。


手順


1. メニューバーから [表示] - [図形別] - [図形別点滅] - [ポイント]・[ライン]・[ポリゴン]・[テキスト] を選択します。
2. 選択した図形（ポイント／ライン／ポリゴン／テキスト）が点滅表示されます。


1 2 - 8 [表示] - [ユーザー定義] …各項目の表示／非表示を切り替えます。


メニューバーから [表示] - [ユーザー定義] を選択すると以下のメニューが表示されます。

[グリッド] グリッドの表示／非表示を切り替えます。 

[面積] 画地面積と引出し線の表示／非表示を切り替えます。 
(面積は自動計算されます。)

[属性] 属性の表示／非表示を切り替えます。 

[頂点] 頂点の表示／非表示を切り替えます。 

[基準座標] 基準座標の表示／非表示を切り替えます。 

1 2 - 9 [表示] - [フォント] …各項目のフォントを設定します。

12-9-1 [表示] - [フォント] - [印刷頂点名] …印刷頂点名のフォントを設定します。

手順

1. メニューバーから [表示] - [フォント] - [印刷頂点名] を選択します。
2. [点名フォント] ウィンドウが表示されます。
フォント名…フォントの種類を選択します。
スタイル…文字のスタイルを選択します。
文字飾り…作成する文字に文字飾りをつけるときに選択します。
色…テキストの色を設定します。
縦サイズ・横サイズ…文字の縦のサイズと横のサイズを設定します。
サンプル…設定したテキストのプレビューを表示します。



3. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックします。

12-9-2 [表示] - [フォント] - [印刷地番] …印刷地番のフォントを設定します。

手順

1. メニューバーから [表示] - [フォント] - [印刷地番] を選択します。
2. [地番フォント] ウィンドウが表示されます。
設定詳細は、[表示] - [フォント] - [印刷頂点名] を参照してください。

12-9-3 [表示]－[フォント]－[固定地番]…固定地番のフォントを設定します。

手順

1. メニューバーから[表示]－[フォント]－[固定地番]を選択します。
2. [地番フォント]ウィンドウが表示されます。

設定詳細は、[表示]－[フォント]－[印刷頂点名]を参照してください。

12-9-4 [表示]－[フォント]－[面積]…面積表示のフォントを設定します。

手順

1. メニューバーから[表示]－[フォント]－[面積]を選択します。
2. [画地面積フォント]ウィンドウが表示されます。

設定詳細は、[表示]－[フォント]－[印刷頂点名]を参照してください。

1 2－1 0 [表示]－[固定点名設定]…頂点名のサイズと表示位置、表示色を指定します。

手順

1. メニューバーから[表示]－[固定点名設定]を選択します。
2. [文字表示設定]ウィンドウが表示されます。
[左上]～[右下]…頂点に対して頂点名を表示する位置を選択します。
印刷点名も移動…固定頂点名の移動と同時に印刷頂点名も移動します。
[フォント変更]…固定頂点名のフォントを変更します。

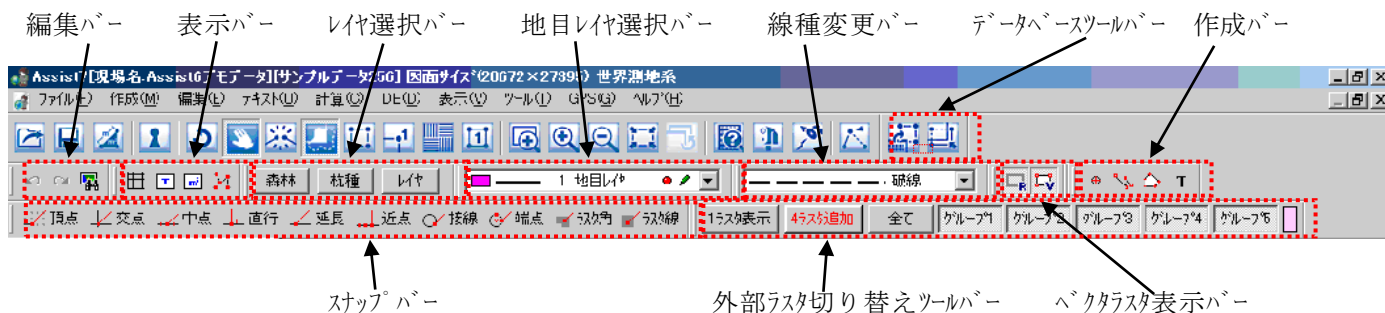
設定詳細は、[表示]－[フォント]－[印刷頂点名]を参照してください。



【注意】色設定は印刷時や拡張機能の自動テキスト化には未対応です。また、点名の場所は「右下」が動作上最速です。

1 2 - 1 1 [表示] - [ツールバー] …各ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

メニューバーから [表示] - [ツールバー] を選択すると、以下のメニューが表示されます。



作成バー…ポイント、ライン、ポリゴン、テキストを作成する。

編集バー…アンドウ、リドウ、検索。

表示バー…ラスタ、ベクタ、グリッド、属性、面積、頂点の表示・非表示を設定する。

スナップバー…図形作成時のカーソルの動きを設定する。

頂点 カーソルが最寄りの頂点に摺り付きます。

円の中心・図形の重心・グリッド線・グリッド重心にも摺り付きます。

ポリライン・ポリゴン作成中は、作成中の図形にも摺り付きます。

交点 カーソルが最寄りの交点（始終点を除く）に摺り付きます。

中点 カーソルが最寄りの線（ポリライン・ポリゴンの一部）の中点に摺り付きます。

直行 カーソルが一つ前の点から最寄りの線（ポリライン・ポリゴンの一部）に直角に交わる位置に摺り付きます。

延長 カーソルが進行方向の延長上にある線分（ポリライン・ポリゴンの一部）に摺り付きます。

近点 カーソルが最寄の図形の一番近い点に摺り付きます。

接線 カーソルが最寄りの円の接線に摺り付きます。

端点 カーソルが最寄りの円の端点（編集画面に対して垂直・水平な頂点）に摺り付きます。

双角 カーソルがラスタ図形の交点・端点・角に摺り付きます。

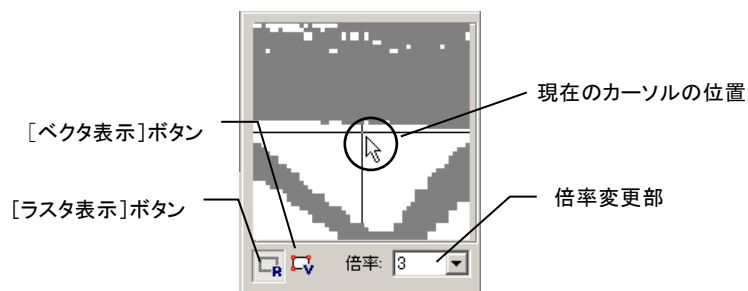
双線 カーソルが最寄りのラスタ線幅の中心に摺り付きます。

※各ツールバーの詳細は 2 - 2 スタンダードツールバーを参照してください。

1 2 - 1 2 [表示] - [拡大図 (M)] …カーソルの位置の拡大図を表示します。

手順

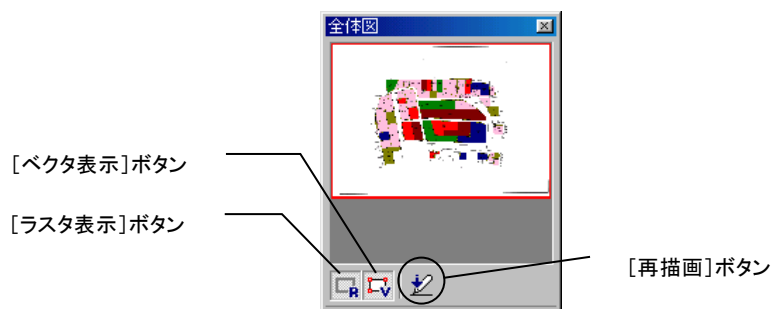
1. メニューバーから [表示] - [拡大図] を選択します。
2. [拡大図] ボックスが表示されます。
3. [ラスタ表示]・[ベクタ表示] ボタンをクリックし、表示／非表示を選択します。
倍率は3倍から20倍まで設定できます。



1 2 - 1 3 [表示] - [全体図 (A)] …全体図を表示します。

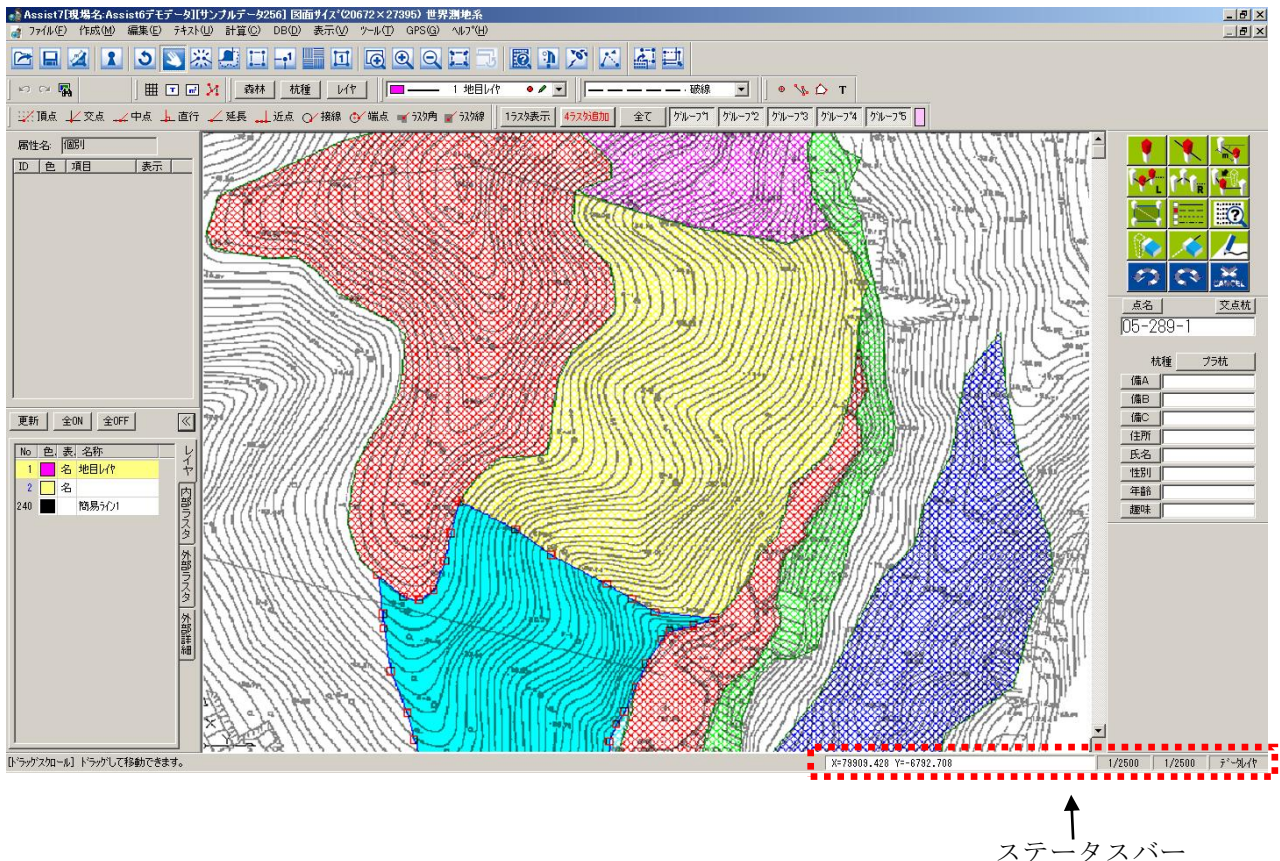
手順

1. メニューバーから [表示] - [全体図] を選択します。
2. [全体図] ボックスが表示されます。
3. [ラスタ表示]・[ベクタ表示] ボタンをクリックし、表示／非表示を選択します。
[再描画] ボタンをクリックすると、変更した部分を最新のデータで表示します。
4. [全体図] ボックスの赤枠をマウスで移動すると図面がスクロールします。



1 2 - 1 4 「表示」－「ステータスバー」…ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。

メニューバーから「表示」－「ステータスバー」を選択すると、ステータスバーが表示され、座標、縮尺が確認できます。



1 2 - 1 5 「表示」－「フルスクリーン表示」…図面をフルスクリーン表示します。

メニューバーから「表示」－「フルスクリーン表示」を選択すると、図面をフルスクリーン表示します。

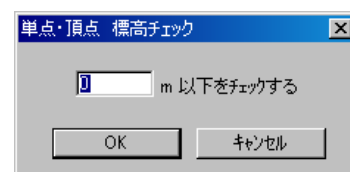
1 2 - 1 6 「表示」－「チェック」…各種チェックを行います。

12-16-1 「表示」－「チェック」－「点名未記入チェック」…杭のうち、点名が未記入（入れ忘れ）の杭のみを表示します。

この表示を解除するには、もう一度「表示」－「チェック」－「点名未記入チェック」を選択し、チェックマークを外して下さい。

12-16-2 **〔表示〕－〔チェック〕－〔標高チェック〕**…ある一定の高さ以下の標高の杭のみを表示します。

この表示を解除するには、もう一度**〔表示〕－〔チェック〕－〔標高チェック〕**を選択し、チェックマークを外して下さい。



12-16-3 **〔表示〕－〔チェック〕－〔非閉合点チェック〕**…閉合されていない点のみを表示します。

この表示を解除するには、もう一度**〔表示〕－〔チェック〕－〔非閉合点チェック〕**を選択し、チェックマークを外して下さい。

12-16-4 **〔表示〕－〔チェック〕－〔点備考チェック〕**…備考を条件で検索し表示します。

個別備考検索…備考毎に条件を入力し、検索します。検索ボタンをクリックすると検索対象の点が表示されます。

全備考検索…条件を全ての項目で検索します。検索ボタンをクリックすると検索対象の点が表示されます。

※検索結果のクリアで通常の表示に戻ります。

この表示を解除するには、もう一度**〔表示〕－〔チェック〕－〔点備考チェック〕**を選択し、チェックマークを外して下さい。



12-16-5 **〔表示〕－〔チェック〕－〔森林チェック〕**…画地所有者情報を持つ単点のみを表示します。

この表示を解除するには、もう一度**〔表示〕－〔チェック〕－〔森林チェック〕**を選択し、チェックマークを外して下さい。

12-16-6 **〔表示〕－〔チェック〕－〔Exif 情報チェック〕**…Exif 情報の含まれる頂点のみを表示します。

この表示を解除するには、もう一度**〔表示〕－〔チェック〕－〔Exif 情報チェック〕**を選択し、チェックマークを外して下さい。

12-16-7 **〔表示〕－〔チェック〕－〔インポート点チェック（インポート側）〕**…SIMA（点名マッチング）か CSV 単点（点名マッチング）でデータをインポートした後にチェックします。インポートしたファイルにしか存在しない点名を表示します。

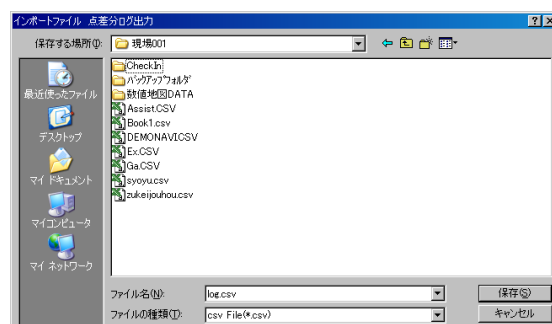
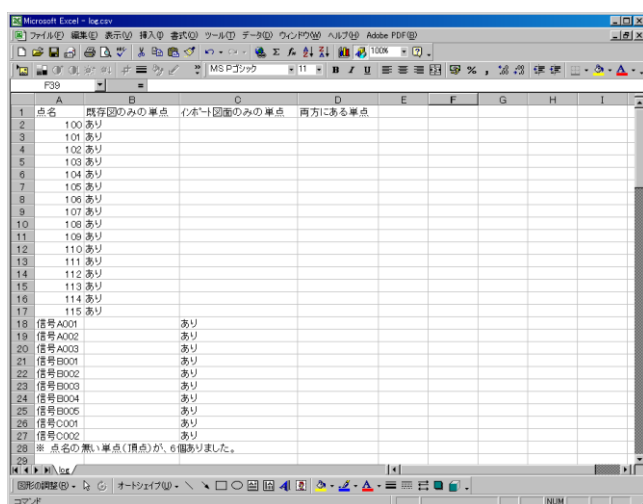
12-16-8 **〔表示〕－〔チェック〕－〔インポートチェック（既存図面）〕**…SIMA（点名マッチング）か CSV 単点（点名マッチング）でデータをインポートした後にチェックします。既存図面にしか存在しない点名を表示します。

12-16-9 [表示]－[チェック]－[インポート点チェック（両方）]…SIMA（点名マッチング）か CSV 単点（点名マッチング）でデータをインポートした後にチェックします。両方の図面に存在する点名を表示します。

12-16-10 [表示]－[チェック]－[ログファイル作成]…SIMA（点名マッチング）か CSV 単点（点名マッチング）でデータをインポートした後にチェックします。インポートしたファイルにしか存在しない点名、既存図面にしか存在しない点名、両方の図面に存在する点名をチェックし、CSV でログファイルを作成します。

手順

1. メニューバーから [表示]－[チェック]－[ログファイル作成] を選択します。
2. [インポートファイル 点差分ログファイル] ウィンドウが表示されます。
3. ファイル名を入力し [保存] ボタンをクリックするとログファイルが保存されます。

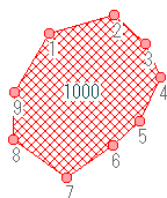


12-16-11 [表示]－[チェック]－[点チェック解除]…点名記入チェック、標高チェック、点備考チェックを解除します。

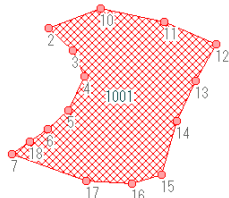
12-16-12 〔表示〕－〔チェック〕－〔二重線チェック〕…境界線のうち、1回しか通過していない境界線を強調表示します。

例 〔ファイル〕－〔インポート〕－〔他の Assist7 ファイル〕などで、合成処理を行った場合

1 班のデータ



2 班のデータ



1 班のデータ 地番 1 0 0 0 の隣は、2 班のデータ 地番 1 0 0 1 だが、筆界線 6～7 の間に杭 (NO 1 8) が、2 班のデータには存在し、1 班には存在しない。この状態で、〔ファイル〕－〔インポート〕－〔他の Assist7 ファイル〕を行うと一目では、この間違いがわからない。

〔表示〕－〔二重線チェック〕を行うと

一度しか境界線に使用されていない線だけを強調表示する。

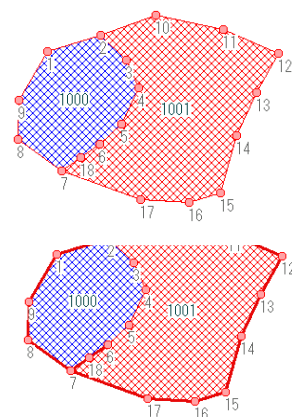
正しいデータでは、隣り合わせの境界は、地番 1 0 0 0 と地番 1 0 0 1 の両方で使用されているため、二度境界線を使用している。

最外周 や エラーデータ (この場合は、6～1 8～7 の境界) は、2 度使用されていないので、強調表示される。

この場合の一般的な修正手順は、この強調表示を解除した後に

1. 6～1 8～7 の境界ラインを一度削除
2. 再度、6～1 8～7 の境界ラインを作成
3. 再度 自動ポリゴン化 を実行の上、地番 1 0 0 0、1 0 0 1 を再入力

この強調表示を解除するには、もう一度 〔表示〕－〔二重線チェック〕を選択し、チェックマークを外して下さい。



12-17-1 [表示] - [Google Map] ……図形の下に Google Map を表示します

Google Map を背景に表示することができます。Google Map 表示のためには、ネット環境に接続している必要があります。また、基図面データは世界測地系図面になります。

手順

1. メニューバーから [表示] - [Google Map] - [Google Map モード]
を選択します。

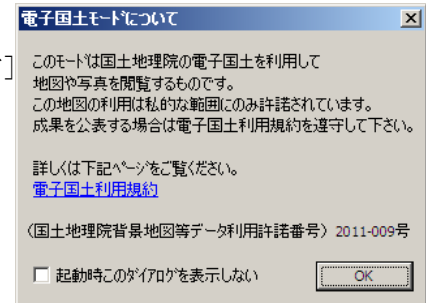
12-17-1 [表示] - [Google Map] - [Google Map モード] …背景に Google Map を表示
します。Google Map は、場所によって表示されない場合があります。
また、空中写真などは、拡大表示しないと背景に表示されない場合があります。



12-18 **【表示】－【電子国土】**…国土地理院の電子国土データを背景に表示することができます。電子国土表示のためには、ネット環境に接続している必要があります。また、基図面データは世界測地系図面になります。

手順

1. メニューバーから**【表示】－【電子国土】－【電子国土モード】**を選択します。
2. **【利用規約】**ウィンドウが表示されます。確認し**【OK】**を選択します。

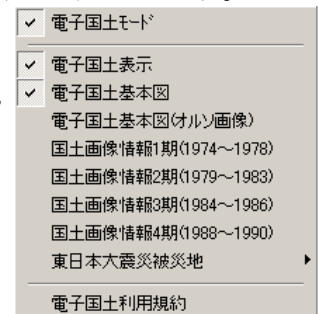


【起動時このダイアログを表示しない】…利用規約ウィンドウを、
電子国土起動時に表示しないようにします。

12-18-1 【表示】－【電子国土】－【電子国土モード】…背景に電子国土を表示します。

電子国土は、場所によって表示されない場合があります。

また、空中写真などは、拡大表示しないと背景に表示されない場合があります。



12-18-2 【表示】－【電子国土】－【利用規約】…利用規約ウィンドウを表示します。

※電子国土の印刷

電子国土の印刷は、A4サイズまでしかできません。

13. ツール

1 3-1 [ツール] - [プロパティ] …編集の基本条件を設定します。

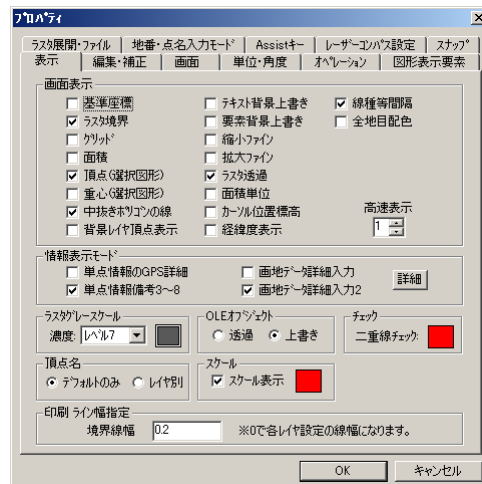
【表示】

画面表示

編集画面に表示する項目のチェックボックスを [ON] /
[OFF] することにより表示／非表示を切り替えます。

表示項目は、メニューバーの「表示」と重複する項目があります。

プロパティの表示項目とメニューバーの [表示] - [ユーザー定義] の設定は互いに反映されています。



● 基準座標

メニューバーの [ツール] - [補正] - [基準点] で設定した基準座標の位置に座標マークを表示します。

● ラスタ境界

ラスト図面の外枠を赤い点線で表示します。2枚以上の場合、色は変わります。

● グリッド

編集画面にグリッドを表示します。

● 面積

面積と引出し線を表示します。

- 頂点 (選択図形)

図形を選択したときの頂点を表示します。

● 重心 (選択図形)

図形を選択したときの重心点を表示します。

● 中抜きポリゴンの線

中抜きポリゴン線を表示します。

- 背景レイヤ頂点表示

背景レイヤの頂点を表示します。

● テキスト背景上書き

テキストの周りを白く上書きします。

● 要素背景上書き

要素の周りを白く上書きします。

- 拡大ファイン・縮小ファイン

画面を拡大した時、または縮小した時に高画質で表示します。

- ラスタ透過

重複しているカラーラスタを透過して表示します。

● 面積單位

面積表示のときに単位を表示します。

- **カーソル位置標高**
カーソル付近のZ座標をステータスバーに表示します。
- **経緯度表示**
カーソル位置の経度・緯度をステータスバーに表示します。経緯度での座標入力ができます。
- **全地目配色**
全ての地目レイヤに対して配色を施します。
- **高速表示**
指定サイズ以下で表示される小さい図形を簡易表示します。表示速度を0～10で選択します。

情報表示モード

- **単点情報のGPS詳細**…ここにチェックがあると、単点のGPS詳細情報が表示されます。通常はOFFです。
- **単点情報備考3～8**…ここにチェックがあると、単点の備考情報3～8が表示されます。通常はOFFです。
- **画地データ詳細入力**…ここにチェックがあると、画地の詳細情報が表示されます。**詳細**で入力項目を決定できます。
- **画地データ詳細入力2**…ここにチェックがあると、画地の詳細情報が表示されます。**詳細**で入力項目を決定できます。通常はONです。

ラスタグレースケール

- **濃度**…ラスタをグレースケールで表示するときの濃度を設定します。濃度は、レベル1～9まであり、レベルを上げると濃くなります。選択したレベルの色で表示します。

OLEオブジェクト

- **透過・上書き**…メニューバーの[編集]－[オブジェクト]－[オブジェクトの作成と貼り付け]で、オブジェクトを貼り付けた場合に、重なり合う図形に対してオブジェクトを[透過]・[上書き]の選択をします。

チェック

- **二重線チェック**…[表示]－[チェック]－[二重線チェック]を実行した結果の色を変更します。

頂点名

- **デフォルトのみ**…デフォルトの地目レイヤのみ頂点名を表示します。
- **レイヤ別**…レイヤごとの頂点名の表示／非表示を設定します。

スケール

- **スケール表示**…スケールを表示するときの色を設定します

印刷ライン幅設定

- **境界線幅**…印刷時の線幅を設定します。0で各レイヤ設定の線幅になります。

【編集・補正】

図形編集

- 標高 0 を有効

メニューバーの [ファイル] - [外部出力] で標高を伴うファイル出力や標高計算時に高さがなくても 0 として認識します。

- 編集履歴を使用

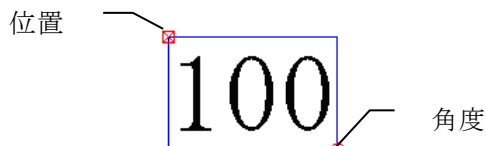
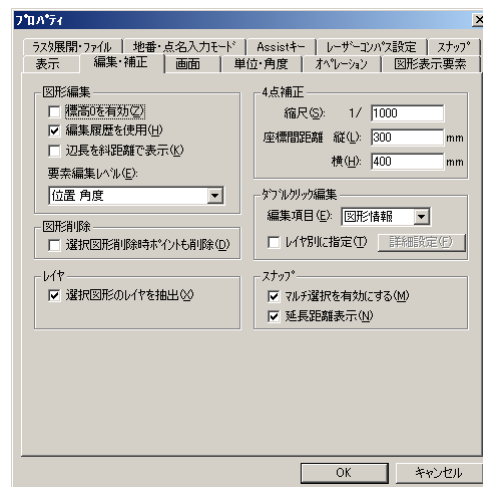
編集した履歴を保持します。([編集] - [元に戻す]・[やり直し] が使用できます。)

- 辺長を斜距離で表示

辺の長さを高さを考慮して計算します。

- 要素編集レベル

地番等の表示中の要素の編集レベルを設定します。



4点補正

メニューバーの [ツール] - [補正] - [4点自動] で4点補正パラメータ入力をするときの縮尺・座標間距離のデフォルトを設定します。

ダブルクリック編集

図形をダブルクリックしたときの編集モードを設定します。

- 編集項目

編集項目を選択します。

なし…ダブルクリックしても何も起動しません。

図形情報 (デフォルト) …図形情報を表示します。

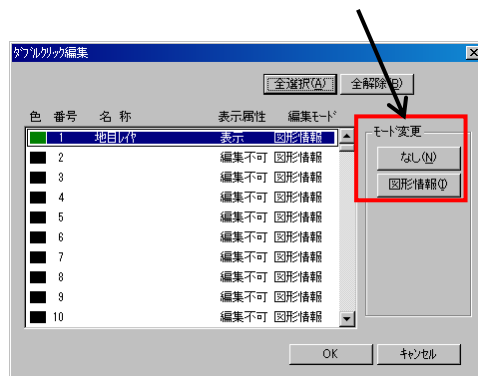
- レイヤ別に指定

レイヤ別にダブルクリックしたときの編集モードを設定します。

1. [レイヤ別に指定] を選択して [詳細設定] ボタンをクリックします。
2. [ダブルクリック編集] ウィンドウが表示されます。
3. レイヤー一覧から、レイヤを選択してモード変更ボタンをクリックします。
4. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックします。

モード変更ボタン

※ダブルクリックしたときにどのモードを表示するかを選択します。



スナップ

- マルチ選択を有効にする

スナップバーで複数の選択ができます。

- 延長距離表示

延長スナップのとき、既存点からスナップ点までの距離を表示します。

【画面】

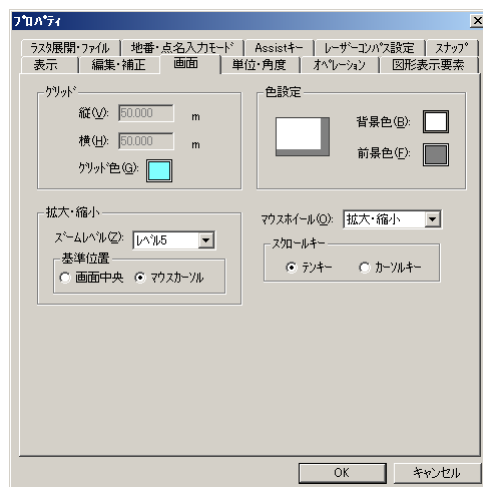
グリッド

グリッドを表示したときの縦・横の間隔を設定します。
グリッドを表示したときの色を設定します。

色設定

図面の背景色（図面の背景の色）・前景色（モノクロラス
タの初期色）を設定します。

背景色・前景色の [色ボタン] をクリックして [色設定]
ウィンドウから背景色・前景色を選択します。



拡大・縮小

拡大・縮小率を設定します。

- **ズームレベル**

ズームレベルのリストからレベルを選択します。

ズームレベルはレベル5を標準とし、レベルの数値が上がるほど拡大・縮小率が大きくなり、下がるほど拡大・縮小率が小さくなります。

- **基準位置**

画面中央…編集画面の中央を基準に拡大・縮小します。

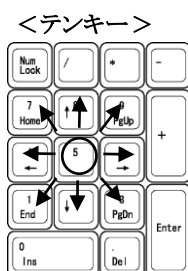
マウスカーソル…カーソルの位置を基準に拡大・縮小します。

マウスホイール

（拡大・縮小、スクロール）を選択します。

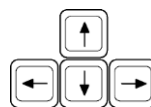
スクロールキー

編集画面のスクロールに使用するキーを選択します。もう一方のキーでマウスカーソルを移動します。



5を中心に方向キーを押すと画面が
スクロールします。

<カーソルキー>



[矢印] キーを押すと画面
がスクロールします。

【単位・角度】

表示桁・表示桁丸め

座標・高さ・距離・面積・坪・経緯度・方向角・面積途中を表示する桁数と、表示桁の丸め方法（四捨五入・切上・切捨）を選択します。

経緯度…測地成果2000系へ座標変換時に計算上の

経緯度の桁数を選択します。設定桁数は、度分秒の秒の少数桁数です。

方向角…図形の回転・角度設定時の0度の方位と、回転時の進行方向を選択します。

計算する座標…計算する座標の桁の丸め方法（四捨五入・切上・切捨）を選択します。

| | 表示桁 | 表示桁丸め |
|--------|-------|-------|
| 座標 | 小数3桁 | 四捨五入 |
| 高さ | 小数3桁 | 四捨五入 |
| 距離 | 小数3桁 | 四捨五入 |
| 面積 | 小数2桁 | 切捨 |
| 坪 | 小数3桁 | 四捨五入 |
| 経緯度 | 0.01秒 | 四捨五入 |
| 方向角 | 0.01秒 | 四捨五入 |
| 面積途中 | 小数3桁 | なし |
| 計算する座標 | 小数3桁 | 四捨五入 |

単位
面積表示(U): m² 座標の単位は m です

経緯度
測地系(G): 世界測地系
座標系(U): 36°00'138°30' (長野県)

リセット(R) OK キャンセル

単位

● 面積表示

画地面積表示の桁数を選択します。

m²…面積桁で四捨五入して表示します。

ヘクタール…面積表示単位をヘクタール (ha) にします。

● 座標

単位はmです。

経緯度

図面の測地系・座標系を選択します。

● 測地系

日本測地系・世界測地系を選択します。

● 座標系

1～19までの座標系を選択します。

【オペレーション】

ペンコンカスタマイズ

タッチパネル式のペンコンピュータでは、掴んだままで移動することができず、操作感を悪化させます。そこで「距離表示」「単点作成」と「テキスト操作時の動作」を事務所のPC同様の操作感を持たせるようにしました。

● 距離表示単点作成、テキスト操作時の動作

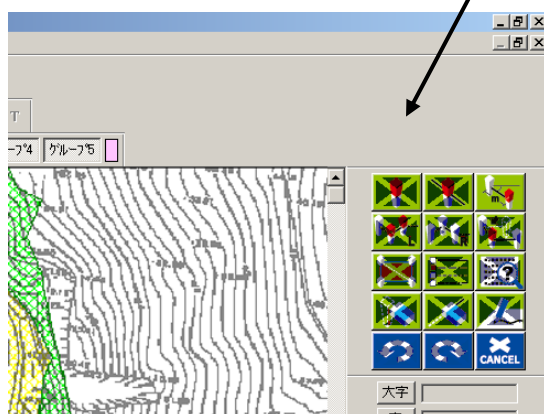
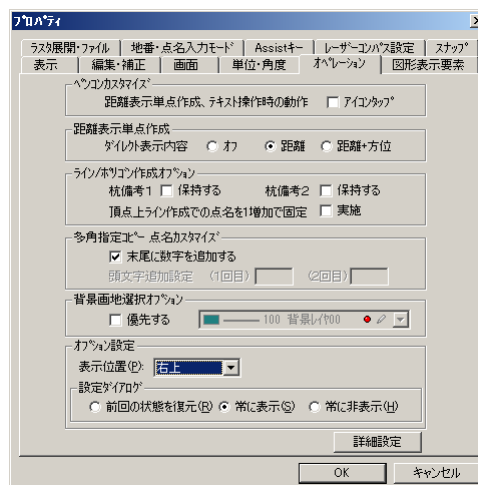
距離表示単点作成の動作に関して

アイコンタップ ON…タッチパネル式のペンコン

アイコンタップ OFF…通常のPC

アイコンタップ ONのときは、移動決定後

距離表示単点作成のアイコンを押す動作で、単点を作成します。



距離表示単点作成

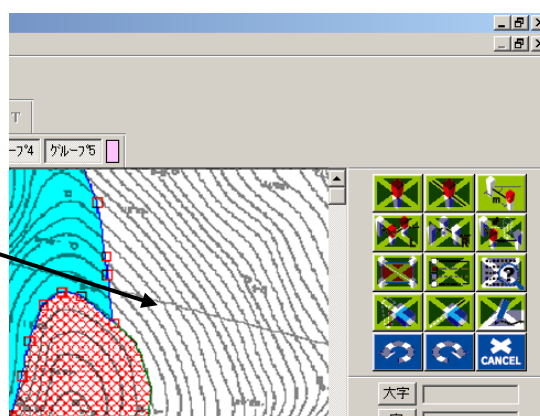
● ダイレクト表示内容

画面上にリアルタイムに離れ量を表示します。

オフ…表示しません

距離…距離のみ表示します。

距離と方位…距離と共に方位角も表示します。



ラインポリゴン作成オプション

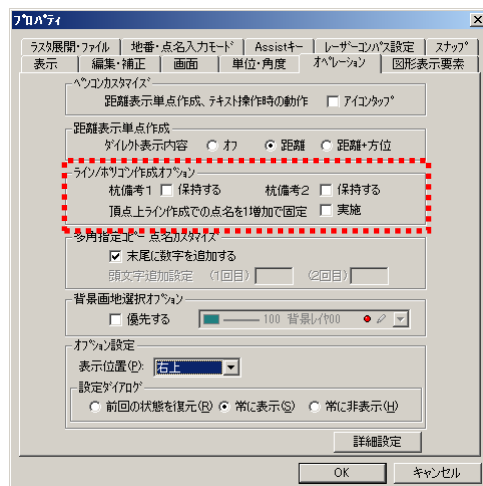
● 杭の備考

杭の備考上部（備考1）、杭の備考下部（備考2）に、各々備考1には comment1.txt、備考2には comment2.txt を対応させ、これらの2種のファイルを作成の上、現場フォルダ内に用意すると、ボタンによりリスト表示され選択可能にしました。単点作成時に前回記入された備考を保持させるか、クリアさせるかを選択します。

杭備考1、杭備考2とも

保持する…単点作成毎に前回と同様の備考を記入しつづけます。（杭毎に、入力内容があまり変わらない場合に使用します）

チェックがない場合は…単点作成毎にクリアされるので、杭を作成する毎に記入動作を行います。（杭毎に、入力内容が変わる場合に使用します）



● 頂点上ライン作成時での点名の1増加

頂点上ライン作成時に、最初に指示した既存杭名に+1インクリメントした点名を新設点につけます。

右例では、

最初に指示した既存杭名…64-710

次の新設点…64-711

次の新設点…64-712

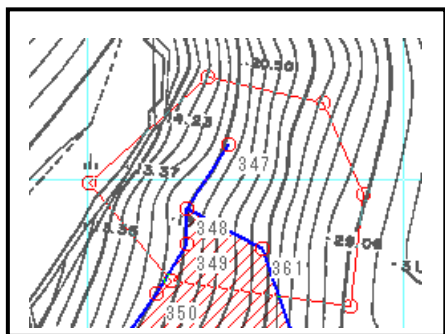


【注意】作成時や作成後に同一名称チェックは行いません。

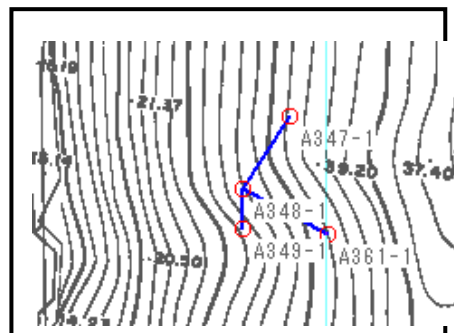
多角指定コピー 点名カスタマイズ

● 末尾に数字を追加する

ここにチェックがあると [編集] - [多角指定コピー] で図形をコピーした際、頂点番号も一緒にコピーし、末尾に数字を追加できます。頭文字追加設定で、コピーした頂点に特定の文字列を追加することも可能です。



チェックが入っていると、コピー先に頂点記号がコピーされる



背景画地選択オプション

- 優先する

重なる背景画地を選択した時に優先して選択するレイヤを指定します。

オプション設定

- 表示位置

オプションウィンドウを表示する位置を指定します。

- 設定ダイアログ

オプションの表示状態を選択します。

詳細設定

補助計算、ダイレクト編集、ショートカットキーの詳細を設定します。

- 補助計算

プログラムボタン…オペレーションバーの

プログラムボタンの設定をします。

リセット…プログラムボタンを初期値に戻します。

- ダイレクト編集

頂点移動…指定した図形の頂点を移動します。

辺移動…指定した図形の辺を移動します。

要素移動…指定した図形の要素を移動します。

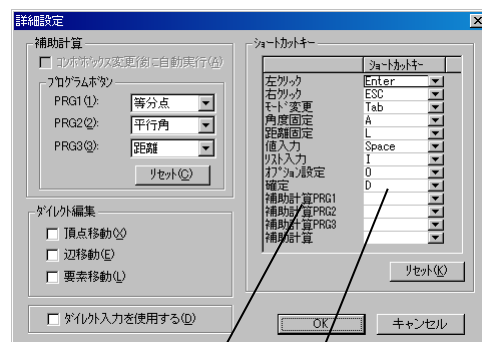
- ショートカットキー

オペレーションごとにショートカットキーを選択します。(▼で選択します。)

リセット…ショートカットキーの設定を初期値に戻します。

- ダイレクト入力を使用する

図形作成時にキーボード入力のみでの作成ができます。



オペレーション

ショートカットキー

【図形表示要素】

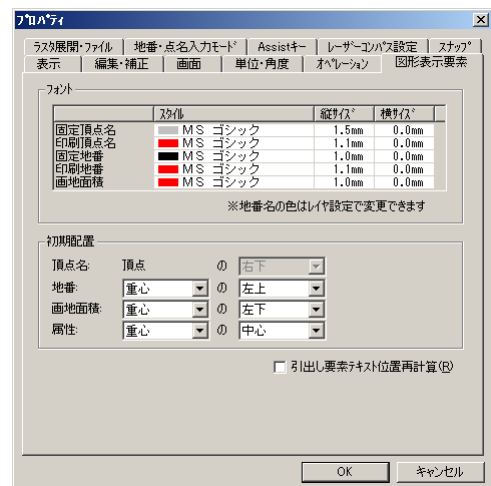
フォント

各項目のフォントを設定します。

フォントの詳細は、12-10 [表示] - [フォント] を参照してください。

初期配置

各項目の初期表示位置を設定します。



【ラスタ展開・ファイル】

ラスタ

ワークファイルの格納先を選択します。

● 展開先

メモリー内…メモリー内にワークファイルを作成します。

ファイル内…指定した場所にワークファイルを作成します。

[参照] ボタンをクリックして、[フォルダの参照]

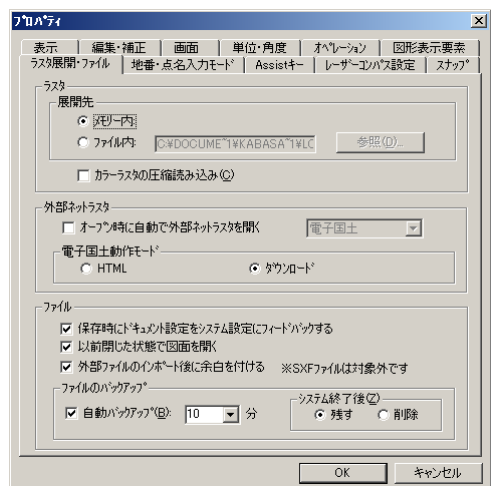
ウィンドウからフォルダを指定します。

カラーラスタの圧縮読み込み…カラーラスタを圧縮して読み込みます。

● 外部ネットラスタ

オープン時に自動で外部ネットラスタを開く…ファイルオープン時に指定された外部ネットラスタを開きます

電子国土動作モード…電子国土での画像のダウンロード方法などを設定します。



ファイル

保存時にドキュメント設定をシステム設定にフィードバックする…ドキュメントにしか保存していない設定を、図面保存時にシステム設定にも保存します。

以前閉じた状態で図面を開く…一度開いたファイルを前回と同様の表示位置・拡大率で開きます。

外部ファイルのインポート後に余白を付ける…外部入力をした後の図面に余白を付けます。

● ファイルのバックアップ

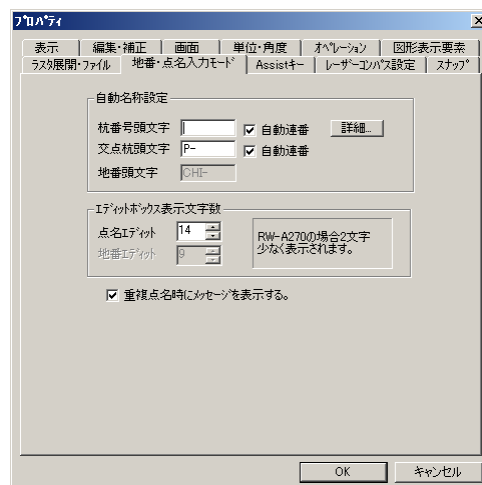
自動バックアップ…自動保存する時間を分単位で設定します。(最大30分)

システム終了後…[残す]を選択すると、システム終了後もバックアップファイルを残します。

【地番・点名入力モード】

自動名称設定

- 杭番号頭文字 （デフォルトは無し）
（例） 00－ を設定すると
00－1 00－2 と順次 点名を繰り上げる
- 交点杭頭文字 （デフォルトは P－）
（例） P－ を設定すると
P－1 P－2 と順次 点名を繰り上げる



自動連番をチェックマークされた状態では杭番号を自動で 1 繰り上げる。（上図はチェックマークされた状態）

押されていない状態では、点名表示部には何も表示しない。この場合は常に作業者が杭番号を入力する。

詳細を押すと・・・

桁指定

プレートと同じ点番号を連番で付けることができます。

桁・・・3桁 001、002、003 ～ 009、010 と連続されます。



開始値指定

基本的にはデータ内に有る杭番号の最大値に 1 加算した番号を

自動で付けますが、例えばデータ内には 3000～5000 まですでに杭番号を使っていて、これからは 1000 から杭番号を付けたい場合に使用します。

この例では、401、402、403 の順で点番号を付与します。途中でこのプロパティを開くと、次の番号が表示されています。

【注意】 このモードで自動連番したときに既存点名とぶつかった場合は、オペレーションのモードによって、動作が変わります。

A・単点、ライン上頂点、オフセット単点のとき

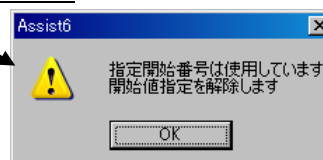
次に作成する点名が既存名とぶつかることがわかった段階で画面にメッセージボックスが出ます。

B・ラインのような仮線が出るオペレーションの時は地図右上に**注意** この頂点名は使用済みですと表示されます。作った頂点名と既存点がぶつかってから注意メッセージが出ます。

この場合、以後もラインの作成の続きが出来ますが、点名重複チェックはされません。

また、この動作が終了したら点名開始位置指定は自動で解除されます。

右ボタンでキャンセルしても進んだ杭番号は戻りません。



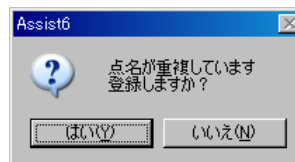
エディットボックスの表示文字数

点名の最大文字（半角サイズ）を指定します。

文字数が少なければ、表示文字は大きく表示します。（視覚し易くするため）

重複点名時にメッセージを表示する

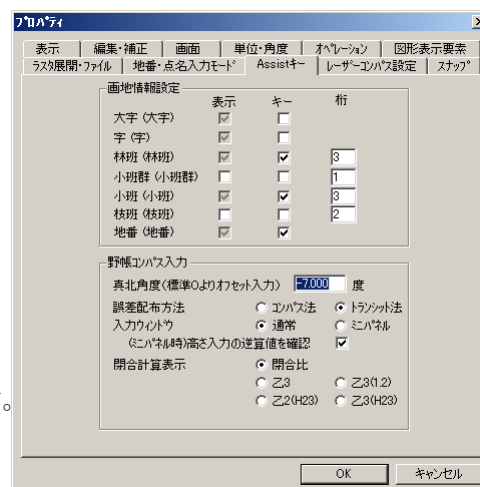
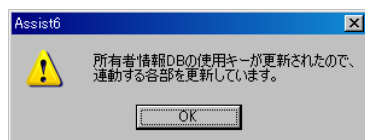
ここにチェックがあると、点名の入力時に重複していた場合
確認メッセージを表示します。



【Assist キー】

画地情報設定

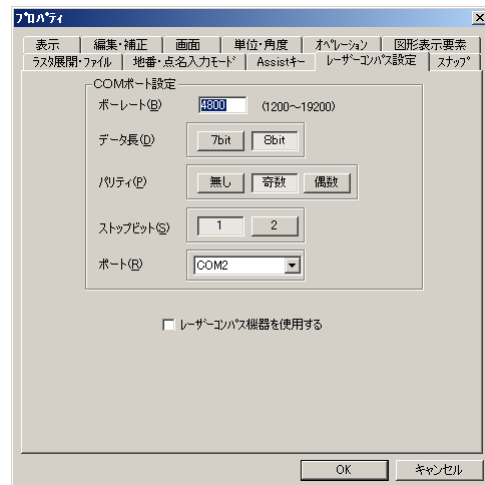
- 表示
各項目の表示・非表示を設定します。
- キー
所有者情報DBの使用キーを設定します。
変更した場合は確認メッセージが表示されます。
- 桁
林班、小班郡、小班、枝班の桁数をそれぞれ入力設定します。
基本的に運用前に設定してください。



野帳コンパス入力

- 真北角度（標準0よりオフセット入力）
地図やGPSは真北になっているので、観測地を正しく
地図上に表示させるため、磁北と真北の差を入力し、
調整する。
国内では地域によって違うので、国土地理院のホームページ
などを参照する。
- 誤差配布方法
コンパス法、トランシット法より選択。
- 入力ウィンドウ
コンパス入力時のウィンドウを選択する。通常画面と、ミニパネルより選択。
- 閉合計算表示
閉合比の計算表示を選択。

【レーザーコンパス設定】 COMポート設定



【スナップ】 対象図形設定

対象図形毎にスナップの可否の設定ができます。

頂点対象

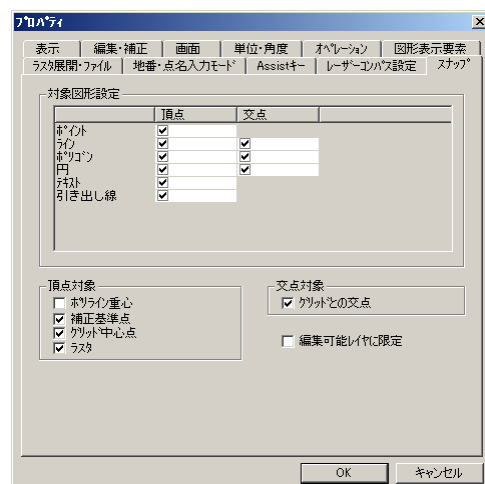
頂点の対象を選択します。

交点対象

交点の対象を選択します。

編集可能レイヤに限定

編集可能なレイヤのみスナップを設定します。



1 3 - 2 [ツール] - [レイヤ管理]

13-2-1 [ツール] - [レイヤ管理] - [杭種一覧設定] …杭種や杭マークを設定します。
現在設定されている杭情報が表示されます。

[表示/非表示]

表示…杭マークを表示します。(デフォルト)

非表示…杭マークを表示しません。

全表示…杭マークを全て表示にします。

全非表示…杭マークを全て表示しません。

日付範囲…指定の日付に作成した杭のみ表示にします。

操作許可…選択杭種の編集を制限します。



表示を押すと個別に表示非表示を選択できます。

【注意】 [ファイル] - [Assist印刷] で 「現在の杭種ステータスを使用する」 にチェックを入れると、ここの表示非表示に従って（画面に表示されている状態）で印刷します。

杭の作成日時に該当する杭マークのみを表示する機能

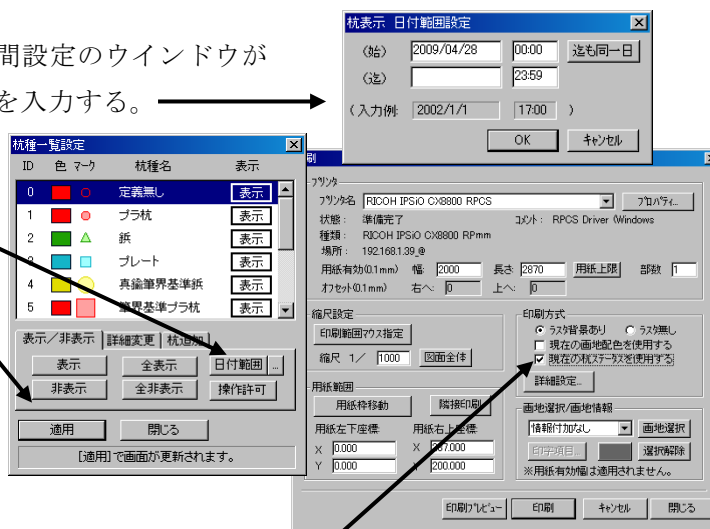
手順

1. 日付範囲の右横のボタンを押すと 時間設定のウインドウが表示されるので、開始時間と終了時間を入力する。

2. **OK** を押しウインドウを閉じる。

3. **日付範囲** を押し、ON 状態にした後、**適用** を押す。

1. 再度、時間に関係なく表示する時は **日付範囲** を再度押して OFF にする。



【注意】 印刷するときは必ず

「現在の杭種ステータスを使用する」をチェックマークしてください。

[詳細変更]

ID変更…マークの ID を変更

マーク変更…杭マークを変更

テキスト変更…杭種の名前を変更

色変更…マークの色を変更



[杭追加]

杭の追加…新しい杭を追加

杭の削除…現在の杭を削除

【注意】 ID 0 定義なしは、ID、マーク、色とも固定です。

杭マークの設定方法

(例) デフォルトの杭を変更する。

ID 7 ペンキを プラ杭 (黄) に変更する。

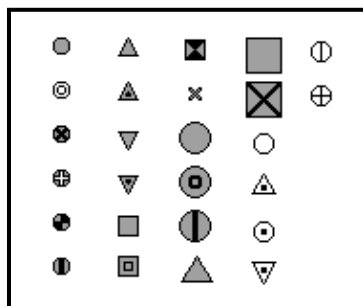
手順

- i マウスでペンキを選択
- ii **マーク変更** を押し、用意されているマークから選択
- iii **テキスト変更** を押してプラ杭 (黄) と入力
- iv **色変更** …マークの色を変更

ID 変更 …マークの ID を変更

【注意】

杭種は無制限に用意できますが、印刷時の凡例表示と杭種本数一覧では 19 種までの対応になります。



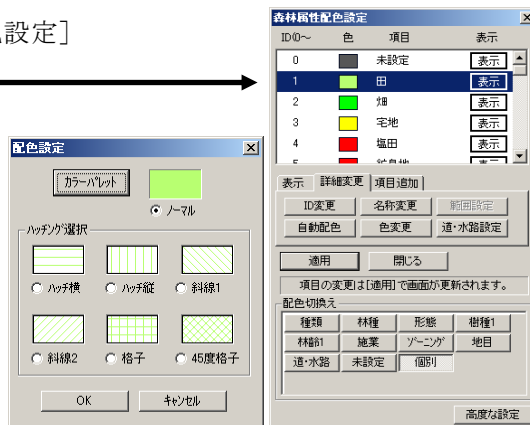
13-2-2 [ツール] - [レイヤ管理] - [森林属性配色設定] …ポリゴンカラーを設定します。

ポリゴンカラー、パターンの設定手順

1. [レイヤ] - [レイヤ管理] - [森林属性配色設定]
2. 変更したいレイヤを選択 (例 田)
3. **色変更** を押し、[配色設定] - [カラーパレット] を表示し、パターン、カラーを変更します。

【注意】 **ID 変更** と **名称変更** は通常行い

ません。準則に規定された番号、名称が事前に設定されています。特に番号を変更すると、syoyu.csv も変更する必要があります。



名称変更 は 宅地を (宅) と表示や印刷を行いたいときなどに使用します。

【表示】

表示…ポリゴン色を表示します。(デフォルト)

非表示…ポリゴン色を表示しません。

全表示…ポリゴン色を全て表示にします。

全非表示…ポリゴン色を全て表示しません。

表示を押すと個別に表示非表示を選択できます。



【注意】 [ファイル] - [Assist 印刷] で 「現在の画地配色を使用する」にチェックを入れると、この表示非表示に従って（画面に表示されている状態）で印刷します。

【詳細変更】

ID変更…ポリゴンの ID を変更

自動配色…配色を自動で変更

名称変更…地目の名称を変更

色変更…マークの色を変更

範囲変更…地目の範囲を変更

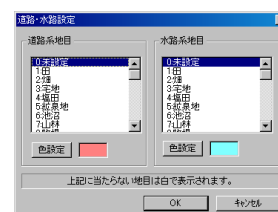
道・水路設定…「道を赤く塗り、水を青く塗る」表示や印刷をボタン一つで可能にしました。

設定は、道路・水路のタブの **道路水路設定** で設定します。

設定されている地目リストの中から、対象の地目をヒットします。

複数の選択が可能です。

注意 ユーザ様が、道路でも、国道、県道、市町村道などの、独自の地目を与える場合もあるため、デフォルトでは設定を行っていません。



【地目追加】

項目追加…新しい地目を追加

項目削除…現在の地目を削除


c s v インポート…c s v ファイルをインポート

全項目削除…現在の項目を全て削除



【配色切り替え】

種類、林種、形態、樹種 1、林齢 1、施業、ゾーニングの配色を設定し、表示・非表示にします。

配色切り替えでセットされたカラーで表示、非表示させるには、ポリゴン確認ボタンを OFF  にします。

地目…地目を選択すると、道・水路、未設定、個別が表示されます。

道・水路… 「道を赤く塗り、水を青く塗る」表示や印刷をボタン一つで可能にしました。

未設定… 地目が入力されていないポリゴンのみをカラー表示します。

個別… 地目とは全く関係なく、特定のポリゴンに特定の色を与える場合に使用します。個別に特定のカラーを与える方法は、図面上で対象のポリゴンを選択後、右ボタンで表示されるメニューの中から、「画地別色設定」を指示すると、カラーパレットが開き設定が出来ます。

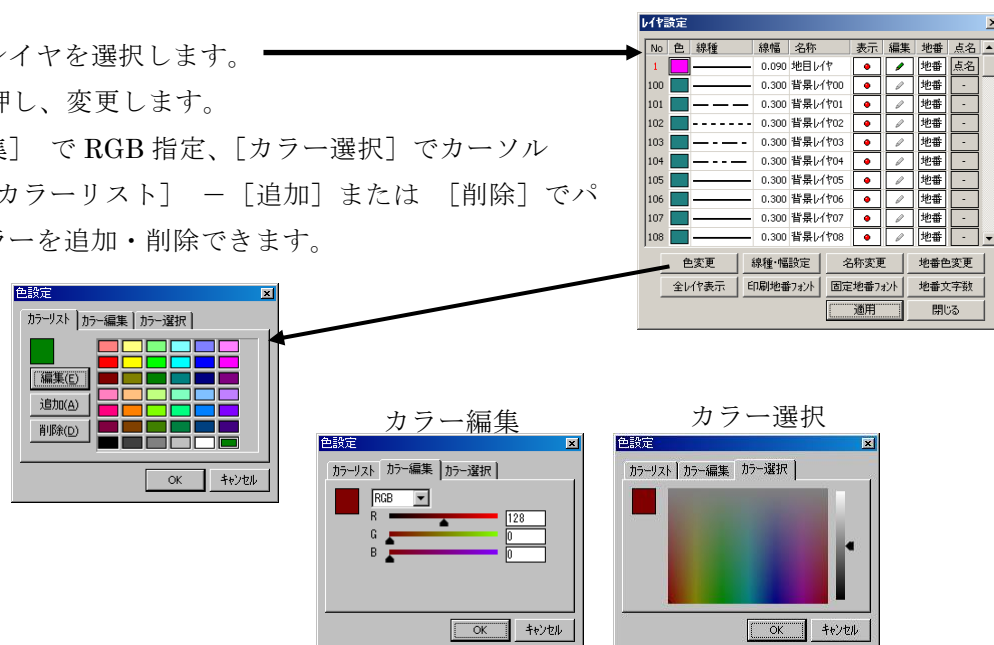
13-2-3 【ツール】－【レイヤ管理】－【レイヤ表示設定】…レイヤの詳細を設定します。

【色変更】

1. 変更したいレイヤを選択します。

2. 色変更 を押し、変更します。

【カラー編集】 で RGB 指定、【カラー選択】 でカーソル色指定後、【カラーリスト】－【追加】または【削除】でパレットにカラーを追加・削除できます。



※ ライン、単点、ポリゴン作成に使用するレイヤはNo.1～99（地目）です。

No.100～163 までは背景レイヤ、No.240、241 は簡易ラインレイヤ、No.252～256 は GPS 使用時のレイヤになります。使用状況にあわせて自動で切り替わります。

[線種・幅設定]

手順

1. 線種変更したいレイヤを選択します。
2. **線種・幅設定** を押し、線種を選択し、線幅を入力して変更します。
3. レイヤ内の線が変更されます。



[名称変更]

手順

1. 変更したいレイヤを選択します。
2. **名称変更** を押し、名称を入力します。
3. **OK** で、名称が変更されます。



[表示]

表示…地目レイヤ、背景レイヤ、または地番を表示します。
(デフォルト)

非表示…地目レイヤ、背景レイヤ、または地番を表示しません。

全レイヤ表示…No.17～No.99 のレイヤを表示にします。



表示 (Red dot icon) **地番** を押すと個別に表示・非表示を選択できます

[編集]

編集 (Pencil icon) を押して編集可・編集不可を選択できます

編集可…レイヤを編集できます。

編集不可…レイヤを編集不可にします。



[地番色変更]

地番色変更…選択されているレイヤ内の地番色を変更します。

詳細は色変更と同様です。

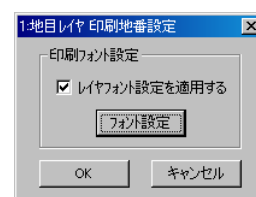
[全レイヤ表示]

レイヤを全て表示します。デフォルトではレイヤ 17～99 ままで非表示です。

[印刷地番フォント]

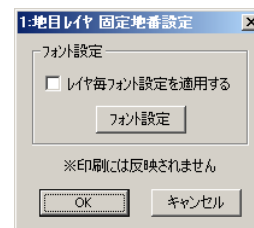
選択したレイヤの地番フォントを変更します。[1 地目レイヤ印刷地番設定]

ウィンドウが表示されます。[フォント設定] でフォントを変更します。



〔固定地番フォント〕

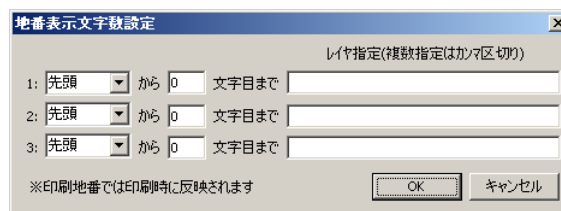
選択したレイヤの地番フォントを変更します。〔1 地目レイヤ固定地番設定〕ウィンドウが表示されます。〔フォント設定〕でフォントを変更します。



〔地番文字数〕

選択したレイヤの地番表示文字数を変更します。

〔地番表示文字数設定〕ウィンドウが表示されます。
表示する文字数を変更します。



〔適用〕

作成やラインカラーや線の太さを変更した後に、適用 を押すと正しい表示になります。

13-2-4 〔ツール〕－〔レイヤ管理〕－〔レイヤ表示順序設定〕…レイヤを表示する順序を変更します。

手順

1. メニューバーから〔ツール〕－〔レイヤ管理〕－〔レイヤ表示順序設定〕を選択します。
2. 〔描画順序設定〕ウィンドウが表示されます。
3. 移動させたいレイヤを選択し、▲または▼ を押し、レイヤを移動させます。
4. OK で、終了します。



13-2-5 〔ツール〕－〔レイヤ管理〕－〔図形レイヤ編集〕－〔移動〕…既存図形のレイヤを指定したレイヤに移動します。

手順

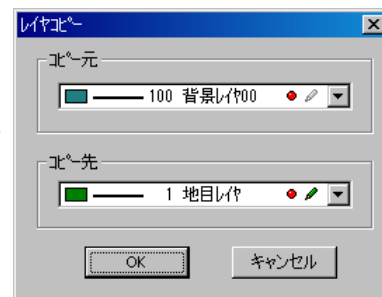
1. メニューバーから〔ツール〕－〔レイヤ管理〕－〔図形レイヤ編集〕－〔移動〕を選択します。
2. 〔レイヤ移動〕ウィンドウが表示されます。
移動元…レイヤを移動する図形のレイヤを指定します。
移動先…指定したレイヤの図形を移動するレイヤを指定します。
3. 設定終了後、〔OK〕 ボタンをクリックするとレイヤが移動します。



13-2-6 [ツール] - [レイヤ管理] - [図形レイヤ編集] - [コピー] …既存図形のレイヤを指定したレイヤに複写します。

手順

1. メニューバーから [ツール] - [レイヤ管理] - [図形レイヤ編集] - [コピー] を選択します。
2. [レイヤコピー] ウィンドウが表示されます。
コピー元…レイヤをコピーする図形のレイヤを指定します。
コピー先…指定したレイヤの図形をコピーするレイヤを指定します。
3. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックするとレイヤがコピーされます。



13-2-7 [ツール] - [レイヤ管理] - [図形レイヤ編集] - [削除] …指定したレイヤの図形を削除します。

手順

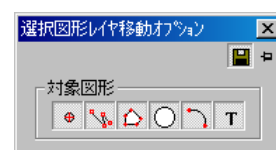
1. メニューバーから [ツール] - [レイヤ管理] - [図形レイヤ編集] - [削除] を選択します。
2. [レイヤ削除] ウィンドウが表示されます。
削除レイヤ…図形を削除するレイヤを指定します。
3. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると指定したレイヤの図形が削除されます。



13-2-8 [ツール] - [レイヤ管理] - [図形レイヤ編集] - [選択図形移動] …選択図形を指定したレイヤに移動します。

手順

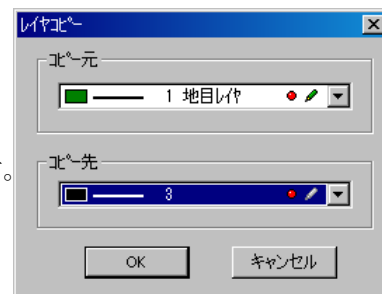
1. メニューバーから [ツール] - [レイヤ管理] - [図形レイヤ編集] - [選択図形移動] を選択します。
2. [レイヤ移動] ウィンドウが表示されます。
移動元…移動する図形のレイヤを指定します。
移動先…指定したレイヤの図形を移動するレイヤを指定します。
3. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると [選択図形レイヤ移動オプション] ウィンドウが表示されます。
対象図形を選択します。
4. マウスカーソルが+に変わります。
5. 移動したい図形を囲むようにクリックし、最後にダブルクリックすると指定したレイヤに選択図形が移動します。
6. 右クリックで終了します。



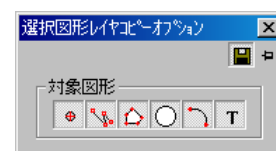
13-2-9 [ツール] - [レイヤ管理] - [図形レイヤ編集] - [選択図形コピー] …選択図形を指定したレイヤに複写します。

手順

1. メニューバーから [ツール] - [レイヤ管理] - [図形レイヤ編集] - [選択図形コピー] を選択します。
2. [レイヤコピー] ウィンドウが表示されます。
コピー元…コピーする図形のレイヤを指定します。
コピー先…指定したレイヤの図形をコピーするレイヤを指定します。



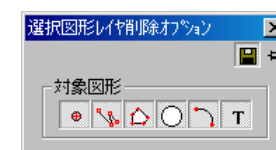
3. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると [選択図形レイヤコピーオプション] ウィンドウが表示されます。
対象図形を選択します。
4. マウスカーソルが+に変わります。
5. コピーしたい図形を囲むようにクリックし、最後にダブルクリックすると指定したレイヤに選択図形がコピーされます。
6. 右クリックで終了します。



13-2-10 [ツール] - [レイヤ管理] - [図形レイヤ編集] - [選択図形削除] …選択図形を指定したレイヤから削除します。

手順

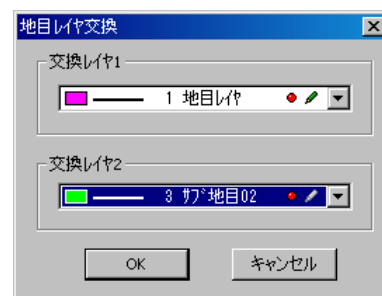
1. メニューバーから [ツール] - [レイヤ管理] - [図形レイヤ編集] - [選択図形削除] を選択します。
2. [レイヤ削除] ウィンドウが表示されます。
削除レイヤ…削除する図形のレイヤを指定します。
3. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると [選択図形レイヤ削除オプション] ウィンドウが表示されます。
対象図形を選択します。
4. マウスカーソルが+に変わります。
5. 削除したい図形を囲むようにクリックし、最後にダブルクリックすると指定したレイヤから選択図形が削除されます。
6. 右クリックで終了します。



13-2-11 [ツール]－[レイヤ管理]－[図形レイヤ編集]－[地目レイヤ交換] …地目レイヤとサブ地目レイヤの図形を入れ替えます。

手順

1. メニューバーから [ツール]－[レイヤ管理]－[図形レイヤ編集]－[地目レイヤ交換] を選択します。
2. [地目レイヤ交換] ウィンドウが表示されます。
交換レイヤ…図形を交換するレイヤを指定します。
3. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると指定したレイヤ間で図形内容が入れ替わります。



13-2-12 [ツール]－[レイヤ管理]－[図形レイヤ編集]－[ByEdge 削除] …選択したレイヤの ByEdge を削除します。

手順

1. メニューバーから [ツール]－[レイヤ管理]－[図形レイヤ編集]－[ByEdge 削除] を選択します。
2. [レイヤ選択] ウィンドウが表示されます。
3. 選択後、[OK] ボタンをクリックすると指定したレイヤの ByEdge が削除されます。



13-2-13 [ツール]－[レイヤ管理]－[システム→データレイヤ (D)] …システムレイヤをデータ内レイヤにコピーします。

手順

1. メニューバーから [ツール]－[レイヤ管理]－[システム→データレイヤ] を選択します。
2. [レイヤ設定のコピー (システムレイヤ→データレイヤ)] ウィンドウが表示されます。

[コピー対象]

グループレイヤ全体…グループレイヤ全体でコピーします。

グループレイヤ…グループレイヤ単位でコピーします。

レイヤ単体…レイヤ単体でコピーします。

[コピー元]

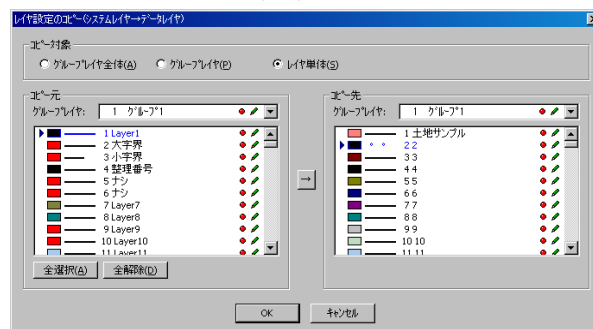
※グループレイヤまたはレイヤ単体を選択すると選択可能になります。

グループレイヤ…グループレイヤを選択します。

全選択…すべてのレイヤを選択します。

全解除…すべてのレイヤの選択を解除します。

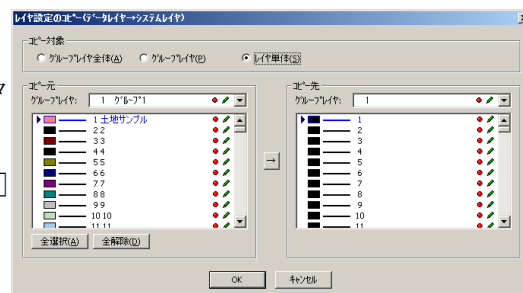
3. コピーするレイヤを選択して [→] ボタンをクリックするとコピー先の表示が変更されます。
4. [OK] ボタンをクリックするとレイヤがコピーされ終了します。



13-2-14 [ツール]－[レイヤ管理]－[データ→システムレイヤ (S)] …データ内レイヤをシステムレイヤにコピーします。

手順

1. メニューバーから [ツール]－[レイヤ管理]－[データ→システムレイヤ] を選択します。
2. [レイヤ設定のコピー (データレイヤ→システムレイヤ)] ウィンドウが表示されます。



[コピー対象]

グループレイヤ全体…グループレイヤ全体でコピーします。

グループレイヤ…グループレイヤでコピーします。

レイヤ単体…レイヤ単体でコピーします。

[コピー元]

※グループレイヤまたはレイヤ単体を選択すると選択可能になります。

グループレイヤ…グループレイヤを選択します。

全選択…すべてのレイヤを選択します。

全解除…すべてのレイヤの選択を解除します。

[コピー先]

グループレイヤ…グループレイヤを選択します。

3. コピーするレイヤを選択して [→] ボタンをクリックするとコピー先の表示が変更されます。
4. [OK] ボタンをクリックするとレイヤがコピーされ終了します。

13-2-15 [ツール]－[レイヤ管理]－[ポリゴン基本色設定 (G)] …現在の地目レイヤ以外の画地色を設定します。

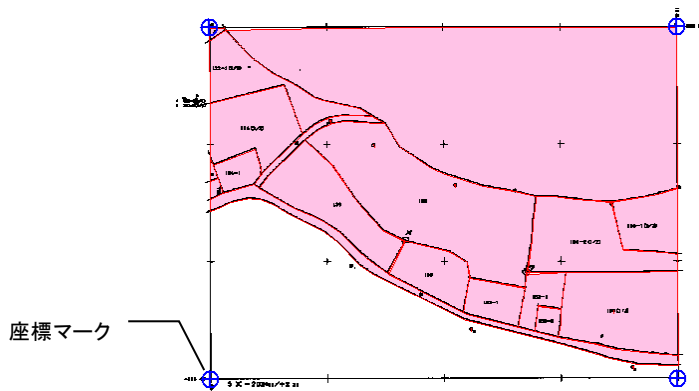
13-3-3 [ツール] - [補正]

13-3-1 [ツール] - [補正] - [基準点] …図面を公共座標で扱うために、公共座標が確定している位置に基準となる点を指定して座標値を設定します。

座標マークが編集画面に表示されない場合は、メニューバーから [ツール] - [プロパティ] - [表示] タブを選択し、[基準座標] のチェックボックスを [ON] にしてください。

基準点の設定方法は、補正方法によって異なります。

メニューバーから [ツール] - [補正] - [補正方法] を選択して設定してください。



※座標マークは補正方法によって異なります。

13-3-2 [ツール] - [補正] - [基準点] - [左下] …座標がない図面に、編集上の架空の座標値を設定します。左下基準点位置と座標値を入力し、基準点を設定します。


手順

1. 補正方法を [左下から計算] に設定します。

設定方法は、[ツール] - [補正] - [補正方法] を参照してください。

2. メニューバーから [ツール] - [補正] - [基準点] - [左下] を選択します。

3. [左下補正設定オプション] ウィンドウが表示されます。

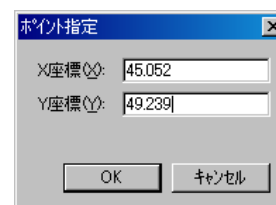
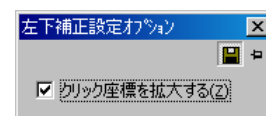
クリック座標を拡大する…カーソルが  に変わり、クリックで座標を拡大します。

4. カーソルが+に変わります。

5. 左下座標を入力するポイントをクリックします。

6. [ポイント指定] ウィンドウが表示されます。


7. X座標・Y座標を入力し、[OK] ボタンをクリックすると、座標値が設定され座標マークが表示されます。



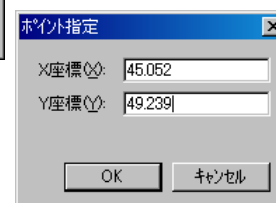
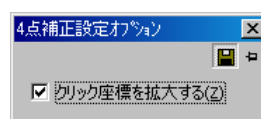
13-3-3 [ツール] - [補正] - [基準点] - [4点] …図枠の4点がある図面の場合は、図枠の4点に座標値を入力して補正します。

4点座標位置と座標値を入力し、基準点を設定します。入力した値は4点自動のパラメータに反映されます。

手順

1. 補正方法を[4点補正]に設定します。
設定方法は、[ツール] - [補正] - [補正方法]を参照してください。
2. メニューバーから[ツール] - [補正] - [基準点] - [4点]を選択します。
3. [4点補正設定オプション]ウィンドウが表示されます。
クリック座標を拡大する…カーソルが  に変わり、クリックで座標を拡大します。
4. カーソルが+に変わります。
5. 座標を入力するポイントをクリックします。
6. [ポイント指定]ウィンドウが表示されます。
7. X座標・Y座標を入力し、[OK]ボタンをクリックすると、座標値が設定され座標マークが表示されます。
8. 3.~6.の作業を繰り返し4点入力します。


※座標値を入力する順番は、左上を1点目に右回りで入力してください。

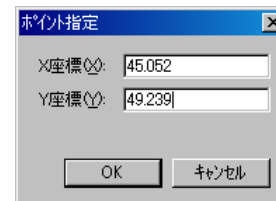
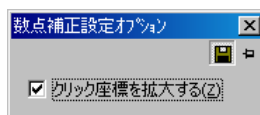


13-3-4 [ツール] - [補正] - [基準点] - [数点] …図枠の4点がない図面で2点以上のポイント（トンボ）を指定することで補正します。

座標を任意の複数点で補正するときの座標位置と座標値を入力します。

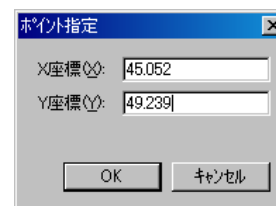
手順

1. 補正方法を[ヘルマート]・[座標差による補正]・[距離差による補正]・[メッシュ補正]のいずれかに設定します。
設定方法は、[ツール] - [補正] - [補正方法]を参照してください。
2. メニューバーから[ツール] - [補正] - [基準点] - [数点]を選択します。
3. [数点補正設定オプション]ウィンドウが表示されます。
クリック座標を拡大する…カーソルが  に変わり、クリックで座標を拡大します。
4. カーソルが+に変わります。
5. 座標を入力するポイントをクリックします。
6. [ポイント指定]ウィンドウが表示されます。
7. X座標・Y座標を入力し、[OK]ボタンをクリックすると、座標値が設定され座標マークが表示されます。
8. 必要に応じて3.~6.の作業を繰り返します。



13-3-5 **〔ツール〕**－**〔補正〕**－**〔基準点〕**－**〔編集〕**…既に入力した基準点を修正します。
手順

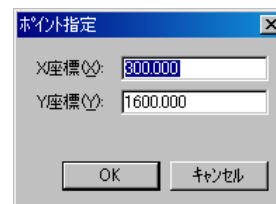
1. メニューバーから **〔ツール〕**－**〔補正〕**－**〔基準点〕**－**〔編集〕** を選択します。
2. カーソルが△に変わります。
3. 座標値を修正する座標マークをクリックすると、**〔ポイント指定〕** ウィンドウが表示されます。
4. X座標・Y座標を修正し、**〔OK〕** ボタンをクリックすると、座標値が修正されます。



13-3-6 **〔ツール〕**－**〔補正〕**－**〔基準点〕**－**〔移動〕**…既に設定されている基準点を移動します。

手順

1. メニューバーから **〔ツール〕**－**〔補正〕**－**〔基準点〕**－**〔移動〕** を選択します。
2. カーソルが△に変わります。
3. 移動する座標マークをクリックすると、カーソルに移動する基準点が表示されます。
4. 移動する位置でクリックすると、**〔ポイント指定〕** ウィンドウが表示されます。
5. X座標・Y座標を修正し **〔OK〕** ボタンをクリックすると、座標値が修正されます。



13-3-7 **〔ツール〕**－**〔補正〕**－**〔基準点〕**－**〔削除〕**…既に設定されている基準点を削除します。4点補正の場合は、すべて削除されます。

手順

1. メニューバーから **〔ツール〕**－**〔補正〕**－**〔基準点〕**－**〔削除〕** を選択します。
2. カーソルが+に変わります。
3. 削除する座標マークをクリックすると、指定した基準点が削除されます。

13-3-8 [ツール] - [補正] - [基準メッシュ] … [基準点] - [数点] で指定した座標が3点以上ある場合は、指定した3点から4点目の座標を作成し、メッシュ補正します。

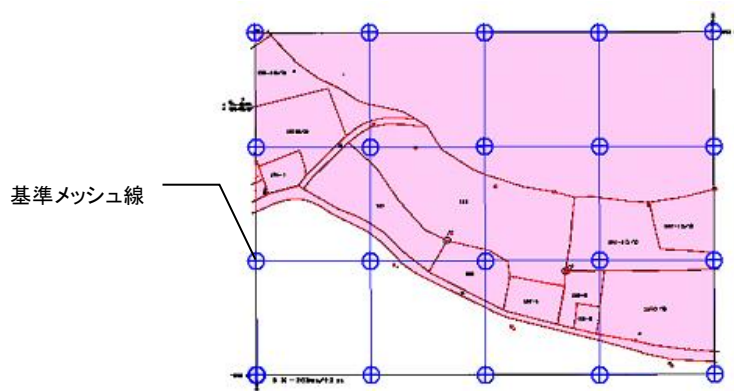
[追加]

基準座標入力後、座標にメッシュを追加します。

基準座標入力は、[基準点] - [数点] を参照してください。

手順

1. 補正方法を[メッシュ補正]に設定します。設定方法は、[ツール] - [補正] - [補正方法]を参照してください。
2. メニューバーから[ツール] - [補正] - [基準メッシュ] - [追加]を選択します。
3. カーソルが+に変わります。
4. メッシュを作成する座標マークを3点クリックします。
3点目でダブルクリックすると、指定した3点から平行四辺形のメッシュと4点目の座標が作成されます。(2点目に指定した座標マークの対角に4点目の基準点を作成されます。)



[削除]

基準メッシュを削除します。

手順

1. メニューバーから[ツール] - [補正] - [基準メッシュ] - [削除]を選択します。
2. カーソルが▲に変わります。
3. メッシュの1辺をクリックすると削除されます。(基準点は残ります。)

13-3-9 [ツール]－[補正]－[補正条件]…各座標補正に対して補正条件（縮尺等）を設定して補正を行ないます。

[4点]

入力した4点座標値に対して、縮尺・伸縮の有無等の条件を設定して補正を行ないます。

手順

1. 補正方法を[4点補正]に設定します。

設定方法は、[ツール]－[補正]－[補正方法]を参照してください。

2. メニューバーから[ツール]－[補正]－[補正条件]を選択します。

3. [4点補正パラメータ]ウィンドウが表示されます。

基準座標…1点目から4点目までの座標値が表示されます。(変更可)

縦・横方向縮尺…図面の縦・横方向の縮尺を入力します。

回転角度…[伸縮補正する]のチェックボックスを[OFF]にした場合に、図面の方向角を入力します。

図面に対して北の角度を入力します。

伸縮補正する…ベクタデータを補正します。[4点補正]を実行します。

チェックボックスを[OFF]にすると[左下基準座標]で補正します。

The dialog box is titled '4点補正パラメータ'. It has a '基準座標' (Reference coordinates) section with two columns of input fields. The first column contains '1点目X座標(X):', '2点目X座標(X):', '3点目X座標(X):', and '4点目X座標(X):'. The second column contains '1点目Y座標(Y):', '2点目Y座標(Y):', '3点目Y座標(Y):', and '4点目Y座標(Y):'. Below this, there are input fields for '縦方向縮尺(X):' (1/1000) and '横方向縮尺(Y):' (1/1000). To the right of these is a checkbox labeled '伸縮補正する(S)' which is checked. At the bottom, there is a field for '回転角度(A):' with units '度', '分', and '秒'. The '度' field contains '0', '分' contains '0', and '秒' contains '0.00'. There are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom right.

4. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると座標値が補正されます。

- 13-3-10** **〔ツール〕－〔補正〕－〔4点自動〕** … 4点補正において、1点の座標値とスケール及び図枠の長さを指定して3点を自動登録します。4点入力を使った入力方法を自動化するもので登録した基準座標は基準点の機能を使って移動・編集できます。

手順

1. 補正方法を〔4点補正〕に設定します。
設定方法は、〔ツール〕－〔補正〕－〔補正方法〕を参照してください。
2. メニューバーから〔ツール〕－〔補正〕－〔4点自動〕を選択します。
3. 〔4点補正パラメータ入力〕ウィンドウが表示されます。
縦・横方向縮尺…図面の縦・横方向の縮尺を入力します。
図面縦長…図面縦長を入力します。
図面横長…図面横長を入力します。
伸縮補正する…4点の座標から補正計算を行います。

チェックボックスを〔OFF〕にすると、4点のうち、左下の1点の座標を基準にして計算を行います。図面角度は左下と右下の座標から計算されます。

基準座標…基準にする座標を1点指定することによって他の3点が自動的に登録されます。


基準にする1点を〔左上位置指定〕・〔右上位置指定〕・〔左下位置指定〕・〔右下位置指定〕ボタンで指定します。詳細は、◆位置指定◆を参照してください。

図枠の頂点…図形から図枠を設定します。

4. 設定終了後、〔OK〕ボタンをクリックすると4点の座標値が設定されます。

◆位置指定◆

〔左上位置指定〕・〔右上位置指定〕・〔左下位置指定〕・〔右下位置指定〕から、基準にする座標位置のボタンをクリックします。

- ① 編集画面に戻り、カーソルが  に変わります。
- ② 1回目のクリックで編集画面が拡大され、カーソルが+に変わります。
- ③ 2回目のクリックで座標値入力ポイントを決定します。
- ④ 〔ポイント指定〕ウィンドウが表示されます。
- ⑤ X座標・Y座標を入力します。
- ⑥ 〔OK〕ボタンをクリックすると、座標値が設定され座標マークが表示されます。

13-3-11 [ツール]－[補正]－[2点補正]…補正方法が「左下」の場合（任意座標系）に、座標系や縮尺を変更します。

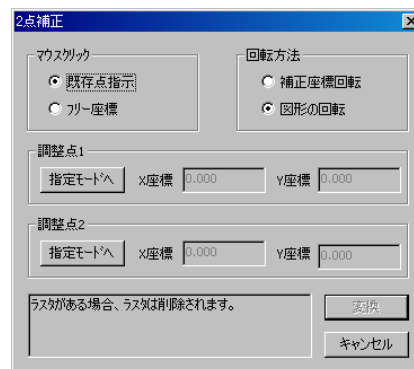
[目的]

字図で調査を行った場合、各々の字図毎に調査図を作成し、全ての調査が完了後、調査地域の接合する場合などに使用します。図上の2箇所に座標値を与えることで、新たな座標系や回転を定義します。

マウスクリック

既存点指示…図面上に存在する杭に座標値を与える場合

フリー座標…図面上の任意場所に座標値を与える場合



回転方法

図面（ラスタ）の位置を保持し、補正座標を回転…ラスタ背景図はそのまま、座標系を定義しなおす。（見た目は変わらない）通常はこの方法。

図形の回転…新しく定義された座標系で表示。（見た目に、データが回転する：ラスタ背景は非表示）

手順

1. マウスクリック、回転方法を選択
2. 調整点1の **指定モードへ** で図面上の座標値を与えなおす点の1点目をマウスでヒット
3. 新X 新Yに座標値を入力
4. 調整点2の **指定モードへ** で図面上の座標値を与えなおす点の2点目をマウスでヒット
5. 新X 新Yに座標値を入力

13-3-12 [ツール]－[補正]－[係数確認]…座標値・補正パラメータ入力後、図面の補正状態を確認します。

※左下基準座標で補正した場合は表示されません。

手順

1. メニューバーから [ツール]－[補正]－[係数確認] を選択します。



| 番号 | 画像長 | 画像実長 | 基準実長 | 補正係数 | 図面角度 |
|----|------------|-----------|-----------|----------|-------|
| 1 | 303.276 mm | 454.814 m | 303.276 m | 0.666667 | 0.000 |
| 2 | 287.274 mm | 430.911 m | 287.274 m | 0.666667 | 0.000 |
| 3 | 303.276 mm | 454.814 m | 303.276 m | 0.666667 | 0.000 |
| 4 | 287.274 mm | 430.911 m | 287.274 m | 0.666667 | 0.000 |

2. [補正係数確認] ウィンドウが表示されます。

番号…座標値を登録した順番で座標番号が表示されます。

選択した座標番号の座標マークが編集画面上で赤く表示されます。

画像長…紙上の長さを表示します。

画像実長…スケールから考慮した実長を表示します。

基準実長…座標値から計算した距離を表示します。

補正係数…補正係数を表示します。「1」に近いほど正確に補正されます。

図面角度…図面角度を表示します。

スケール…図面スケール（縮尺）を入力します。

逆算…補正係数を1に近づけてスケールを逆算します。

印刷…補正係数を印刷します。

3. 補正係数確認後、[OK] ボタンをクリックします。

[補正係数] が不正確な場合は、[補正条件] で座標値と座標位置と縮尺等を確認して修正します。

13-3-13 [ツール]－[補正]－[ラスト]…基準点に合わせてラスト・ベクタの画像を補正します。（オプション）

手順

1. メニューバーから [ツール]－[補正]－[ラスト] を選択します。

2. [画像補正] ウィンドウが表示されます。

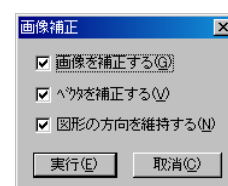
画像を補正する…基準点に合わせてラストの歪みを自動調整します。

ベクタを補正する…基準点に合わせてベクタの歪みを自動調整します。

図形の方向を維持する…画像補正を実行するときに、図形の角度を維持

します。チェックボックスを [OFF]

と、北を真上に補正します。



3. 設定終了後、[実行] ボタンをクリックすると [補正係数確認] ウィンドウが表示されます。

4. [実行] ボタンをクリックすると、ラスト・ベクタの画像が補正されます。

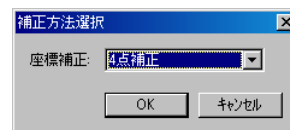


| 補正係数確認 | |
|---------|-----------|
| 補正係数横1: | 0.4993130 |
| 補正係数横2: | 0.4993130 |
| 補正係数縦1: | 0.5544474 |
| 補正係数縦2: | 0.5540086 |

13-3-14 [ツール]－[補正]－[補正方法]…補正方法を設定します。

手順

1. メニューバーから [ツール]－[補正]－[補正方法] を選択します。
2. [補正方法選択] ウィンドウが表示されます。



左下から計算…基準点を左下に設定して補正を行います。

4点補正…基準点を4点に設定して補正を行います。

ヘルマート…数点の実座標によるヘルマート補正を行います。

座標差による補正…数点の実座標による座標差の平均係数による補正を行います。

距離差による補正…数点の実座標による距離差の平均係数による補正を行います。

メッシュ補正…基準点3点から作成したメッシュによる補正を行います。

メッシュの作成方法は、[ツール]－[補正]－[基準メッシュ] を参照してください。

3. 座標補正方法を選択して [OK] ボタンをクリックすると、補正方法が設定されます。

13-3-15 [ツール]－[補正]－[測地成果2000]…従来、使用されてきた座標系（日本測地系）を、測量法の改正により変更になった座標系（世界測地系）に変換します。測地成果2000の概要は、◆測地成果2000の概要◆を参照してください。

手順

1. メニューバーから [ツール]－[補正]－[測地成果2000] を選択します。

2. [測地成果2000変換設定] ウィンドウが表示されます。

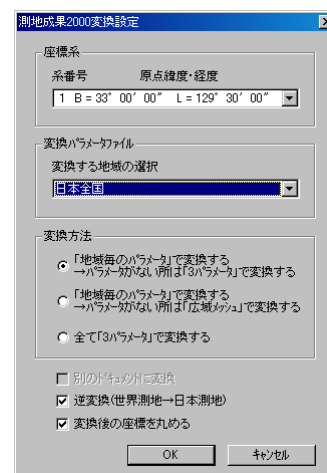
座標系…座標系を選択します。

変換パラメータファイル…変換する地域を選択します。

変換方法…変換方法を選択します。

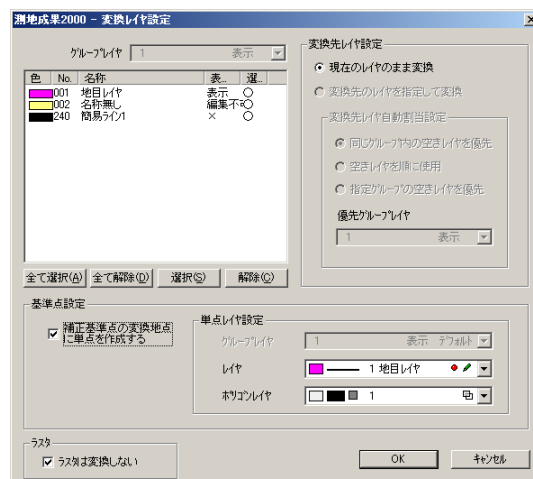
逆変換（世界測地→日本測地）…世界測地→日本測地へ変換します。

変換後の座標を丸める…変換後に座標を丸めます。



3. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると、
[測地成果2000変換レイヤ設定] ウィンドウが
表示されます。

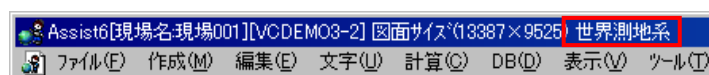
変換先レイヤ設定…変換先のレイヤを設定します。
現在のレイヤか、変更先のレイヤを指定することができます。
補正基準点の変換地点に単点を作成する…チェックを入れると補正基準点の変換地点に単点を作成します。



単点レイヤ設定…単点のグループレイヤ、レイヤ、ポリゴンレイヤを設定します。

ラスタは変更しない…ラスタを補正するか指定できます。

- ※ 世界測地系から世界測地系、日本測地系から日本測地系へ変換しようとする、警告画面が表示されます。現在の測地系の設定は画面上部のキャプションに表示されています。



4. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると、世界測地系または日本測地系に変換します。

- ※ このシステムには、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1－N o.2「測地成果2000のための座標変換ソフトウェアTKY2JGD」を使用しました。
(承認番号 国地企調発第621号 平成14年3月29日)

◆測地成果 2000 の概要◆

地球上の位置を経度・緯度で表わすための基準を測地基準系（測地系）といい、地球の形に最も近い回転楕円体で定義されています。経度・緯度は、この回転楕円体（地球楕円体）の上で表示されています。

そして、個々の土地の経度・緯度が精度良く、効率的に求められるように、位置の目印になる基準点を全国に多数設置し、測量によってこれらの基準点の経度・緯度を求めています。この基準点の位置を表わす経度・緯度の数値を測地基準点成果といいます。従来、我が国は、明治時代に5万分の1地形図を作るために決定した回転楕円体（いわゆるベッセル楕円体）を位置の基準としており、測地基準点成果もこの回転楕円体に基づく値が求められ使用されてきました。この、従来使用されてきた測地基準系を日本測地系といいます。

しかし、VLBI（数十億光年の彼方にある電波星から届く電波を電波望遠鏡で受信して数千kmもの長距離を数mmの高精度で測る技術）や人工衛星により地球規模の観測ができるようになった今日では、日本測地系は、地球全体によく適合した測地基準系であるとは言えなくなりました。

一方で、地球全体によく適合した測地基準系として、世界測地系が構築されています。世界測地系とは、VLBIや人工衛星を用いた観測によって明らかとなった地球の正確な形状と大きさに基づき、世界的な整合性を持たせて構築された経度・緯度の測定の基準で、国際的に定められている測地基準系をいいます。

また、日本測地系の経緯度で表されている地点を、世界測地系の経緯度で表わすと、東京付近では、経度が約-12秒、緯度が約+12秒変化します。これを距離に換算すると、北西方向へ約450mずれることに相当します。

GPS（全地球測位システム）及びGIS（地理情報システム）というコンピュータシステムによる位置情報の測定・利用技術が出現し、今後急速な普及が見込まれています。そして、両技術に対応する基準として、世界測地系に基づいた、高精度な測地基準点成果及び地図成果が求められています。しかも、近い将来に予測されているGPSやGISの本格的普及を考慮すると、それ以前に、世界測地系に移行する必要があります。

国土地理院では、全国に電子基準点を整備し、世界測地系に基づく高精度な新しい測地基準点成果である測地成果2000を計算しました。測地成果2000では、日本測地系による基準点網のひずみが解消されています。

世界測地系を適用するため、測量法の一部が改正され、平成14年4月1日から施行されます。

改正測量法の施行により、地方自治体等が行う測量や、地図・GIS用地図データベースの作成、法令・告示の経度・緯度表示などについては、世界測地系に基づくことになります。また、必要に応じて既存データの変換等が必要となります。

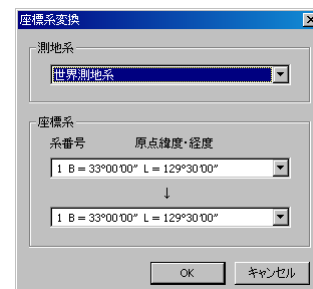
しかし、地方自治体が持っているデータのすべてを一度に改正測量法の施行日に変換しなければならないというものではありません。新たな測量計画や今後とも維持する必要のあるデータ等を考慮して、必要なものを計画的に順次変換すれば良いことになります。

国土地理院ホームページ 「世界測地系移行の概要」より引用

13-3-16 [ツール]－[補正]－[座標系変換]…座標系の違う図面の結合を行なう場合に結合前に座標系変換を行ないます。

手順

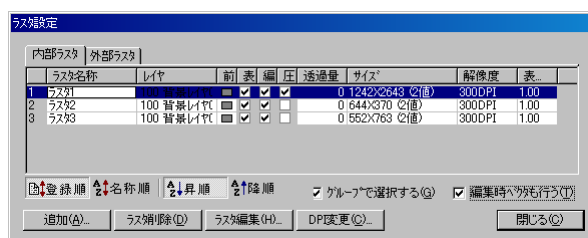
1. メニューバーから [ツール]－[補正]－[座標系変換] を選択します。
2. [座標系変換] ウィンドウが表示されます。
測地系…測地系を選択します。
座標系…上に現在の座標系が表示されます。(変更可)
下は変換する座標系を選択します。
3. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると、座標を変換し [ツール]－[プロパティ]－[単位・角度] を変更します。



1 3－4 [ツール]－[ラスタ設定]…ラスタファイルを設定します。

手順

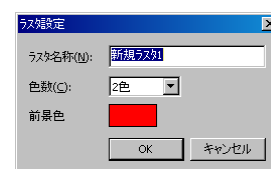
1. メニューバーから [ツール]－[ラスタ設定] を選択します。
2. [ラスタ設定] ウィンドウが表示されます。
現在編集画面に表示されているラスタ
ファイルの一覧が表示されます。
3. カーソルが▲に変わります。
4. 編集するラスタをクリックするか、
[ラスタ設定] ウィンドウでファイルを選択すると、編集画面上で点滅します。[shift] キーを押しながら複数ラスタの選択もできます。



[内部ラスタ]

内部ラスタ…内部ラスタの設定画面が表示されます。
登録順…ラスタを図面に登録（結合）した順に並び替えます。
名称順…ラスタ名称順に並び替えます。
昇順…並び替え順を昇順にします。
降順…並び替え順を降順にします。
グループで選択する…分割して読み込んだラスタを一括選択し、編集できるようにします。
編集時ベクタも行う…ベクタも同時に編集します。
追加…図面上にラスタ領域を追加します。

- ① [追加] ボタンをクリックします。
- ②カーソルが+に変わります。
- ③追加したいラスタ領域を矩形で囲みます。
- ④ [ラスタ設定] ウィンドウが表示されます。
ラスタ名称・・・新規ラスタ領域の名称を入力します。
色数・・・色数を選択します。(2色、256色、フルカラー)
前景色・・・ラスタの前景色を設定します。
- ⑤ [OK] ボタンをクリックすると、新しいラスタ領域が追加されます。



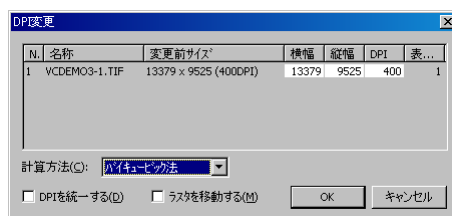
ラスタ削除…選択したファイルのラスタを削除します。

ラスタ編集…選択したラスタを編集します。[結合データ補正メニュー]が表示されます。

詳細は、◆結合データ補正メニュー◆を参照してください。

DPI 変更…ラスタのDPI（解像度）を変更します。

- ①ラスタを選択します。
- ② [DPI 変更] ボタンをクリックします。
- ③ [DPI 変更] ウィンドウが表示されます。



横幅…横幅を入力します。横幅を入力すると、

変更可能な縦幅とDPIを算出します。

縦幅…縦幅を入力します。縦幅を入力すると、変更可能な横幅とDPIを算出します。

DPI…DPIを入力します。DPIを入力すると、変更可能な横幅と縦幅を算出します。

計算方法…DPI 変更の計算方法を選択します。

● ニアレストネイバー法

伸縮後のピクセルが伸縮前のどの位置にいたかを計算し、そのピクセルの色を適用します。伸張時にはジャギーが目立ち、縮小時には情報の欠落が多いため、伸縮後の画像の品質は良くありません。計算方法が単純なため、計算時間は高速でほとんど時間はかかりません。

● バイリニア法

伸縮後のピクセルが伸縮前のどの領域に相当するかを計算し、その領域内の色の平均をピクセルの色として適用します。複数のピクセルの色の平均値を使うので、伸縮後には伸縮前に存在しなかった色が含まれることがあります。

伸縮後の画像の品質は、ニアレストネイバー法よりきれいです。計算時間はニアレストネイバー法に比べ若干時間がかかります。

● バイキュービック法

バイリニア法の発展方法で、伸縮前の領域の周囲のピクセルの色を考慮して伸縮後のピクセルの色を計算します。

伸縮後の画像の品質はバイリニア法よりきれいですが、計算時間が大幅に増えます。

● 伸縮なし

伸縮をしません。

DPI を統一する…分割して読み込んだラスタファイルの DPI を一括して変更します。

ラスタを移動する…複数の合成しているラスタをDPI 変更したとき、図面の拡大・縮小にともないラスタ間の余白を埋めるようにラスタを移動します。

- ④ [OK] ボタンをクリックすると、DPI の変更を行います。

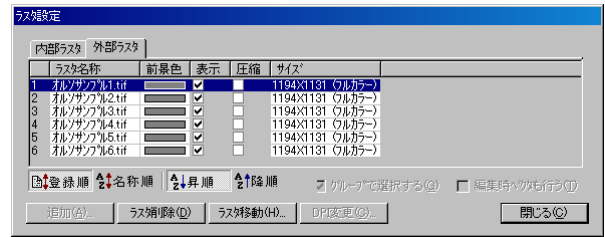
※この機能は元に戻せません。

外部ラスタ

外部ラスタ…外部ラスタの設定画面が表示されます。

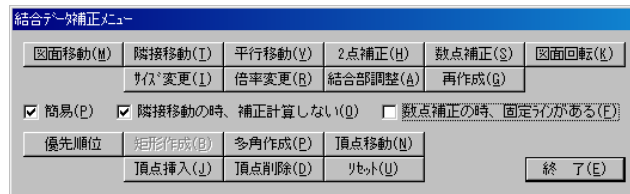
ラスタ削除…選択したファイルのラスタを削除します。

ラスタ移動…選択したラスタを移動します。[ラスタ移動]ボタンをクリックするとカーソルが+に変わります。画面上でラスタをクリックし、マウスで移動させます。



5. 設定終了後、[閉じる] ボタンをクリックします。

◆結合データ補正メニュー◆



図面移動…ラスタデータを移動します。

移動するラスタデータの現在の基準点と移動後の基準点をクリックするとデータが移動します。

隣接移動…2枚のラスタを境界線で合わせます。

移動するラスタの境界線をクリックして移動先のラスタの境界線をクリックするとラスタが移動します。

[補正計算しない] のチェックボタンを [OFF] にすると移動先のラスタの境界線の長さで補正されます。

平行移動…ラスタデータを水平・垂直に移動します。

移動するラスタデータをクリックして移動先でクリックするとラスタデータが移動します。

2点補正…2点補正します。(オプション)

- 1.補正するラスタデータの基準点(1点目)と、それに対応する補正後の図面の基準点(2点目)を各2点クリックします。
- 2.[2点補正]ウィンドウが表示されます。
- 3.補正方法(伸縮補正・回転)を選択します。
- 4.先に指定した基準点(1点目)の図面が2点目で指定した基準点に合わせて拡大・縮小・回転して補正します。

数点補正…歪んだ結合図面を数点補正します。(オプション)

1. 先に読み込んだ図面と結合した図面の補正をして合わせる図形のポイントを3ヶ所以上クリックして最終点でダブルクリックします。
2. [現在指定した点で、固定するラインは、ありますか?] という確認メッセージが示されます。
3. [はい] ボタンをクリックすると、カーソルが+に変わります。
4. ポイントとポイントを合わせて固定ラインを作成します。(複数指定可)
ダブルクリックすると、固定ラインの歪みを矯正して補正します。

図面回転…図面を回転します。(オプション)

1. [回転] ウィンドウが表示されます。

方向…回転方向を左回り、右回りに選択します。

角度…90度、180度、270度、任意から回転角度を選択します。

任意…任意で図面を回転させます。



1. カーソルが+に変わります。

2. 回転させる基準になる位置をクリックするとカーソルが▲に変わります。

3. カーソルを移動するとラスタ枠が回転します。確定する位置で左クリックするとラスタが回転します。

回転中心…ラスタの回転中心を選択します。

2. [OK] ボタンをクリックすると、ラスタが回転します。

サイズ変更…ラスタ枠のサイズを変更します。(オプション)

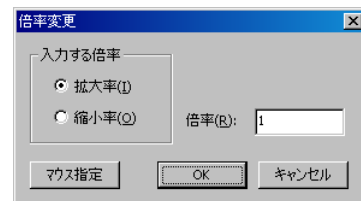
1. カーソルが△に変わります。
2. サイズを変更するラスタ枠の上下左右いずれかのライン上でクリックするとラスタ境界枠が移動します。
3. 変更する位置でクリックするとラスタのサイズが変更します。

倍率変更…倍率を変更します。(オプション)

1. カーソルが+に変わります
2. 倍率を変更するデータの基準になる位置をクリックします。

拡大率、縮小率…拡大、縮小を選択します。

倍率…倍率を入力します。



マウス指定…赤枠が表示されるので、マウスで調整し、クリックで倍率に変更されます。スペースキーで[倍率の入力]ウィンドウが表示されますので縦横の倍率を指定することもできます。

3. [OK] ボタンをクリックすると倍率に変更されます。

結合部調整…ラスタ結合部のずれを調整します。(オプション)

1. [ラスタ設定] ウィンドウでラスタを選択します。
2. [結合部調整] ボタンをクリックします。
3. 自動で調整箇所が青矢印で表示され、[線ズレ調整] ウィンドウが表示されます。

追加…調整箇所を追加します。

カーソルが+に変わるので、

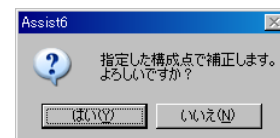
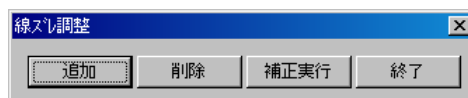
調整したい個所に矢印を作成します。

削除…調整箇所の矢印を削除します。

補正実行…確認メッセージが表示されます。

[はい] をクリックすると補正を実行します。

終了…線ズレ調整を終了します。



再作成…結合時のビットマップ領域を現在の図面に再度作成します。

簡易… [数点補正]・[ラスタ読込] 以外のラスタの移動を表示のみで処理します。

[終了] ボタンをクリックするとデータを変更します。

隣接移動の時、補正計算しない… [隣接移動] を選択した場合に2枚のラスタの境界線の長さが違っててもそのまま移動します。

数点補正の時、固定ラインがある… [数点補正] を選択した場合に固定ラインの指示が有効になります。(オプション)

優先順位…重なるラスタの優先順位を指定して表示します。

1. カーソルが△1に変わります。
2. 最前面に表示するラスタをクリックします。
3. カーソルが△2に変わります。
4. 2. で指定したラスタの下に表示するラスタをクリックします。

矩形作成…ラスタの表示範囲を矩形で変更します。

1. カーソルが▲に変わるので、表示範囲を変更するラスタを指定します。
2. カーソルが△に変わります。
3. ラスタ枠をクリックすると変更する青枠が表示されます。
4. カーソルを移動しクリックするとラスタの表示範囲が変更されます。

多角作成…ラスタの表示範囲を多角で変更します。

1. カーソルが▲に変わるので、表示範囲を変更するラスタを指定します。
2. カーソルが+に変わります。
3. 表示範囲を多角で指定すると、多角指定した範囲で表示されます。

頂点移動… [多角指定] で指定した表示範囲の頂点を移動します。

1. カーソルが▲に変わるので、頂点を移動するラスタを指定します。
2. カーソルが+に変わり [多角作成] で作成したラスタ表示範囲が青枠で表示されます。
3. 頂点をクリックしてマウスを移動し変更位置でクリックすると頂点が移動します。

頂点挿入… [多角指定] で指定した表示範囲に頂点を挿入します。

- 1.カーソルが▲に変わるので、頂点を挿入するラスタを指定します。
2. [多角作成] で作成したラスタ表示範囲が青枠で表示されます。カーソルを多角指定の辺に近づけると仮線が表示されます。
- 3.頂点を挿入する位置でクリックすると頂点が挿入されます。

頂点削除… [多角指定] で指定した表示範囲の頂点を削除します。

- 1.カーソルが▲に変わるので、頂点を削除するラスタを指定します。
- 2.カーソルが+に変わり [多角作成] で作成したラスタ表示範囲が青枠で表示されます。
- 3.頂点をクリックすると削除されます。

リセット… [優先順位]・[矩形指定]・[多角指定] で設定した内容をリセットします。

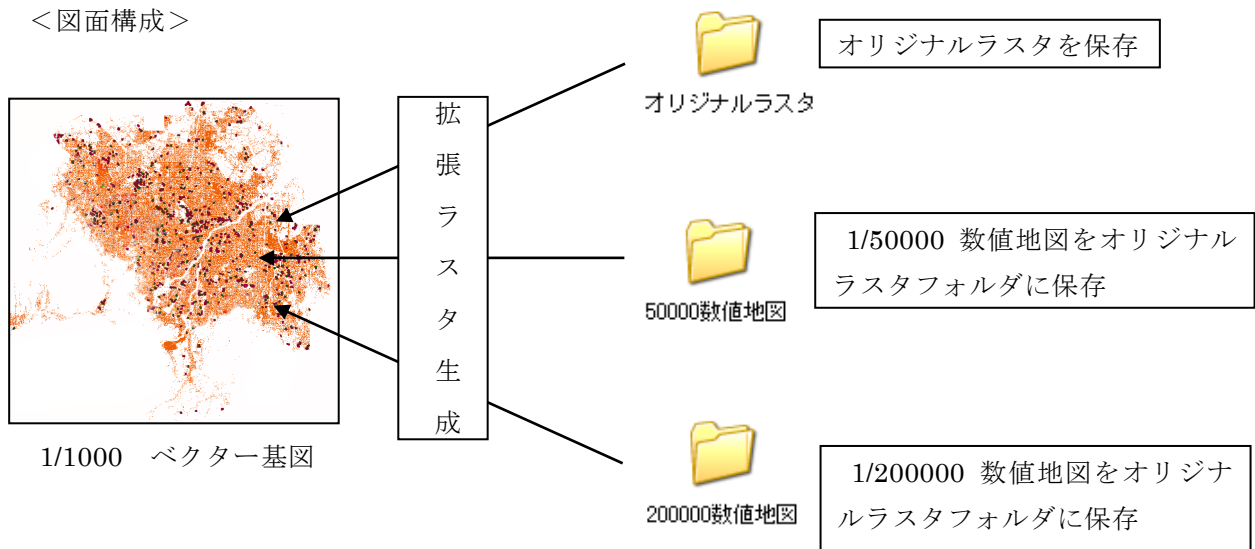
終了… [結合データ補正メニュー] を終了します。

1 3 - 5 **〔ツール〕 - 〔階層ラスタリンク設定〕** …広域のラスタを取り込む際、基図にラスタを取り込まず、オリジナルラスタを使用して階層分けしたラスタを自動作成し、参照表示します。

基図の図面スケールと異なるラスタも使用可能です。航空写真、1/50000 数値地図、1/200000 数値地図など数種類のラスタで階層ラスタを作成し、表示を切り替えて使用できます。

※ 階層ラスタは基図の図面サイズ内で作成されます。参照するラスタが基図の範囲外にある場合、階層ラスタは作成されません。

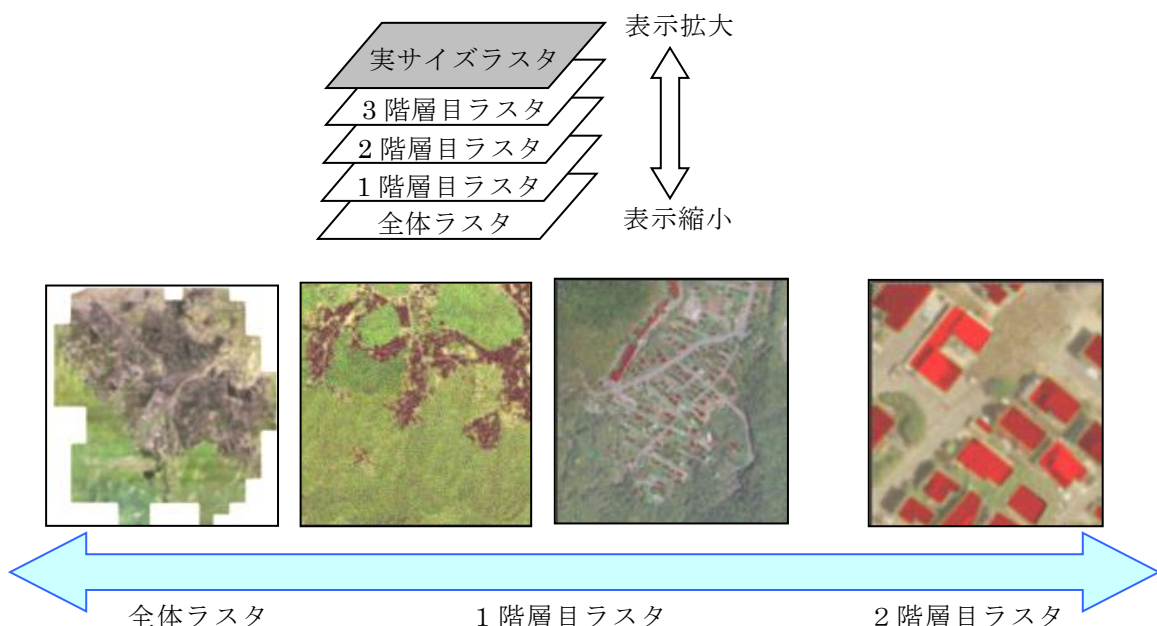
＜図面構成＞



※データ種類数に制限はありません。

＜表示切替＞

作成された階層ラスタは、図面の拡大率に合わせて、最適な階層のラスタに自動で切り替わります。



[階層ラスタ設定]

階層ラスタの設定を行います。

手順

1. メニューバーから [ツール] - [階層ラスタリンク設定] を選択します。
2. [階層ラスタリンク設定] ウィンドウが表示されます。
階層ラスタの設定を行います。

全体ラスタサイズ… [全体ラスタ作成] から全体ラスタを作成する時のサイズの目安になります。
[拡張ラスタ作成] を実行するだけで
全体ラスタは自動作成されますが、サイズを変更して再作成することができます。

ラスタ種別一覧…作成した階層ラスタ種別の一覧です。ここに表示されます。

選択解除…選択したラスタ種別を解除します。

種別名…種別の名称を登録します。

種類…カラー、モノクロの種類です。

解像度…拡張ラスタを作成する基となるラスタの解像度を指定します。

縮尺…拡張ラスタを作成する基となるラスタの縮尺を指定します。

管理フォルダ…作成した拡張ラスタを保存するフォルダを指定します。オリジナルラスタが格納されているフォルダを指定することもできます。その場合は、管理フォルダに拡張ラスタが保存されるので [基本フォルダ] の指定は必要ありません。

基本フォルダ…オリジナルラスタが格納されているフォルダを指定します。

作成設定…拡張ラスタの詳細を設定します。

● 作成サイズ

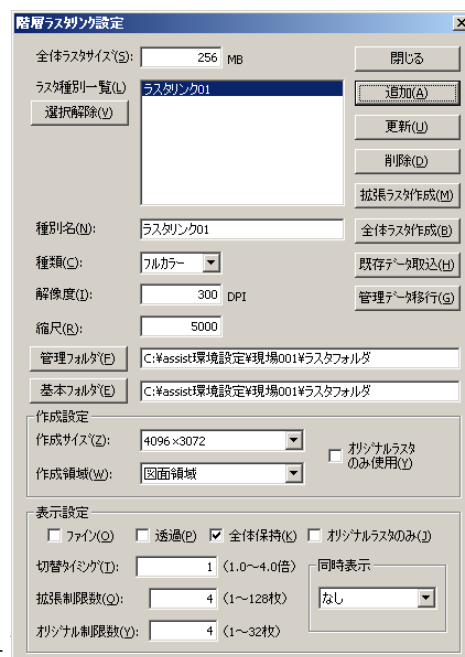
拡張ラスタを作成するサイズの目安を指定します。上部 3 つがスクエアディスプレイ向け、下部 2 つがワイドディスプレイ向けです。作成されるイメージサイズはカラーの場合、4096×3072 で 36MB～56MB。6720×4200 で 80MB～126MB 程度が目安となります。ディスプレイの解像度、搭載メモリに応じて指定してください。

● 切替タイミング

階層を切替えるタイミングを指定します。作成した拡張ラスタのイメージに対し、どの表示倍率でその階層の拡張ラスタを使用するかを指定します。

イメージを綺麗に表示させたい場合は 1 倍、高速に表示させたい場合は 4 倍を指定してください。

※ 1 倍を指定した場合は、動作が遅くなる場合があります。



- 読み込み数

メモリ上に展開するラスタの数を指定します。

全体保持を有効にしている場合は読み込み数+全体ラスタ数分のメモリを使用します。ラスタのサイズ、ディスプレイの解像度、読み込み数、切替タイミングの設定によっては画面全体にラスタが表示されない場合がありますので、読み込み数、切替タイミングを変更して調整してください。

同時表示…他種別のラスタを同時に表示します。

表示設定…階層ラスタの表示を設定します。

- ファイン

階層ラスタを高画質で表示します。縮小して表示すると綺麗に表示されます。

- 透過

階層ラスタを透過モードで表示します。

ラスタが重なり、一方のラスタに空白部分があると空白のまま表示されますので、このような場合は透過を指定してください。

- 全体保持

全体ラスタを表示用に読み込み後、他の階層ラスタを使用するときも保持し続けます。必要なラスタを読み込み中にイメージを補間します。透過に指定していると拡張ラスタ同士が重なって表示されます。

- オリジナルラスタのみ

Geotiff、World ファイルのみを表示します。

閉じる…設定画面を閉じます。全体ラスタサイズとラスタ種別一覧の選択種別が更新されます。

追加…入力されている種別名以下の設定内容で種別情報を追加します。

更新…選択されている種別の変更内容を更新します。

削除…選択されている種別を削除します。

拡張ラスタ作成…種別名以下の項目の内容で拡張ラスタを作成します。

全体ラスタ作成…拡張ラスタ作成後に、指定した全体ラスタサイズに近いサイズで全体ラスタを再作成します。

1 3 - 6 [ツール] - [外部ラスタ表示設定] …外部ラスタの表示を設定します。

2 種類のラスタを重ね合わせて、各々をグループ化する場合や、1 ラスタや4 ラスタ以外に複数のラスタを表示したい場合に使用します。

手順

1. メニューバーから [ツール] - [外部ラスタ表示設定] を選択します。

2. [ラスタ表示設定] ウィンドウが表示されます。

ファイル名…ファイルの名称です。

表示…表示、非表示を選択します。[-] が非表示、[表] が表示中です。

1 ~ 1 0 …グループ 1 ~ 1 0 でラスタを振り分けることが出来ます。

クリックで○が移動します。

通常…非表示を除いたすべてのラスタを表示します。

グループ 1 ~ 1 0 …グループ 1 ~ 1 0 を選択します。表示状態であれば、選択したグループのみのラスタを表示します。

全グループ…全てのグループを表示します。

1 ラスタ表…画面中央に近い1 枚のラスタを表示します。

4 ラスタ表…画面中央に近い4 枚のラスタを表示します。

4 ラスタ追…現在表示しているラスタに4 枚のラスタを追加表示します。

縮小… [ラスタ表示設定] ウィンドウを縮小表示します。

閉じる… [ラスタ表示設定] ウィンドウを閉じます。



1 3 - 7 [ツール] - [階層ラスタ表示設定] …階層ラスタの表示を設定します。

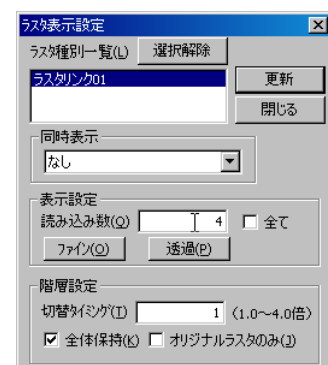
手順

1. メニューバーから [ツール] - [階層ラスタ表示設定] を選択します。

2. [ラスタ表示設定] ウィンドウが表示されます。

詳細は [ツール] - [階層ラスタリンク設定] を参照してください。

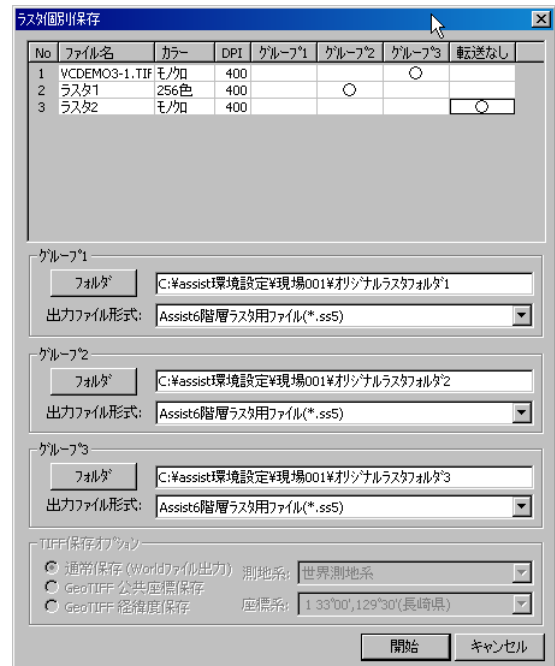
3. [更新] をクリックすると選択した種別の変更内容を更新します。



1 3 - 8 [ツール] - [ラスタエクスポート] …内蔵のラスタデータを個別に出力 します。

手順

1. メニューバーから [ツール] - [ラスタエクスポート] を選択します。
2. [ラスタ個別保存] ウィンドウが表示されます。
ファイル名…ファイルの名称を表示します。
カラー…カラー、モノクロの種類を表示します。
DPI…ラスタの D P I (解像度) を表示します。
グループ 1 ~ 3 …グループ 1 ~ 3 を選択します。
クリックで○が表示されます。
転送無し…転送の有無を選択します。
クリックで○が表示されます。
フォルダ選択…グループ 1 ~ 3 の [フォルダ]
ボタンをクリックして保存先の
フォルダを指定します。



出力ファイル形式…グループ 1 ~ 3 の出力するファイルの種類を指定します。

TIFF 保存オプション…ファイルの種類で T i f f を選択した場合に T I F F の保存の種類を選択します。

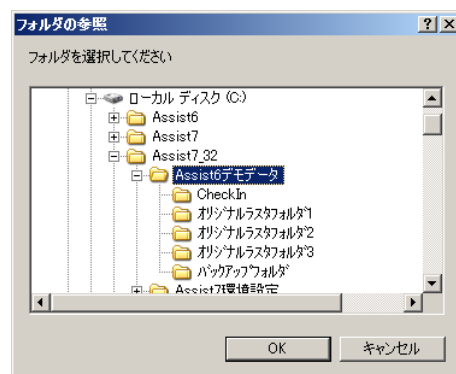
- 通常保存 (W o r l d ファイル出力)
ラスタファイルと同一名称の W o r l d ファイル (t f w) を保存
します。
- G e o T i f f 公共座標保存
公共座標で G e o T I F F を保存します。
- G e o T i f f 経緯度保存
経緯度で G e o T I F F を保存します。
- 測地系
日本測地系・世界測地系を選択します。
- 座標系
1 ~ 1 9 までの座標系を選択します。

3. 設定終了後、[開始] ボタンをクリックすると、ラスタが出力されます。

1 3 - 9 [ツール] - [外部ラスタ wld エクスポート] …外部ラスタの World ファイルを出力します。

手順


1. メニューバーから [ツール] - [外部ラスタ wld エクスポート] を選択します。
2. [フォルダの参照] ウィンドウが表示されます。
3. [OK] をクリックすると確認画面が表示され選択したフォルダに出力します。



1 3 - 10 [ツール] - [簡易ライン] …地図上にペンで文字や線を記入します。

簡易ライン用のレイヤはNo.240、241 です。簡易ラインを使用すると自動的にNo.240、241 のレイヤに切り替わります。

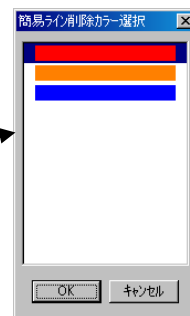
手順

1. [ツール] - [簡易ライン] または 
2. 簡易ラインツールウィンドウが開きます。
3. 書くボタンを選択するとカーソルがペンに変わって、地図上に文字や線が書けます。



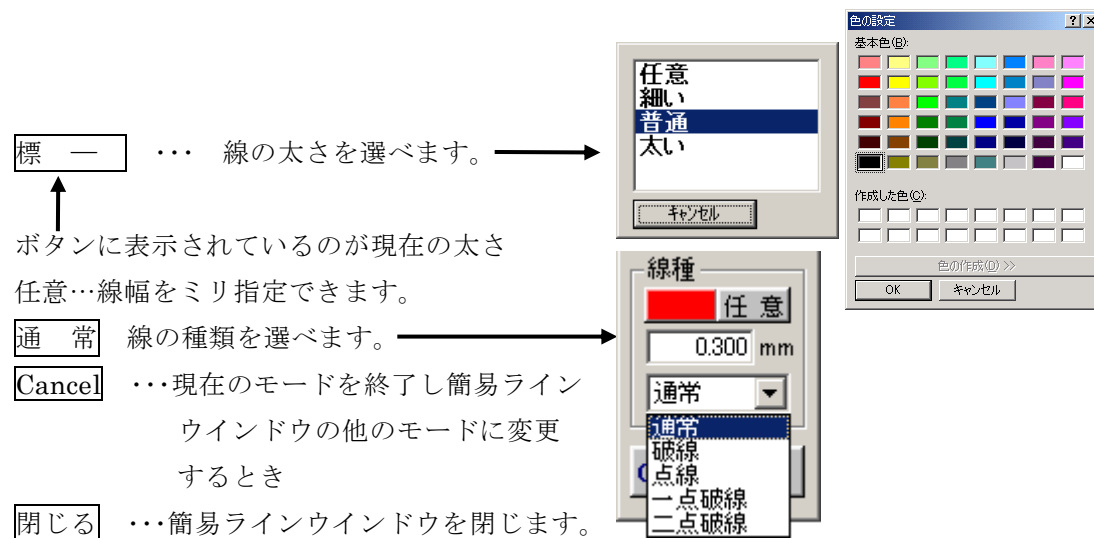
- Free** … 自由線を書きます。
- Line** … 直線を書きます。
- … 矢印付きラインを書きます。
- Free** … 円を書きます。
- 1.5ミ** … ポリライン上に 1.5mm の円を書きます。
- X** **+** … バッテンマークを書きます。
- X** **+** は、このアイコンを押す度に、マークサイズの大、小を切り替えます。

- 消しゴム** … 矩形で指示した枠内の簡易ラインを消去します。
- ▽** … 消去する簡易ラインの色を選択します。



線種

- カラー** … パレットが開き、色を指定できます。



1 3 - 1 1 [ツール] — [簡易ライン表示] …  同様です。

指示する毎に、記入された簡易ラインの表示、非表示を切り替えます。

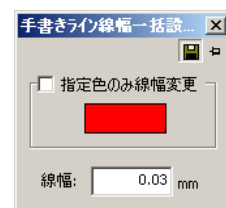
1 3 - 1 2 [ツール] — [簡易ライン線幅設定] …簡易ラインの線幅を設定します。

13-12-1 [ツール] — [簡易ライン線幅設定] — [多角指定] …多角で簡易ラインを囲んで
範囲指定した簡易ラインの線幅を設定します。

手順

1. メニューバーから [ツール] — [簡易ライン線幅設定] — [多角指定] を
選択します。
2. [手書きライン線幅一括設定] ウィンドウが表示されます。
3. カーソルが+に変わるので、範囲を多角で指定すると指定した範囲内の
簡易ラインが変更されます。

指定色のみ線幅変更…指定した色のみ線幅を変更します。

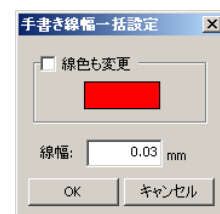


13-12-2 [ツール] — [簡易ライン線幅設定] — [全体] …全ての簡易ラインの線幅を設定
します。

手順

1. メニューバーから [ツール] — [簡易ライン線幅設定] — [全体] を
選択します。
2. [手書き線幅一括設定] ウィンドウが表示されます。
3. 線幅を設定し、OKを選択します。

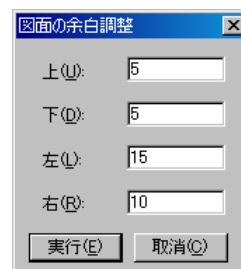
線色も変更…線色も同時に変更します。



1 3 - 1 3 [ツール] - [図面の余白調整] …図面の余白を調整します。

手順

1. メニューバーから [ツール] - [図面の余白調整] を選択します。
2. [図面の余白調整] ウィンドウが表示されます。
3. 上下左右の余白をドット単位で（マイナス（-）も可）入力します。
4. 設定終了後、[実行] ボタンをクリックすると、余白が修正されます。



1 3 - 1 4 [ツール] - [テンキーボードを起動／終了] …テンキーボードを起動または終了します。

1. メニューバーから [ツール] - [テンキーボードを起動／終了] を選択します。
2. テンキーボードが表示されます。マウスでの数値入力が可能になります。

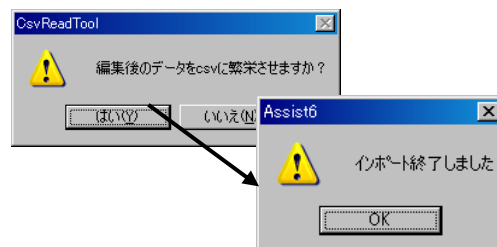


13-15 [ツール] - [地籍ツール]

13-15-1 [ツール] - [地籍ツール] - [画地情報を Excel で編集] …画地情報を Excel で編集します。

手順

1. メニューバーから [ツール] - [地籍ツール] - [画地情報を Excel で編集] を選択します。
2. 画地情報が転送され、Excel が起動します。
3. 画地情報を編集します。
4. Excel を閉じると編集内容を反映させるか確認画面が表示され、[はい] をクリックすると情報が書き換えられます。



13-15-2 [ツール] - [地籍ツール] - [画地情報インポート] …画地情報をインポートします。

手順

1. メニューバーから [ツール] - [地籍ツール] - [画地情報インポート] を選択します。
2. [地番属性情報のインポート] ウィンドウが表示されます。

ファイル選択…ファイルを選択します。

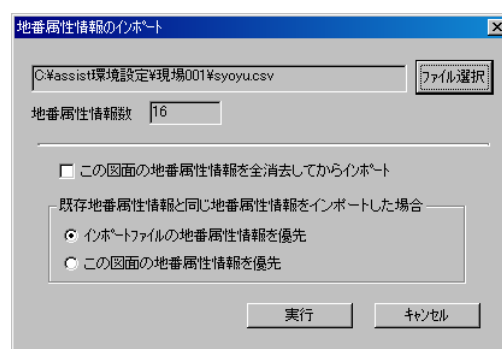
地番属性情報数…地番の属性情報数を表示します。

この図面の地番属性情報を全消去してからインポート…現在開いている図面の属性情報を全て消去してから画地情報をインポートします。

インポートファイルの地番属性情報を優先…インポートファイルの地番属性情報を優先します。

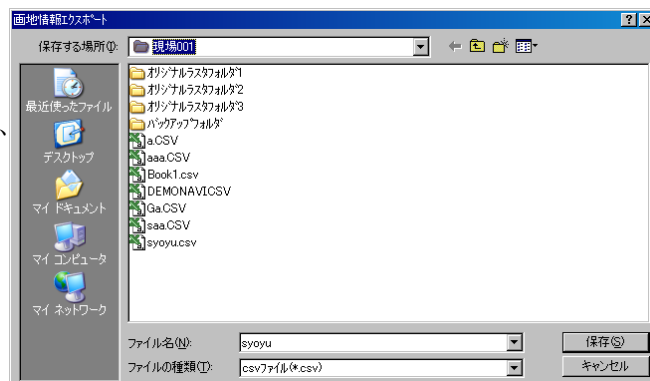
この図面の地番属性情報を優先…現在開いている図面の地番属性情報を優先します。

3. 設定終了後、[実行] ボタンをクリックすると、画地情報がインポートされます。



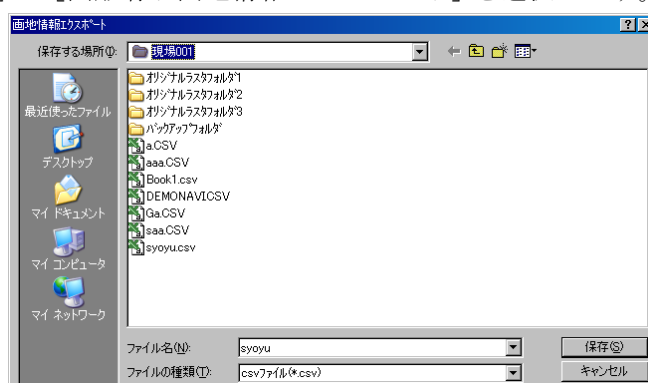
13-15-3 [ツール]－[地籍ツール]－[画地情報エクスポート]…画地情報を出力します。
手順

1. メニューバーから [ツール]－[地籍ツール]－[画地情報エクスポート] を選択します。
2. [画地情報エクスポート] ウィンドウが表示されます。
3. 保存する場所を選択し、ファイル名を入力後、[保存] をクリックします。



13-15-4 [ツール]－[地籍ツール]－[図形有り画地情報エクスポート]…図形のある画地情報を出力します。
手順

1. メニューバーから [ツール]－[地籍ツール]－[図形有り画地情報エクスポート] を選択します。
2. [画地情報エクスポート] ウィンドウが表示されます。
3. ファイル名をつけて [保存] をクリックします。



13-15-5 [ツール]－[地籍ツール]－[画地情報エクスポート (詳細 2 参照)]…図形のある画地情報を出力します。
手順

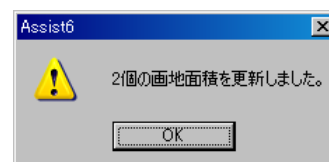
1. メニューバーから [ツール]－[地籍ツール]－[画地情報エクスポート (詳細 2 参照)] を選択します。
2. [画地情報エクスポート (詳細 2 参照)] ウィンドウが表示されます。
3. ファイル名をつけて [保存] をクリックします。



13-15-6 [ツール]－[地籍ツール]－[データベース面積更新]…画地面積に変更がある場合、所有者 MDB レコードを更新します。

手順

1. メニューバーから [ツール]－[地籍ツール]－[データベース面積更新] を選択します。
2. 画地面積に変更がある場合、更新メッセージが表示されます。



13-15-7 [ツール]－[地籍ツール]－[データベース計算式更新]…画地情報が詳細 2 の場合で計算式が設定されているとき、全面地に対して計算を更新します

13-15-8 [ツール]－[地籍ツール]－[データベース林齢更新]…林齢を更新いたします。

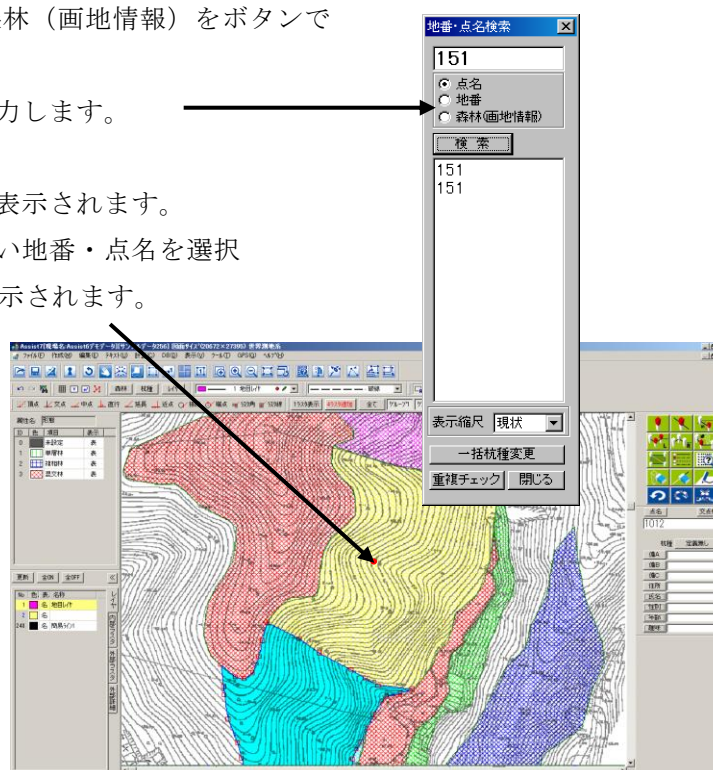
13-15-9 [ツール]－[地籍ツール]－[空レコード作成]…画地にキーが設定されているが画地情報にレコードがない場合、空のレコードを作成いたします。

1 3－1 6 [ツール]－[地番・点名機能]

13-16-1 [ツール]－[地番・点名機能]－[地番点名検索]…点名、地番、画地情報を検索します。

手順

1. 探したい点名か地番か森林（画地情報）をボタンで選択します。
2. 上部の BOX に名前を入力します。
3. **検索**を押します。
4. 下部の BOX にあるだけ表示されます。
5. マウスで BOX 内の見たい地番・点名を選択すると画面中央に表示されます。



※ 空白で検索を実行すると未入力 of データが表示されます。

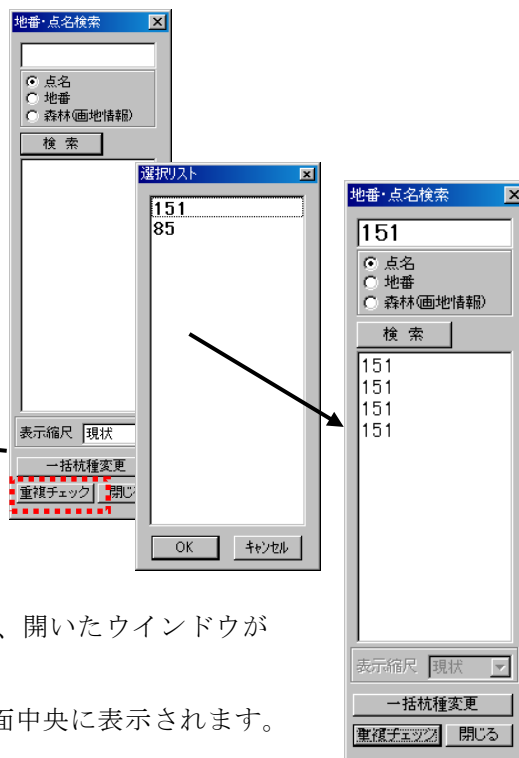
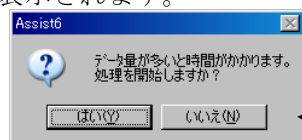
〔名称検索〕 で全検索を行なう方法

手順

1. 探す対象が点名か地番をボタンで選択します。

2. **重複チェック**を押すと

確認ウィンドウが表示され、**はい**を押すと
前面に新しく「選択リスト」ウィンドウが
表示されます。



3. 全ての重複している点名が表示されます。

マウスで BOX 内の見たい箇所をヒットすると、開いたウィンドウが
閉じ、複数表示されます。

4. マウスで BOX 内のいずれかをヒットすると画面中央に表示されます。

〔森林（画地情報）〕 で検索を行なう方法

手順

1. 森林（画地情報）をボタンで選択します。

2. 画地情報検索ウィンドウが表示されます。

森林条件のラジオボックスにチェックを入れ、条件を
選択します。

クリア…検索条件をクリアします。

貼り付け…ポリゴン情報入力欄で**データコピー**を実行
し、その情報を貼り付けます。

3. **検索**を押します。

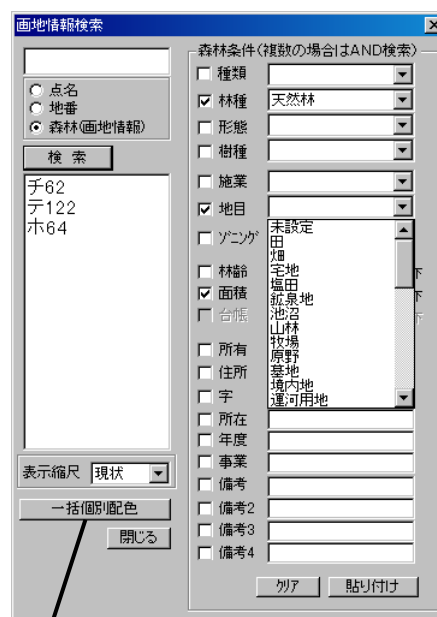
4. 左側下部の BOX にあるだけ表示されます。

5. マウスで BOX 内のいずれかをヒットすると画面中央に
表示されます。

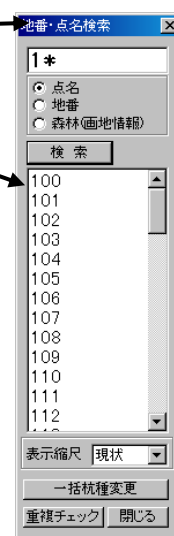
6. **一括個別配色**を押すと、色の設定ウィンドウが表示され
るので色を選択します

7. 検索結果に表示された対象の個別配色が変更されます。

8. **閉じる**で終了します。



【注意】 点名・地番検索の時に 頭文字+*での
複数検索が可能で、結果はソートして表示
されます。

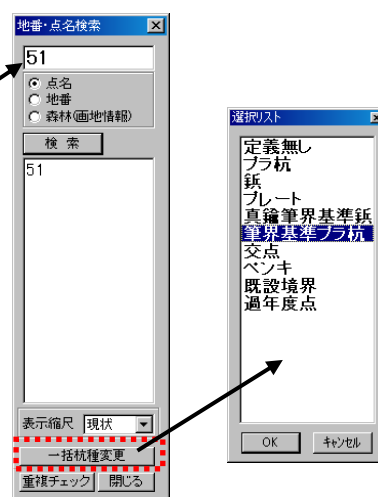


【一括杭種変更】

検索した対象点名の杭種を一括で変更します。

手順

1. 点名をボタンで選択します。
2. 上部の BOX に杭種変更したい名前を入力します。
3. **検索**を押します。
4. 下部の BOX にあるだけ表示されます。
5. **一括杭種変更**を押します。
選択リストが表示されるので杭種を選択します。
6. 検索結果に表示された対象点名の杭種が変更されます。

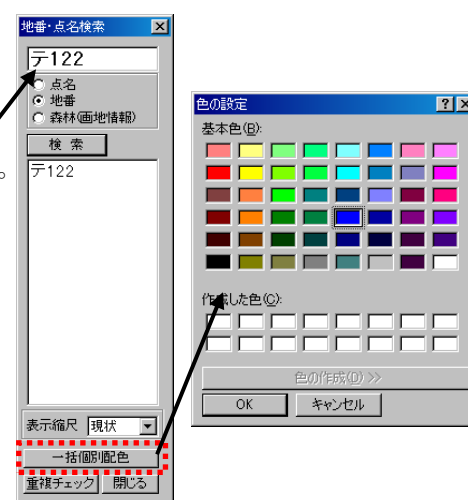


【一括個別配色】

検索した対象地番の個別配色を一括で変更します。

手順

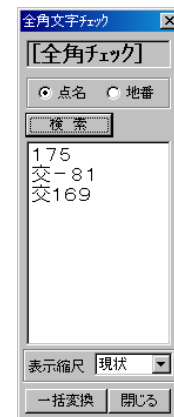
1. 地番ボタンを選択します。
2. 上部の BOX に個別配色を変更したい名前を入力します。
3. **検索**を押します。
4. 下部の BOX にあるだけ表示されます。
5. **一括個別配色**を押します。
色の設定ウィンドウが表示されるので色を選択します。
6. 検索結果に表示された対象地番の個別配色が変更されます。



13-16-2 [ツール] — [地番・点名機能] — [全角文字チェック] …全角文字を検索し、半角に変換します。

手順

1. [ツール] — [地番・点名機能] — [全角文字チェック] を選択します。
2. [全角文字チェック] ウィンドウが表示されます。
3. 点名か地番をラジオボタンで選択して、検索ボタンを押します。
候補があがり、このリストの文字列をヒットすると、画面の中央に対象測点を表示します。
4. 一括変換ボタンを押すと、一括で半角に変換します。(検索ボタンを押さなくても稼動します)



【注意】変換対象は0から9、AからZ、aからz、全角スペース、全角ハイフンです。

右例では一括変換を行うと、 1 7 5 は 175 に、 交-8 1 は 交-81 に、交 1 6 9 は 交169に変換されます。

1 3 - 1 7 [ツール] - [画地情報のコピー] …画地情報をコピーします。

1 3 - 1 8 [ツール] - [画地情報の貼り付け] …コピーした画地情報を貼り付けます。

手順

1. 画地を選択します。
2. [ツール] - [地番・点名機能] - [画地情報のコピー] を選択します。
3. コピー先の画地を選択し、[ツール] - [地番・点名機能] - [画地情報の貼り付け] を選択します。
4. 1.で選択した画地の地番名以外の情報がコピーされます。

※画地選択時に画面右に表示されるポリゴン情報の「データコピー」、「貼り付け」と同様です。

1 3 - 1 9 [ツール] - [特殊検索] …図面内のデータを条件付きで検索します。

手順

1. メニューバーから [編集] - [検索] を選択します。
2. [検索] ウィンドウが表示されます。

対象…検索する対象を選択します。

条件1…検索対象の詳細を選択します。

条件2…検索条件を選択します。

値…検索する値（数値または文字）を入力します。

参照ボタン…対象で指定した情報を図面から参照表示します。

継続…続けて検索対象を追加する場合に使用します。ANDまたはORを選択します。

3. 設定終了後、[検索] ボタンをクリックします。
4. [検索結果] ウィンドウが表示されます。
レイヤ変更…レイヤを変更します。
選択データを拡大表示する…選択したデータの図形を拡大表示します。
絞り込み検索…検索結果からさらに絞り込んで検索を行います。

◆レイヤ変更◆

現在のレイヤをマッチングする・・・検索結果のレイヤから変更する

グループレイヤ、レイヤ、ポリゴン

レイヤを選択します。チェックが

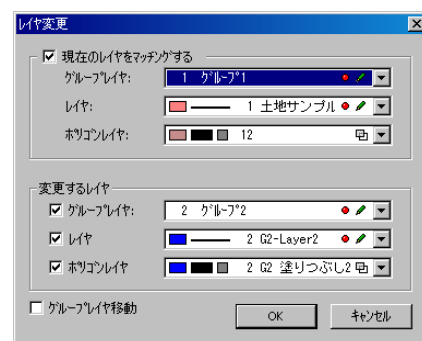
入っていない場合は検索結果の

すべてのレイヤが対象になります。

変更するレイヤ・・・変更したいグループレイヤ、レイヤ、ポリゴンレイ

ヤにチェックを入れ、設定変更します。

グループレイヤ移動・・・グループレイヤを移動します。



Option 1 DB オプション

DB オプションの基本

Assist キーによる連動

GIS キーによる連動

所有者情報

Assist キーで
所有者.mdb に保管

DB (GIS 機能)

GIS キーで
所有者.mdb に保管

Assist キー

画地をクリックして所有者情報を入力しますが、この情報はエディットのフォーカスが移動する瞬間に（赤ワクとなっているキー項目部は地番でのフォーカス移動の瞬間に）所有者.mdb を更新しています。この機能は GIS 機能（以下、GIS 機能と呼ぶ）と関わらず動作しています。

一方で GIS 機能と間接的にかかわりを持たせています。

Assist7 DB オプションでは DB の割り当てを、レイヤ 1～99 に「所有者.mdb」として設定済みです。これにより、例えば DB 検索によって画地の位置特定するような機能も動作させることができます。

Assist7 では、DB オプションのありなしや地籍、森林を問わず、画地と所有者.mdb レコードをリンク付けるのはプロパティ「Assist キー」タブの、キーになることができる 7 項目の組み合わせです。

（大字、字、林班、小班、小班群、枝班、地番）この 7 つの項目のキーを ON にしたものは画地ベクタの中にキーとして保管され、これらにぶら下がるデータを所有者 MDB の中に入れていきます。（このキーを Assist キーと呼びます）

GIS キー

GIS 機能の場合、画地と DB レコードは「GIS キー」で接続されます。



右図の GIS キーは「Assist キー」と同一の項目が表示されます。

GIS キーも画地の中に保存し、GIS 機能の DB レコードとリンクさせていますが、こちらは GIS 機能専用領域のため、Assist キーと別な領域で持っています。

Assist7 はプロパティの「Assist キー」を変更した場合に、この GIS キーも自動で更新し、GIS 機能が動作するよう内部を調節しています。

※「GIS キー」は背景画地と背景 MDB の相互のリンク状態を持つものであり、所有者.mdb との連動は別な設定で行います。



背景画地と背景レイヤ DB のリンク方法

SIMA の例で説明します。

手順

1. メニューバーから [ファイル] - [地図を開く] - [ベクタ] - [SIMA] を選択します。
2. [SIMA ファイルの読み込み] ウィンドウが開かれるので、データを選択します。

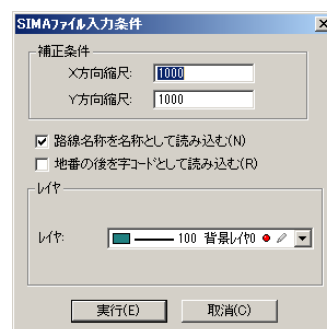
3. [SIMA ファイル入力条件] ウィンドウが開かれます。

補正条件…X、Y 方向の縮尺を入力します。

路線名を名称として読み込む…ライン名を名称として読み込みます。

地番の後を字コードとして読み込む…地番の後ろにある文字列を字コードとして読み込みます。

レイヤ…レイヤを選択します。背景 DB とリンクさせる場合は背景レイヤを選択してください。



4. [実行]で SIMA データが読み込まれます。
5. メニューバーから [DB] - [GIS 設定] - [GIS 基本設定] を選択し、DB を設定します。

DB 詳細タブで使用 DB を追加し、キーを設定します。レイヤ連結はデフォルトでは地目レイヤになっているので、読み込み時に設定した背景レイヤに[結び付け]で変更してください。

詳細は後述 O 1-14 [DB] - [GIS 設定] - [GIS 基本設定]を



参照してください。

- メニューバーから [DB] - [操作パネル] を選択し、DB を表示します。
- メニューバーから [DB] - [AssistDB 操作] - [背景画地の地番分割 GIS キー生成] を選択し、ポリゴンのキー情報を分割します。詳細は後述

ポリゴン名のGISキー分割化

背景画地の地番を分割し、DBのキーとリンクさせます。

リンク対象となるDB名: 背景

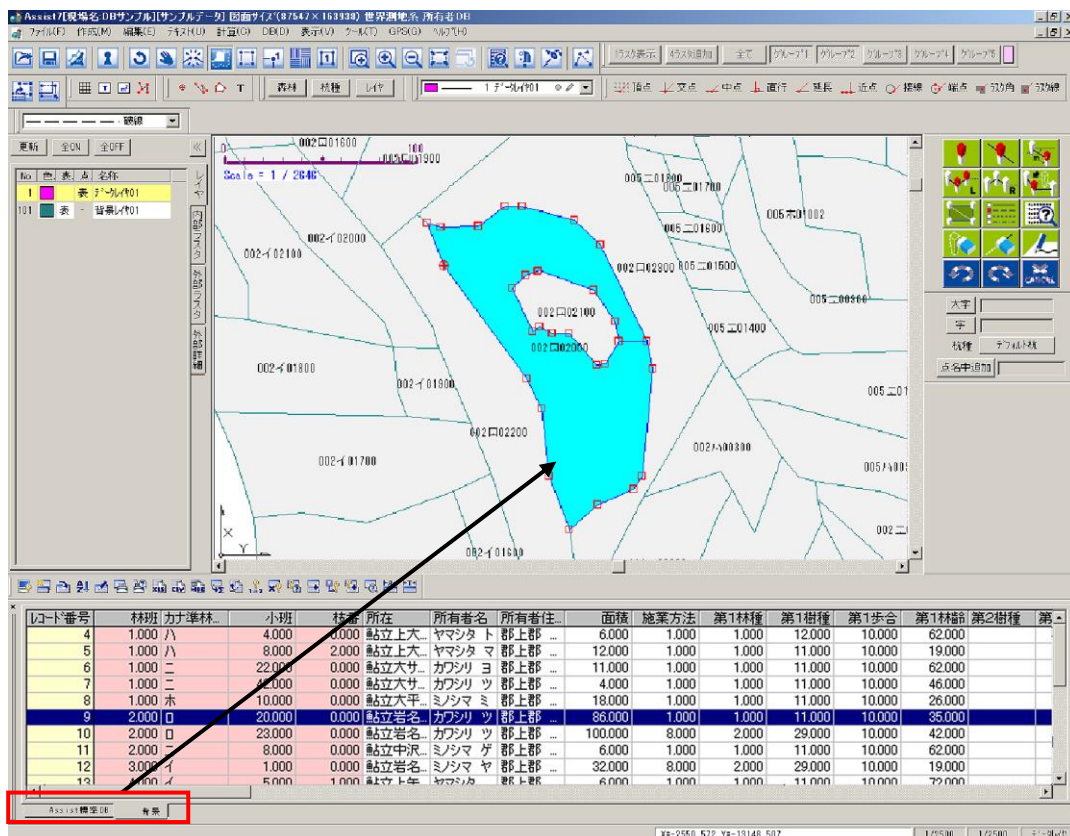
背景レイヤ番号: 101

地番分解けた(左端先頭) リンクDBフィールド

| | |
|---|-----|
| 2 | 林班 |
| 3 | 小班群 |
| 1 | 小班 |
| 3 | 枝班 |
| | 地番 |

OK キャンセル

- 背景画地と DB がリンクされます。



上記の例では、ポリゴンの地番が[002 ロ 02000]で、DB 情報のキーが[002] [ロ] [020] [00]になっています。

また、背景レイヤタブに追加した DB 名が表示されます。既存の所有者 MDB は左側に表示されます。

GIS 機能アイコン



GIS 基本設定…GIS の基本となる設定をします。



新規ウィザード…GIS 基本設定の業務設定を行います。



DB 一覧表示…GIS 基本設定で設定した業務レコードを表示し、編集・確認します。



ソート設定…一覧表形式フォームのデータを並び替えます。



フィールド一括登録…複数のレコードに同じ値を一括で登録します。



一覧表印刷…一覧表形式フォームのデータを印刷します。



台帳印刷…データベースを検索し、図形とレコードを同時に印刷します。



Excel 出力…一覧表形式フォームのデータを Excel 出力します。



CSV 出力…一覧表形式フォームのデータを CSV 出力します。



Access レポート…Microsoft Access を起動してレポートを作成します。



集計行表示…[集計設定] で設定した新規フィールド・集計結果を表示します。



新規・変更…業務と結びついたレイヤ内図形とレコードを結び付けます。



GIS キー変更…図形の GIS キーを変更します。



GIS キー削除…図形の GIS キーを削除します。



GIS キー検索…図形の GIS キーを検索します。



レコード自動追加…データベースとリンクしていない図形を対象に自動でレコードを追加しリンクします。



GIS キーへコピー…図形情報（地番・点名）と［一覧表形式フォーム］のキーが一致する
レコードと図形を結び付けます。



フィールド連結…他の DB フィールドを指定して結合します。



GIS 検索…入力した条件に該当する図形、レコードを検索します。検索結果は［一覧表形式
フォーム］に表示されます。

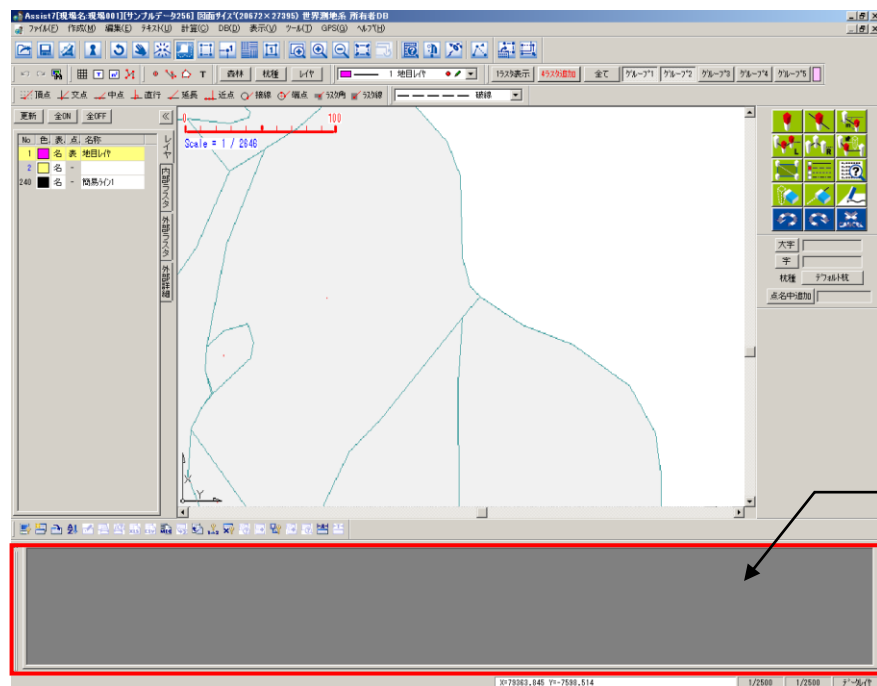


自動列幅調整…［一覧表形式フォーム］のデータ読み込み時にフィールド・フィールド名の
文字数に合わせて列の幅を自動で調整します。



列幅調整…フィールド、フィールド名の文字数に合わせて列の幅を調整します。

O 1-1 [DB] - [操作パネル] ...DB の操作パネルが表示されます。



0 1-2 [DB] - [検索]

入力した条件に該当する図形、レコードを検索します。
検索結果は「一覧表形式フォーム」に表示されます。

手順

1. メニューバーから [DB] - [検索] を選択します。
2. [GIS 検索] ウィンドウが表示されます。

登録条件…検索条件をリストから選択します。

＜新規作成＞を選択すると、[検索条件] の設定が解除されすべての項目が空白になります。

検索条件の登録・変更する場合は、[変更] ボタンをクリックします。

詳細は、◆**検索条件設定**◆を参照してください。

検索条件…検索条件を指定します。(複数指定可)

フィールド名…フィールド名を選択します。

条件…[値] との検索時の比較条件を選択します。[*含む] を選択した場合は、ワイルドカードが対応になります。

ワイルドカードについては、◆**ワイルドカード設定方法一覧**◆を参照してください。

値…検索時の基準値を入力します。

1. [参照] ボタンをクリックすると、[参照] ウィンドウが表示されます。
2. 指定した [フィールド名] に該当する検索条件が表示されます。
3. ソート順に検索条件を表示する場合は、[ソートフィールド] でフィールドを選択します。
4. [選択] ボタンをクリックすると、選択したデータが [値] に入力されます。

参照…2 番目の [参照] ボタンをクリックすると、1 番目の条件で絞り込んだデータが表示され、選択することができます。

継続…検索条件を複数指定する場合に検索方法を指定します。

[AND] を選択すると、現在の検索条件とその次に設定した検索条件を満たすレコードを検索します。

[OR] を選択すると、現在の検索条件または次に設定した検索条件のどちらかを満たすレコードを検索します。

[空欄] を選択すると、次の検索条件を設定しません。

検索対象

一覧表内… [一覧表形式フォーム] 内のレコードを検索します。

DB 全体…DB 詳細で設定している DB 内のすべてのレコードを検索します。

図面内データ…図形と結びついているレコードから検索します。

範囲条件

範囲方法…全て・矩形・円を選択します。

レイヤ条件…検索するレイヤを選択します。

グループレイヤ…グループレイヤを選択します。

レイヤ…レイヤを選択します。

すべてのレイヤを選択すると、選択したグループ

レイヤ内のすべてのレイヤを検索します。

対象レイヤ…レイヤの種類を選択します。

表示

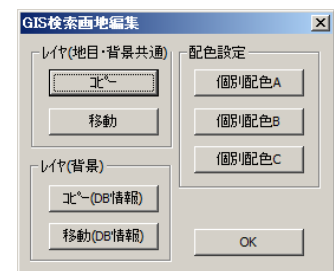
検索結果のみ表示…検索条件に該当する図形のレコードのみを [一覧表形式フォーム] に表示します。

カスタム検索…検索結果をまとめて変更することができます。

レイヤ (地目・背景共通) …レイヤをコピー又は移動します。

レイヤ (背景) …レイヤをコピー又は移動し、DB 情報もコピーします。

配色設定…画地ごとの配色を変更します。



検索…検索を開始します。


複数検索…複数検索を開始します。登録条件が複数設定されている場合のみ検索できます。

詳細は、◆複数検索◆を参照してください。

3. 設定終了後、[検索] ボタンをクリックします。

4. [一覧表形式フォーム] に検索条件に該当するレコードが表示されます。

検索した情報が表示されているときには、[一覧表形式フォーム]

に検索アイコン  が表示されます (「検索結果のみ表示」にチェックが入っている場合)。

| レコード番号 | インデックス | 林班 | 小班群 | 小班 | 林班 | 地番 | 種類 | 種類ID | 林種 | 林種ID | 形態 |
|--------|--------|----|-----|----|----|-------|----|------|----|------|----|
| 10 | 174 | | | | | ハ21 | | 2 | | 0 | |
| 11 | 175 | | | | | ニ48 | | 4 | | 0 | |
| 12 | 176 | | | | | ハ1225 | | 5 | | 0 | |
| 13 | 177 | | | | | ホ511 | | 5 | | 2 | |
| 14 | 178 | | | | | ス211 | | 3 | | 2 | |
| 15 | 179 | | | | | チ62 | | 1 | | 1 | |
| 16 | 180 | | | | | チ57 | | 4 | | 2 | |
| 17 | 181 | | | | | ホ64 | | 1 | | 1 | |
| 18 | 182 | | | | | チ51 | | 2 | | 2 | |

◆検索条件設定◆

手順

1. 「検索条件設定」ウィンドウが表示されます。

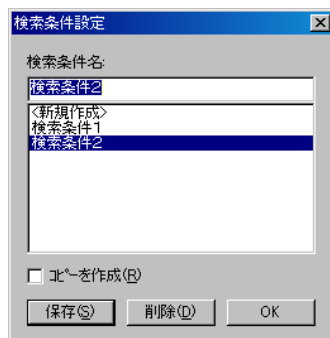
検索条件名…検索条件名を入力します。

「登録条件」で<新規設定>を選択した場合の入力または既存の検索条件名を変更します。

コピーを作成…検索条件名一覧から選択した検索条件をコピーします。

検索条件一覧から検索条件を選択して「検索条件名」を入力します。

2. 「保存」ボタンをクリックすると、「GIS 検索」ウィンドウに表示されている検索条件が保存されます。



◆ワイルドカード設定方法一覧◆

| 記号 | 機能・設定方法 | 使用例 |
|-----|--|--|
| * | 0 以上の一文字 文字の前後に入力 | *あ・・・最後に「あ」を含むデータ 例 (あ、AAあ、Aあ) あ*あ・・・最初と最後に「あ」を含む2文字以上のデータ 例 (ああ、あAAAあ、あAあ) |
| [－] | 範囲指定（英数字のみ） A－Z、0－9のように昇順で入力 複数の範囲を[]内に指定することも可能 | *[0－3]・・・最後に0から3までの数字を含むデータ 例 (0、311、7300、56.00) [A－Z0－9]*・・・最初に英数字を含むデータ 例 (Aあ、1A、999、Bああ) |
| ? | 任意の一文字 文字の前後に指定文字数だけ入力 | ??あ・・・最後に「あ」を含む3文字のデータ 例 (AAあ、あああ、1ああ) あ?あ・・・最初と最後に「あ」を含む3文字のデータ 例 (あああ、あAあ) |
| [!] | []内の文字を否定 文字の前に入力 | [!あ]*・・・最初に「あ」を含まないデータ 例 (Aあ、AA、BAAA) ?[!0－2]・・・最後に0～2までの数字を含まない2文字のデータ 例 (13、2A、AA) |
| [] | []内を1文字として認識 []内に文字を入力 | [あい]*・・・最初に「あ」「い」の文字を含むデータ 例 (あ1、いAA、あい) *[－]?・・・「－」の後が1文字の、全部で2文字以上のデータ 例 (100－2、1－2、－1) |

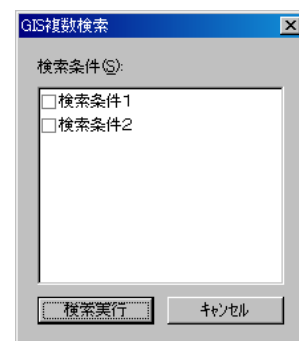
◆複数検索◆

複数の登録条件を同時に検索します。

手順


1. 「GIS 検索」ウィンドウで検索条件を設定し、登録条件の「変更」ボタンをクリックして条件を登録します。
2. 「複数検索」ボタンをクリックします。
3. 「GIS 複数検索」ウィンドウが表示されます。
4. 登録条件が表示されます。実行する検索条件を選択します。
5. 「検索実行」ボタンをクリックします。
6. 選択した検索条件をリストの上から順番に実行します。

※ 「GIS 検索」ウィンドウの検索対象は反映されません。常に DB 全体から検索します。



O 1-3 [DB] - [背景画地選択] …背景画地を選択します。

手順

1. メニューバーから [DB] - [背景画地選択] を選択します。
2. カーソルが▲に変わります。
3. 背景画地を選択します。  と同様です。

※ デフォルトでは背景画地は編集不可になっています。

O 1-4 [DB] - [背景画地表示切替] …背景画地の表示・非表示を切り替えます。

手順

1. メニューバーから [DB] - [背景画地表示切替] を選択します。
2. [背景画地表示切替] ウィンドウが表示されます。

表示／非表示

表示…選択箇所を表示します。

非表示…選択箇所を非表示にします。

全表示…全てを表示します。

非表示…全てを非表示にします。

摘要・更新…変更した内容で更新します。



配色切り替え…種類、林種、形態、樹種、樹齢、施業、ゾーニング、地目、無色、個別配色 A~C に切り替えます。

個別配色については◆個別配色◆を参照してください。

拡張属性…データベース上の任意のフィールドを指定して配色を切り替えます。

詳細は後述◆拡張属性◆を参照してください。

最新 DB…背景 DB のテーブル上で値を書き換えた場合の色を反映させます。

背景 DB とのリンク方法は後述 [背景画地・所有者 MDB フィールド設定] を参照してください。

※ 色は自動では反映されません。必ず [最新 DB] で更新してください。

3. [閉じる] ボタンで画面を閉じます。

◆個別配色◆

背景画地の配色を個別に設定します。

手順

1. 背景画地を選択し、右クリックで個別配色設定 A~C を選択します。
2. 「背景画地 個別配色」ウィンドウが表示されます。

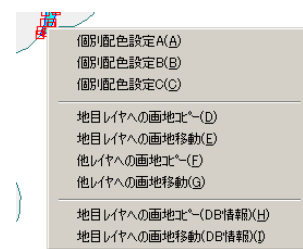
カラーパレット…色を選択します。

ノーマル…塗りつぶしの状態です。

ハッチング選択…横、縦、斜線 1、斜線 2、格子、
45 度格子のいずれかのハッチング
を選択します。

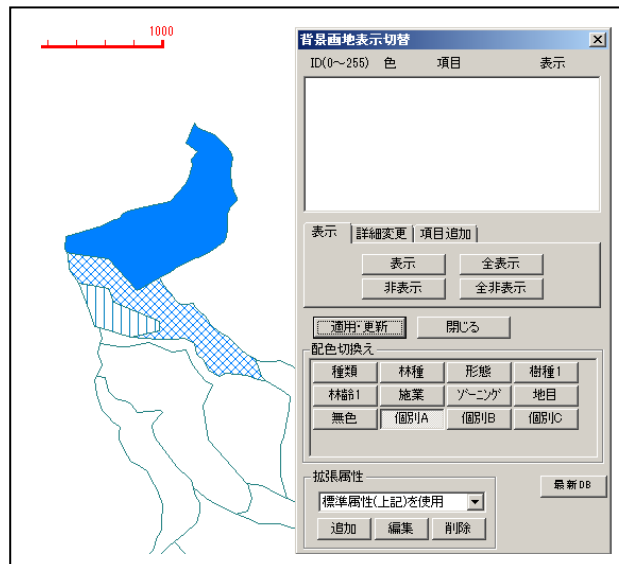
すべての画地をこの色でリセット…すべての画地を、選択
した色に設定します。

※画地数が多い場合、時間がかかります。



2. 「OK」で選択した背景画地の色が変更されます。

個別配色 A の表示例



◆拡張属性◆

データベース上の任意のフィールドを指定して配色を切り替えます。

手順

1. 拡張属性の[追加]ボタンを選択します。
2. [Dialog] ウィンドウが表示されます。

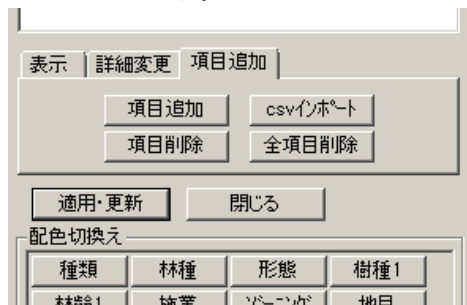


属性名…配色切換え欄以外で配色を指定したい項目名を入力します。
タイプ…識別するための文字タイプを選択します。

3. [OK] ボタンを選択すると項目が増えるのでリストボックスから入力した項目を選択し、必要に応じて配色を切換ええます。

<項目を追加・削除する場合>

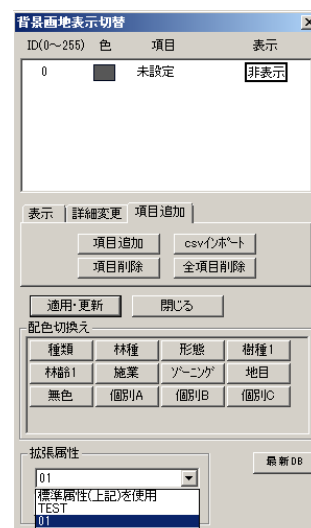
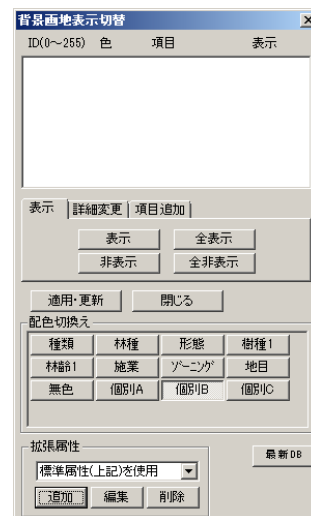
項目追加タブを選択します。



項目追加…項目を追加します。

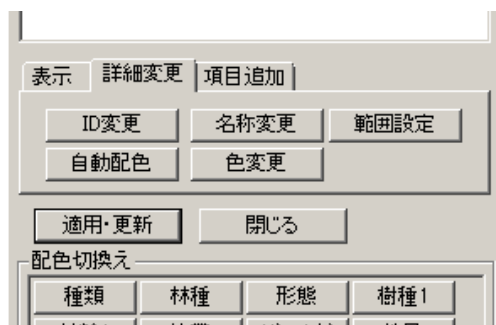
項目削除…追加した項目を削除します。

全項目削除…全ての項目を削除します。



<ID・名称・色・範囲を変更する場合>

詳細変更タブを選択します。



ID 変更…ID を変更します。

名称変更…名称を変更します。

範囲設定…配色するフィールド値の範囲を指定します。

色変更…色を変更します。

O 1-5 [DB] - [AssistDB 操作] …DB を設定・操作します。

O 1-5-1 [DB] - [AssistDB 操作] - [DB レコード→選択画地データ転送 (キー以外)] …背景 DB のキー以外の情報を選択画地に転送します。転送されるフィールドは [AssistDB 操作] - [背景画地・所有者 MDB フィールド設定] で設定したデータです。

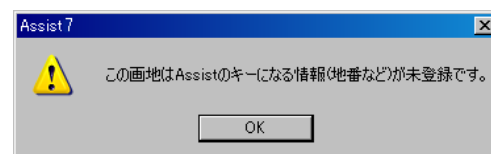
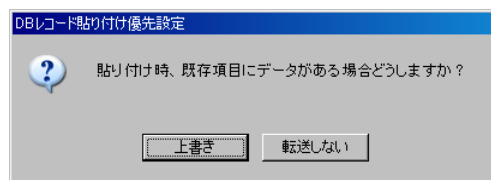
手順

1. DB 一覧テーブルで背景レイヤタブを選択し、DB から転送したいレコードを選択します。
2. メニューバーから [DB] - [AssistDB 操作] - [DB レコード→選択画地データ転送 (キー以外)] を選択します。



と同様です。

3. カーソルが▲に変わります。
4. DB 情報を転送する画地を選択します。
5. [DB レコード貼り付け優先設定]ウィンドウが開きます。キーが未登録の画地を選択した場合は、警告のメッセージが表示されます。その場合はキーを設定してください。
6. [上書き] を押すと、選択した画地に背景 DB のキー以外のデータが上書きされます。[転送しない] を押すと空白項目にのみデータが転送されます。

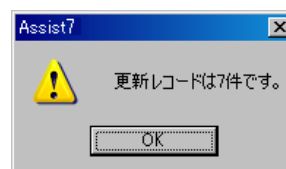


O 1-5-2 [DB] - [AssistDB 操作] - [全 DB→全面地同一キーデータ転送] …全ての背景 DB から同一キーを持つ画地(所有者 MDB)へ DB 情報を転送します。この転送されるフィールドは [DB] - [AssistDB 操作] - [背景画地・所有者 MDB フィールド設定] で設定したデータです。

手順

1. メニューバーから [DB] - [AssistDB 操作] - [全 DB→全面地同一キーデータ転送] を選択します。
2. 更新件数が表示されます。
3. [OK]を押すと、[DB レコード貼り付け優先設定]ウィンドウが開きます。操作方法は O 1-4-1 [DB] - [AssistDB 操作] - [DB レコード→選択画地データ転送 (キー以外)] と同様です。

※ 背景 DB のキーと Assist キーのリンク設定は後述 O 1-4-4 [DB] - [AssistDB 操作] - [背景画地・所有者 MDB フィールド設定] を参照してください。



O 1-5-3 [DB] - [AssistDB 操作] - [背景画地の地番分割 GIS キー生成] …背景画地の地番を分割し、GIS キーに割り振ります。

手順「

1. メニューバーから [DB] - [AssistDB 操作] - [背景画地の地番分割 GIS キー生成] を選択します。

2. [ポリゴン名の GIS キー分割化] ウィンドウが開きます。

リンク対象となる DB 名…リンク対象の DB です。

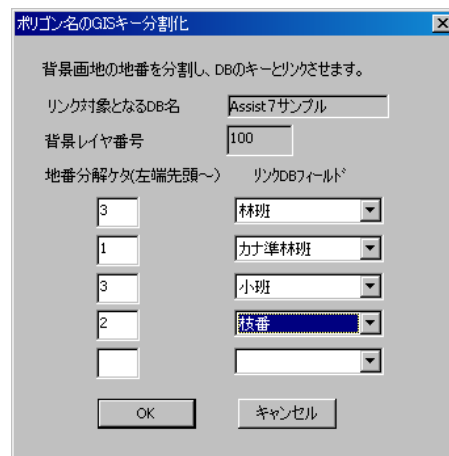
背景レイヤ番号…背景画地のレイヤ番号です。

地番分割ケタ（左端先頭～）…地番を分解する桁を設定します。

リンク DB フィールド…リンク対象の DB のフィールド名です。

GIS 基本設定で設定したキーが対象になります。

詳細は後述 [DB] - [GIS 基本設定] を参照してください。



3. [OK] ボタンをクリックすると、背景画地の地番が分割され、GIS キーとリンクします。

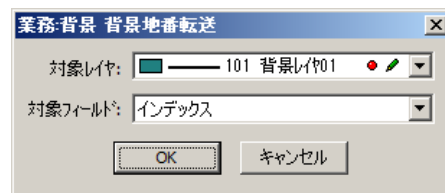
O 1-5-4 [DB] - [AssistDB 操作] - [背景画地地番転送] …背景画地の地番にフィールドからコピー。

手順

1. メニューバーから [DB] - [AssistDB 操作] - [背景画地地番転送] を選択します。

2. [業務背景 背景地番転送] ウィンドウが開きます。

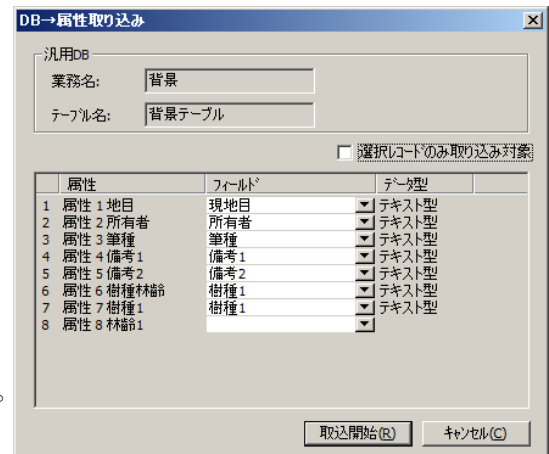
対象レイヤと対象フィールドを選択し、[OK]を選択します。



○ 1-5-5 [DB] － [AssistDB 操作] － [背景画地フィールド→背景属性] …背景画地の属性にフィールドからコピー。

手順

1. メニューバーから [DB] － [AssistDB 操作] － [背景画地フィールド→背景属性] を選択します。
2. [DB→属性取り込み] ウィンドウが開きます。
選択レコードのみ取り込み対象…選択しているレコードのみコピーされます。
属性…背景画地の属性が表示されます。
フィールド…属性をコピーするフィールドを選択します。

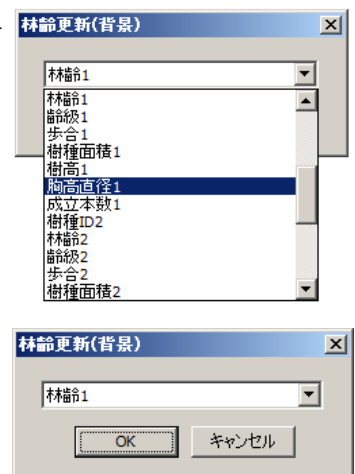


3. [取込開始] ボタンをクリックすると取り込みが開始されます。

○ 1-5-6 [DB] － [AssistDB 操作] － [背景画地林齢更新] …林齢を 1 年加算する。

手順

1. メニューバーから [DB] － [AssistDB 操作] － [背景画地林齢更新] を選択します。
2. [林齢更新] ウィンドウが表示されます。
3. 林齢を更新したいフィールドを選択し[OK]ボタンをクリックします。
4. 林齢が一年加算されます。



○ 1-5-7 [DB] - [AssistDB 操作] - [背景画地・所有者 MDB フィールド設定]

…背景 DB から所有者 DB への転送先を設定します。

この設定は [DB レコード→選択画地データ転送 (キー以外)] /

[全 DB→全画地同一キーデータ転送] / [背景画地表示切替] で使用されます。

手順

1. メニューバーから [DB] - [AssistDB 操作] - [背景画地・所有者 MDB フィールド設定]

を選択します。

2. [MDB 間転送設定] ウィンドウが開きます。

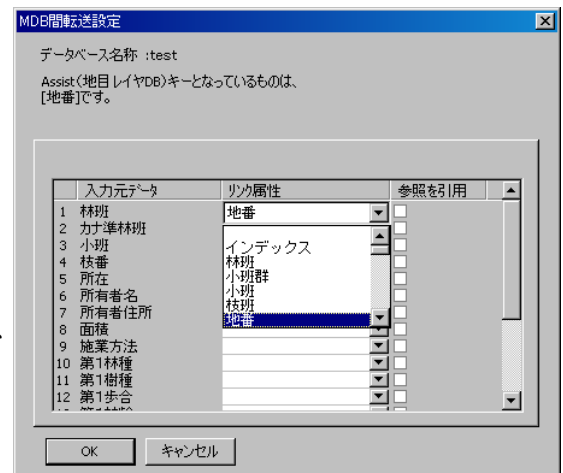
入力元データ…背景 DB のフィールド名です。

リンク属性…所有者 DB (Assist 画地情報) のフィールド名です。

項目を選択し、背景 DB の各フィールドに割り当てます。

参照引用…背景 DB が参照テーブルを利用している場合、参照テーブル側の値を Assist 項目に転送します。

3. 設定終了後 [OK] ボタンをクリックします。



O 1-6 [DB] - [DB 一覧表示]

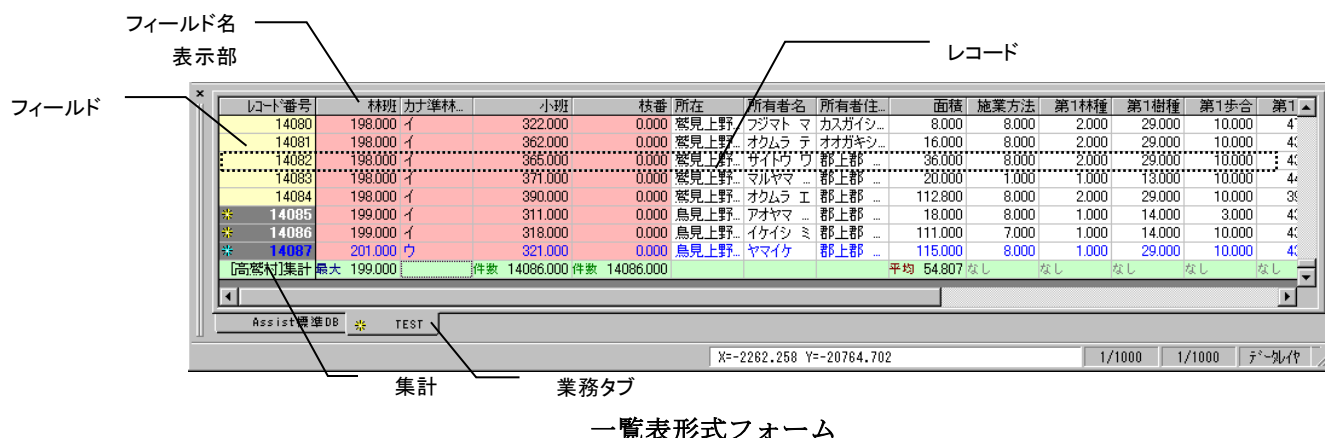
[GIS 基本設定] で設定した業務のレコードを [一覧表形式フォーム] に表示し、データ編集・確認をします。[更新] を実行しない場合は、編集したデータは DB に保存されません。

手順

1. メニューバーから [DB] - [DB 一覧表示] を選択します。
2. [一覧表形式フォーム] が表示されます。

右クリックすると、右メニューが表示され [一覧表形式フォーム] の編集ができます。

右メニューの [全選択] を選択すると、図形と結びついたレコードを色で確認することができます。



フィールド名表示部…フィールド名表示部をクリックすると、レコードが昇降順に並び替わります。並び替えをした場合に [ファイル] - [上書き保存] または [名前を付けて保存] を実行すると表示状態のままで保存されます。

フィールド…列がフィールドです。各フィールドの色で状態を確認します。

[GIS 基本設定] - [DB 詳細] でキーに設定したフィールド、[表示項目] でセルボタン設定をしたフィールドにはセルボタンが表示されます。

設定方法は、[GIS 基本設定] を参照してください。

桃色……DB キー (編集不可)、参照テーブルの結合フィールド (編集不可)

白色…編集可能のフィールド

黄色…編集不可のフィールド

桃色…新規集計フィールド (集計設定で設定、編集不可)

レコード…行がレコードです。

レコードを選択することにより、レコード番号フィールドの色・表示アイコン等でレコードの状態を表示します。

レコード番号フィールドが黄色…図形と結び付いているレコード

レコード番号フィールドが灰色…図形と結び付いていないレコード

✳ (黄色) …修正したレコードのレコード番号フィールドに表示されます。

✳ (水色) …新規作成レコードのレコード番号フィールドに表示されます。

また、新規レコードの文字は青色で表示されます。

黄緑色…集計行 (集計設定で設定、編集不可)

集計…集計結果は黄緑色・新規フィールドは桃色で表示されます。

集計結果を選択すると、計算フィールドが点滅します。

集計名をクリックすると、集計名リストが表示されます。

集計名リストから集計設定を選択すると、最新データで集計をします。

集計を非表示にして再度、表示にすると最後に実行した集計設定で最新データの集計を行います。

業務タブ… [GIS 基本設定] - [使用 DB 一覧] で設定した業務ごとにタブが作成されます。

タブを選択すると、業務のデータ切り替えができます。

検索結果のみ表示されている場合、また更新されていないデータがある場合は、業務タブにアイコンが表示されます。

……検索結果が表示されています。

データを再読込すると通常の表示モードに戻ります。

……レコードの修正後、データを更新していない状態です。

データを更新するとアイコンが消えます。

◆ウィンドウ枠の固定◆

特定のフィールドやレコードをスクロールしても常に定位置に固定しておくことができます。

手順

1. フィールド表示部の下、レコード番号フィールド右横にカーソルを合わせると、カーソルがカギの形 になり、 になります。
2. マウスでドラッグして固定する行・フィールドを指定します。

指定したラインより上・左がウィンドウ枠として固定され、スクロールしても常に表示された状態になります。固定枠を変更する場合は、固定されている枠にカーソルを合わせるとカーソルがカギの形に変わりますので位置を指定します。

[スクロール前]

スクロール前]

フィールド名表示部

固定枠

| レコード番号 | ID | 台帳番号 | 権利区分 | 記事コード | 大字コード | 字コード | 地番 | 地目コード | 登記地積 | 登記原因 | 所有者番 | 実測地積 | 按分コード | 按分地積 | 基準地積 |
|--------|-----|------|------|-------|-------|------|--------|-------|---------|------|-------|---------|-------|---------|---------|
| 1 | 226 | 226 | 1 | 1 | 1 | 1 | 314-4 | 宅地 | 231.000 | | 0.000 | 230.620 | 0 | 230.600 | 230.620 |
| 2 | 227 | 227 | 1 | 1 | 1 | 1 | 314-3 | 宅地 | 297.000 | | 0.000 | 297.100 | 0 | 297.100 | 297.100 |
| 3 | 14 | 14 | 1 | 1 | 1 | 1 | 324-25 | 宅地 | 759.000 | | 0.000 | 758.980 | 0 | 759.000 | 758.980 |
| 4 | 169 | 169 | 1 | 1 | 1 | 1 | 305-8 | 宅地 | 48.000 | | 0.000 | 48.020 | 0 | 48.000 | 48.020 |
| 5 | 127 | 127 | 1 | 1 | 1 | 1 | 307-1 | 宅地 | 656.000 | | 0.000 | 655.960 | 0 | 656.000 | 655.960 |
| 6 | 150 | 150 | 1 | 1 | 1 | 1 | 307-10 | 宅地 | 784.000 | | 0.000 | 784.310 | 0 | 784.300 | 784.310 |
| 7 | 151 | 151 | 1 | 1 | 1 | 1 | 307-11 | 宅地 | 706.000 | | 0.000 | 706.350 | 0 | 706.400 | 706.350 |
| 8 | 101 | 101 | 1 | 1 | 1 | 1 | 307-12 | 宅地 | 676.000 | | 0.000 | 675.520 | 0 | 675.500 | 675.520 |
| 9 | 125 | 125 | 1 | 1 | 1 | 1 | 307-13 | 宅地 | 661.000 | | 0.000 | 661.080 | 0 | 661.100 | 661.080 |
| 10 | 100 | 100 | 1 | 1 | 1 | 1 | 307-14 | 宅地 | 670.000 | | 0.000 | 670.470 | 0 | 670.500 | 670.470 |

※ Assist標準DB

Assist標準DB

Assist6_SAMPLE

所有者

X=-7409.992 Y=-29279.518

ヘルプ

[スクロール後]

| レコード番号 | ID | 台帳番号 | 権利区分 | 記事コード | 大字コード | 字コード | 地番 | 地目コード | 登記地積 | 登記原因 | 所有者番 | 実測地積 | 按分コード | 按分地積 | 基準地積 |
|--------|-----|------|------|-------|-------|------|--------|-------|---------|------|-------|---------|-------|---------|---------|
| 1 | 226 | 226 | 1 | 1 | 1 | 1 | 314-4 | 宅地 | 231.000 | | 0.000 | 230.620 | 0 | 230.600 | 230.620 |
| 2 | 227 | 227 | 1 | 1 | 1 | 1 | 314-3 | 宅地 | 297.000 | | 0.000 | 297.100 | 0 | 297.100 | 297.100 |
| 3 | 14 | 14 | 1 | 1 | 1 | 1 | 324-25 | 宅地 | 759.000 | | 0.000 | 758.980 | 0 | 759.000 | 758.980 |
| 4 | 169 | 169 | 1 | 1 | 1 | 1 | 305-8 | 宅地 | 48.000 | | 0.000 | 48.020 | 0 | 48.000 | 48.020 |
| 20 | 192 | 192 | 1 | 1 | 1 | 1 | 307-23 | 宅地 | 663.000 | | 0.000 | 663.050 | 0 | 663.100 | 663.050 |
| 21 | 163 | 163 | 1 | 1 | 1 | 1 | 307-24 | 宅地 | 697.000 | | 0.000 | 696.980 | 0 | 697.000 | 696.980 |
| 22 | 97 | 97 | 1 | 1 | 1 | 1 | 307-25 | 宅地 | 643.000 | | 0.000 | 642.580 | 0 | 642.600 | 642.580 |
| 23 | 98 | 98 | 1 | 1 | 1 | 1 | 307-26 | 宅地 | 557.000 | | 0.000 | 557.490 | 0 | 557.500 | 557.490 |
| 24 | 96 | 96 | 1 | 1 | 1 | 1 | 307-27 | 宅地 | 550.000 | | 0.000 | 549.540 | 0 | 549.500 | 549.540 |
| 25 | 155 | 155 | 1 | 1 | 1 | 1 | 307-28 | 宅地 | 554.000 | | 0.000 | 553.990 | 0 | 553.990 | 553.990 |

再読込

選択した DB を再度読み込みます。

メニューバーの [DB] - [DB 一覧表示] で再読込した場合は、選択した図形と結び付いたレコードのみ表示されます。

[一覧表形式フォーム] 内の右メニューで再読込を実行した場合は、現在の選択とは関係なくレコードが表示されます。

手順

1. [一覧表形式フォーム] 内で右クリックし、右メニューから [再読込] を選択します。
2. DB の再読込を実行します。

検索結果が表示されている場合は、再読込を実行すると通常の表示モードに戻ります。

レコード修正後に更新してない場合は、[グリッドの内容は変更されています。更新しますか?]
という確認メッセージが表示されます。


[はい] ボタンをクリックすると、データを更新して再読込を実行します。

[いいえ] ボタンをクリックするとレコードの修正をキャンセルし、最後に更新された状態のデータで再読込を実行します。

新規入力

新規レコードを追加します。

手順

1. [一覧表形式フォーム] 内で右クリックし、右メニューから [新規入力] を選択します。
2. 新規レコードが最終行に追加されます。
3. レコード番号フィールドに新規アイコン  (水色) が表示されます。
4. データを入力します。
5. データ入力後、更新すると新規レコードが DB 内に追加されます。

キーが設定されているフィールドにデータが入力されていない場合は、更新できません。



| 図形番号 | ID | 台帳番号 | 権利区分 | 記事コード | 大字コード | 字コード | 地番 | 地目コード | 登記地積 | 登記原因 | 所有者番 | 実測地積 | 按分コード | 按分地積 | 基準地積 |
|-------|-----|------|------|-------|-------|------|--------|-------|----------|------|-------|----------|-------|----------|----------|
| 222 | 26 | 26 | 1 | 1 | 1 | 1 | 324-4 | 宅地 | 660.000 | | 0.000 | 660.300 | 0 | 660.300 | 660.300 |
| 223 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 324-5 | 宅地 | 90.000 | | 0.000 | 90.130 | 0 | 90.100 | 90.130 |
| 224 | 12 | 12 | 1 | 1 | 1 | 1 | 324-6 | 宅地 | 212.000 | | 0.000 | 211.680 | 0 | 211.700 | 211.680 |
| 225 | 11 | 11 | 1 | 1 | 1 | 1 | 324-7 | 宅地 | 578.000 | | 0.000 | 578.190 | 0 | 578.200 | 578.190 |
| 226 | 228 | 228 | 1 | 1 | 1 | 1 | 590 | 宅地 | 2718.000 | | 0.000 | 2718.430 | 0 | 2718.400 | 2718.430 |
| 227 | 189 | 189 | 1 | 1 | 1 | 1 | 305-7 | 宅地 | 322.000 | | 0.000 | 322.440 | 0 | 322.400 | 322.440 |
| 228 | 191 | 191 | 1 | 1 | 1 | 1 | 304-81 | 宅地 | 37.000 | | 0.000 | 36.780 | 0 | 36.800 | 36.780 |
| 229 | 139 | 139 | 1 | 1 | 1 | 1 | 316-21 | 宅地 | 824.000 | | 0.000 | 823.880 | 0 | 823.900 | 823.880 |
| * 230 | 230 | | | | | | | | | | | | | | |

変更

選択したレコードと結び付いている図形の GIS キーを変更し、結び付きを解除します。

手順

1. [一覧表形式フォーム] 内のレコードを選択します。
2. 右クリックし、右メニューから [変更] を選択します。
3. [GIS・キー変更] ウィンドウが表示されます。
4. GIS キーを入力し、[変更] ボタンをクリックします。
既に図形と結び付いている GIS キーは入力できません。
5. GIS キーが変更され、図形とレコードの結び付けが解除されます。
入力した GIS キーが DB に存在した場合は、新たにそのレコードと結び付きます。



The dialog box titled "GIS・キー変更" (GIS Key Change) contains several input fields and buttons. The fields are labeled as follows:

| Field Name | Current Value | Data Type |
|---------------|---------------|---------------------|
| ID | 222 | 長整数型 (Long Integer) |
| 大字コード | 1 | テキスト型 (Text) |
| 字コード | 1 | テキスト型 (Text) |
| 地番 | 314-3 | テキスト型 (Text) |
| (Empty field) | | |
| (Empty field) | | |
| (Empty field) | | |
| (Empty field) | | |
| (Empty field) | | |
| (Empty field) | | |

At the bottom right, there are two buttons: "変更" (Change) and "キャンセル" (Cancel).

削除

選択したレコード・GIS キーを削除します。

手順

1. [一覧表形式フォーム] 内で削除するレコードを選択します。
2. [一覧表形式フォーム] 内で右クリックし右メニューから [削除] - [GIS キー]・[一覧表レコード]・[DB レコード] のいずれかを選択します。

GIS キー…図形の GIS キーを削除し、レコードの結び付けを解除します。

[図面の GIS キーを削除しますか?] という確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックすると、図形の GIS キーが削除されます。

一覧表レコード… [一覧表形式フォーム] からレコードを削除します。(DB からは削除されません。)

[一覧表形式フォーム] の再読込を実行すると、削除前の状態に戻ります。

[図面の GIS キーを削除しますか?] という確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックすると、図形の GIS キーを削除し、[一覧表形式フォーム] からレコードを削除します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、図形の GIS キーは削除されず、[一覧表形式フォーム] からレコードのみ削除します。

DB レコード…DB と [一覧表形式フォーム] からレコードを削除します。

[テーブルのレコードを削除します。元に戻せなくなります。よろしいですか?] という確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックすると、DB と [一覧表形式フォーム] からレコードを削除します。

[図面の GIS キーを削除しますか?] という確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックすると、図形の GIS キーも削除されます。

[いいえ] ボタンをクリックすると、図形の GIS キーは削除されません。

結び付け

選択したレコードを図形と結び付けます。

更新前の新規レコードと集計レコードは図形と結び付けられません。

手順

1. [一覧表形式フォーム] 内で図形と結び付けるレコードを選択します。
2. [一覧表形式フォーム] 内で右クリックし、右メニューから [結び付け] を選択します。
3. カーソルが▲に変わります。
4. 図形をクリックします。
5. 既にレコードと結び付いている図形をクリックした場合は、[選択した図形は既にキーと結び付いています。上書きしますか?] という確認メッセージが表示されます。
[はい] ボタンをクリックすると、図形とレコードの結び付けが上書きされます。

全選択

[一覧表形式フォーム] に表示されているレコードをすべて選択します。

手順

1. [一覧表形式フォーム] 内で右クリックし、右メニューから [全選択] を選択します。
2. 表示されているレコードをすべて選択します。

列幅調整

フィールド、フィールド名の文字数に合わせて列の幅を調整します。

手順

1. [一覧表形式フォーム] 内で右クリックし、右メニューから [列幅調整] を選択します。
2. フィールド、フィールド名の文字数に合わせて列の幅を調整します。

更新

[一覧表形式フォーム] に表示されている情報を DB へ更新します。

更新を取り消すことはできません。

手順

1. [一覧表形式フォーム] 内で右クリックし、右メニューから [更新] - [全体] を選択するか、[一覧表形式フォーム] 内で更新するレコードを選択し、右クリックして右メニューから [更新] - [選択] を選択します。
2. 全体または選択したレコードの情報を DB へ更新します。

集計行表示

〔集計設定〕で設定した新規フィールド・集計結果を表示します。

手順

1. 〔一覧表形式フォーム〕内で右クリックし、右メニューから〔集計行表示〕を選択します。
2. 集計結果を表示します。
再度、〔一覧表形式フォーム〕内で右クリックし、右メニューから〔集計行表示〕を選択すると、集計行を表示しません。

自動列幅調整

〔一覧表形式フォーム〕のデータ読み込み時にフィールド・フィールド名の文字数に合わせて列の幅を自動で調整します。

手順

1. 〔一覧表形式フォーム〕内で右クリックし、右メニューから〔自動列幅調整〕を選択します。
2. 〔一覧表形式フォーム〕のデータ読み込み時にフィールド、フィールド名の文字数に合わせて列の幅を自動で調整します。

メモリ開放

〔一覧表形式フォーム〕を閉じると読み込んだデータをメモリ内から消去します。

〔一覧表形式フォーム〕を開くときにデータを再読込します。

手順

1. 〔一覧表形式フォーム〕内で右クリックし、右メニューから〔メモリ開放〕を選択します。
2. 〔一覧表形式フォーム〕を閉じると、読み込んだデータをメモリ内から消去します。

集計設定

〔一覧表形式フォーム〕内データの集計方法を設定します。

表示／非表示は〔集計行表示〕で設定します。

手順

1. 〔一覧表形式フォーム〕内で右クリックし、右メニューから〔集計設定〕を選択します。
2. 〔集計設定〕ウィンドウが表示されます。

集計名…集計名を入力します。

設定フィールド…集計方法を設定します。

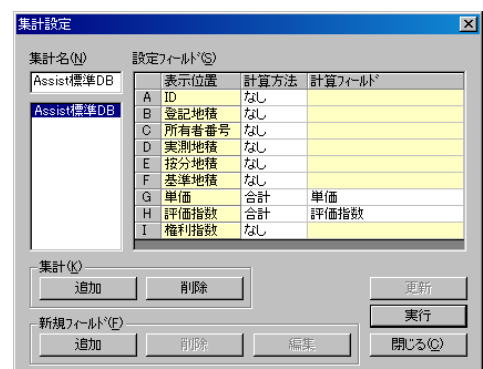
表示位置…集計値を表示するフィールドを選択します。

計算方法…フィールドの計算方法を選択します。

なし…計算しません。

合計…フィールドの合計値を集計

平均…フィールドの平均値を計算



最大…フィールドの最大値を表示

最小…フィールドの最小値を表示

件数…フィールドの件数を集計

計算フィールド…計算するフィールドを選択します。

集計

追加…集計設定を追加します。現在、選択している業務名が集計名に表示されます。

削除…集計設定を削除します。集計名で選択している集計設定が削除されます。

新規フィールド…フィールドを新規で作成します。[集計行表示]を表示に設定した場合のみ、
[一覧表形式フォーム]に表示されます。

追加…新規フィールドを追加します。

追加方法は、◆**新規フィールド追加**◆を参照してください。

削除…新規フィールドを削除します。設定フィールドで削除するフィールドを選択し、[削除]
ボタンをクリックします。

編集…新規フィールドを編集します。設定フィールドで編集するフィールドを選択し、[編集]
ボタンをクリックすると、[フィールドプロパティ] ウィンドウが表示されます。

編集方法は、◆**新規フィールド追加**◆を参照してください。

3. [更新] ボタンをクリックし、集計設定を更新します。
4. [実行] ボタンをクリックすると、[一覧表形式フォーム]に戻ります。
5. [一覧表形式フォーム] に集計結果が表示されます。

◆新規フィールド追加◆

手順

1. 「新規フィールド追加」ウィンドウが表示されます。
フィールド名…フィールド名を入力します。
データ型…データ型を表示します。
フィールドサイズ…フィールドサイズを選択します。

2. 「任意式作成」ボタンをクリックすると、「任意式作成」ウィンドウが表示されます。
3. 計算式を作成します。

「フィールド選択」ボタンをクリックすると、フィールドリストが表示されます。
フィールドを選択し、各ボタンをクリックして式を作成します。

「BS」ボタンでカーソルの左、「DEL」ボタンで右の文字を削除します。

カーソルで複数の文字を選択し、「BS」・「DEL」ボタンをクリックすると、選択した範囲が削除されます。

4. 「決定」ボタンをクリックすると、「新規フィールド追加」ウィンドウに戻ります。
5. 「更新」ボタンをクリックすると、新規フィールドを作成します。

簡易集計

「一覧表形式フォーム」で選択したレコードを簡易集計します。

手順

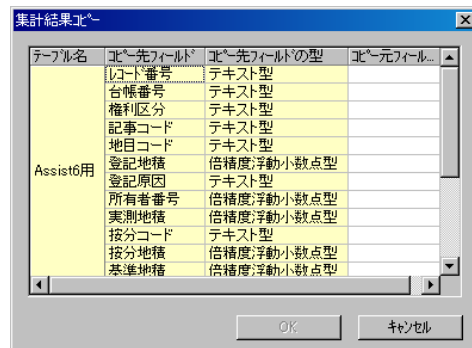
1. 「一覧表形式フォーム」から集計をするレコードを複数選択します。
2. 「一覧表形式フォーム」内で右クリックし、右メニューから「簡易集計」を選択します。
3. 「集計結果」ウィンドウが表示されます。
4. 「演算種類」を選択し、集計する項目のチェックボックスを「ON」にします。
5. 「印刷」ボタンをクリックすると、計算結果を印刷します。

結果コピー

〔集計設定〕の新規フィールドの集計を別のフィールドに表示し、DBへコピーします。

手順

1. 〔一覧表形式フォーム〕内で右クリックし、右メニューから〔結果コピー〕を選択します。
2. 〔集計結果コピー〕ウィンドウが表示されます。
3. コピー先フィールドを選択し、コピー元フィールドを選択します。
4. [OK] ボタンをクリックすると、〔一覧表形式フォーム〕のコピー先フィールドにコピー元フィールドが表示されます。
5. DBへコピーする場合は、〔一覧表形式フォーム〕内で右クリックし、右メニューから〔更新〕を選択するとDBへコピーされます。



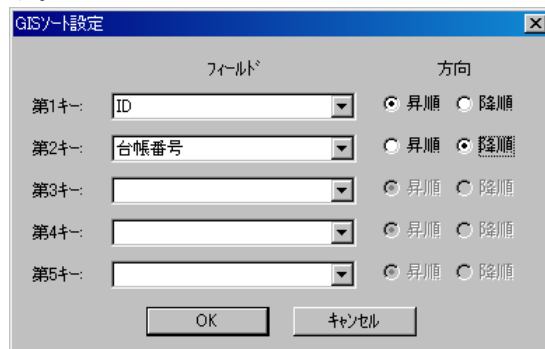
0 1-7 [DB] - [ソート設定]

〔一覧表形式フォーム〕内のデータ並び替えの設定を行います。ソートキーを最大5個まで設定し、その設定によるソートができます。

手順

1. メニューバーから [DB] - [ソート設定] を選択します。
2. [GIS ソート設定] ウィンドウが表示されます。

フィールド…ソートするフィールドを選択します。
連結済み図形を選択すると、レコードに図形が結び付いているか否かでソートします。
方向…ソート方向を昇順、降順から選択します。



3. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックします。
4. 設定したフィールドをクリックするとソートが実行されます。

※ 〔一覧表形式フォーム〕のヘッダー部をクリックした場合、ソート設定の第1～第5キーに設定されているフィールドの場合は、設定内容にてソートします。それ以外のフィールドの場合は、指定フィールドのみをキーとしてソートします。この場合、2回目以降は、昇順、降順を反転します。

※ 〔一覧表形式フォーム〕内のソートキーは1種類のみの設定となります。

O 1-8 [DB] - [印刷・出力]

O 1-8-1 [DB] - [印刷・出力] - [一覧表印刷]

[一覧表形式フォーム] のデータを印刷します。

手順

1. メニューバーから [DB] - [印刷・出力] - [一覧表印刷] を選択します。

2. [GIS 印刷] ウィンドウが表示されます。

単票…フォーム形式でレコードを印刷します。

オブジェクト・ボタン・グリッドは印刷しません。

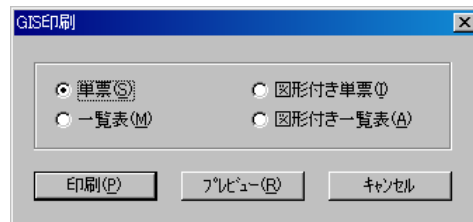
一覧表…一覧表形式でレコードを印刷します。

図表付き単票…フォーム形式でレコードと、

レコードに結び付いた図形を印刷します。ページごとに図形を印刷します。オブジェクト・ボタン・グリッドは印刷しません。

印刷…[印刷] ウィンドウが表示されます。

プレビュー…プレビューを表示します。



3. 設定終了後、[印刷] ボタンをクリックすると [印刷] ウィンドウが表示されます。

4. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると [一覧表形式フォーム] 内のデータを一覧表形式で印刷します。

※印刷の設定詳細についてはご使用のプリンタのマニュアルを参照してください。

O 1-8-2 [DB] - [印刷・出力] - [台帳印刷]

データベースを検索し図形とレコードを同時に印刷します。

検索結果は自動で範囲分けし、印刷イメージのレイアウトに配置します。

手順

1. メニューバーから [DB] - [印刷・出力] - [台帳印刷] を選択します。

2. [GIS-台帳印刷] ウィンドウが表示されます。

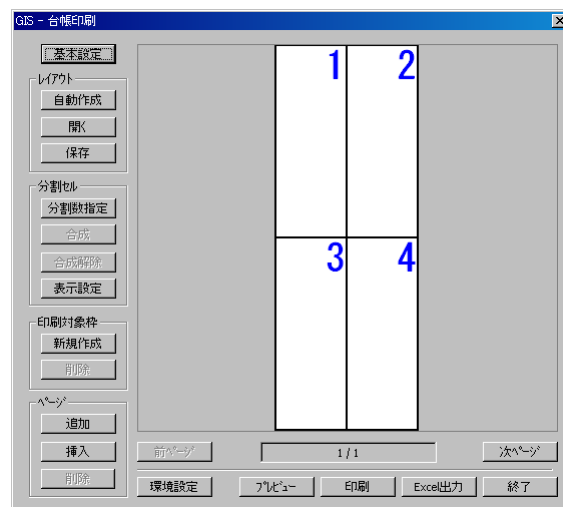
基本設定…台帳印刷時の印刷設定をします。

設定方法は◆基本設定◆を参照して下さい。

レイアウト…印刷レイアウトを作成します。

自動作成…レイアウトを自動で作成します。

設定方法は◆レイアウト自動作成◆を参照して下さい。



開く…保存したレイアウトを開きます。[開く] ボタンをクリックすると [GIS レイアウトを開く] ウィンドウが表示されますので、レイアウトを選択して開きます。

保存…設定したレイアウトを保存します。[保存] ボタンをクリックすると [GIS レイアウトを保存] ウィンドウが表示されますので、ファイル名を入力して保存します。

分割セル…セルの編集や表示の設定をします。

分割数指定…セルの分割数を変更します。[分割数指定] ボタンをクリックすると [GIS— 台帳印刷 枠数指定] ウィンドウが表示されます。分割数を入力して [OK] ボタンをクリックするとセルを分割します

合成…セルを合成します。合成するセルをマウスでドラッグするとセルの枠を赤で表示します。[合成] ボタンをクリックするとセルを合成します。

合成解除…合成したセルを解除します。合成したセルをクリックするとセルの枠が赤で表示されます。[合成解除] ボタンをクリックすると合成を解除します。

表示設定…セルの表示内容を設定します。設定方法は◆表示設定◆を参照して下さい。

印刷対象枠…[印刷対象枠] の作成・削除を行います。[印刷対象枠] は図面上に赤枠で表示されます。

新規作成…印刷対象とする範囲に [印刷対象枠] を作成します。[新規作成] ボタンをクリックするとマウスカーソルが+に変わります。範囲を矩形指定すると [印刷対象枠] が追加できます。

削除…[印刷対象枠] を削除します。[削除] ボタンをクリックし [印刷対象枠] をクリックすると削除します。

ページ…ページの追加・挿入・削除を行います。

追加…[追加] ボタンをクリックすると最終ページに 1 ページ追加します。

挿入…[挿入] ボタンをクリックすると表示しているページの前に 1 ページ挿入します。

削除…[削除] ボタンをクリックすると表示しているページを削除します。

前ページ…前のページへ移動します。

次ページ…次のページへ移動します。

環境設定…起動時の初期値等の設定を行います。設定方法は◆環境設定◆を参照して下さい。

プレビュー…印刷プレビューを表示します。

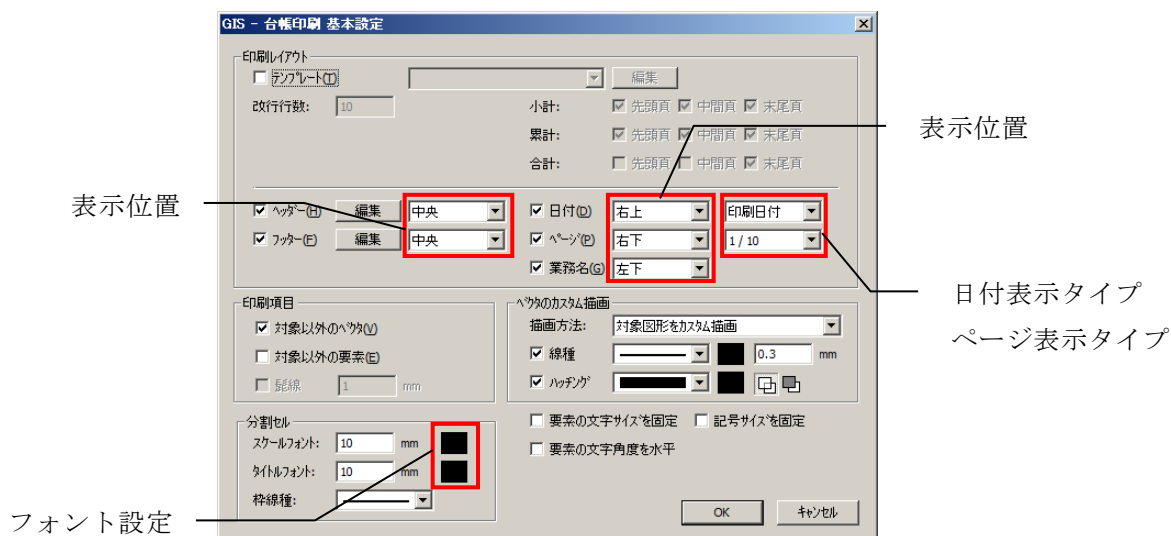
EXCEL 出力…EXCEL 出力します。

3. 設定終了後、[印刷] ボタンをクリックします。台帳が印刷されます。

◆基本設定◆

手順

1. [GIS—台帳印刷 基本設定] ウィンドウが表示されます。



印刷レイアウト

テンプレート…台帳印刷で使用するテンプレートを選択します。

コンボボックスより使用するテンプレートを選択します。

テンプレートを選択し、[編集]を選択すると、テンプレートの編集ができます。

なにも選択せずに、[編集]を選択すると、新規にテンプレートを作成します。

テンプレート作成方法は、◆テンプレート作成方法◆を参照して下さい。

改行行数…テンプレート1ページに、表示するレコード数を設定します。

小計…テンプレートで設定した“小計”を表示するページを選択します。

累計…テンプレートで設定した“累計”を表示するページを選択します。

合計…テンプレートで設定した“合計”を表示するページを選択します。

ヘッダー・フッター…(帳票の上部)、フッター(帳票の下部)を印刷します。

(ヘッダー・フッターは表形式になります。)

設定方法は◆レイアウト編集◆を参照して下さい。

日付…日付の表示位置を設定します。

ページ…ページの表示位置を設定します。

業務名…業務名の表示位置を設定します。

印刷項目

対象以外のベクタ…選択画地の周囲のベクタデータを印刷します。

対象以外の要素…選択画地の周囲のベクタデータ要素を印刷します。

罫線設定…罫線を指定します。

ベクタのカスタム描画

描画方法…設定する図形を選択します。

線種…図形の線種／色／線幅を選択します。[色選択] ボタンをクリックすると [色設定]

ウィンドウが表示されますので色を指定します。

ハッチング…図形のハッチングパターンを選択します。[色選択] ボタンをクリックすると [色設定] ウィンドウが表示されますので色を指定します。

分割セル…スケール／タイトル／枠の線種を設定します。

スケールフォント…表示するスケールのフォントを設定します。[フォント設定] ボタンをクリックすると [スケール表示フォントの選択] ウィンドウが表示されますのでフォントの設定を行います。

タイトルフォント…表示するタイトルのフォントを設定します。[フォント設定] ボタンをクリックすると [タイトル表示フォントの選択] ウィンドウが表示されますのでフォントの設定を行います。

枠線種…台帳に印刷する枠の線種を指定します。

要素の文字サイズを固定する…表示要素の文字サイズを縮尺に関わらず、固定します。

要素の文字角度を水平にする…図形を回転しても表示要素の角度を帳票の水平にします。

記号サイズを固定…記号サイズを縮尺に関わらず固定します。

2. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックします。

◆レイアウト編集◆

手順

1. ヘッダー・フッターの「編集」をクリックすると、「レイアウト編集」ウィンドウが表示されます。

レイアウトイメージの各セルの罫線をクリックすると、行・列の高さ・幅を変更できます。

分割数…表の行・列の分割数を設定します。

全体長…表の行列の全体の長さを入力します。

均等…全体長で、セルの高さ・幅を分割数で

均等割りします。


マージン…ヘッダー・フッターと帳票部分の


余白を設定します。


フレームを表示…表罫線の印刷をします。


T テキスト編集…選択セルのテキストを編集します。


A フォント…選択セルのフォントを編集します。


 上寄せ…テキストをセルの上側に合わせます。


 縦中央…テキストをセルの縦中央に合わせます。


 下寄せ…テキストをセルの下側に合わせます。


 左寄せ…テキストをセルの左側に合わせます。


 横中央…テキストをセルの横中央に合わせます。

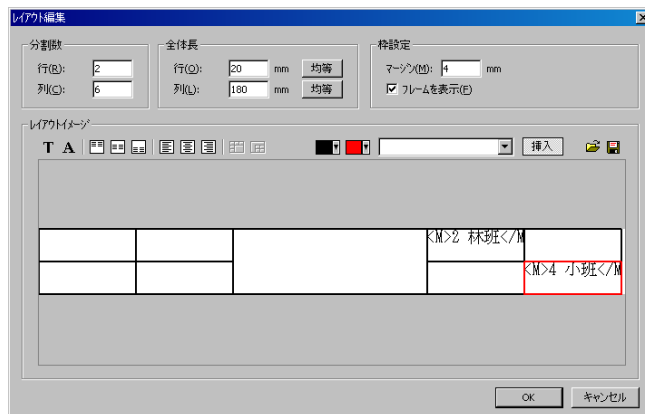
 右寄せ…テキストをセルの右側に合わせます。

 セルを合成…複数選択したセルを合成します。

 セル合成を解除…合成されたセルを解除します。

 色設定…左側が、フォントの色設定、右側が、セルの背景色設定になります。

 挿入…セルに項目が入力された状態で、「挿入」ボタンを押し（薄い灰色の状態）、DB の項目を選択すると、セルに項目が挿入できます。



2. 設定終了後、「OK」ボタンをクリックします。

◆レイアウト自動作成◆

手順

1. 「GIS—台帳印刷 検索」ウィンドウが表示されます。
登録条件引用… [DB] — [検索] で保存した
登録条件を引用できます。

検索条件…データベースを検索する条件を指定します。

チェックボックスを [ON] にすると条件

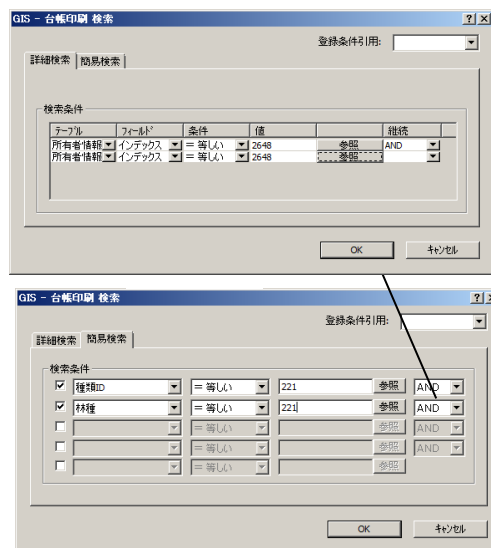
が設定可能となります。[接続条件] で

接続方法を選択します。

簡易検索…条件が 5 つまでの場合検索可能です

詳細検索… 5 つ以上の検索項目を指定し検索が可能です。

2. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックします。設定条件で
データベースを検索し、自動で印刷対象枠を作成しセルに
表示します。



◆表示設定◆

手順

1. [GIS—台帳印刷 セル設定] ウィンドウが表示されます。

セル一覧…表示中のページ内のセル情報が表示されます。

スケール…スケールを表示します。[自動] のチェック

ボックスを [OFF] にすると任意のスケール

を入力できます。

自動…チェックボックスを [ON] にすると対象セルの

サイズに合わせてスケールを自動調整します。

チェックボックスを [OFF] にすると [スケール] に任意のスケールを入力できます

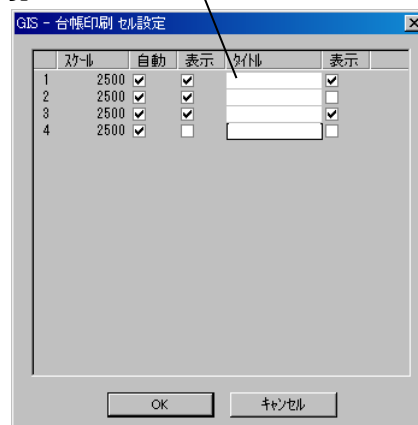
表示…チェックボックスを [ON] にするとセルにスケールを表示します。

タイトル…セルのタイトルを入力します。

表示…チェックボックスを [ON] にするとセルにタイトルを表示します。

2. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックします。

セル一覧



◆環境設定◆

手順

1. [GIS—台帳印刷 環境設定] ウィンドウが表示されます。

新規作成…新規作成時の条件設定を行います。

分割セル枠数…セルの分割数を設定します。

セル初期値…セル表示の初期値を設定します。

自動スケール…チェックボックスを [ON] に

すると自動スケールが初期値

になります。

スケール表示…チェックボックスを [ON] に

するとスケール表示が初期値に

なります。

タイトル表示…チェックボックスを [ON] にするとタイトル表示が初期値になります。

自動生成条件…セルの自動生成条件を設定します

基準スケール…スケールを設定します。

マージン…余白の割合を設定します。

回転角度…回転角度を設定します。

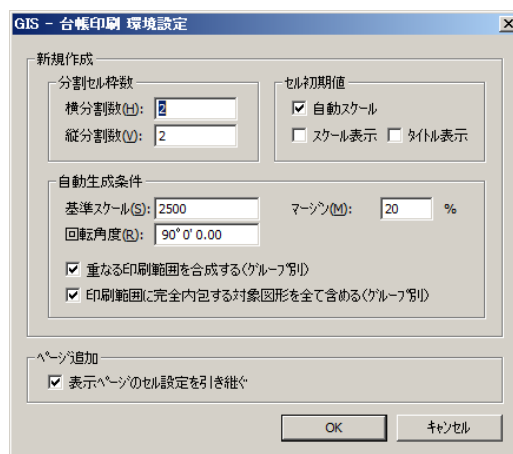
重なる印刷範囲を連結…印刷範囲が重なっている個所を連結します。

印刷範囲に完全内包する対象図形を全て含める (グループ別) …印刷範囲に内包されている図形のみ対象とするか設定します。

ページ追加…ページを追加する際の条件を設定します。

表示ページのセル設定を引き継ぐ…チェックボックスを [ON] にするとページ追加の際に表示中のセルの設定内容が引き継がれます。

2. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックします。



01-8-3 [DB] - [印刷・出力] - [Excel 出力]

〔一覧表形式フォーム〕のデータを Excel に出力します。

手順

1. 〔一覧表形式フォーム〕から出力したいレコードを選択します。
 2. メニューバーから [DB] - [印刷・出力] - [Excel 出力] を選択します。
 3. [Excel 出力 (選択)] ウィンドウが表示されます。
 4. [設定名称] で出力をする Excel 出力設定を選択します。
 5. 各項目の出力設定方法は、[GIS 基本設定] - [Excel] を参照してください。
- ※ 〔一覧表形式フォーム〕で [集計行の表示] を選択している場合は、レコードの最終行に集計結果が出力されます。
6. [実行] ボタンをクリックすると、[Excel 出力プレビュー] ウィンドウが表示されます。


保存…Excel ファイルへ保存します。

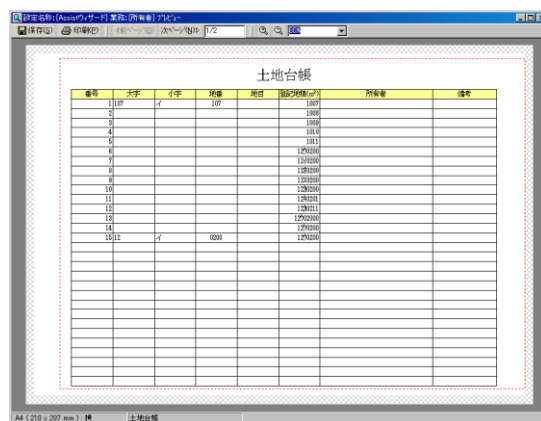
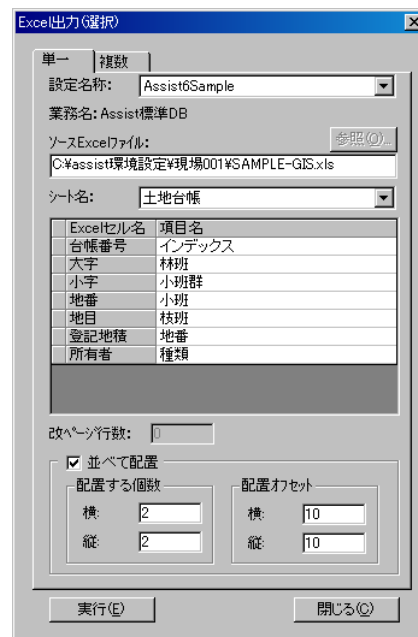
〔Excel ファイルへの保存〕でファイル名を入力して保存します。

印刷…プレビューされている内容を印刷します。

メニューバーの [印刷] - [印刷] を選択します。

前ページ・次ページ…ページを移動します。

7. [Excel 出力プレビュー] ウィンドウの  をクリックすると 2.に戻ります。

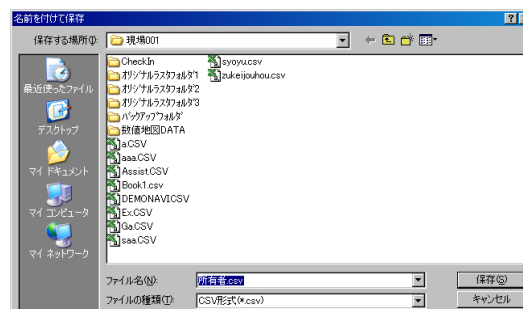


01-8-4 [DB] - [印刷・出力] - [CSV 出力]

〔一覧表形式フォーム〕のデータを選択し、CSV ファイルに出力します。

手順

1. メニューバーから [DB] - [印刷・出力] - [CSV 出力] を選択します。
2. レコード件数の確認メッセージが表示されます。
3. [はい] ボタンをクリックすると、[名前を付けて保存] ウィンドウが表示されます。
4. ファイル名を入力して、[保存] ボタンをクリックすると選択したレコードを CSV ファイルで出力します。



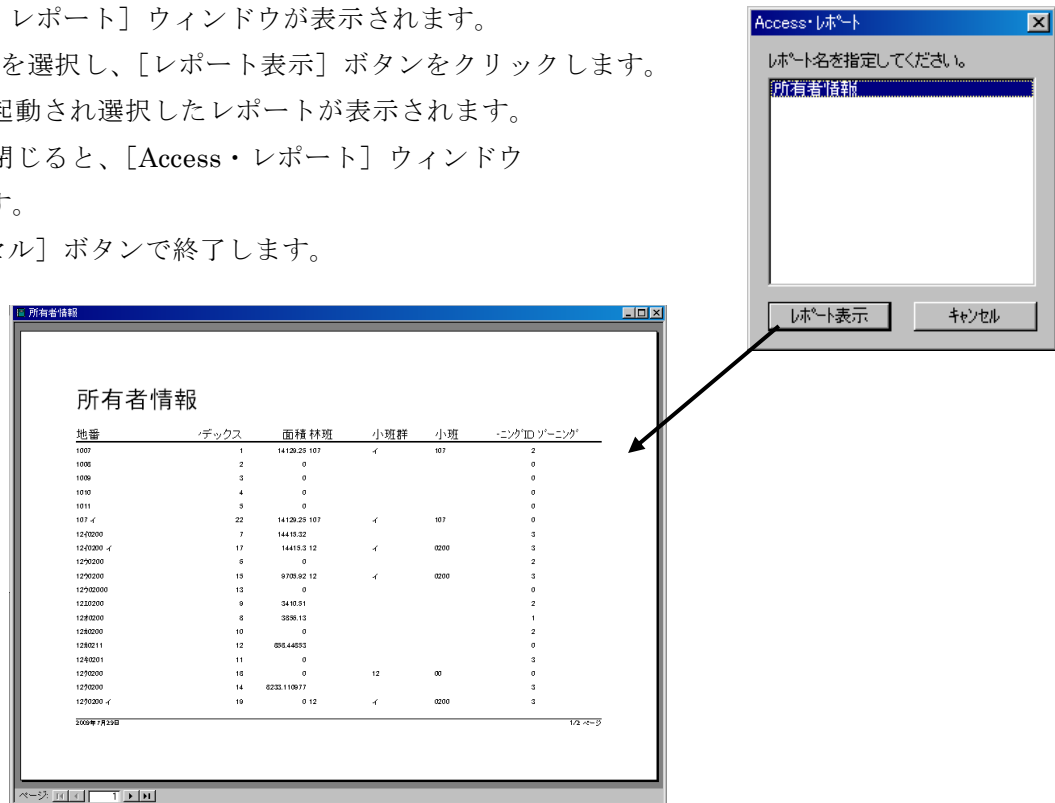
01-8-5 [DB] - [印刷・出力] - [Access レポート]

Microsoft Access を起動してレポートを作成します。

※Access データにレポートを設定している場合のみ有効な機能です。

手順

1. メニューバーから [DB] - [印刷・出力] - [Access レポート] を選択します。
2. [Access ・ レポート] ウィンドウが表示されます。
3. レポート名を選択し、[レポート表示] ボタンをクリックします。
4. Access が起動され選択したレポートが表示されます。
5. Access を閉じると、[Access ・ レポート] ウィンドウに戻ります。
6. [キャンセル] ボタンで終了します。



O1-9 [DB] - [GIS 設定] - [新規・変更]

業務と結び付いたレイヤ内の図形と、レコードを結び付けます。

また、既にレコードと結び付いている図形またはグリッドを選択してデータを変更できます。

新規

1. メニューバーから [DB] - [GIS 設定] - [新規・変更] を選択します。
2. カーソルが▲に変わります。
3. データを入力する図形をクリックします。
4. [フォーム] が表示されます。

キー…キーを入力します。

キー情報取得…入力したキーが既に DB 内にあるかどうかを確認します。

DB 内にある場合は、データが表示されます。

新規キーの場合は、[このキーは存在しません。] という確認メッセージが表示されます。

キー(赤で表示)

グリッド

| キー番号 | インデックス | 林班 | 小班群 | 小班 | 林種 | 地番 | 種類 | 種類ID | 林種ID | 形態ID |
|------|--------|----|-----|----|----|-----|----|------|------|------|
| 1 | 130 | 1 | 1 | 1 | 1 | 130 | 1 | 1 | 1 | 1 |

5. キー入力後、[決定] ボタンをクリックします。
6. 新規キーの場合は、[レコードを追加します。元に戻せなくなりますが、よろしいですか?] という確認メッセージが表示されます。
[はい] ボタンをクリックすると、新規レコードが DB 内に追加されます。
7. [フォーム] が表示されます。
データを入力します。データ入力方法は、[変更] を参照してください。

変更

1. メニューバーから [DB] - [GIS 設定] - [新規・変更] を選択します。
2. カーソルが▲に変わります。
3. データを入力する図形を選択します。
4. [フォーム] が表示されます。

カスタマイズ…フォームをカスタマイズします。

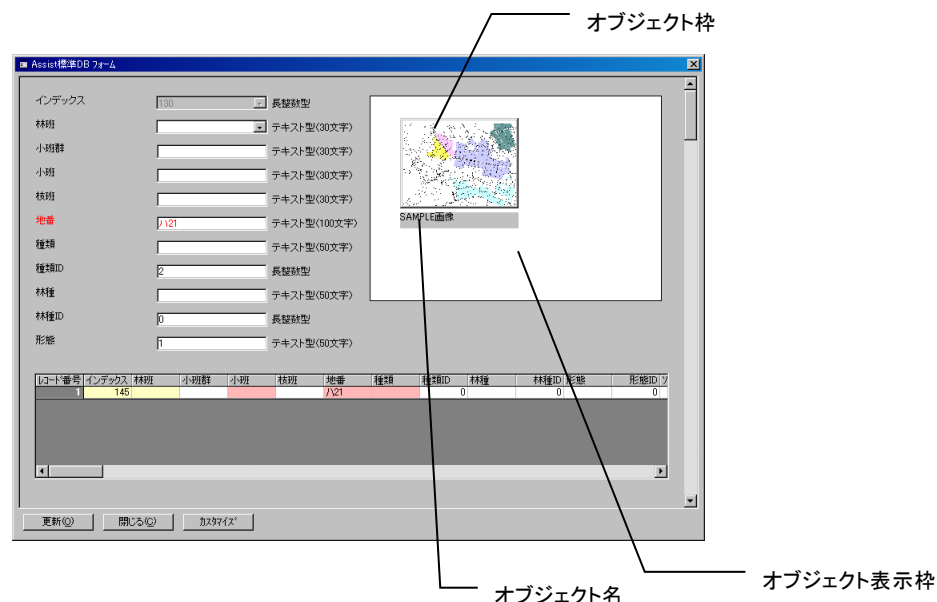
カスタマイズ方法は、[GIS 基本設定] - [フォーム] を参照してください。

5. データを入力します。
グリッドを設定している場合は、グリッド内で右クリックすると、右メニューが表示されレコードの編集ができます。オブジェクト表示枠に表示されたオブジェクトの設定・操作方法は、◆**オブジェクト表示枠の設定**◆を参照してください。
6. データ入力後、[更新] ボタンをクリックします。
[レコードを更新します。元に戻せなくなりますが、よろしいですか?] という確認メッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、データが DB に更新され [フォーム] が閉じます。
7. 2.に戻ります。

◆オブジェクト表示枠の設定◆

オブジェクト表示部にオブジェクトを表示します。

[GIS 基本設定] - [フォーム] でオブジェクトの貼り付けを選択している場合のみ複数のオブジェクトを設定できます。



手順

1. オブジェクト枠をダブルクリックすると、オブジェクトデータを編集するアプリケーションが起動します。
2. オブジェクトを編集します。

オブジェクト枠で右クリックすると、オブジェクト枠の編集メニューが表示されます。

オブジェクト追加…オブジェクト枠にオブジェクトを追加します。[ファイルを開く]ウィンドウからオブジェクトを選択します。

オブジェクト変更…現在表示されているオブジェクトを変更します。

[ファイルを開く] ウィンドウからオブジェクトを選択します。

オブジェクト削除…選択したオブジェクトを削除します。

オブジェクト名…オブジェクト名の表示を切り替えます。

タイトル名表示…入力したオブジェクト名を表示します。

[カスタマイズ] ボタンをクリックして [オブジェクト名] をダブルクリックすると入力もできます。

フィールド名表示…DB のフィールド名を表示します。

ファイルパス表示…オブジェクトのファイルパスを表示します。

ファイル名表示…オブジェクトのファイル名を表示します。

表示サイズをリセット… [カスタマイズ] で変更したオブジェクトサイズをリセットしてデフォルトに戻します。

O 1-10 [DB] - [GIS 設定] - [フィールド一括登録]

複数のレコードに同じ値を一括登録します。対象レコードを選択後に処理実行します。

手順

1. メニューバーから [DB] - [GIS 設定] - [フィールド一括登録] を選択します。
2. [GIS フィールド一括登録] ウィンドウが表示されます。
3. [GIS データ] 欄に設定値を入力し、[登録欄] にチェックを入れて [OK] ボタンをクリックすると選択したレコードに値が設定されます。



O 1-11 [DB] - [GIS 設定] - [レコード自動追加]

データベースとリンクしていない図形を対象に自動でレコードを追加リンクします。

この機能は図形とデータベースのレコードを自動リンクするので既存のキーではリンクできません。予め自動リンクする為のオートナンバー型のフィールドを作成する必要があります。

手順

1. メニューバーから [DB] - [GIS 設定] - [レコード自動追加] を選択します。
2. [GIS レコード自動追加] ウィンドウが表示されます。
 - レイヤ設定…レコードを自動追加するレイヤを指定します。
 - 全レイヤ指定…すべてのレイヤを対象にします。
 - レイヤ指定…指定レイヤを対象にします。選択した場合に [レイヤ] を指定します。
 - 図形別指定…指定したレイヤに属する図形数が表示されます。レコードを自動追加する図形にチェックをします。
 - 追加キー名称…新たにキーとするフィールドを指定します。この機能ではオートナンバー型のフィールドをキーとするため、オートナンバー型のフィールドのみ表示されます。
 - 対象図形リスト…レコードを自動追加する対象図形情報を表示します。

3. 設定終了後、[追加実行] ボタンをクリックします。
 - レコードが自動で作成され図形とリンクします。
 - キーは [追加キー名称] で指定したフィールドに変更されます。



0 1-12 [DB] - [GIS 設定] - [GIS キー]

0 1-12-1 [DB] - [GIS 設定] - [GIS キー] - [キー変更]

図形の GIS キーを変更し、レコードとの結び付きを変更します。

手順

1. メニューバーから [DB] - [GIS 設定] - [GIS キー] - [キー変更] を選択します。
2. カーソルが▲で表示されます。
3. GIS キーを変更する図形を選択します。
4. [GIS・キー変更] ウィンドウが表示されます。
5. GIS キーを入力し、[変更] ボタンをクリックします。

※既にレコードと結び付いている GIS キーは入力できません。

GIS キーが変更され、図形とレコードの結び付きが解除されます。

入力した GIS キーが DB に存在した場合は、新たにそのレコードと結び付きます。

6. 2.に戻ります。

0 1-12-2 [DB] - [GIS 設定] - [GIS キー] - [キー削除]

図形の GIS キーを削除し、レコードの結び付きを解除します。

また、レコードを DB から削除することもできます。

手順

1. メニューバーから [DB] - [GIS 設定] - [GIS キー] - [キー削除] を選択します。
2. カーソルが▲に変わります。
3. GIS キーを削除する図形を選択します。
4. [GIS・キー削除] ウィンドウが表示されます。
5. [削除] ボタンをクリックすると、[レコードを削除します。元に戻せなくなりますが宜しいですか?] という確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックすると、レコードを DB 内から削除し、図形の GIS キーも削除します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、[図面のキーのみ削除します。よろしいですか?] という確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックすると、図形の GIS キーのみ削除され、レコードは削除されません。[いいえ] ボタンをクリックすると、削除をキャンセルします。

6. 2.に戻ります。

O 1-12-3 [DB] - [GIS 設定] - [GIS キー] - [キー検索]

図形に設定した GIS キーを検索します。

手順

1. メニューバーから [DB] - [GIS 設定] - [GIS キー] - [キー検索] を選択します。
2. [GIS キー検索] ウィンドウが表示されます。

レイヤ条件…検索するレイヤを指定します。

レイヤ…検索するレイヤを選択します。

検索条件…検索する条件を指定します。

フィールド名…データベースのフィールド名を指定します。

条件…検索する条件を指定します。

値…検索する値（数値または文字）を指定します。

継続…続けて検索対象を追加する場合に使用します AND または OR を選択します。

データ抽出… [データ抽出] ボタンをクリックすると設定されている GIS キーを抽出します。

GIS キーを変更後、再度検索する場合に使用します。



3. 設定終了後、[検索実行] ボタンをクリックします。
4. [GIS キー検索結果] ウィンドウが表示されます。
5. [検索結果一覧] でキーを選択し [キー変更] ボタンをクリックすると [キー変更] ウィンドウが表示されキーを変更できます。
6. [キャンセル] ボタンをクリックすると 2 へ戻ります



| No | 図形種別 | ID | 大字コード | 字コード |
|----|------|-----|-------|------|
| 1 | ※リコソ | 226 | 1 | 1 |
| 2 | ※リコソ | 227 | 1 | 1 |

O 1-12-4 [DB] - [GIS 設定] - [GIS キー] - [キーへコピー]

図形の図形情報（地番・点名）と [一覧表形式フォーム] のキーが一致するレコードと図形を結び付けます。

手順

1. メニューバーから [DB] - [GIS 設定] - [GIS キー] - [キーへコピー] を選択します。
2. [GIS キーへコピー] ウィンドウが表示されます。
3. 業務名を選択します。
4. [GIS 基本設定] - [DB 詳細] で設定したキーと一致させる図形情報を選択します。
5. [OK] ボタンをクリックすると、キーが一致するレコードと図形を結び付けます。



O 1-13 [DB] - [GIS 設定] - [フィールド連結]

他の DB フィールドを指定して結合します。

GIS 設定されている図面の DB に、同一キーで管理できる別の DB を結合させることができます。

手順

1. メニューバーから [DB] - [GIS 設定] - [フィールド連結] を選択します。

2. [連結 DB テーブル選択] ウィンドウが表示されます。

MDB ファイルパス…連結するファイルのパスを

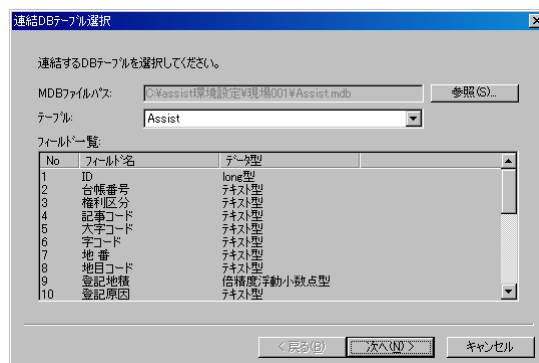
入力します。[参照] より

ファイルを選択します。

テーブル…連結する DB のテーブルを選択します。

フィールド一覧…連結する DB のフィールドの一

覧が表示されます。



3. 設定終了後、[次へ] ボタンをクリックします。

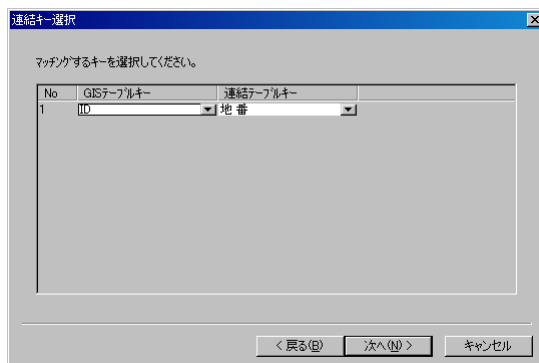
4. [連結キー選択] ウィンドウが表示されます。

GIS テーブルキー…マッチングする GIS のテーブル

キーを選択します。

連結テーブルキー…マッチングする連結テーブル

キーを選択します。



5. 設定終了後、[次へ] をクリックします。

6. [連結フィールド選択] ウィンドウが表示されます。

7. 連結するフィールドを選択して、[次へ] をクリックします。

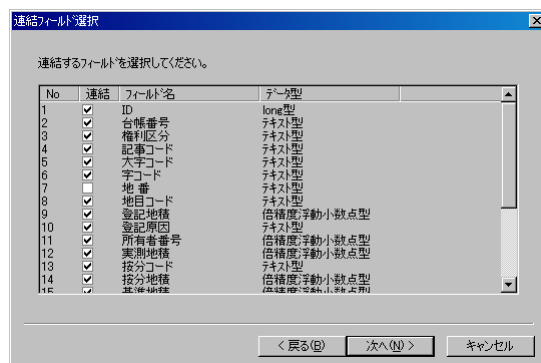
8. マッチしなかったレコードがあった場合、

[アンマッチリスト] ウィンドウが表示されます。

※アンマッチとは連結する DB のキーで既存の GIS

設定側のキーにデータが無いものです。

9. [完了] をクリックすると、DB が連結されます。



O 1-14 [DB] - [GIS 設定] - [GIS 基本設定]

[業務設定] でデータベース・各フォーム・Excel 出力方法等の GIS 構築の基本となる設定を行い、[基本項目設定] で [一覧表形式フォーム] の表示・読み込み設定を行います。

業務設定

手順

1. メニューバーから [DB] - [GIS 設定] - [GIS 基本設定] を選択します。
2. [GIS 基本設定] ウィンドウが表示されます。
3. [使用 DB 一覧] で業務を選択し、各タブで業務を設定します。
設定方法は、各タブの設定方法を参照してください。
4. 設定終了後、[適用] ボタンをクリックします。

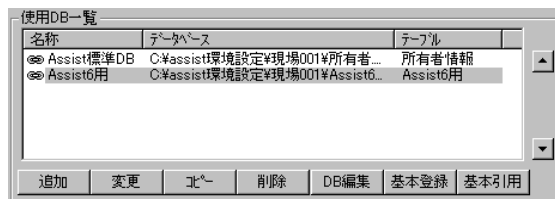


使用 DB 一覧

図面に関連付けるデータベース・テーブルを業務として登録します。

登録した業務は▲▼ボタンで順番を変更できます。

先頭の業務が DB 操作時のデフォルトとして設定されます。



追加…業務を追加します。設定方法は、[DB 詳細] を参照してください。

変更…業務を変更します。業務一覧から業務を選択し、[変更] ボタンをクリックします。

設定方法は、[DB 詳細] を参照してください。

コピー…業務をコピーします。業務一覧から業務を選択し、[コピー] ボタンをクリックします。

削除…業務を削除します。業務一覧から業務を選択し、[削除] ボタンをクリックします。

DB 編集…DB を編集します。詳細は、◆DB 編集◆を参照してください。

※Access データベースのみ編集できます。

基本登録…選択した業務を定義テーブル上に登録します。

基本引用…基本登録で登録した業務を引用します。

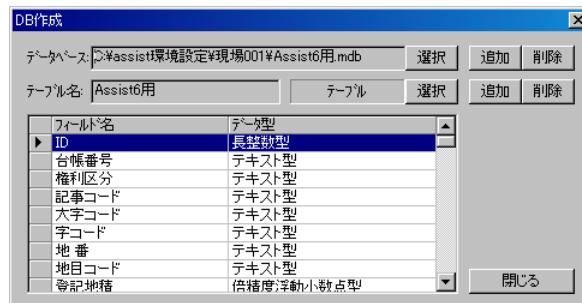
1. 新たに [GIS 基本登録設定] ウィンドウが表示されます。
2. [一覧表]・[フォーム]・[表示項目]・[Excel]・[レイアウト] の各タブをクリックすると、定義テーブル上に登録した業務の編集ができます。
[使用 DB 一覧] の [追加]・[変更] ボタンをクリックすると、[DB 詳細] タブの編集ができます。各タブの設定方法は、それぞれの説明を参照してください。
3. [引用実行] ボタンをクリックすると、業務を引用します。
4. [閉じる] ボタンをクリックすると、元のウィンドウに戻ります。

◆DB 編集◆

DB・テーブル・フィールドの追加と削除、フィールド名・データ型の変更を行います。

手順

1. [GIS 基本設定] ウィンドウ [使用 DB 一覧] から編集する DB を選択し、[DB 編集] ボタンをクリックします。
2. [DB 作成] ウィンドウが表示されます。



データベース

選択…編集する DB を選択します。

[保存場所と DB 名の指定] ウィンドウから DB を選択します。

追加…新規 DB を作成します。

[保存場所と DB 名の指定] ウィンドウから保存場所を指定し、DB 名を入力します。

削除…表示されている DB を削除します。

[削除します。よろしいですか?] という確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックすると DB を削除します。

テーブル名

選択…編集するテーブルを選択します。

[テーブル選択] ウィンドウが表示されますのでテーブルを選択します。

追加…新規テーブルを作成します。

[テーブル追加] ウィンドウでテーブル名を入力し、[実行] ボタンをクリックします。

削除…表示されているテーブルを削除します。

[テーブルを削除します。よろしいですか?] という確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックするとテーブルを削除します。

フィールド名…フィールド名が表示されます。

ダブルクリックすると、フィールド名を変更できます。新規フィールドを作成する場合は、空白にフィールド名を入力します。

削除する場合は、フィールドを選択し、[Delete] キーを押すと、[フィールドを削除します。よろしいですか?] という確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックすると選択したフィールドが削除されます。

データ型…データ型が表示されます。データ型をクリックすると変更できます。

3. 設定終了後、[閉じる] ボタンをクリックすると [GIS 基本設定] ウィンドウに戻ります。

DB 詳細

新規業務の設定、[使用 DB 一覧] で選択した業務を変更します。

関連付けるデータベース・テーブル・キー・Access フォームを設定します。

手順

1. [GIS 基本設定] ウィンドウの [DB 詳細] タブを選択します。

名称…名称を入力します。

データベース…データベースファイルを選択します。

データベース入力部をクリックすると、他の業務で設定した DB を選択できます。また、[DB 選択] ボタンをクリックすると DB を参照できます。

詳細は、◆DB の選択◆を参照してください。

テーブル…テーブルを選択します。

[テーブル選択] ボタンをクリックし、

[テーブル選択] ウィンドウからテーブルまたはクエリーを選択して [OK] ボタンをクリックします。

Access フォーム…Access フォームを選択します。

[フォーム選択] ボタンをクリックして、[フォーム選択] ウィンドウから Access フォームを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

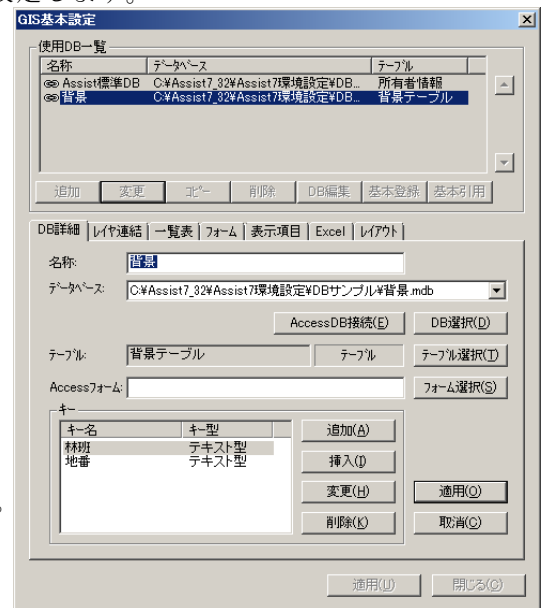
キー…図形と結び付けるキーを選択します。

追加…キーを追加します。[キー選択] ウィンドウからキーを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

挿入…指定した位置に新規キーが挿入されます。[キー選択] ウィンドウからキーを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

変更…選択したキーを変更します。[キー選択] ウィンドウからキーを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

削除…選択したキーを削除します。削除するキーを選択し、[削除] ボタンをクリックします。



2. [DB 詳細] タブ内の [適用] ボタンをクリックすると、設定が反映されます。

◆DB の選択◆

手順

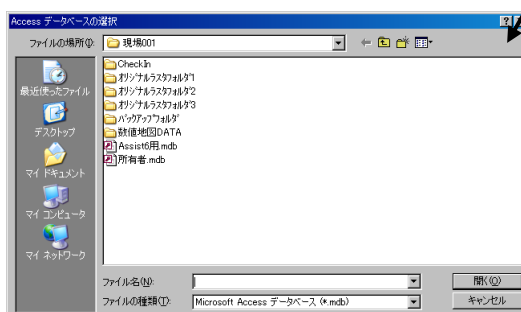
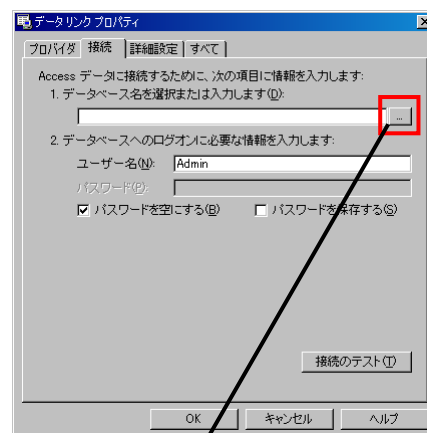
1. [GIS 基本設定] ウィンドウ [使用 DB 一覧] から編集する DB を選択し、[変更] ボタンをクリックします。[DB 詳細] タブの [DB 選択] ボタンをクリックします。
2. [データリンクプロパティ] ウィンドウが表示されます。



3. 接続するデータを選択します。選択したデータによって、以下の操作は異なります。
ここでは Access データベースへの接続について説明します。


Microsoft Jet 4.0 OLE DB Provider を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

4. [接続] タブが選択されます。
5. データベース名入力部横の [...] ボタンをクリックします。
6. [Access データベースの選択] ウィンドウが表示されます。
7. データベースをダブルクリックするか、データベースを選択し、[開く] ボタンをクリックします。
8. [データリンクプロパティ] ウィンドウの [OK] ボタンをクリックすると選択されます。



レイヤ連結


業務と結び付けるレイヤを選択します。

現在、編集画面で選択されているレイヤにはデフォルトアイコン  が表示されます。

手順

1. [GIS 基本設定] ウィンドウの [レイヤ連結] タブを選択します。
対象レイヤ…レイヤの種類を表示します。
結び付け…レイヤを業務に結び付けます。レイヤを選択し [結び付け] ボタンをクリックするか、ダブルクリックします。
結び付け解除…レイヤと業務の結び付けを解除します。
レイヤを選択し [結び付け解除] ボタンをクリックするか、ダブルクリックします。



2. レイヤと結び付いた業務には連結アイコン  が表示されます。
また、業務と結び付いたレイヤは [連結業務名] に業務名が表示されます。

一覧表

「一覧表形式フォーム」に表示させる方法を設定します。

また、レイヤ表示切替えタブと「一覧表形式フォーム」の業務タブを連動させる設定をします。

「GIS 基本設定」ウィンドウの「一覧表」タブを選択します。

画面表示・読込…「一覧表形式フォーム」に表示させる方法を設定します。

自動読込…図面を開いた時に自動的に最新のデータを読み込み表示します。

読込方法…「一覧表形式フォーム」を表示する時に読み込むレコード件数を設定します。

件数が少ないほど「一覧表形式フォーム」の表示が高速化されます。

全て…全てのレコードを一度に読み込みます。完全に読み込みが終了するまで一部の機能は使用できません。

50～5000…一度に読み込む件数を選択します。設定した件数よりDBのレコードが多い場合は、設定した件数を読み込むと一旦読み込みを終了します。

「一覧表形式フォーム」をスクロールさせると再び読み込みを開始します。

図面内データ…図形と結び付いているレコードのみ表示します。チェックを外すと、DB内の全てのデータを表示します。

集計行表示…集計設定で設定した新規フィールド、集計結果を表示します。

自動列幅調整…データ読み込み時にフィールド、フィールド名の文字数に合わせて列の幅を自動で調整します。

メモリ開放…「一覧表形式フォーム」を閉じると、読み込んだデータをメモリ内から消去します。

「一覧表形式フォーム」を開くとき、データの再読み込みを行います。

自動ズーム…「一覧表形式フォーム」で選択したレコードと結び付いた図形を拡大表示します。

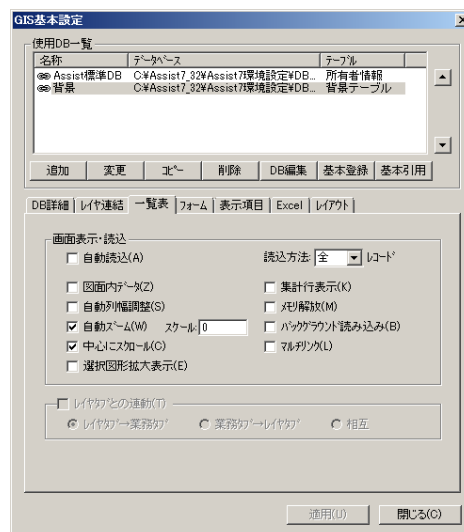
※編集画面を全体図表示している場合のみ有効です。

スケール…自動ズーム時のスケールを指定します。

中心にスクロール…レコードと結び付いている図形を画面の中心にスクロールして表示します。

バックグラウンド読み込み…レコード数が多い場合、バックグラウンドで読み込みます。

選択図形拡大表示…選択した図形を拡大表示します。



フォーム

業務ごとに「フォーム」を設定します。

「表示項目」で設定した内容でフォームを作成します。

手順

1. 「GIS 基本設定」ウィンドウの「フォーム」タブを選択します。

表示

オブジェクト貼り付け…「フォーム」にオブジェクトを貼り付けます。

「表示項目」の編集方法で「画像」を選択している場合は、指定できません。

データの型…「フォーム」にフィールドのデータ型を表示します。

テキスト枠…「フォーム」にテキスト枠を表示します。

メッシュ…「フォーム」にメッシュを表示します。

サイズ…「フォーム」のサイズを確認します。

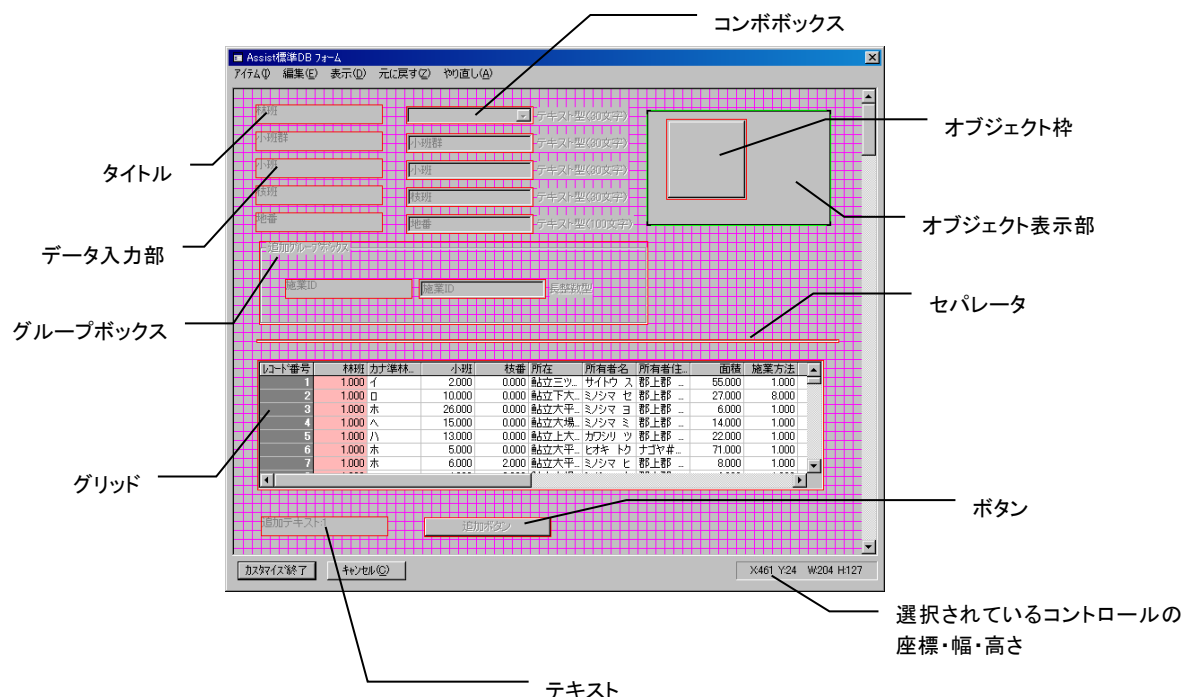
フォーム表示方法

GIS フォーム…GIS 構築ツールで作成したフォームを表示します。

Access フォーム…Access で作成したフォームを表示します。



2. 「コントロールの位置・大きさをカスタマイズ」ボタンをクリックすると、カスタマイズモードの「フォーム」が表示されます。



タイトル…タイトルが表示されます。

デフォルトはフィールド名が表示されます。

ダブルクリックすると、[フォーム]に表示されるフィールドのタイトルを入力できます。マウスで大きさの変更・移動ができます。

データ入力部…マウスで大きさの変更、マウスと矢印キーで移動ができます。

※コンボボックスの高さは変更できません。

オブジェクト表示部…[表示項目]の編集方法で[画像]を選択している場合や、[フォーム]タブの表示で[オブジェクト貼り付け]を指定している場合に表示されます。

オブジェクト枠…[表示項目]の編集方法で[画像]を選択している場合に表示されます。

マウスで枠サイズの変更、マウスと矢印キーで移動ができます。

3. カスタマイズモードの[フォーム]でタイトル・データ入力部を選択し、[Del]キーを押すと、非表示に切り替わります。
4. メニューバーから項目を選択して編集します。

アイテム

テキスト

追加…テキストを作成します。

①メニューバーから[テキスト]－[追加]を選択します。

②テキスト枠が表示されます。

③テキスト枠をクリックすると、任意の場所にテキスト枠が配置されます。

④ダブルクリックし、テキストを入力します。

削除…テキストを削除します。削除するテキストを選択し、メニューバーから[テキスト]－[削除]を選択するか、[Del]キーを押します。

ボタン

追加…ボタンを作成します。詳細は、◆ボタン設定◆を参照してください。

削除…ボタンを削除します。削除するボタンを選択し、メニューバーから[ボタン]－[削除]を選択するか、[Del]キーを押します。

グリッド

追加…グリッドを作成します。詳細は、◆グリッド◆を参照してください。

削除…グリッドを削除します。削除するグリッドを選択し、メニューバーから[グリッド]－[削除]を選択するか、[Del]キーを押します。

グループボックス

追加…グループボックスを作成します。

①メニューバーから[グループボックス]－[追加]を選択します。

②グループボックスが表示されます。グループボックスをクリックすると、任意の場所にグループボックスが配置されます。

③ダブルクリックすると、[名称変更]ウィンドウが表示されます。

④名称を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

削除…グループボックスを削除します。削除するグループボックスを選択し、メニューバーから [グループボックス] – [削除] を選択するか、[Del] キーを押します。

セパレータ

横追加…横セパレータを追加します。

- ①メニューバーから [セパレータ] – [横追加] を選択します。
- ②セパレータが表示されます。
- ③セパレータをクリックすると、任意の場所にセパレータが配置されます。

縦追加…縦セパレータを追加します。

- ①メニューバーから [セパレータ] – [縦追加] を選択します。
- ②セパレータが表示されます。
- ③セパレータをクリックすると、任意の場所にセパレータが配置されます。

削除…セパレータを削除します。削除するセパレータを選択し、メニューバーから [セパレータ] – [削除] を選択するか、[Del] キーを押します。

編集

コントロールの表示を編集します。

コントロールの位置・大きさを複数選択した場合は、最後に選択したコントロールに揃えます。

フォント設定…表示文字を編集します。

- ①コントロールを選択し、メニューバーの [編集] – [フォント設定] を選択します。
- ② [フォント設定] ウィンドウが表示されます。
- ③フォント名・スタイル・サイズ・前景色（文字色）・背景色（コントロールの背景色）を指定します。
- ④設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると [フォーム] に反映されます。



左端揃え…コントロールの左端を揃えます。

コントロールを選択し、メニューバーから [編集] – [左端揃え] を選択します。

右端揃え…コントロールの右端を揃えます。

コントロールを選択し、メニューバーから [編集] – [右端揃え] を選択します。

幅揃え…コントロールの幅を揃えます。

コントロールを選択し、メニューバーから [編集] – [幅揃え] を選択します。

高さ揃え…コントロールの高さを揃えます。

コントロールを選択し、メニューバーから [編集] – [高さ揃え] を選択します。

表示

メニューバーの [表示] を選択したときにメニュー項目のチェックが [ON] になっているものが表示されます。

フィールドの型… [フォーム] にフィールドのデータ型を表示します。

メニューバーから [表示] – [フィールドの型] を選択します。

テキスト枠… [フォーム] にテキスト枠を表示します。

メニューバーから [表示] - [テキスト枠] を選択します。

メッシュ… [フォーム] にメッシュを表示します。

メニューバーから [表示] - [メッシュ] を選択します。

メッシュが表示されている場合、コントロールを選択して移動すると、メッシュ左上へコントロールがスナップされます。

メッシュ設定…メッシュを設定します。

- ①メニューバーから [表示] - [メッシュ] を選択します。
- ② [メッシュ設定] ウィンドウが表示されます。
- ③線の太さ・線の間隔・線の色を指定します。
- ④設定終了後、[OK] ボタンをクリックします。



元に戻す

[フォーム] を 1 つ前の状態に戻します。メニューバーから [元に戻す] を選択します。

やり直し

[元に戻す] で行った操作を 1 つ復帰します。メニューバーから [やり直し] を選択します。

5. [カスタマイズ終了] ボタンをクリックすると、カスタマイズ設定を保存して [GIS 基本設定] ウィンドウに戻ります。

◆ボタン設定◆

Excel 出力・Access レポート・一覧表印刷・オブジェクト実行・塗潰しレイヤ設定・図形情報表示・GIS 検索・ポリゴン色分け・Access フォーム起動・サブフォーム起動・台帳印刷・地番入力・属性入力・名称入力のボタン設定を行います。[フォーム] でボタンをクリックすると、設定した機能が実行されます。

手順

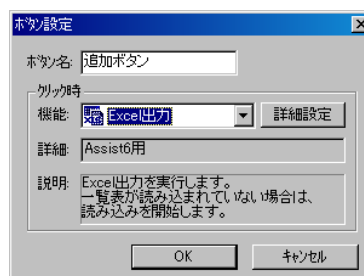
1. メニューバーから [ボタン] - [追加] を選択すると、ボタンが表示されます。
2. ボタンを配置する場所をクリックします。
3. 追加したボタンをダブルクリックすると、[ボタン設定] ウィンドウが表示されます。

ボタン名…ボタン名を入力します。

クリック時

機能…ボタンをクリックしたときに実行する機能を選択します。

詳細設定…Excel 出力・Access レポート・一覧表印刷・GIS 検索・ポリゴン色分けを選択した場合に、[詳細設定] ボタンをクリックし、[業務名選択] ウィンドウから業務名を選択します。



オブジェクト実行を選択した場合は、[ファイルを開く]ウィンドウが表示されますので、表示するオブジェクトを選択します。

サブフォーム起動を選択した場合は、[サブフォーム抽出条件]ウィンドウが表示されます。詳細は、◆サブフォーム◆を参照してください。

詳細…Excel 出力・Access レポート・一覧表印刷・GIS 検索・ポリゴン色分け・Access フォーム起動・サブフォーム起動・台帳印刷・地番入力・属性入力・名称入力を選択した場合は、業務名が表示されます。

オブジェクト実行を選択した場合は、設定したファイルパスが表示され、ファイルパスの編集ができます。

説明…機能の説明が表示されます。

4. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックするとボタンが設定されます。

◆グリッド◆

[フォーム] に表示するグリッドを設定します。

[フォーム] 上に表示されたレコードと連結フィールド名で指定したフィールドが一致するレコードがグリッド内に表示されます。

手順

1. メニューバーから [グリッド] - [追加] を選択すると、グリッドが表示されます。
2. グリッドを配置する場所をクリックします。
3. グリッド内でダブルクリックすると、[グリッド設定] ウィンドウが表示されます。

データベース…DB を選択します。


[DB 選択] ボタンをクリックすると、DB を参照できます。

選択方法は、[DB 詳細] - ◆DB の選択◆を参照してください。

テーブル…テーブルを選択します。

[テーブル選択] ボタンをクリックし、[テーブル選択] ウィンドウからテーブルを選択します。

キー…グリッド内のレコードを更新する場合に使用するキーを選択します。

キーに設定したフィールドにはキーアイコン  が表示されます。

キーに設定したフィールドは、[フォーム] 上に赤色で表示され編集できません。

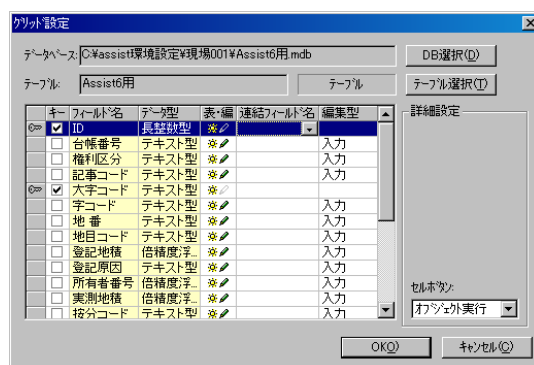
フィールド名…選択したテーブル内のフィールドが表示されます。

データ型…データ型が表示されます。

表・編… [フォーム] での編集モードを選択します。

設定方法は、[表示項目] を参照してください。

連結フィールド名… [フォーム] 上に表示されたレコードとグリッド内レコードで連結させるフィールドを選択します。



選択したフィールド値と同一のレコードがグリッド内に表示されます。

連結フィールドに設定したフィールドは、[フォーム] 上に桃色で表示され編集できません。

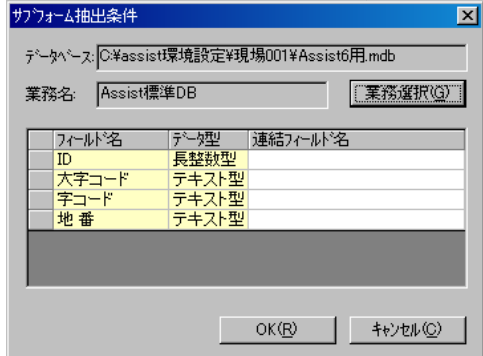
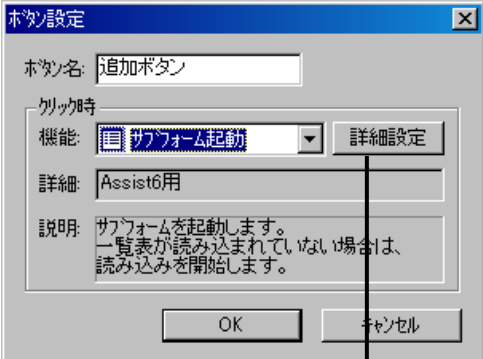
4. 設定終了後、[OK] ボタンをクリックすると、[フォーム] 上に表示されたレコードと連結したレコードがグリッドに表示されます。[フォーム] 上に表示されたレコードはグリッドには表示されません。

◆サブフォーム◆

[ボタン設定]ウィンドウ[機能]でサブフォーム起動を選択したときの詳細設定をします。

手順

1. [ボタン設定]ウィンドウ[機能]で [サブフォーム起動] を選択し、[詳細設定] ボタンをクリックします。
2. [サブフォーム抽出条件] ウィンドウが表示されます。
データベース…現在選択している業務の DB を表示します。
業務名…サブフォームに表示する業務を選択します。
[業務選択] ボタンをクリックし、[業務名選択] ウィンドウから業務を選択します。
フィールド名…選択した業務内のキーフィールドが表示されます。
データ型…データ型を表示します。
連結フィールド名…サブフォームのキーと連結させるフィールドを選択します。
選択したフィールドと同一の値を持つサブフォームを表示します。



| フィールド名 | データ型 | 連結フィールド名 |
|--------|-------|----------|
| ID | 長整数型 | |
| 大字コード | テキスト型 | |
| 字コード | テキスト型 | |
| 地番 | テキスト型 | |

3. [OK] ボタンをクリックします。
設定終了後、フォームのカスタマイズを終了します。
4. [フォーム] を表示し、サブフォーム起動を設定したボタンをクリックすると、サブフォームが起動します。[フォーム] を閉じるとサブフォームも閉じます。

※サブフォーム表示中のカスタマイズ、サブフォームの編集はできません。

表示項目


業務ごとに、[フォーム]・[一覧表形式フォーム] に表示させる項目の設定・データの参照方法を設定します。

手順

1. [GIS 基本設定] ウィンドウの [表示項目] タブを選択します。

テーブル… [DB 詳細] で選択した業務のテーブル名が表示されます。

フィールド名…フィールドが表示されます。






キーに設定されているフィールドには
キーアイコン  が表示されます。

データ型…データ型が表示されます。

フォーム… [フォーム] での編集モード、印刷時の表示設定をします。

フィールドは複数選択が可能で、同時に編集モードの変更ができます。

非表示のフィールドは印刷できません。フォームまたは一覧で非表示の場合は、それぞれ印刷不可となります。

-  (表示) ……フィールドの編集可
-  (非表示) ……フィールドが非表示
-  (編集不可) ……フィールドの編集不可
-  (印刷) ……フィールドの印刷可
-  (印刷不可) ……フィールドの印刷不可

一覧… [一覧表形式フォーム] での編集モード、印刷時の表示設定をします。

設定方法は、<フォーム>と同じです。

編集型…データの編集方法を選択します。

入力…データを直接入力します。

参照…他のフィールドを参照し、[フォーム]・[一覧表形式フォーム] にコンボボックスで項目が表示されます。

画像…選択したフィールドに画像パスを入力すると、[フォーム] に画像が表示されます。

詳細設定…データ型や編集方法によって、設定内容が変わります。<編集型>で [入力] を選択した場合は、小数桁とセルボタンを設定します。

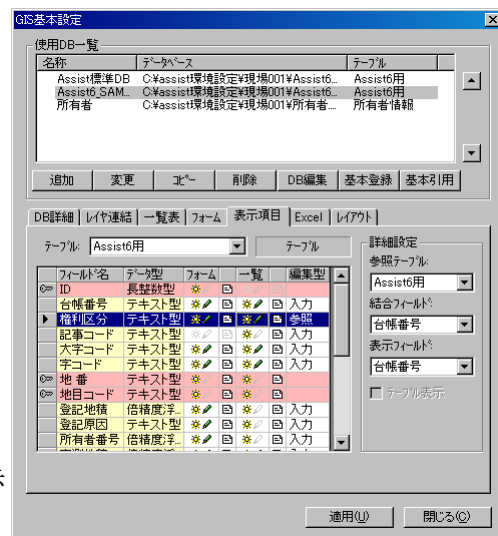
[参照] を選択した場合は、参照テーブル・結合フィールド・表示フィールド・テーブル表示を設定します。

小数桁…データ型が単精度浮動小数点型・倍精度浮動小数点型の場合、通貨型の場合は表示する桁数を選択します。

[設定無し] ……小数をすべて表示します。

0 は表示しません。(1 → 1、1. 1 2 3 0 → 1. 1 2 3)

[0] ……小数を表示しません。(1 → 1、1. 1 2 3 0 → 1)




[その他の数字] ……指定した桁まで小数を表示します。


2 桁に設定した場合 (1 → 1. 0 0、1. 1 2)

セルボタン… [一覧表形式フォーム] に表示するボタンの種類を選択します。


セルボタンを設定した場合は、[一覧表形式フォーム]でのフィールド編集ができなくなります。キーに設定されたフィールドには自動的に [フォーム表示] ボタンが設定されます。

なし……………セルボタンを表示しません。

 フォーム表示……………選択したレコードの [フォーム] を表示します。

 Excel 出力…………… [Excel 出力 (選択)] ウィンドウが表示され、Excel 出力ができます。

 オブジェクト実行……………ファイルパスが入力されている場合にファイルを開きます。

 オブジェクト設定……………クリックすると、[ファイルを開く] ウィンドウが表示されファイル指定ができます。

参照テーブル…参照するテーブルを選択します。

結合フィールド…参照する結合フィールドを選択します。

表示フィールド…参照する表示フィールドを選択します。

テーブル表示…参照テーブルのフィールドを表示し、DB を変更することができます。

[テーブル] からテーブルを選択します。

[一覧表形式フォーム] での表示・編集方法を選択します。[一覧表形式フォーム] 上でフィールドを変更して更新すると DB を変更します。

再読込すると DB を変更したテーブルを参照しているフィールドの表示が変更します。

Excel

Excel へのデータ出力方法を設定します。

登録した Excel 出力設定は▲▼ボタンで順番を変更できます。

先頭の Excel 出力設定が、[Excel 出力] - [Excel 出力 (選択)] ウィンドウの設定名称にデフォルトとして表示されます。

手順

1. [GIS 基本設定] ウィンドウの [Excel] タブを選択します。
2. [使用 DB 一覧] で選択している業務の Excel 出力設定をします。
 - 追加…Excel 出力設定を追加します。
 - 変更…Excel 出力設定を変更します。
 - 変更する設定名称を選択します。
 - 削除…Excel 出力設定を削除します。
 - 削除する設定名称を選択し、[削除] ボタンをクリックします。



3. [追加]・[変更] ボタンをクリックすると、[Excel 出力] ウィンドウが表示されます。
 - 設定名称…名称を入力します。
 - 業務名…指定した業務名が表示されます。
 - ソース Excel ファイル…データを出力する Excel ファイル

を選択します。
[参照] ボタンをクリックし、[ファイルを
開く] ウィンドウから Excel ファイル
を選択します。
Excel ファイル作成方法は、
◆Excel ファイル作成方法◆を参照
してください。

シート名…データを出力する Excel シートを選択します。

Excel セル名…データを出力する Excel セル名が表示されます。

項目名…データを出力するフィールドを選択します。

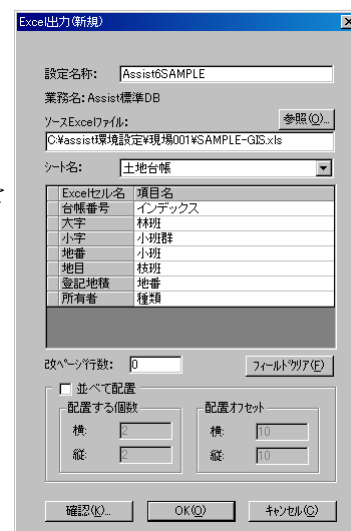
改ページ行数…改ページする行数を入力します。Excel でセル名を入力したセル位置から、指定した行数を出力すると改ページを行います。
改ページごとにシートが新規作成されます。
改ページを行わない場合は、0を入力します。

フィールドクリア…項目名をクリアします。項目名で選択したフィールドをすべてクリアします。

並べて配置…写真・画像項目の配置を設定します。

配置する個数…項目を配置する縦横をセル数で指定します。

配置オフセット…一項目以降の配置をオフセットで指定します。



4. 設定終了後、[確認]ボタンをクリックすると[Excel 出力プレビュー]ウィンドウが表示され、Excel 出力の確認ができます。

保存…Excel ファイルへ保存します。

[Excel ファイルへの保存] ウィンドウでファイル名を入力して保存します。

印刷…プレビューされている内容を印刷します。

メニューバーの[印刷] - [印刷]を選択します。

前ページ・次ページ…ページを移動します。

5. [Excel 出力プレビュー] ウィンドウの をクリックすると、[Excel 出力] ウィンドウに戻ります。
6. [OK] ボタンをクリックすると、[GIS 基本設定] ウィンドウに戻ります。

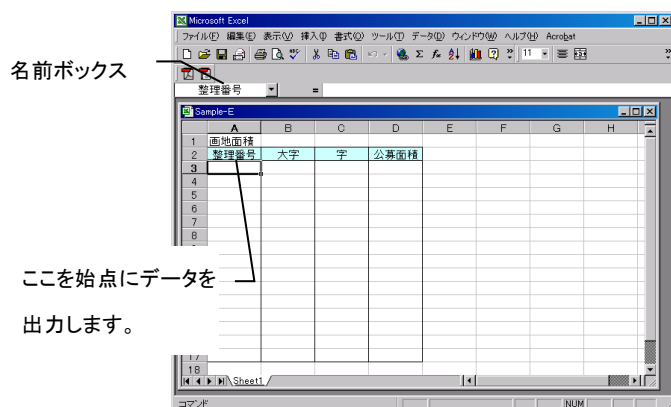
◆Excel ファイル作成方法◆

手順

1. Microsoft Excel を起動し、既存ファイルを開くか新規ファイルを作成します。
2. データを出力するセルを選択します。
3. 名前ボックスに名前を入力し、[Enter] キーを押します。
4. セルに名前が設定されます。
※一行につき1つのセルのみ、セル名を設定してください。
5. 名前を設定したセルを始点にデータが入力されます。
6. Excel ファイルを保存します。

※Excel シートに集計用マクロ等を記入しておく、数値型フィールドの合計等が計算できます。

<データ出力前>



ここを始点にデータを出力します。

<データ出力後>

設定した改ページ行数出力後、新規シートが作成されます。

レイアウト

フォーム形式のレコードの印刷、図形とレコード印刷の際のレイアウト設定を行います。

手順

1. 「GIS 基本設定」ウィンドウの「レイアウト」タブを選択します。

用紙

用紙サイズ…用紙サイズを指定します。

カスタム用紙…カスタム用紙を作成します。

「ユーザー用紙設定」ウィンドウが表示されます。

「ユーザー用紙設定」ウィンドウ

用紙名…用紙名を入力します。

横・縦…横・縦のサイズを入力します。

ユーザー用紙の全消去…登録済みのカスタム用紙
をすべて消去します。

方向

用紙の方向を選択します。

配置

図形付き単票…フォーム形式でレコードと図形を印刷

する場合の印刷レイアウトを設定します。

右端▼ボタンをクリックし、レイアウト
を選択します。

図：表比率…図形とレコードのレイアウト
ト比率を設定します。

図：表間隔…図形とレコードの間隔を設定します。

図形付き一覧表…一覧表形式でレコードと図形を印刷する場合の印刷レイアウトを設定します。

右端▼ボタンをクリックし、レイアウトを選択します。

図：表比率…図形とレコードのレイアウト比率を設定します。

図：表間隔…図形とレコードの間隔を設定します。

台帳…台帳印刷でレコードと図形を印刷する場合の印刷レイアウトを設定します。

右端▼ボタンをクリックし、レイアウトを選択します。

図：表比率…図形とレコードのレイアウト比率を設定します。

図：表間隔…図形とレコードの間隔を設定します。

2. 設定終了後、「適用」ボタンをクリックします。



0 1-15 [DB] - [GIS 設定] - [GIS 新規ウィザード]

ウィザード形式で [GIS 基本設定] の業務を設定します。

手順

1. メニューバーから [DB] - [GIS 設定] - [GIS 新規ウィザード] を選択します。
2. [GIS 設定ウィザード] ウィンドウが表示されます。
3. [次へ] ボタンをクリックすると [GIS 設定ウィザード] 2 頁目のウィンドウが表示されます。ここでは既存データベースの選択および新規データベースの作成を行います

DB 選択…既存のデータベースを選択します。

1. [DB 選択] ボタンをクリックすると [ファイルを開く] ウィンドウが表示されます。
2. データベースを選択して [開く] をクリックするとデータベースが選択されます。

mdb.xls ファイル…Access mdb または Excel ファイルを使用します。
チェックが O F F の場合は他のデータベースの接続を行います。

DB 作成…新たにデータベースを作成します。

[DB 作成] ボタンを選択すると [DB 作成] ウィンドウが表示されます。

設定方法は [GIS 基本設定] - ◆DB 編集◆を参照して下さい。

定型業務一覧…システムで用意した提携業務の一覧が表示されます。一覧から業務を選択し [選択] ボタンをクリックすると選択した提携業務が設定されます。

4. [次へ] ボタンをクリックすると [GIS 設定ウィザード] 3 頁目のウィンドウが表示されます。

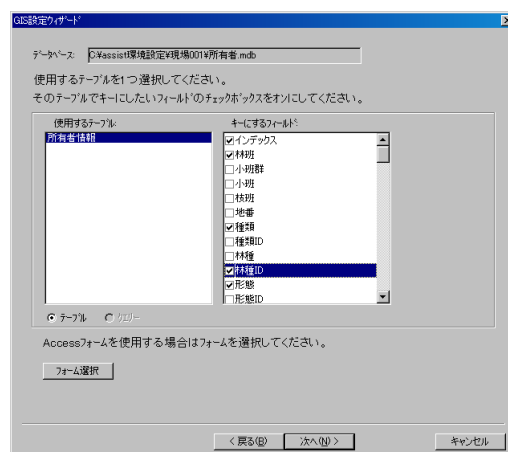
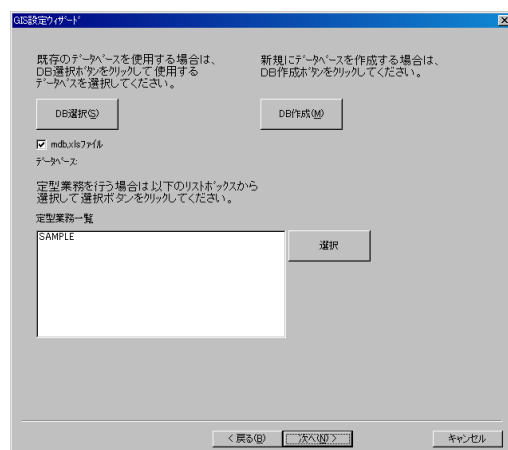
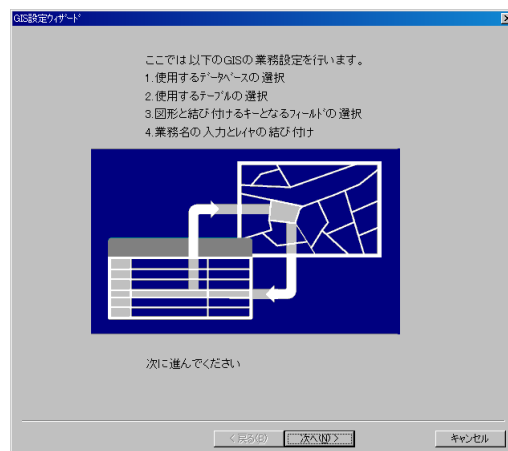
使用するテーブル…使用するテーブルを選択します。

キーにするフィールド…キーにするフィールドを選択します。

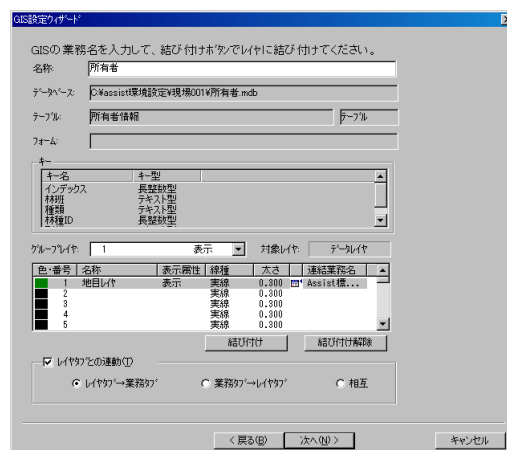
テーブル…データベースのテーブルを使用します。

クエリ…データベースのクエリを使用します。

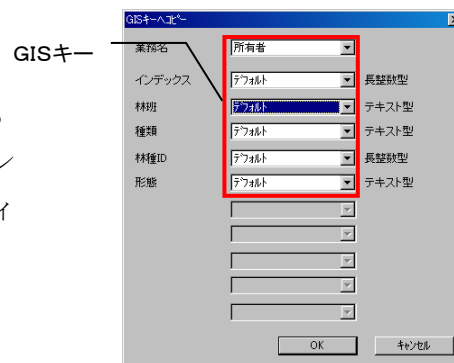
フォーム選択…データベースで作成したフォームを使用します。[フォーム選択] ボタンをクリックすると [フォーム選択] ウィンドウが表示されますのでフォームを選択します。



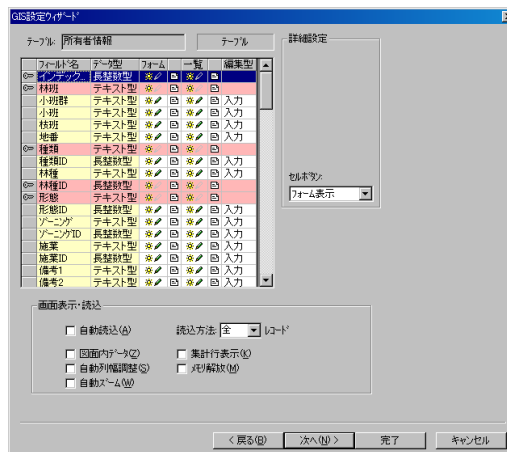
- 相互…GIS 一覧表形式フォームの業務タブとレイヤタブが常に連動して切り替わります。



- GIS キー…GIS キーが表示されます。キーを複数設定した場合は複数表示されます。リストボックスから GIS キーへコピーする図形属性を選択し [OK] ボタンをクリックするとコピーされます。[GIS 設定ウィザード] 5 頁目のウィンドウが表示されます。



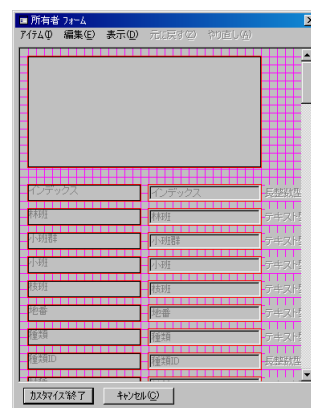
設定方法は「GIS 基本設定」－「表示項目」を参照して下さい。



7. [完了] ボタンをクリックするとウィザードが終了します。[次へ] ボタンをクリックすると [GIS フォームカスタマイズ] ウィンドウが表示されます。

フォームカスタマイズ…GIS フォームをカスタマイズします。

設定方法は [GIS 基本設定] - [フォーム] を参照して下さい。



8. [カスタマイズ終了] ボタンをクリックすると [GIS 設定ウィザード] 6 頁目のウィンドウが表示されます。

フォーム表示方法…GIS フォームと Access フォーム
のどちらを使用するか選択します。

コントロールの位置・大きさをカスタマイズする…
GIS フォームをカスタマイズします。
設定方法は [GIS 基本設定] - [フ
ォーム] を参照して下さい。

表示

オブジェクト貼り付け… [フォーム] にオブジェクト
を貼り付けます。

[表示項目] の編集方法で

[画像] を選択している場合は、指定できません。

データの型… [フォーム] にフィールドのデータ型を表示します。

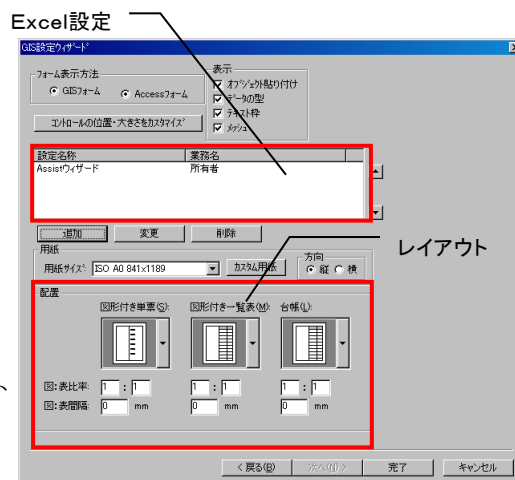
テキスト枠… [フォーム] にテキスト枠を表示します。

メッシュ… [フォーム] にメッシュを表示します。

Excel 設定…Excel へのデータ出力方法を設定します。

設定方法は [GIS 基本設定] - [Excel] を参照して下さい。

レイアウト…フォーム形式のレコードの印刷、図形とレコード印刷の際のレイアウト設定を行います。設定方法は [GIS 基本設定] - [レイアウト] を参照して下さい。



9. [完了] ボタンをクリックするとウィザードが終了します。

Option 2 Exif オプション (森林版)

位置と状況を確認する為の画像データ更新作業を自動で行い、管理することができます。

G P S機能付きデジタルカメラ・携帯電話を使用し撮影した画像データを既存の地図や市販されている電子地図に、撮影した位置を自動でプロットし、画像をリンクすることができます。データベースを自動登録し、台帳を作成できます。

O 2-1 [ツール] - [Exif オプション] - [Exif 取込] … E x i f の G P S 情報を元に、図面上に単点を作成し、E x i f の G P S 情報を自動で取り込みます。

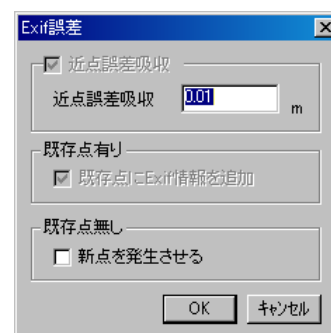
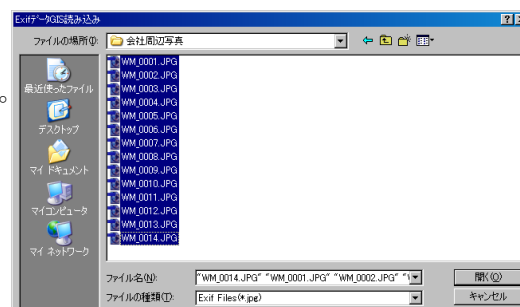
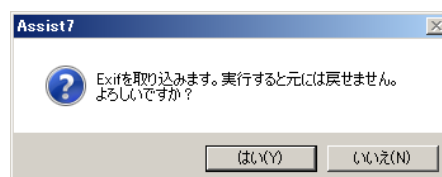
手順

1. メニューバーから [ツール] - [Exif オプション] - [Exif 取込] を選択します。
2. 確認メッセージが表示されます。
[はい] ボタンをクリックすると
[Exif データ GIS 読み込み] ウィンドウが表示されます。
Exif データを選択し、開きます。
※Exif データは複数選択が可能です。
3. [Exif 誤差] ウィンドウが表示されます。
近点誤差吸収…図面上に単点がある場合、Exif の単点
情報との誤差を計算し、指定したm範
囲内で取り込みます。

既存点有り…図面上に単点がある場合、既存点に Exif データを
取り込みます。

既存点無し…図面上に単点がない場合 Exif データから新しい
単点を作成し、Exif データを取り込みます。

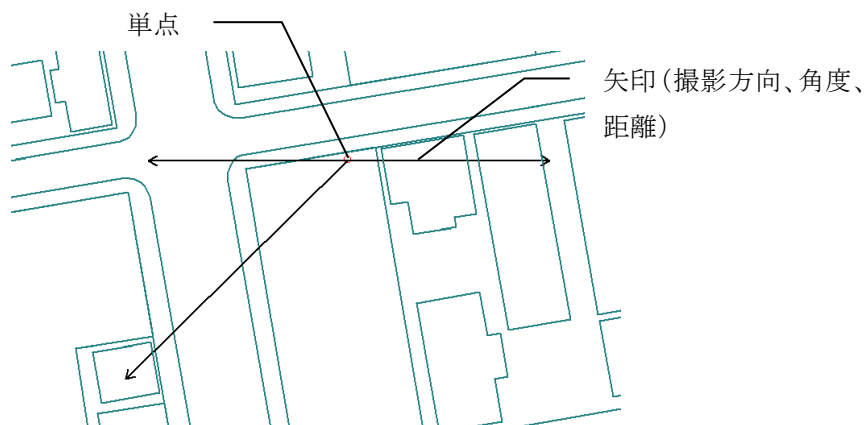
4. [OK] ボタンをクリックすると Exif データが取り込まれ、単点と矢印が表示されます。
Exif データの編集については◆Exif データの編集◆を参照してください



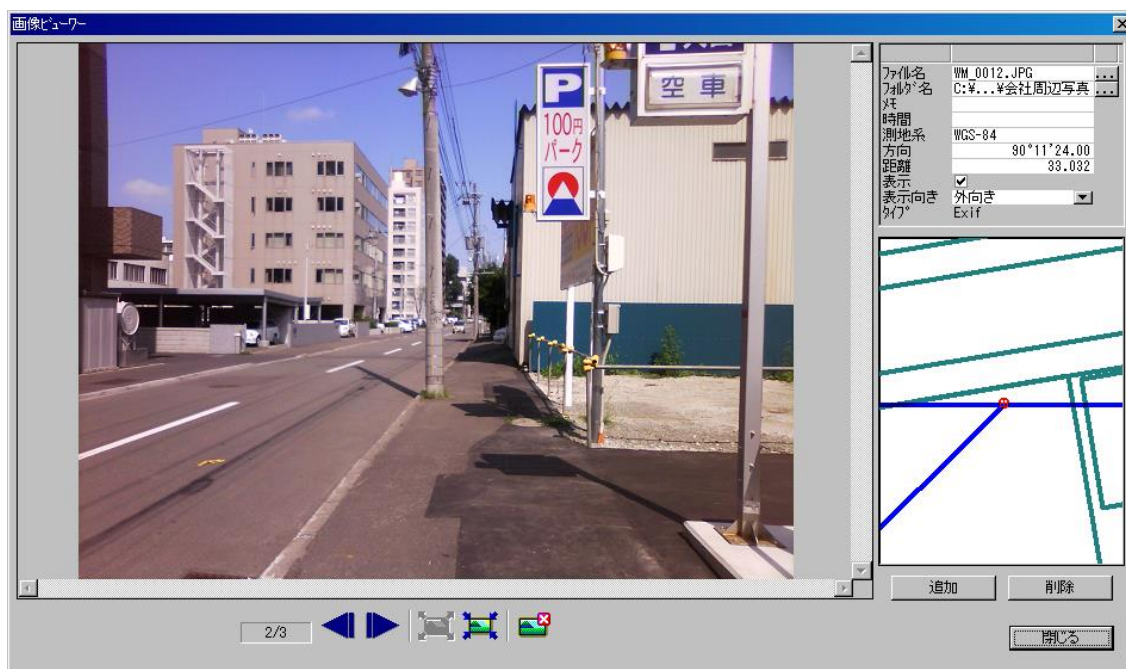
◆Exif データの編集◆

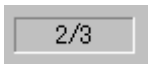
Exif データの取り込まれた単点から Exif データ（GPS 情報等）の編集ができます。


単点に対しての矢印の数が Exif データの枚数です。





1. Exif データを取り込んだ単点をダブルクリックします。
2. 「画像ビューワー」ウィンドウが表示されます。
画像サイズ…表示画像サイズを小・中・大から選択します。
3. Exif (jpg) データをダブルクリックします。
4. 「画像ビューワー」ウィンドウが横長に表示されます。





 2/3 …移動ページ/全ページ数を表示します。

 …前のイメージへ移動します。


 …次のイメージへ移動します。

 …Exif をウィンドウに合わせて表示します。

 …Exif を原寸大で表示します。

 …Exif の編集画面を閉じます。

ファイル名…Exif データのファイル名です。  をクリックすると [Exif データ読み込み] ウィンドウが表示され、別ファイルを指定できます。

フォルダ名…Exif データを保存しているフォルダ名称です。  をクリックすると [フォルダの参照] ウィンドウが表示されます。

フォルダ内の Exif データを選択すると、ファイル名も自動で変更されます。

メモ…メモデータです。

時間…撮影時間です。

測地系…測地系です。

方向…撮影方向です。方向を入力すると画面右下のビューワー矢印の方向が変更されます。

距離…撮影対象までの距離です。距離を入力すると画面右下のビューワー矢印の長さが変更されます。

表示…矢印の表示・非表示を設定します。

表示向き…矢印（撮影方向）の向きを外向き・内向きから選択します。

タイプ…データの情報です。

追加…Exif データを追加できます。[追加] ボタンをクリックすると [Exif データ読み込み] ウィンドウが表示されます。

Exif データを選択し、[開く] ボタンをクリックすると単点に対して Exif データが追加されます。

削除…Exif データを削除します。

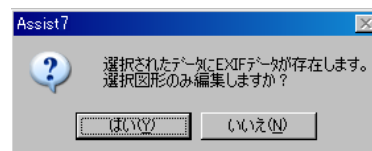
閉じる…Exif データの編集を終了します。

0 2-2 [ツール] - [Exif オプション] - [Exif 矢印一括変更] …図面上の Exif 矢印を一括で変換します。

手順

1. メニューバーから [ツール] - [Exif オプション] - [Exif 矢印一括変更] を選択します。
2. Exif 矢印を選択している場合は確認メッセージが表示されます。

[はい] で選択している Exif 矢印のみ、[いいえ] で全ての Exif 矢印が選択されます。



3. [EXIF 矢印変更] ウィンドウが表示されます。

表示状態を変更する…表示を変更します。

表示/非表示…Exif 矢印を表示・非表示にします。

向きを変更する…Exif 矢印の方向を変更します。

内向き/外向き…Exif 矢印を内向き、外向きに変更します。

距離を変更する…Exif 矢印の距離を入力し、変更します。



4. [OK] ボタンをクリックすると、Exif 矢印が変更されます。

0 2-3 [ツール] - [Exif オプション] - [矢印→簡易ライン] …Exif 矢印を一括で簡易ラインに変換します。

手順

1. メニューバーから [ツール] - [Exif オプション] - [矢印→簡易ライン] を選択します。
2. Exif 矢印が簡易ラインに変換されます。

簡易ラインを削除する場合は [簡易ラインツール] の消しゴムを使用してください。

簡易ラインを削除しても Exif 矢印は削除されません。

※Exif 矢印は印刷されません。印刷する場合は、簡易ラインに変換してください。

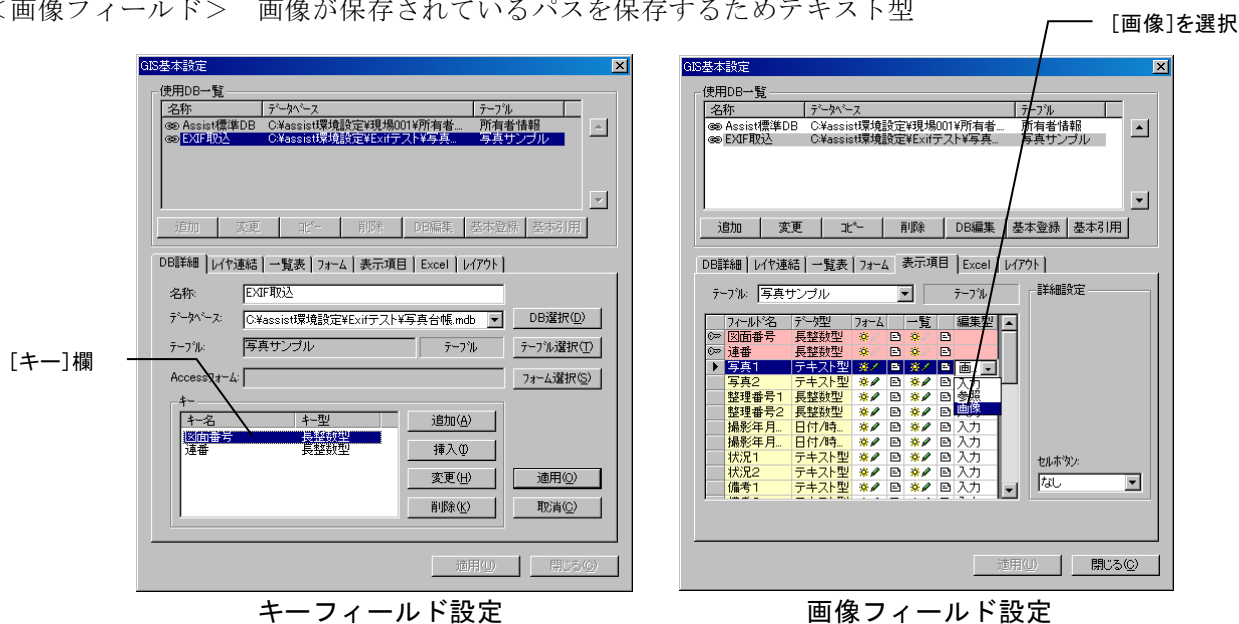


- O 2-4 [ツール] - [Exif オプション] - [画像フィールド選択] …画像をDBに
取り込む際に、キーフィールドと画像を取り込むフィールドの指定を行います。**
※ GIS 基本設定でキーフィールドをキーに設定し、画像フィールドの編集型を画像
に設定します。GIS 基本設定詳細は O 1-14 [DB] - [GIS 基本設定] を参照し
てください。

キーフィールド、画像フィールドの設定

<キーフィールド> レコード追加時に自動でカウントアップするため数値型

<画像フィールド> 画像が保存されているパスを保存するためテキスト型



キーフィールド設定

画像フィールド設定

手順

1. メニューバーから [ツール] - [Exif オプション] - [画像フィールド選択] を選択します。
2. [画像フィールド選択] ウィンドウが表示されます。レコード追加時にカウントアップさせるフィールドを選択し、[自動キー] ボタンをクリックします。

(GIS 基本設定で「キー」に設定したフィールド)

フィールド…フィールドデータです。

フィールド型…フィールドのデータ型です。

テーブル名称…参照しているテーブルの名称です。

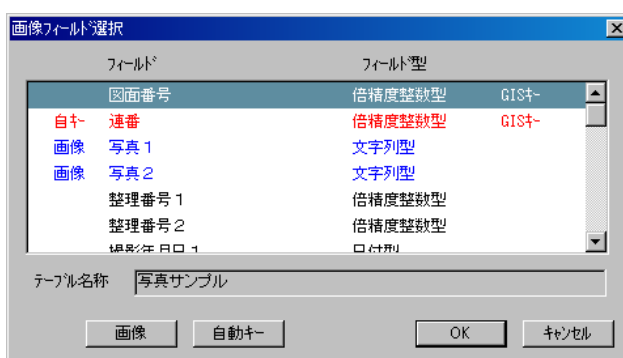
画像…画像フィールドを設定します。フィールドを選択して [画像] ボタンをクリックします。

設定されると青文字になり、「画像」と表示されます。

自動キー…キーを設定します。フィールドを選択して [自動キー] ボタンをクリックします。

設定されると赤文字になり、「自キー」と表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックすると結びつけが設定されます。



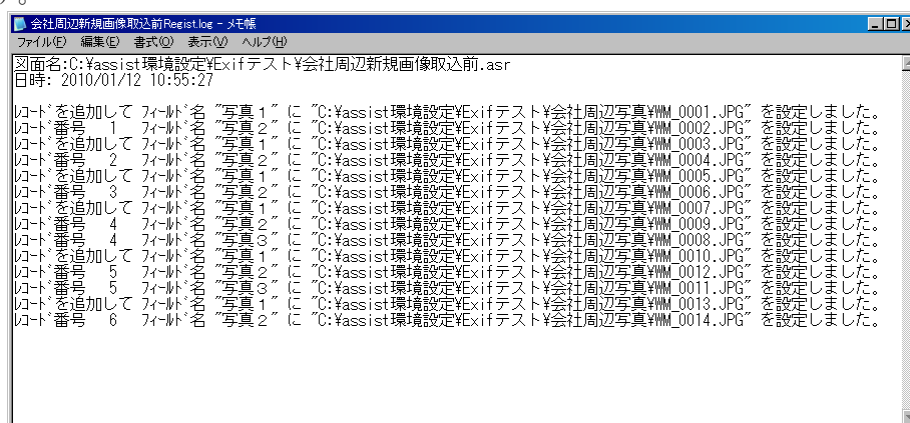
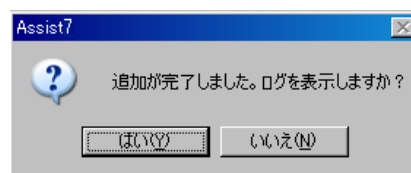
0 2-5 [ツール] - [Exif オプション] - [新規画像取込] …DBに新規で画像を取り込みます。既にDBに取り込まれた画像を選択しても、DBには取り込まれません。

<既にデータベースがある場合> 該当するレコードに自動的に取り込まれます。

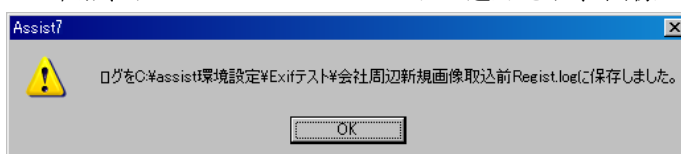
手順

1. メニューバーから [ツール] - [Exif オプション] - [新規画像取込] を選択します。
2. [GIS 業務選択] ウィンドウが表示されます。
GIS 基本設定で設定した DB を選択し [OK] ボタンをクリックします。
3. [Exif データ GIS 読み込み] ウィンドウが表示されます。
Exif データを選択し、開きます。
※Exif データは複数選択が可能です。
4. [Exif 誤差] ウィンドウが表示されます。詳細は前述
O 2-1 [ツール] - [Exif オプション] - [Exif 取込]
を参照してください。
5. 設定終了後 [OK] ボタンをクリックすると確認メッセージが表示されます。
[はい] ボタンをクリックするとログが表示されます。

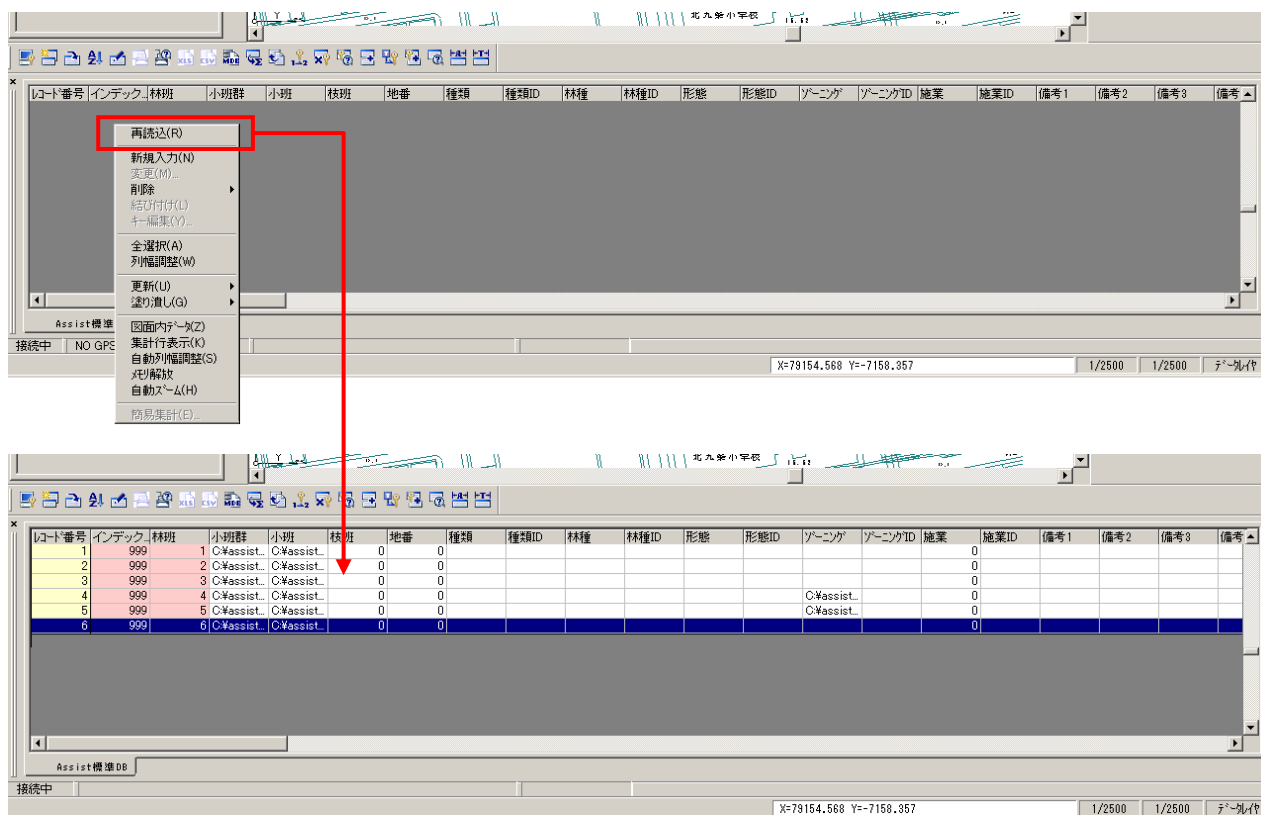
※近点誤差範囲・画像の位置情報が指定した距離内の場合は、データベースの同一レコードに取り込みます。



6. ログ画面を閉じると、確認メッセージが表示されます。
[OK] ボタンをクリックすると図面上に単点、データベースにレコードが追加され、画像が取り込まれます。
追加された単点とDBのレコードは自動リンクされます。



7. 一覧表形式フォームで右クリックし、[再読込] を選択すると、DBが表示されます。

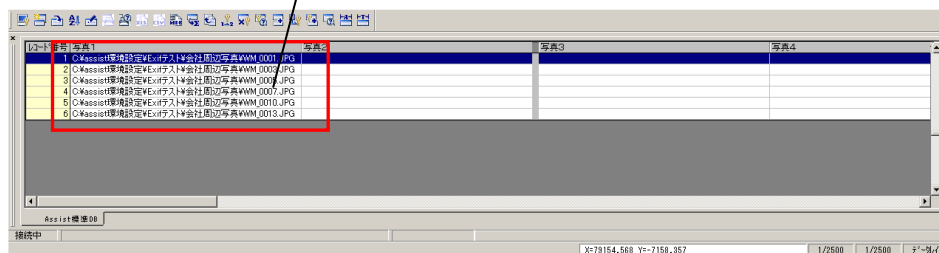


[新規画像取込] の動作

1 レコードに画像取込フィールドが2つ以上ある場合、最初の [新規画像取込] で画像を取り込んだ場合は、先頭フィールドに取り込まれます。その後、[新規画像取込] で別の画像を取り込むと2番目のフィールドに追加されます。

新規画像取込 1 回目

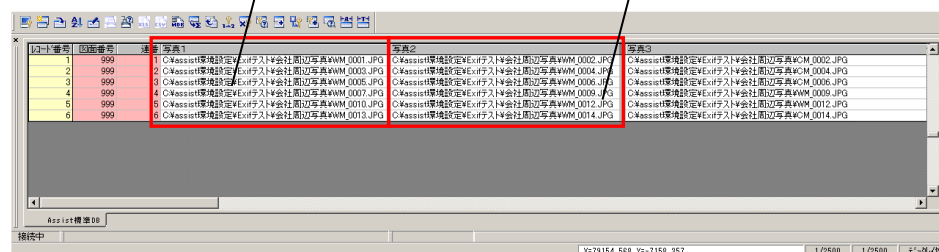
先頭の画像取込フィールドに取り込み



新規画像取込 2 回目


先頭は1回目に取り込んだ状態

2 回目に選択した画像が取り込まれる



※地目レイヤは所有者 mdb で設定されているため、新規 Exif データは背景レイヤに保存されます。

デフォルトでは背景レイヤの頂点は非表示・編集不可になっています。

[ツール] - [プロパティ] の表示タブで [背景レイヤ頂点表示] にチェックを入れて頂点を表示にし、[ツール] - [レイヤ管理] - [レイヤ表示設定] で  をクリックし、編集可能にします。

※ [一覧表形式フォーム] のキーフィールドをダブルクリックすると [E X I F 取込フォーム] が起動します。

取り込まれた画像は [E X I F 取込フォーム] 上で確認することができます。また、画像をダブルクリックすると、拡張子 [J P G] が結びついているアプリケーションが起動し、画像が開きます。



0 2-6 [ツール] - [Exif オプション] - [画像入替] …既にDBに取り込んだ画像を他のExif画像に入れ替えます。

手順

1. メニューバーから [ツール] - [Exif オプション] - [画像入替] を選択します。

2. [GIS 業務選択] ウィンドウが表示されます。

GIS 基本設定で設定した DB を選択し [OK] ボタンをクリックします。

3. [Exif データ GIS 読み込み] ウィンドウが表示されます。

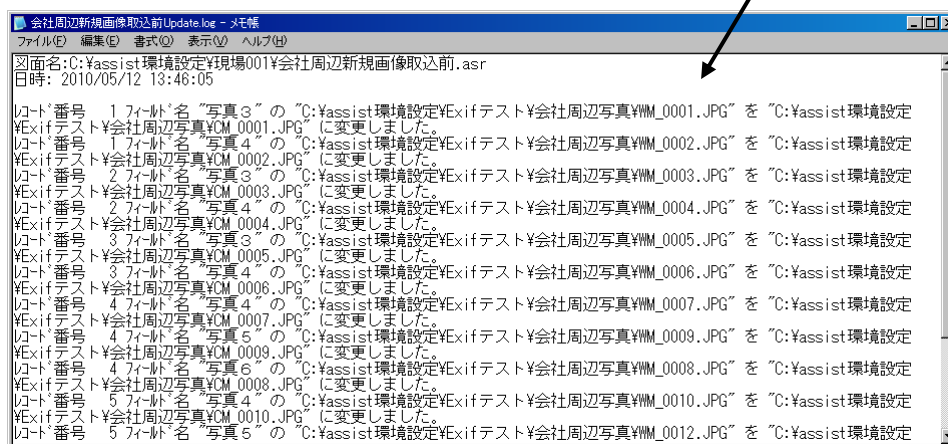
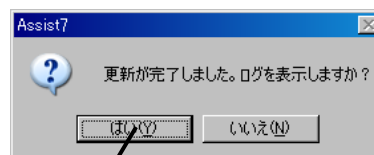
入れ替える Exif データを選択し、開きます。

※Exif データは複数選択が可能です。

4. [Exif 誤差] ウィンドウが表示されます。詳細は前述 O 2-1 [ツール] - [Exif オプション] - [Exif 取込] を参照してください。

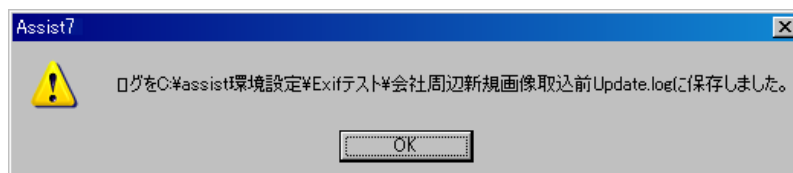
[OK] ボタンをクリックすると確認メッセージが表示されます。

5. [はい] ボタンをクリックするとログが表示されます。



6. ログ画面を閉じると、確認メッセージが表示されます。

[OK] ボタンをクリックすると新規 Exif データが取り込まれます。



7. 一覧表形式フォームで右クリックし、[再読込] を選択すると、DB が更新されます。

0 2-7 [ツール] - [Exif オプション] - [台帳手動設定] …画像を指定して、直接画像フィールドに取り込みます。また、[新規画像取込]・[画像入替] で取り込んだ画像の保存フィールドを変更します。

手順

1. メニューバーから [ツール] - [Exif オプション] - [台帳手動設定] を選択します。

2. [GIS 業務選択] ウィンドウが表示されます。

GIS 基本設定で設定した DB を選択し [OK] ボタンをクリックします。

3. [台帳手動設定] ウィンドウが表示されます。

データベース…DB の内容です。

最初…最初のレコードへ移動します。

前へ…前のレコードへ移動します。

次へ…次のレコードへ移動します。

最終…最終レコードへ移動します。

上へ/下へ…画像フィールドを移動します。

登録…新規画像登録を行います。

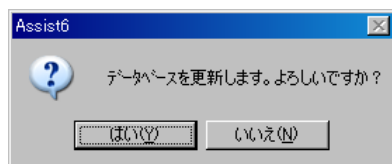
[画像登録] ウィンドウが表示されます。

登録する画像を選択し、[開く] ボタンをクリックすると画像が取り込まれます。

削除…登録画像を削除します。削除したい画像を選択し、[削除] ボタンをクリックすると削除されます。

DB 更新…変更内容を DB に反映します。

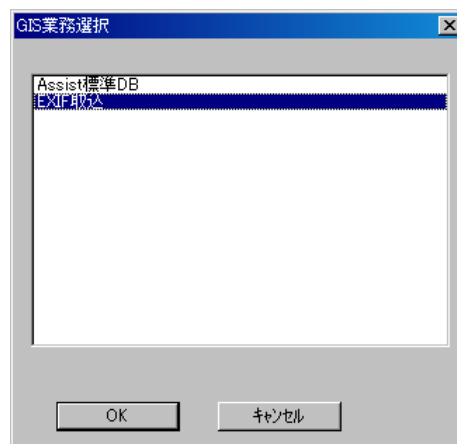
確認メッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。



閉じる…台帳手動設定を終了します。

内容変更後、DB 更新をしていない場合は、確認メッセージが表示されます。

3. 一覧表形式フォームで右クリックし、[再読込] を選択すると、DB が更新されます。



O 2-8 [ツール] - [Exif オプション] - [DB→単点] …既存のDB内にある Exif データのファイルパスを参照して、図面上に単点を作成します。

手順

1. メニューバーから [ツール] - [Exif オプション] - [DB→単点] を選択します。
2. [GIS 業務選択] ウィンドウが表示されます。
[OK] ボタンをクリックすると、DB のデータから図面上に単点を作成します。



O 2-9 [ツール] - [Exif オプション] - [方向矢印の表示／非表示] …Exif 矢印を表示・非表示にします。

手順

1. メニューバーから [ツール] - [Exif オプション] - [方向矢印の表示／非表示] を選択します。
2. Exif 矢印が、表示・非表示になります。

G3 19座標系

| 系番号 | 座標系原点の経緯度 | | 適用区域 |
|-------|---------------------|-------------------|--|
| | 経度（東経） | 緯度（北緯） | |
| I | 129 度 30 分 0 秒 0000 | 33 度 0 分 0 秒 0000 | 長崎県 鹿児島県のうち北方北緯 32 度南方北緯 27 度西方東経 128 度 18 分東方東経 130 度を境界線とする区域内（奄美群島は東経 130 度 13 分までを含む。）にあるすべての島、小島、環礁及び岩礁 |
| II | 131 度 0 分 0 秒 0000 | 33 度 0 分 0 秒 0000 | 福岡県 佐賀県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県（第 I 系に規定する区域を除く。） |
| III | 132 度 10 分 0 秒 0000 | 36 度 0 分 0 秒 0000 | 山口県 島根県 広島県 |
| IV | 133 度 30 分 0 秒 0000 | 33 度 0 分 0 秒 0000 | 香川県 愛媛県 徳島県 高知県 |
| V | 134 度 20 分 0 秒 0000 | 36 度 0 分 0 秒 0000 | 兵庫県 鳥取県 岡山県 |
| VI | 136 度 0 分 0 秒 0000 | 36 度 0 分 0 秒 0000 | 京都府 大阪府 福井県 滋賀県 三重県 奈良県 和歌山県 |
| VII | 137 度 10 分 0 秒 0000 | 36 度 0 分 0 秒 0000 | 石川県 富山県 岐阜県 愛知県 |
| VIII | 138 度 30 分 0 秒 0000 | 36 度 0 分 0 秒 0000 | 新潟県 長野県 山梨県 静岡県 |
| IX | 139 度 50 分 0 秒 0000 | 36 度 0 分 0 秒 0000 | 東京都（XIV 系、XVIII 系及び XIX 系に規定する区域を除く。） 福島県 栃木県 茨城県 埼玉県 千葉県 群馬県 神奈川県 |
| X | 140 度 50 分 0 秒 0000 | 40 度 0 分 0 秒 0000 | 青森県 秋田県 山形県 岩手県 宮城県 |
| XI | 140 度 15 分 0 秒 0000 | 44 度 0 分 0 秒 0000 | 小樽市 函館市 伊達市 胆振支庁管内のうち有珠郡及び虻田郡 檜山支庁管内 後志支庁管内 渡島支庁管内 |
| XII | 142 度 15 分 0 秒 0000 | 44 度 0 分 0 秒 0000 | 札幌市 旭川市 稚内市 留萌市 美唄市 夕張市 岩見沢市 苫小牧市 室蘭市 士別市 名寄市 芦別市 赤平市 三笠市 滝川市 砂川市 江別市 千歳市 歌志内市 深川市 紋別市 富良野市 登別市 恵庭市 北広島市 石狩市 石狩支庁管内 網走支庁管内のうち紋別郡 上川支庁管内 宗谷支庁管内 日高支庁管内 胆振支庁管内（有珠郡及び虻田郡を除く。） 空知支庁管内 留萌支庁管内 |
| XIII | 144 度 15 分 0 秒 0000 | 44 度 0 分 0 秒 0000 | 北見市 帯広市 釧路市 網走市 根室市 根室支庁管内 釧路支庁管内 網走支庁管内（紋別郡を除く。） 十勝支庁管内 |
| XIV | 142 度 0 分 0 秒 0000 | 26 度 0 分 0 秒 0000 | 東京都のうち北緯 28 度から南であり、かつ東経 140 度 30 分から東であり東経 143 度から西である区域 |
| XV | 127 度 30 分 0 秒 0000 | 26 度 0 分 0 秒 0000 | 沖縄県のうち東経 126 度から東であり、かつ東経 130 度から西である区域 |
| XVI | 124 度 0 分 0 秒 0000 | 26 度 0 分 0 秒 0000 | 沖縄県のうち東経 126 度から西である区域 |
| XVII | 131 度 0 分 0 秒 0000 | 26 度 0 分 0 秒 0000 | 沖縄県のうち東経 130 度から東である区域 |
| XVIII | 136 度 0 分 0 秒 0000 | 20 度 0 分 0 秒 0000 | 東京都のうち北緯 28 度から南であり、かつ東経 140 度 30 分から西である区域 |
| XIX | 154 度 0 分 0 秒 0000 | 26 度 0 分 0 秒 0000 | 東京都のうち北緯 28 度から南であり、かつ東経 143 度から東である区域 |

サポート

本ソフトウェアの複製、及び本マニュアルの複製、転記することを禁止します。

本ソフトウェア及び本マニュアルを運用した結果については、責任を負いかねますので予めご了承ください。

本マニュアルに掲載している画面表示につきましては一部に異なる場合がございますので予めご了承ください。

本マニュアルの内容については将来予告無く変更する場合があります。

2014年 2月 初版発行

2014年 10月 第二版発行

“Assist7 software”
Copyright (C) 2009 Be system CO.,LTD.
All Rights Reserved.